令和５年度

自治行政の実績に関する調書

愛知県愛知郡東郷町

報　　告　　書

令和５年度東郷町の一般会計、特別会計及び企業会計の決算を議会の認定に付するに当たり、地方自治法（昭和２２年法律第６７号）第２３３条第５項の規定により主要な施策の成果について報告する。

令和６年８月２６日提出　　東郷町長　石　橋　直　季

目　　次

１　決算の状況　令和５年度決算総括表 …… １

２　年度別一般会計歳入歳出決算額 …… ２

３　一般会計歳入決算の状況 …… ６

４　一般会計歳出決算の状況 …… ２０
⑴　議会費 …… ２１
⑵　総務費 …… ２３
⑶　民生費 …… ８２
⑷　衛生費 …… １３９
⑸　労働費 …… １６７
⑹　農林水産業費 …… １６８
⑺　商工費 …… １７８
⑻　土木費 …… １８５
⑼　消防費 …… ２０２
⑽　教育費 …… ２０８
⑾　災害復旧費 …… ２５９
⑿　公債費 …… ２６０
⒀　諸支出金 …… ２６４

５　特別会計決算の状況
⑴　国民健康保険特別会計 …… ２７０
⑵　国民健康保険東郷診療所特別会計 …… ３０８
⑶　後期高齢者医療特別会計 …… ３１７
⑷　介護保険特別会計 …… ３２３

６　企業会計決算の状況
下水道事業会計 …… ３６３

７　土地開発基金の運用状況に関する調書 …… ３６８

決　算　の　状　況
令和５年度決算総括表

（単位：千円）

区分 / 会計別	歳入			歳出		
	令和５年度 (A)	令和４年度 (B)	差引増減 (A)－(B)	令和５年度 (A)	令和４年度 (B)	差引増減 (A)－(B)
一般会計	15,811,087	15,136,425	674,662	15,085,263	14,302,949	782,314
国民健康保険特別会計	3,547,195	3,499,246	47,949	3,501,723	3,458,429	43,294
国民健康保険東郷診療所特別会計	126,934	140,700	△13,766	126,812	115,950	10,862
後期高齢者医療特別会計	654,005	628,391	25,614	650,533	626,893	23,640
介護保険特別会計	2,895,022	2,755,945	139,077	2,760,385	2,667,209	93,176
下水道事業会計	960,887	994,068	△33,181	1,130,681	1,173,307	△42,626

一　般　会　計

年　度　別　一　般　会　計

歳　　入

年度 / 款別	令和元年度		令和２年度	
		構成比(%)		構成比(%)
１　町　　税	6,662,046	49.9	6,779,725	35.7
２　地　方　譲　与　税	100,820	0.8	101,531	0.5
３　利　子　割　交　付　金	6,635	0.0	7,355	0.0
４　配　当　割　交　付　金	46,145	0.3	43,110	0.2
５　株式等譲渡所得割交付金	23,831	0.2	40,820	0.2
６　法　人　事　業　税　交　付　金	—	—	27,762	0.1
７　地　方　消　費　税　交　付　金	700,734	5.2	875,190	4.6
８　ゴルフ場利用税交付金	16,216	0.1	13,369	0.1
９　環　境　性　能　割　交　付　金	9,201	0.1	19,916	0.1
10　地　方　特　例　交　付　金	186,766	1.4	77,879	0.4
11　地　方　交　付　税	610,679	4.6	737,505	3.9
12　交通安全対策特別交付金	5,646	0.0	6,018	0.0
13　分　担　金　及　び　負　担　金	8,010	0.1	20,083	0.1
14　使　用　料　及　び　手　数　料	261,858	2.0	189,133	1.0
15　国　庫　支　出　金	1,591,579	11.9	6,873,565	36.2
16　県　支　出　金	823,402	6.2	951,682	5.0
17　財　産　収　入	30,218	0.2	9,972	0.1
18　寄　附　金	10,130	0.1	154,801	0.8
19　繰　入　金	403,562	3.0	406,008	2.1
20　繰　越　金	78,338	0.6	189,043	1.0
21　諸　収　入	412,337	3.1	372,782	2.0
22　町　　債	1,328,200	10.0	1,112,700	5.9
（自動車取得税交付金）	29,839	0.2	—	—
歳　入　合　計	13,346,192	100.0	19,009,949	100.0

歳　入　歳　出　決　算　額

（単位：千円）

令和３年度		令和４年度		令和５年度	
	構成比(%)		構成比(%)		構成比(%)
6,614,993	40.3	7,310,699	48.3	7,157,709	45.3
103,055	0.6	112,665	0.7	114,065	0.7
4,795	0.0	3,256	0.0	3,161	0.0
58,894	0.4	57,164	0.4	65,568	0.4
67,341	0.4	39,349	0.3	67,411	0.4
63,027	0.4	93,423	0.6	118,732	0.7
962,942	5.9	1,020,665	6.7	1,036,290	6.6
16,609	0.1	16,980	0.1	16,101	0.1
19,110	0.1	25,484	0.2	27,908	0.2
222,514	1.3	85,675	0.6	96,683	0.6
1,149,973	7.0	1,069,747	7.1	1,194,538	7.6
5,991	0.0	5,398	0.0	4,662	0.0
5,996	0.0	16,623	0.1	15,335	0.1
176,666	1.1	177,502	1.2	154,904	1.0
3,410,353	20.8	2,626,268	17.4	2,306,487	14.6
950,277	5.8	1,085,286	7.2	1,132,979	7.2
8,727	0.1	4,596	0.0	10,021	0.1
163,155	1.0	181,290	1.2	157,578	1.0
590,712	3.6	119,662	0.8	1,050,114	6.6
96,175	0.6	82,560	0.5	96,468	0.6
414,168	2.5	419,933	2.8	432,973	2.7
1,315,400	8.0	582,200	3.8	551,400	3.5
—	—	—	—	—	—
16,420,873	100.0	15,136,425	100.0	15,811,087	100.0

歳　　出

年度 / 款別		令和元年度		令和２年度	
			構成比(%)		構成比(%)
1 議会費		131,666	1.0	133,472	0.7
2 総務費		1,786,847	14.0	6,262,407	34.7
3 民生費		4,924,313	38.5	5,125,354	28.4
4 衛生費		919,922	7.2	980,337	5.4
5 労働費		19,467	0.1	20,241	0.1
6 農林水産業費		63,399	0.5	59,522	0.3
7 商工費		99,836	0.8	274,998	1.5
8 土木費		1,689,716	13.2	1,486,575	8.2
9 消防費		603,646	4.7	594,962	3.3
10 教育費		1,836,189	14.3	2,179,381	12.1
11 災害復旧費		0	0.0	0	0.0
12 公債費		700,397	5.5	752,052	4.2
13 諸支出金		23,383	0.2	204,244	1.1
歳出合計（A）		12,798,781	100.0	18,073,545	100.0
予算現額（B）		14,152,513		19,361,235	
差引((B)－(A))（C）		1,353,732		1,287,690	
（C）の内訳	翌年度繰越額	826,337		599,557	
	不用額	527,395		688,133	

（単位：千円）

令和３年度		令和４年度		令和５年度	
	構成比(%)		構成比(%)		構成比(%)
131,209	0.9	126,798	0.9	130,453	0.9
1,925,493	12.5	2,040,781	14.3	1,969,519	13.1
6,471,736	42.0	6,159,814	43.1	6,290,338	41.7
1,478,678	9.6	1,449,408	10.1	1,600,117	10.6
13,408	0.1	16,936	0.1	17,622	0.1
74,230	0.5	82,692	0.6	86,730	0.6
103,199	0.7	341,501	2.4	360,229	2.4
1,391,264	9.0	958,886	6.7	1,152,154	7.6
624,130	4.0	655,491	4.5	679,159	4.5
1,518,964	9.9	1,585,408	11.1	1,874,808	12.4
0	0.0	0	0.0	495	0.0
849,839	5.5	884,363	6.2	875,269	5.8
820,469	5.3	871	0.0	48,370	0.3
15,402,619	100.0	14,302,949	100.0	15,085,263	100.0
16,575,757		15,433,958		16,943,589	
1,173,138		1,131,009		1,858,326	
652,523		316,581		1,086,697	
520,615		814,428		771,628	

一般会計歳入決算の状況

令和５年度における歳入決算額は１５，８１１，０８７千円で、前年度に対して６７４，６６２千円の増収となった。これは、率にして４．５％の増である。

財源の対前年度比は、以下のとおりである。

（単位：千円、％）

区　分	令和５年度	令和４年度	増 減 額	伸 率
町税	7,157,709	7,310,699	△ 152,990	△2.1%
地方譲与税	114,065	112,665	1,400	1.2%
利子割交付金	3,161	3,256	△ 95	△2.9%
配当割交付金	65,568	57,164	8,404	14.7%
株式等譲渡所得割交付金	67,411	39,349	28,062	71.3%
法人事業税交付金	118,732	93,423	25,309	27.1%
地方消費税交付金	1,036,290	1,020,665	15,625	1.5%
ゴルフ場利用税交付金	16,101	16,980	△ 879	△5.2%
環境性能割交付金	27,908	25,484	2,424	9.5%
地方特例交付金	96,683	85,675	11,008	12.8%
地方交付税	1,194,538	1,069,747	124,791	11.7%
交通安全対策特別交付金	4,662	5,398	△ 736	△13.6%
分担金及び負担金	15,335	16,623	△ 1,288	△7.7%
使用料及び手数料	154,904	177,502	△ 22,598	△12.7%
国庫支出金	2,306,487	2,626,268	△ 319,781	△12.2%
県支出金	1,132,979	1,085,286	47,693	4.4%
財産収入	10,021	4,596	5,425	118.0%
寄附金	157,578	181,290	△ 23,712	△13.1%
繰入金	1,050,114	119,662	930,452	777.6%
繰越金	96,468	82,560	13,908	16.8%
諸収入	432,973	419,933	13,040	3.1%
町債	551,400	582,200	△ 30,800	△5.3%
歳 入 合 計	15,811,087	15,136,425	674,662	4.5%

内容については、次ページ以降のとおりである。

（款）１　町　　税

⑴　町民税

町民税の決算額は３，２２２，０３６千円で、前年度に比べ６２，６４８千円（２．０％）の増収となった。

個人町民税については決算額２，９０１，９７５千円で、前年度に比べ１３，２９５千円（０．５％）の増収となった。

また、法人町民税については決算額３２０，０６１千円で、前年度に比べ４９，３５３千円（１８．２％）の増収となった。

決算額推移　　（単位：千円、％）

区　　分	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
個人町民税	2,972,610	2,857,097	2,888,680	2,901,975
対前年度伸率	△0.3	△3.9	1.1	0.5
法人町民税	364,938	350,570	270,708	320,061
対前年度伸率	8.3	△3.9	△22.8	18.2
合　　計	3,337,548	3,207,667	3,159,388	3,222,036
対前年度伸率	0.5	△3.9	△1.5	2.0

個人町民税の所得種類別賦課状況（現年課税分）

区　　分	納税者数		税　　額（千円）	１人当たり平均税額（円）
	（人）	構成比(%)		
給与所得者	18,776	81.1	2,499,915	133,144
営業所得者	801	3.5	110,990	138,564
農業所得者	4	0.0	374	93,500
その他の所得者	3,572	15.4	268,067	75,047
合　　計	23,153	100.0	2,879,346	124,362

※　令和５年度市町村税課税状況等の調より

法人数推移　　（単位：人）

区　分	１号	２号	３号	４号	５号	６号	７号	８号	９号	合計
令和５年度	898	15	174	13	75	14	68	3	3	1,263
令和４年度	865	13	178	14	71	13	68	3	4	1,229

※　令和５年度市町村税課税状況等の調より

⑵　固定資産税

固定資産税の決算額は３，０４２，９９８千円で、前年度に比べ１８５，２５５千円（５．７％）の減収となった。

土地、家屋及び償却資産に分けてみると、土地については決算額１，１９８，３０３千円で、前年度に比べ１１，５８６千円（１．０％）の増収となった。家屋については決算額１，３９９，７５９千円で、前年度に比べ１７９，３０８千円（１１．４％）の減収となった。償却資産については決算額４２６，２１９千円で、前年度に比べ１７，５４０千円（４．０％）の減収となった。

国有資産等所在市町村交付金については１８，７１７千円で、前年度に比べ７千円（０．０％）の増収となった。

決算額比較　（単位：千円、％）

区　　分	令和５年度	令和４年度	増減額	伸率
固定資産税	3,042,998	3,228,253	△185,255	△5.7
純固定資産税	3,024,281	3,209,543	△185,262	△5.8
土　　地	1,198,303	1,186,717	11,586	1.0
家　　屋	1,399,759	1,579,067	△179,308	△11.4
償却資産	426,219	443,759	△17,540	△4.0
交付金	18,717	18,710	7	0.0

土地課税状況（非課税分を除く。）

区　分		地　積		決定価格	筆　数	㎡当たり平均価格	課税標準額
		面　積 (㎡)	割合 (%)	(千円)	(筆)	(円)	(千円)
田畑	一般田	2,520,547	21.4	313,090	3,447	124	288,466
	市街化(田)	134,552	1.1	4,362,414	197	32,422	246,402
	一般畑	878,136	7.5	63,578	1,783	72	53,540
	市街化(畑)	196,965	1.7	8,608,265	700	43,705	1,762,666
宅　地		4,575,785	38.8	236,415,785	30,276	51,667	69,410,486
雑種地		3,476,736	29.5	21,502,441	8,035	6,185	13,870,310
合　　計		11,782,721	100.0	271,265,573	44,438	23,022	85,631,870

※１　令和５年度固定資産概要調書より

※２　課税標準額は法定免税点以上

家屋課税状況（非課税分を除く。）

区分		棟数（棟）	床面積 面積（㎡）	床面積 割合（%）	決定価格（千円）	㎡当たり価格（円）
木造家屋	専用住宅	10,125	1,082,660	91.6	35,229,807	32,540
	共同住宅	153	38,724	3.3	1,644,934	42,478
	併用住宅	133	16,751	1.4	338,230	20,192
	店舗・事務所	138	11,354	1.0	372,661	32,822
	劇場・病院	24	3,964	0.3	158,522	39,990
	工場・倉庫	111	7,008	0.6	59,963	8,556
	付属家等	791	21,059	1.8	66,326	3,150
	小計	11,475	1,181,520	100.0	37,870,443	32,052
非木造家屋	店舗・事務所	483	242,579	16.3	19,690,624	81,172
	住宅・アパート	5,062	703,490	47.2	29,678,359	42,187
	ホテル・病院	53	43,852	2.9	3,130,380	71,385
	工場・倉庫	981	339,180	22.8	8,572,474	25,274
	その他	1,011	161,568	10.8	5,956,660	36,868
	小計	7,590	1,490,669	100.0	67,028,497	44,965
合計		19,065	2,672,189		104,898,940	39,256

※　令和５年度固定資産概要調書より

償却資産（免税点以上）

区分		決定価格（千円）	課税標準額 価格（千円）	課税標準額 割合（%）	課税標準額の内訳 課税標準の特例の適用を受けるもの（千円）	課税標準額の内訳 左記以外のもの（千円）
町長が価格を決定したもの	構築物	7,750,613	7,739,957	29.2	7,818	7,732,139
	機械及び装置	13,485,122	12,242,454	46.3	0	12,242,454
	船舶	11,234	11,234	0.1	0	11,234
	車両及び運搬具	131,121	131,121	0.5	0	131,121
	工具器具及び備品	6,329,504	6,321,207	23.9	428	6,320,779
	小計	27,707,594	26,445,973	100.0	8,246	26,437,727
法第389条関係	総務大臣が価格等を決定したもの	3,934,982	3,679,865	94.8		
	県知事が価格等を決定したもの	208,868	200,225	5.2		
	小計	4,143,850	3,880,090	100.0		
合計		31,851,444	30,326,063			

※　令和５年度固定資産概要調書より

⑶　軽自動車税

課税台数は１３，３９６台（前年度１３，１３６台）、決算額は１０６，４９２千円で、前年度に比べ４，２３２千円（４．１％）の増収となった。

決算額比較　（単位：千円、％）

区　　分	令和５年度	令和４年度	増減額	伸率
種別割	101,070	96,964	4,106	4.2
環境性能割	5,422	5,296	126	2.4

軽自動車車種別課税台数（令和５年度）　（単位：台）

原付第一種	原付第二種	ミニカー	軽自二輪車	軽自三輪車	軽四輪乗用	軽四輪貨物	小型特殊自	二輪小型自	合　計
1,344	543	23	588	0	8,106	1,658	396	738	13,396

⑷　町たばこ税

町たばこ税の決算額は２８３，６１４千円で、前年度に比べ９５９千円（０．３％）の増収となった。

⑸　都市計画税

都市計画税の決算額は５０２，５６９千円で、前年度に比べ３５，５７４千円（６．６％）の減収となった。

都市計画税充当事業（令和５年度）　（単位：千円）

事　業　名	事　業　費	
		うち都市計画税充当額
都市計画一般管理事業	23	21
公園緑地等維持管理事業	157,976	131,154
下水道事業会計繰出金事業	351,827	325,012
建設事業分公債費元金事業	48,188	44,515
建設事業分公債費利子事業	2,021	1,867
計	560,035	502,569

※　都市計画税充当額は、都市計画税の決算額を事業費の一般財源で按分して算出

⑹　総　　括

町税収納率推移　　（単位：円、％）

区分	調　定　額 A	収入済額 B	不納欠損額 C	収納率 B/A×100
令和元年度	6,757,092,683	6,662,045,502	6,657,811	98.59
令和２年度	6,868,168,843	6,779,725,314	3,483,604	98.71
令和３年度	6,696,209,872	6,614,992,907	3,782,365	98.79
令和４年度	7,391,877,582	7,310,698,606	2,610,092	98.90
令和５年度	7,235,120,885	7,157,709,396	5,569,393	98.93

町税決算額　　（単位：千円、％）

区　　分		令和５年度	令和４年度	増減額	伸率	構成比
１　町民税		3,222,036	3,159,388	62,648	2.0	45.0
	個　人	2,901,975	2,888,680	13,295	0.5	40.5
	法　人	320,061	270,708	49,353	18.2	4.5
２　固定資産税		3,042,998	3,228,253	△185,255	△5.7	42.5
３　軽自動車税		106,492	102,260	4,232	4.1	1.5
４　町たばこ税		283,614	282,655	959	0.3	4.0
５　都市計画税		502,569	538,143	△35,574	△6.6	7.0
合　　計		7,157,709	7,310,699	△152,990	△2.1	100.0

（款）２　地方譲与税

地方譲与税の決算額は１１４，０６５千円で、前年度に対して１，４００千円（１．２％）の増収となった。その内訳は、地方揮発油譲与税法第３条の規定に基づく地方揮発油譲与税が２７，２０５千円で、前年度に対して２０３千円（０．８％）の増収となり、自動車重量譲与税法第２条の規定に基づく自動車重量譲与税額が８２，０２０千円で、前年度に対して１，１９７千円（１．５％）の増収、森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律第２８条の規定に基づく森林環境譲与税額は４，８４０千円で、前年度に対して増減はなかった。

（款）３　利子割交付金

地方税法第７１条の２６の規定に基づく利子割交付金の決算額は、３，１６１千円で、前年度に対して９５千円（２．９％）の減収となった。

（款）４　配当割交付金

地方税法第７１条の４７の規定に基づく配当割交付金の決算額は、６５，５６８千円で、前年度に対して８，４０４千円（１４．７％）の増収となった。

（款）５　株式等譲渡所得割交付金

地方税法第７１条の６７の規定に基づく株式等譲渡所得割交付金の決算額は、６７，４１１千円で、前年度に対して２８，０６２千円（７１．３％）の増収となった。

（款）６　法人事業税交付金

地方税法第７２条の７６の規定に基づく法人事業税交付金の決算額は１１８，７３２千円で、前年度に対して２５，３０９千円（２７．１％）の増収となった。

（款）７　地方消費税交付金

地方税法第７２条の１１５の規定に基づく地方消費税交付金の決算額は、１，０３６，２９０千円で、前年度に対し１５，６２５千円（１．５％）の増収となった。

なお、社会保障財源分の地方消費税交付金の決算額は、６０９，２３１千円であり、充当事業は以下のとおりである。

※　地方消費税交付金充当額は、地方消費税交付金の決算額を事業費の一般財源額で按分して算出

地方消費税交付金（社会保障財源）充当事業（令和５年度）　　（単位：千円）

事業名		事業費	
			うち地方消費税交付金充当額
社会福祉	障がい者扶助事業	50,420	13,036
	障がい者（児）支援サービス事業	7,443	1,896
	障がい者自立支援給付費事業	595,136	40,978
	地域生活支援事業	45,952	7,358
	障がい者相談支援事業	31,626	7,073
	子ども医療費事業	360,431	75,135
	障がい者医療費事業	114,151	16,374
	母子・父子家庭医療費事業	30,343	4,029
	後期高齢者福祉医療費給付事業	61,082	7,998
	自立支援医療費事業	21,612	1,463
	後期高齢者医療特別会計負担金事業	502,893	113,031
	未熟児養育医療費事業	3,471	322
	後期高齢者長寿健診事業	25,406	47
	高齢者在宅支援サービス事業	14,514	3,752
	高齢者生きがい対策事業	6,433	518
	母子父子・遺児福祉支援事業	12,611	3,260
	児童発達支援事業所運営事業	2,164	81
	子育て支援事業	39,001	5,937
	障がい児支援事業	268,938	13,097
	児童手当支給事業	770,282	31,901
	児童館運営事業	11,348	1,812
	民間保育所運営支援事業	786,906	64,401
	病児保育事業	5,493	473
	保育園運営事業	55,225	5,257
	小計	3,822,884	419,229
社会保険	国民健康保険特別会計繰出金事業	259,250	37,076
	介護保険特別会計繰出金事業	408,726	100,164
	小計	667,976	137,240
保健衛生	感染症まん延防止事業	125,427	31,949
	成人保健健康診査事業	48,185	11,135
	母子保健健康診査事業	38,977	9,677
	小計	212,589	52,761
計		4,703,449	609,231

（款）８　ゴルフ場利用税交付金

地方税法第１０３条の規定に基づくゴルフ場利用税交付金の決算額は、１６，１０１千円で、前年度に対して８７９千円（５．２％）の減収となった。

（款）９　環境性能割交付金

地方税法第１７７条の６の規定に基づく環境性能割交付金の決算額は、２７，９０８千円で、前年度に対して２，４２４千円（９．５％）の増収となった。

（款）１０　地方特例交付金

地方特例交付金等の地方財政の特別措置に関する法律第２条の規定に基づく地方特例交付金の決算額は、９６，６８３千円で、前年度に対して１１，００８千円（１２．８％）の増収となった。

（款）１１　地方交付税

地方交付税は、国税３税（所得税及び法人税の３３．１％、酒税の５０％）、消費税の１９．５％及び地方法人税の全額を地方財政の財源の均衡化を図る目的で地方交付税法第３条に基づき一定の基準により地方公共団体に交付されるものである。

本年度においては、普通交付税１，１１７，５２５千円、特別交付税７７，０１３千円が交付され、平成２２年度から引き続き１３年連続の交付団体となった。

なお、最近５か年における地方交付税の推移は以下のとおりである。

（単位：千円）

区分	普通交付税			特別交付税		財政力指数(単年度)
年度	基準財政需要額	基準財政収入額	決算額	決算額	対前年度増減額	
R1	6,233,133	5,692,585	535,058	75,621	△9,096	0.91
R2	6,538,467	5,890,779	661,002	76,503	882	0.90
R3	6,899,982	5,827,047	1,072,935	77,038	535	0.84
R4	7,250,337	6,255,702	994,635	75,112	△1,926	0.86
R5	7,495,876	6,304,487	1,117,525	77,013	1,901	0.84

※１　普通交付税決算額には、調整等の額が含まれる

（款）１２　交通安全対策特別交付金

交通安全対策特別交付金は、交通安全対策を推進する施策の一環として道路交通法に定める反則金をもって交通安全施設の設置及び管理に関する経費に充てるため交通事故の発生件数、人口集中地区人口及び改良済道路延長を用いて算定し交付されるものであり、本年度の決算額は４，６６２千円で、前年度に対して７３６千円（１３．６％）の減収となった。

（款）１３　分担金及び負担金

分担金及び負担金の決算額は１５，３３５千円で、前年度に対して１，２８８千円（７．７％）の減収となった。

（単位：千円、％）

区分 / 科目	令和５年度決算額	令和４年度決算額	差引増減額	伸率
総務費負担金	11,426	12,569	△1,143	△9.1
民生費負担金	2,099	2,216	△117	△5.3
教育費負担金	1,810	1,838	△28	△1.5

（款）１４　使用料及び手数料

使用料及び手数料の決算額は１５４，９０４千円で、前年度に対して２２，５９８千円（１２．７％）の減収となった。

（単位：千円、％）

区分 / 科目	令和５年度決算額	令和４年度決算額	差引増減額	伸率
総務使用料	473	458	15	3.3
民生使用料	51,588	75,119	△23,531	△31.3
衛生使用料	2,055	1,736	319	18.4
農林水産使用料	436	460	△24	△5.2
土木使用料	28,445	31,447	△3,002	△9.5
都市計画使用料	306	327	△21	△6.4
教育使用料	6,446	6,401	45	0.7
総務手数料	12,192	11,962	230	1.9
民生手数料	20	60	△40	△66.7
衛生手数料	47,291	45,895	1,396	3.0
都市計画手数料	399	229	170	74.2
教育手数料	5,253	3,408	1,845	54.1

（款）１５　国庫支出金

国庫支出金の決算額は２，３０６，４８７千円で、前年度に対して３１９，７８１千円（１２．２％）の減収となった。

⑴　国庫負担金の決算額は１，５６６，３００千円で、前年度に対して１４，４９７千円（０．９％）の増収となった。

（単位：千円、％）

区分 / 科目	令和５年度 決算額	令和４年度 決算額	差引増減額	伸率
民生費負担金	1,522,925	1,418,279	104,646	7.4
衛生費負担金	43,375	133,524	△90,149	△67.5

⑵　国庫補助金の決算額は７２８，５６０千円で、前年度に対して３３５，５６２千円（３１．５％）の減収となった。

（単位：千円、％）

区分 / 科目	令和５年度 決算額	令和４年度 決算額	差引増減額	伸率
総務費補助金	444,600	285,696	158,904	55.6
民生費補助金	74,707	477,233	△402,526	△84.3
衛生費補助金	165,710	237,439	△71,729	△30.2
土木費補助金	25,316	34,907	△9,591	△27.5
教育費補助金	18,227	28,847	△10,620	△36.8

⑶　国庫委託金の決算額は１１，６２７千円で、前年度に対して１，２８４千円（１２．４％）の増収となった。

（単位：千円、％）

区分 / 科目	令和５年度 決算額	令和４年度 決算額	差引増減額	伸率
総務費委託金	636	644	△8	△1.2
民生費委託金	10,987	9,699	1,288	△13.3
衛生費委託金	4	0	4	皆増

（款）１６　県支出金

県支出金の決算額は１，１３２，９７９千円で、前年度に対し４７，６９３千円（４．４％）の増収となった。

⑴　県負担金の決算額は７１２，２４０千円で、前年度に対して５９，８７５千円（９．２％）の増収となった。

（単位：千円、％）

区分 / 科目	令和５年度 決算額	令和４年度 決算額	差引増減額	伸率
民生費負担金	712,240	652,365	59,875	9.2

⑵　県補助金の決算額は３２９，７６３千円で、前年度に対して１５，３９３千円（４．９％）の増収となった。

（単位：千円、％）

区分 科目	令和５年度 決算額	令和４年度 決算額	差引増減額	伸率
総務費補助金	1,238	1,195	43	3.6
民生費補助金	258,802	270,611	△11,809	△4.4
衛生費補助金	10,079	14,319	△4,240	△29.6
農林水産業費補助金	18,425	9,942	8,483	85.3
商工費補助金	21,000	14,000	7,000	50.0
土木費補助金	15,554	909	14,645	1611.1
消防費補助金	34	15	19	126.7
教育費補助金	4,631	3,379	1,252	37.1

⑶　県委託金の決算額７８，０７０千円で、前年度に対して２４，７９０千円（２４．１％）の減収となった。

（単位：千円、％）

区分 科目	令和５年度 決算額	令和４年度 決算額	差引増減額	伸率
総務費委託金	72,720	102,690	△29,970	△29.2
教育費委託金	5,350	170	5,180	3,047.1

⑷　県交付金の決算額は１２，９０７千円で、前年度に対して２，７８４千円（１７．７％）の減収となった。

（単位：千円、％）

区分 科目	令和５年度 決算額	令和４年度 決算額	差引増減額	伸率
総務費交付金	2,474	1,510	964	63.8
民生費交付金	2,888	2,972	△84	△2.8
農林水産業費交付金	7,537	11,202	△3,665	△32.7
教育費交付金	8	7	1	14.3

（款）１７　財産収入

財産収入の決算額は１０，０２１千円で、前年度に対して５，４２５千円（１１８．０％）の増収となった。

⑴　財産運用収入の決算額は５，７９０千円で、前年度に対して１，１９４千円（２６．０％）の増収となった。

⑵　財産売払収入の決算額は４，２３１千円で、前年度に対して４，２３１千円（皆増）の増収となった。

（款）１８　寄附金

寄附金の総額は１５７，５７８千円で、前年度に対して２３，７１２千円（１３．１％）の減収となった。

（単位：千円、％）

区分 / 科目	令和５年度決算額	令和４年度決算額	差引増減額	伸率
一般寄附金	152,047	180,280	△28,233	△15.7
民生費寄附金	53	1,000	△947	△94.7
教育費寄附金	5,268	0	5,268	皆増
総務費寄附金	100	0	100	皆増
商工費寄附金	100	0	100	皆増
土木費寄附金	10	10	0	0

（款）１９　繰入金

繰入金の決算額は１，０５０，１１４千円で、前年度に対して９３０，４５２千円（７７７．６％）の増収となった。

（款）２０　繰越金

繰越金の決算額は９６，４６８千円で、前年度に対して１３，９０８千円（１６．８％）の増収となった。

（款）２１　諸収入

諸収入の決算額は４３２，９７３千円で、前年度に対して１３，０４０千円（３．１％）の増収となった。

（単位：千円、％）

区分 / 科目			令和５年度決算額	令和４年度決算額	差引増減額	伸率
延滞金			5,423	3,653	1,770	48.5
貸付金元利収入			50,000	50,000	0	0
受託事業収入			35,382	34,612	770	2.2
雑入	学校給食費		173,102	172,598	504	0.3
	内訳	小学校給食費	113,505	113,836	△331	△0.3
		中学校給食費	59,597	58,762	835	1.4
	雑入		169,066	159,070	9,996	6.3

（款）２２　町債

町債の決算額は５５１，４００千円で、前年度に比べ３０，８００千円（５．３％）の減収となった。

（単位：％、千円）

区分	起債の目的	利率	借入額	借入先
総務債	臨時財政対策債	0.70	89,700	政府資金
	庁舎屋上防水改修工事	0.974	17,500	市中銀行
民生債	老人クラブ活動拠点整備事業	0.974	31,000	市中銀行
土木債	新池・春木台線整備事業	1.00	11,600	政府資金
		0.974	22,900	市中銀行
	諸輪地区渋滞対策事業	0.70	22,400	振興協会
	太陽わごうこども園関連道路整備事業	0.70	3,100	振興協会
	東郷・三好線舗装修繕事業	0.70	11,100	振興協会
	春木中学校東広場整備事業	0.70	59,200	振興協会
	上鏡田公園築造事業	0.50	65,000	共済組合
	涼松緑道改修事業	0.974	8,400	市中銀行
消防費	消防団詰所建替事業	1.00	35,500	金融機構
教育債	音貝小学校トイレ改修事業	0.90	44,500	政府資金
	総合体育館天井改修耐震化事業	1.00	4,600	政府資金
	小学校昇降機改修事業	0.50	38,100	振興協会
	小学校少人数学級実施事業	0.974	20,300	市中銀行
	中学校屋上防水改修事業	0.974	35,300	市中銀行
	小学校長寿命化改修事業	0.974	10,500	市中銀行
	春木台小学校昇降機改修事業	0.974	20,700	市中銀行

一般会計歳出決算の状況

令和５年度の歳出決算額は１５，０８５，２６３千円で、令和４年度の歳出決算額と比較して７８２，３１４千円（５．５％）の増額となった。

「誰もが元気に暮らせるまち」では、大学生等の入院医療費を助成する「学生医療費助成制度」の開始など、医療費助成の拡充を行った。

また、高齢者の社会参加と介護予防を推進するために、和合保育園跡地を活用して、老人クラブの新たな活動拠点を整備した。

「子どもがのびのび育つまち」では、町立の保育園において、保護者の利便性向上と、保育園と保護者のコミュニケーションの充実を図るため、保護者への連絡や園児の登降園確認などを、アプリにより実施することができる「保育業務支援システム」を導入した。

また、児童一人一人に、きめ細やかな指導を行うため、小学６年生を対象に 35 人学級が実現できる環境を整備した。

「安全・安心で、自然と共生するまち」では、コロナ禍及び物価高騰等による町民の皆様の生活への不安解消及び事業者支援のため、全町民を対象に１人当たり５千円のエールチケットを配布した。

また、環境対策への取組として、家庭で不要となったプラスチックの計画収集を開始した。

「快適に暮らせるまち」では、児童生徒の通学路となっている新池・春木台線の歩道整備のための道路設計及び用地取得を行った。

「産業と交流が盛んなまち」では、有機稲作の技術講習会の開催や有機農業への転換に伴う経費の補助を行い、持続可能な農業への転換を支援した。

また、東郷町商工会館について、建物の安全性を確認するための耐震診断費用の補助を行った。

「みんなでつくるまち」では、町が実施する取り組みを効果的に発信するため、毎月１回配布している広報紙を民間のノウハウを活かしながら作成した。

事業ごとの内容については、各款項目の事業内容を示した行政評価書を活用し、その結果及び成果を説明することとしており、詳細は次ページ以降のとおりである。

款	01	議会費	予算現額	134,338,000 円
項	01	議会費	決算額	130,452,591 円
目	01	議会費	前年度決算額	126,798,113 円
			対前年比	102.9 %

Ⅰ．事業の目的体系

1 事業名	議会運営事業	ｺｰﾄﾞ	01	01	01	01	02	－
2 総合計画の施策体系	基本目標	6 みんなでつくるまち 【参画・協働】						
	基本施策	04 将来を見据えた行財政運営を進める						
	施策の展開方向	－						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	町民、議員
2	働きかける相手（対象）	町民、議会及び議員、議員の議会活動
3	どのような状態にしたいのか（意図）	議会が町民により身近なものとして感じられ、関心が高まるようにします。また、議会事務が円滑に遂行されるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

議会運営事業
⑴ 本会議の開催 定例会４回（議会開催日数20日）、臨時会２回（議会開催日数２日）
⑵ 委員会等の開催 議会運営委員会25回、常任委員会48回、決算特別委員会３回、議会活性化特別委員会４回、ハラスメント事案検証特別委員会９回、全員協議会･全体会議33回
⑶ 行政視察研修の実施
ア 委員会県外行政視察研修
(ｱ) 総務経済委員会 10月17日～10月18日 静岡県御殿場市 神奈川県小田原市
(ｲ) 文教民生委員会 10月３日～10月４日 滋賀県甲賀市 大阪府守口市
(ｳ) 広報広聴委員会 ８月25日 令和５年度町村議会広報クリニック
(ｴ) 議会運営委員会 10月11日～10月12日 東京都調布市 茨城県取手市
イ 委員会県内行政視察研修
(ｱ) 総務経済委員会 １月17日 日進市
(ｲ) 文教民生委員会 １月12日 名古屋市山吹小委学校 名古屋市教育委員会
(ｳ) 広報広聴委員会 ８月９日 愛知県町村議会広報研修会
ウ 委員会町内視察研修
(ｱ) 総務経済委員会 ６月12日 松田農園（有機農業） 東郷中学校（防災倉庫）
(ｲ) 文教民生委員会 ６月14日 中部保育園（英語活動）
⑷ 議会だよりの発行 年４回、議事録検索のHP掲載及び一般質問・閉会日・臨時会・常任委員会の映像配信
⑸ 政務活動費の交付 14人 723,113円
⑹ 議会報告会の開催 ２回（８月６日、２月10日：議場にて開催）
ご当地意見交換会の開催 ８回（８月７日、８月８日、８月17日、８月22日、２月14日、２月15日、２月27日）
⑺ 各種団体との意見交換会
ア 議会 区長・自治会長・駐在員との意見交換会（７月14日）
イ 文教民生委員会 社会福祉協議会（９月14日）
ウ 広報広聴委員会 東郷高校生徒会役員（12月18日）
エ 議会活性化特別委員会（開かれた議会小委員会） 東郷町障がい者団体連絡会（１月23日）

5 活動指標

指標名	本会議の開催日数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	日 22.00	日	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	日 22.00	日	
		令和４年度	日 22.00	日	
		令和５年度	日 22.00	日	

6 成果指標

指標名	会議録へのアクセス件数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		令和２年度	件 3,223.00	件 3,676.50	過去２年間の平均値とします。
指標の説明（指標式）		令和３年度	件 3,413.00	件 3,410.00	
		令和４年度	件 3,456.00	件 3,318.00	
		令和５年度	件 5,496.00	件 3,434.50	

7	直接事業費計	前年度決算額	101,981,379 円	決算額	106,462,806 円

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	議長交際費事業	ｺｰﾄﾞ	01	01	01	01	03	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	6　みんなでつくるまち　【参画・協働】						
		基本施策	04　将来を見据えた行財政運営を進める						
		施策の展開方向	－						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	町行政又は町議会の運営に係る公益団体及び個人
2	働きかける相手（対象）	町行政又は町議会の運営に係る公益団体及び個人
3	どのような状態にしたいのか（意図）	町行政又は町議会の運営に係る公益団体及び個人との良好な関係を築けるようにします。

4　評価対象年度にどのようなことを実施したのか

議長交際費事業
(1)　葬儀香料　　2件
(2)　供花代　　2件
(3)　会費　　4件
（合計　　8件）

5　活動指標

指標名	指標の説明（指標式）	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
支出件数	会費、葬儀香料、供花代の件数の合計	令和２年度	件 2.00	件	個別計画による目標値はありません。
		令和３年度	件 0.00	件	
		令和４年度	件 5.00	件	
		令和５年度	件 8.00	件	

6	直接事業費計	前年度決算額	71,500　円	決算額	53,650　円

款	02	総務費	予算現額	93,121,268 円
項	01	総務管理費	決算額	88,188,765 円
目	01	一般管理費	前年度決算額	93,311,447 円
			対前年比	94.5 %

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	総務一般管理事業	ｺｰﾄﾞ	01	02	01	01	02	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	6　みんなでつくるまち　【参画・協働】						
		基本施策	04　将来を見据えた行財政運営を進める						
		施策の展開方向	－						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	庁舎内職員
2	働きかける相手（対象）	共通消耗品・共通印刷物・例規類・保存文書・発送文書・保険・郵便
3	どのような状態にしたいのか（意図）	職員の事務処理の効率化を図ります。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

総務一般管理事業
⑴　庁舎内共通事務用品等購入
　庁舎内で使用する共通事務用品等を購入しました。
　また、再生紙、再生材を使用した製品等エコマーク製品の積極的な購入に努め、使用頻度の少ない消耗品等は購入を控えました。
⑵　文書の収受事務等
　ア　郵便物等の収受及び差出を行いました。
　イ　保存文書を保存年限ごとに管理し、廃棄文書を整理しました。
⑶　例規集保守管理
　ア　ＷＥＢ版例規集の加除を実施し、町ホームページ上に掲載及びシステムの保守管理を行いました。（加除回数 3回）
　イ　冊子による例規集を５部作成しました。
⑷　損害賠償責任保険加入事務
　町民等に対して、町所有又は管理する施設及び町業務の遂行上に起因して損害賠償責任が生じた場合の損害を補填するため、全国町村会総合賠償補償保険に加入しました。
⑸　法制執務関係事務
　ア　官報がＷＥＢ上で検索できる情報サービスの提供を受け、法制執務の事務効率を図りました。
　イ　主査・主任級職員を対象に法制執務に関する研修を実施しました。（令和５年10月13日実施）
⑹　弁護士委託事務
　町が抱える法律の相談を法律事務所に委託しました。（相談件数　延べ38件）
⑺　地方行財政懇談会
　参加回数　3回（5/16、6/15、8/31）
⑻　行政不服審査会
　尾三地区自治体間連携に基づき豊明市及び日進市と共同設置している行政不服審査会を４回開催しました。

5 活動指標

指標名	指標の説明（指標式）	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
共通事務件数	庁舎内の共通の事務事業の件数（共通事務用品等購入、文書の収受・発送、例規集、損害賠償責任保険、弁護士委託）	令和２年度	件 5.00	件	個別計画による目標値はありません。
		令和３年度	件 5.00	件	
		令和４年度	件 5.00	件	
		令和５年度	件 5.00	件	

6	直接事業費計	前年度決算額	33,844,880 円	決算額	32,949,548 円

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	情報公開・個人情報保護事業	ｺｰﾄﾞ	01	02	01	01	03	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	6　みんなでつくるまち　【参画・協働】						
		基本施策	01　協働のまちづくりを進める						
		施策の展開方向	②　広報の充実						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	町が保有する情報又は町が保有する本人の情報を知りたいと思う人
2	働きかける相手（対象）	町が保有する情報・情報公開請求者、職員、行政機関
3	どのような状態にしたいのか（意図）	情報公開条例の適正な解釈運用を図るとともに、町が保有する情報（不開示情報を除く。）を住民等が容易に取得できるようにします。また、個人情報の保護については、個人情報を適切に扱い、情報が漏えいすることがないよう啓発します。

4　評価対象年度にどのようなことを実施したのか

情報公開・個人情報保護事業
⑴　情報公開事業
ア　情報公開条例に基づく開示請求に対して開示・不開示の決定を行いました。
義務公開の請求件数
(ｱ) 町長　　26件（全部開示10件、一部開示12件、不開示３件、取下げ１件）
(ｲ) 教育委員会　４件（全部開示２件、一部開示１件、不開示１件）
(ｳ) 選挙管理委員会　２件（一部開示１件、請求の拒否１件）
議会、監査委員、農業委員会及び固定資産評価審査委員会に対しての請求はありませんでした。
イ　情報公開の任意開示申出に対し、開示・不開示の決定を行いました。
町長　　１件（一部開示１件）
ウ　町の情報を住民等の閲覧に供するための町政資料コーナーを維持しました。
資料数　　306件（令和６年３月31日現在）
⑵　個人情報保護事業
自己情報の開示請求に対して、開示・不開示の決定を行いました。
町長　　３件（全部開示１件、一部開示２件）
教育委員会、選挙管理委員会、監査委員、農業委員会及び固定資産評価審査委員会に対しての請求はありませんでした。

5　活動指標

指標名	情報開示請求件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	件 50.00	件	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	情報公開制度及び個人情報保護制度による開示請求件数（任意開示申出を含む。）	令和３年度	件 23.00	件	
		令和４年度	件 20.00	件	
		令和５年度	件 36.00	件	

6　直接事業費計	前年度決算額	0　円	決算額	0　円

款	02	総務費	予算現額	35,721,000 円
項	01	総務管理費	決算額	35,039,325 円
目	02	広報費	前年度決算額	24,411,896 円
			対前年比	143.5 %

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	広報広聴活動事業	ｺｰﾄﾞ	01	02	01	02	01	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	6　みんなでつくるまち　【参画・協働】						
		基本施策	01　協働のまちづくりを進める						
		施策の展開方向	②　広報の充実						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	町民
2	働きかける相手（対象）	町民（将来の町民を含む）、広報の読者、ホームページ訪問者、報道機関、職員
3	どのような状態にしたいのか（意図）	町行政の取組みや主要施策などを積極的に町民等に周知し、町政への理解を深めてもらいます。また、各種施策や各行事に対する意見等を集約し事業等に反映させることにより、事業の効率化と住民サービスの向上を図ります。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

1　広報とうごう作成事業
(1)　町の行政情報や各種情報を町民にとって分かりやすく親しみやすいものとするため、民間の専門業者のノウハウを活用して、広報とうごうを毎月発行し、全世帯に配布しました。
　ア　年間発行部数　229,540部
　イ　平均ページ数　33.0ページ/部
(2)　広告掲載料収入　計1,844,000円
　ア　広報広告　　8事業者　1,344,000円
　イ　ホームページバナー　　9事業者　　500,000円
(3)　広報配布手数料収入　611,193円（社協だより：3回）
(4)　結婚や出産などの記念に愛♡広報誌を作成し、対象者に配布しました。
　年間発行部数　12部

2　広報事業
(1)　町公式ホームページアクセス数　　2,353,781件
(2)　町政情報やまちの話題を報道機関へ情報提供しました。
　ア　提供した記事の数　　69件
　イ　新聞に掲載された記事の数　23件
(3)　町長への提案を60件処理しました。
　ア　ホームページ　23件
　イ　投書　36件
　ウ　郵便　1件
　エ　窓口　0件
(4)　ハラスメント問題に関する意見等の処理
　ア　電話　475件
　イ　ホームページ　195件
(5)　広報掲示板移設　1基

5 活動指標

指標名		年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
報道機関への情報提供件数		令和2年度	件 176.00	件	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	新聞社、テレビ局、ケーブルテレビ事業者等に対して、イベントや施策実施等の町政情報を提供した件数	令和3年度	件 143.00	件	
		令和4年度	件 193.00	件	
		令和5年度	件 69.00	件	

6 成果指標

指標名		年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
投書等処理件数		令和2年度	件 92.00	件 72.50	過去2年の平均値
指標の説明（指標式）	ホームページ（CMS）、投書等で寄せられた町行政への意見・提案等の処理件数	令和3年度	件 103.00	件 82.00	
		令和4年度	件 80.00	件 97.50	
		令和5年度	件 60.00	件 91.50	

7	直接事業費計	前年度決算額	24,411,896 円	決算額	35,039,325 円

款	02	総務費	予算現額	99,646,000 円
項	01	総務管理費	決算額	73,495,917 円
目	03	財政管理費	前年度決算額	86,744,247 円
			対前年比	84.7 %

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	財政一般管理事業	ｺｰﾄﾞ	01	02	01	03	01	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	6　みんなでつくるまち　【参画・協働】						
		基本施策	04　将来を見据えた行財政運営を進める						
		施策の展開方向	－						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	町、職員
2	働きかける相手（対象）	職員、関係協議会及び公社
3	どのような状態にしたいのか（意図）	財務会計制度を適正かつ正確に運用し、財政業務が円滑に実施できるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

財政一般管理事業
⑴　図書の購入や、実務提要等の追録加除を実施しました。
⑵　豊明市、日進市、みよし市及び長久手市と財政事務の円滑な推進を図るため、尾三地区財政担当者研究会に参加しました。
　なお、令和５年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により総会及び研究会を書面により実施しました。
　＜内容＞
　　総　会　決算報告、役員選出、予算案・事業計画案の承認
　　第１回　電子決裁について　など
　　第２回　手数料、使用料の改定　など
⑶　尾張土地開発公社に対し管理運営費用の負担金を支払い、公社の健全な運営に努めました。
⑷　地方自治法第243条の３及び東郷町財政状況の公表に関する条例第２条第１項の規定に基づき、財政状況を５月及び11月に公表しました。

5 活動指標

指標名	合同研修実施回数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	件 2.00	件	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	件 2.00	件	
		令和４年度	件 2.00	件	
		令和５年度	件 2.00	件	

6	直接事業費計	前年度決算額	1,764,887 円	決算額	1,650,644 円

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	予算編成執行管理事業	ｺｰﾄﾞ	01	02	01	03	02	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	6　みんなでつくるまち　【参画・協働】						
		基本施策	04　将来を見据えた行財政運営を進める						
		施策の展開方向	③　安定した財政運営						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	町民、職員
2	働きかける相手（対象）	職員、町全体の予算
3	どのような状態にしたいのか（意図）	より効率的・効果的で適正な予算編成及び執行管理を行います。また、弾力的な財政運営を確保するとともに、交付税、地方債等の歳入を確保します。

4　評価対象年度にどのようなことを実施したのか

予算編成執行管理事業
⑴　効率的な財政運営と適正な財政管理に努めました。
⑵　令和６年度予算書及び予算説明書を145部作成しました。
⑶　令和４年度の自治行政の実績に関する調書（白書）を130部作成しました。
⑷　地方公共団体の財政の健全化に関する法律に従い、健全化判断比率を算出し公表等を行いました。
　ア　監査委員による審査を受けました。
　イ　議会へ報告しました。
　ウ　広報及び町ホームページに掲載し公表しました。

5　活動指標						
指標名	経常収支比率	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値		
		令和２年度	% 89.00	% 80.00	【～令和２年度】 第５次東郷町総合計画 目標値　80%	
指標の説明（指標式）	経常経費充当一般財源÷経常一般財源総額×100	令和３年度	% 86.70	%	【令和３年度～】 第６次東郷町総合計画 目標値　設定なし	
		令和４年度	% 91.60	%		
		令和５年度	% 97.10	%		

6	直接事業費計	前年度決算額	5,999,110　円	決算額	5,389,822　円

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	ふるさと納税管理事業	ｺｰﾄﾞ	01	02	01	03	03	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	6　みんなでつくるまち　【参画・協働】						
		基本施策	04　将来を見据えた行財政運営を進める						
		施策の展開方向	③　安定した財政運営						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	町民、町
2	働きかける相手（対象）	町民、町外在住者
3	どのような状態にしたいのか（意図）	東郷ふるさと寄付件数の増加を図り、財政基盤を強化します。 また、返礼品を充実させることで町の魅力を全国に発信します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

ふるさと納税管理事業
　東郷ふるさと寄付をされた方に、感謝の気持ちを込めてお礼の品を贈呈しました。
⑴　東郷ふるさと寄付実績
　ア　寄付者数　2,402件
　イ　寄付金額　151,997,000円
⑵　寄付金の使途

ア	東郷町の未来を担う子どもたちのために	【子育て・教育】	（653件、　40,549,000円）
イ	東郷町のみんなが健康で元気に暮らすために	【健康・福祉】	（116件、　6,497,000円）
ウ	東郷町の安全と安心を守るために	【防災・防犯】	（62件、　3,458,000円）
エ	東郷町の豊かな自然を守るために	【自然・環境】	（103件、　6,984,000円）
オ	東郷町に賑わいと交流をつくるために	【交流・ふれあい】	（22件、　1,586,500円）
カ	東郷町の取組全般		（1,446件、　92,922,500円）

⑶　返礼品
　ア　提供事業者：41事業者
　イ　品数：169品

5 活動指標

指標名	東郷ふるさと寄付件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	件 1,185.00	件	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	件 1,615.00	件	
		令和４年度	件 2,293.00	件	
		令和５年度	件 2,402.00	件	

6 成果指標

指標名	東郷ふるさと寄付金額	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		令和２年度	円 150,200,000.00	円 7,130,005.00	昨年度実績
指標の説明（指標式）		令和３年度	円 154,609,000.00	円 150,200,000.00	
		令和４年度	円 180,170,000.00	円 154,609,000.00	
		令和５年度	円 151,997,000.00	円 180,170,000.00	

7	直接事業費計	前年度決算額	78,980,250　円	決算額	66,455,451　円

款	02	総務費	予算現額	54,491,000 円
項	01	総務管理費	決算額	53,189,980 円
目	04	会計管理費	前年度決算額	54,448,792 円
			対前年比	97.7 %

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	会計処理事業	ｺｰﾄﾞ	01	02	01	04	02	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	6　みんなでつくるまち　【参画・協働】						
		基本施策	04　将来を見据えた行財政運営を進める						
		施策の展開方向	－						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	納入義務者（納税者、諸収入金の納入者）債権者（支払の相手先）
2	働きかける相手（対象）	納入義務者（納税者、諸収入金の納入者）債権者（支払の相手先）
3	どのような状態にしたいのか（意図）	迅速かつ正確な会計処理事務を遂行できるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

会計処理事業
⑴　収納事務
　ア　迅速かつ正確な会計窓口業務を遂行しました。
　イ　領収済通知書仕分け業務、口座振替データを分割統合する業務、地方税共通納税システムを利用して収納した公金のデータを分割統合する業務等を委託により処理しました。
　（委託処理件数分のみ　234,222件）
⑵　支払事務
　ア　各課支出命令書
　（ｱ）月当たり５回程度の会計課作成データでの口座振込　17,730件
　（ｲ）担当課作成データでの口座振込　248件
　イ　窓口払　360件
　ウ　納付書支払　2,640件
　エ　給与支払　延べ件数　3,201件
⑶　県証紙の売捌きをしました。（手数料　94,380円）

5 活動指標

指標名	処理件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	件 237,666.00	件	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	収入・支出の合計件数	令和３年度	件 243,022.00	件	
		令和４年度	件 247,516.00	件	
		令和５年度	件 258,401.00	件	

6	直接事業費計	前年度決算額	26,426,408 円	決算額	24,683,680 円

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	資金管理運用事業	ｺｰﾄﾞ	01	02	01	04	02	99
2	総合計画の施策体系	基本目標	6　みんなでつくるまち　【参画・協働】						
		基本施策	04　将来を見据えた行財政運営を進める						
		施策の展開方向	③　安定した財政運営						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	町民
2	働きかける相手（対象）	指定金融機関及びその他の金融機関
3	どのような状態にしたいのか（意図）	指定金融機関等に資金の預入れを行い、資金を安全で有益に運用できるようにします。

4　評価対象年度にどのようなことを実施したのか

資金管理運用事業
基金及び歳計現金について定期預金の預入れを行い、安全で有利な資金の運用管理をしました。
(1)　基金運用利子

ア　土地開発基金	0円
イ　財政調整基金	848,070円
ウ　減債基金	398,035円
エ　図書館整備基金	0円
オ　公共施設整備基金	547,416円
カ　国保財政調整基金	39,205円
キ　診療所財政調整基金	23,400円
ク　介護給付準備基金	56,243円
(2)　歳計現金運用利子	0円
資金運用益　計	1,912,369円

5　活動指標

指標名	資金運用益	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	円 1,540,186.00	円	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	円 1,106,441.00	円	
		令和４年度	円 947,498.00	円	
		令和５年度	円 1,912,369.00	円	

6	直接事業費計	前年度決算額　0　円	決算額	0　円

款	02	総務費	予算現額	219,381,000 円
項	01	総務管理費	決算額	164,635,672 円
目	05	財産管理費	前年度決算額	156,235,599 円
			対前年比	105.4 %

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	庁舎維持管理事業	ｺｰﾄﾞ	01	02	01	05	01	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	6　みんなでつくるまち　【参画・協働】						
		基本施策	04　将来を見据えた行財政運営を進める						
		施策の展開方向	－						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	来庁者及び職員
2	働きかける相手（対象）	来庁者、職員、庁舎及び設備
3	どのような状態にしたいのか（意図）	省エネを徹底し、環境に配慮した効率的な庁舎維持管理を進めるとともに、行政サービスの提供の場となる庁舎の機能及び庁舎内環境の維持を図ります。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

庁舎管理事業
⑴　庁舎の維持管理
　ア　庁舎の機能を維持するため、電気設備・機械設備等の保守点検を行いました。
　イ　庁舎の光熱水費等の支払い事務を委託しました。
　ウ　ブラインドやドアクローザーの取り替え、消防設備の修繕や正面玄関１階ロビー及び４階廊下の照明のＬＥＤ化などを行いました。
　エ　庁舎の防犯対策のため、機械警備を委託しました。
⑵　駐車場の借地
　町民会館南駐車場（1,091㎡）、中部児童館南駐車場（1,283㎡）、東羽根穴駐車場（2,094㎡）及び公用車駐車場（38㎡）用地を賃借しました。
⑶　庁舎の改修等
　ア　漏水対策のため、新庁舎の屋上防水改修工事を行いました。
　イ　庁舎内の防火シャッターを改修し、危害防止装置を取り付けました。
　ウ　新庁舎空調設備の機能維持のため、吸収式冷温水機の定期交換部品を取り替えました。
　エ　機構改革に伴い、庁舎の看板作成や電話配線の改修工事を行いました。
　オ　高圧受電設備のＰＣＢ含有量検査と併せてコンデンサを取り替えました。
⑷　備品の整備
　備品の老朽化等に伴い、新たに備品を購入しました。
　　主な購入備品
　　・事務机（13台）・事務椅子（18脚）・ローカウンター（１台）・ファイルワゴン（３台）
　　・窓用ルームエアコン（１台）・液晶テレビ（１台）・冷蔵庫（１台）
⑸　設備及び事務機器の賃借
　設備及び事務機器を賃借しました。
　　主な設備
　　・エレベーター
　　・新庁舎空調設備
　　・中央監視装置
　　・電話交換機
　　主な事務機器
　　・コピー機　９台（内ファクシミリ複合機５台）
　　・住民サービス用コピー機、印刷機、卓上丁合機　各１台
⑹　宿直業務の委託
　役場の夜間窓口や庁舎の施錠・開錠などの対応等、宿直業務を（公社）シルバー人材センターに委託しました。（常時２人体制）

5 活動指標

指標名	経常的な業務委託の件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	件 8.00	件	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	庁舎管理を委託している業務の件数	令和３年度	件 8.00	件	
		令和４年度	件 9.00	件	
		令和５年度	件 9.00	件	

6	直接事業費計	前年度決算額	113,319,891 円	決算額	138,428,999 円

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	財産管理事業	ｺｰﾄﾞ	01	02	01	05	02	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	6　みんなでつくるまち　【参画・協働】						
		基本施策	04　将来を見据えた行財政運営を進める						
		施策の展開方向	－						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	町民
2	働きかける相手（対象）	町有財産である動産及び不動産
3	どのような状態にしたいのか（意図）	管理コストの低減を図るとともに、財産を適切に管理します。

4　評価対象年度にどのようなことを実施したのか

1　普通財産管理事業
(1)　普通財産（土地）を有効に利用するため、15件（有償分）貸し付けました。
(2)　普通財産（土地）を良好な状態で管理するため、草刈等を委託しました。

2　車両管理事業
公用車を安全に運用するため適切に管理しました。
(1)　老朽化した公用車３台を更新（リース）しました。
(2)　車検・法定点検延台数　19台
(3)　故障・事故等修理延台数　５台
(4)　自動車保険(自賠責（町有公用車）・自動車損害共済（任意保険）)に加入しました。
(5)　行政バスの運行管理業務を委託しました。
(6)　公用車の燃料費を支出しました。
(7)　道路交通法施行規則の改正に対応するため、アルコール検知器を35台購入しました。

5　活動指標

指標名	公用車(バスを除く。)の年間総走行距離	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	km 89,002.00	km	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	km 87,220.00	km	
		令和４年度	km 89,636.00	km	
		令和５年度	km 93,415.00	km	

6　直接事業費計	前年度決算額	38,999,900　円	決算額	22,497,235　円

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	契約管理事業	ｺｰﾄﾞ	01	02	01	05	03	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	6　みんなでつくるまち　【参画・協働】						
		基本施策	04　将来を見据えた行財政運営を進める						
		施策の展開方向	－						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	町民
2	働きかける相手（対象）	入札契約に関する事務
3	どのような状態にしたいのか（意図）	契約の規模に応じて適切な方法で業者を選定することにより、公共工事等の品質を確保しつつ、低廉かつ透明性の高い契約を行っていきます。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

契約事務事業
(1)　入札を125件（不調10件含む）執行しました。
　ア　制限付き一般競争入札　1件
　イ　事後審査型制限付き一般競争入札　1件
　ウ　総合評価落札方式(特別簡易型)による指名競争入札　0件
　エ　上記以外の指名競争入札　123件
　　入札については、一部未対応の案件を除き電子入札により実施しました。
　(ｱ) 工　事　34件
　(ｲ) 業務等　91件
(2)　契約事務を執行しました。
(3)　あいち電子自治体推進協議会に対して電子調達共同システム（CALS/EC、物品等）の負担金を支払いました。
(4)　契約管理システムの使用を長期継続賃貸借契約で継続し、保守を委託しました。
(5)　東郷町公契約条例に基づき、特定の公契約については労働条件報告書の提出を求めるなど、労働者の適正な労働環境の確保に向けた取組を行いました。

5 活動指標

指標名	当該年度における入札実施件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	件 104.00	件	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	件 101.00	件	
		令和４年度	件 131.00	件	
		令和５年度	件 125.00	件	

6	直接事業費計	前年度決算額	3,915,808　円	決算額	3,709,438　円

款	02	総務費	予算現額	41,153,123 円
項	01	総務管理費	決算額	35,589,206 円
目	06	企画費	前年度決算額	20,630,178 円
			対前年比	172.5 %

Ⅰ．事務の目的体系

1 事業名	企画調整一般管理事業	ｺｰﾄﾞ	01	02	01	06	02	－
2 総合計画の施策体系	基本目標	6 みんなでつくるまち 【参画・協働】						
	基本施策	04 将来を見据えた行財政運営を進める						
	施策の展開方向	－						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1 誰のために（受益者）	町民、職員
2 働きかける相手（対象）	職員
3 どのような状態にしたいのか（意図）	事務事業の評価を行い、効率的で効果的な町行政全般にわたる政策が、スムーズに推進されるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

企画調整一般管理事業
⑴ 各種シンクタンク等が主催する研修会等へ14回参加しました。
⑵ 政策会議の開催
第９期東郷町高齢者福祉計画（案）など10案件について開催しました。
⑶ パブリックコメント制度の運用
第９期東郷町高齢者福祉計画（案）など４案件において実施しました。（提出意見数26件）
⑷ 広告掲載審査
広報紙、町ホームページ、自治体案内図など各種媒体への広告掲載申込みに対して審査を行いました。
申込み件数31件、掲載会社数延べ90社（団体）
⑸ 第６次総合計画の推進並びに実施計画書の作成
第６次総合計画に掲げた将来都市像の実現のため、財政計画との整合を図りながら、第４次実施計画書（令和６年度から８年度）を取りまとめ、町ホームページで公表しました。（147事業）
⑹ 行政評価の実施
令和４年度に実施した全ての事務事業を対象に行政評価を実施しました。評価に当たっては、各課とヒアリングを行い、評価結果を報告書として取りまとめ、町政資料コーナーや町ホームページで公表しました。
336事業（一般事業160事業、内部事務118事業、内部事務実績54事業、建設事業４事業）
⑺ 東郷町人口ビジョン・まち・ひと・しごと創生総合戦略検証会議の開催
「第２期東郷町人口ビジョン・まち・ひと・しごと創生総合戦略」に関する効果検証のため、外部有識者で構成する検証会議を開催しました。
⑻ 東郷町子ども議会の開催
町内在住の小学６年生と中学１年生の７人の子ども議員が、一人ずつ質問や提案を行い、町長や幹部職員等が丁寧に答えました。（質問等の件数 13件）
⑼ デジタルトランスフォーメーションの推進
デジタルトランスフォーメーションを推進するため、窓口改革における具体的な手法等の検討を進めました。
作業部会（１部会） ２回

5 活動指標

指標名	実施計画計上事業	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	事業 167.00	事業	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	実施計画に計上した事業数	令和３年度	事業 189.00	事業	
		令和４年度	事業 171.00	事業	
		令和５年度	事業 147.00	事業	

6 直接事業費計	前年度決算額	748,132 円	決算額	217,273 円	

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	広域行政事業	ｺｰﾄﾞ	01	02	01	06	03	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	6　みんなでつくるまち　【参画・協働】						
		基本施策	05　多様な組織の連携を強化する						
		施策の展開方向	①　近隣自治体間の行政連携						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	尾張東部地域内の住民及び名古屋市近隣市町村の住民
2	働きかける相手（対象）	尾張東部地域内の企画担当職員及び名古屋市近隣市町村
3	どのような状態にしたいのか（意図）	尾張東部地域の市町の職員間で、各市町の事業展開や広域的な連携等について意見交換を密にするとともに、住民サービスの向上が図られるようにします。また、名古屋市近隣市町村と広域的な連携や課題整理などを行い住民サービスの向上が図られるようにします。

4　評価対象年度にどのようなことを実施したのか

広域行政事業

⑴　尾張東部地区企画担当事務連絡協議会

柔軟な対応が可能な任意協議会として、瀬戸市、尾張旭市、豊明市、日進市、長久手市、東郷町の５市１町で構成する協議会に２回参加しました。

⑵　名古屋市近隣市町村事務連絡会、広域連携に関する研究会及びワーキンググループ

名古屋市近隣市町村の連携を深めることと将来の広域連携の課題整理などを行うために各種研修会等に参加しました。

ア　名古屋市近隣市町村長懇談会　　１回
イ　広域連携研究会　　１回
ウ　ワーキンググループ　　３回

⑶　尾三地区自治体間連携推進会議

行政の効率化や共通した問題解決の取組に対応するため、尾三地区自治体間連携推進会議等に参加しました。

ア　尾三地区自治体間連携推進会議　　１回
イ　尾三地区自治体間連携副市長・副町長会議　　３回
ウ　尾三地区自治体間連携首長会議　　１回
エ　尾三地区自治体関連携推進研修会　　１回

⑷　地域活性化センター

毎月１回発行される情報誌「地域づくり」で全国の自治体の活動内容を参考にしながら、今後の東郷町の事業展開について研究を行いました。

5　活動指標

指標名	会議等の出席回数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	回 16.00	回	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	回 13.00	回	
		令和４年度	回 13.00	回	
		令和５年度	回 13.00	回	

6	直接事業費計	前年度決算額	73,000　円	決算額	73,000　円

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	土地利用対策事業	ｺｰﾄﾞ	01	02	01	06	04	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	－						
		基本施策	－						
		施策の展開方向	－						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	町内に土地を所有する人
2	働きかける相手（対象）	土地取引を行う者、土地利用事務に従事する職員、都市計画区域内の土地
3	どのような状態にしたいのか（意図）	土地利用に関する職員の知識を深め、今後の土地利用行政に役立てるとともに、各種の法規制や計画などに沿った適正な土地利用が行われるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

土地利用対策事業
⑴ 国土利用計画法等に係る届出を受け付けました。
ア 国土利用計画法に基づく届出 10件
イ 公有地の拡大の推進に関する法律に基づく届出・申出 4件
ウ 遊休土地対象地調査件数 0件
⑵ 町内における土地の合理的かつ有効適切な利用と保全を図るとともに、土地に関する諸問題について総合的に検討するため、東郷町土地対策会議幹事会を開催しました。
ア 総合的な土地利用計画及び各部門における土地利用計画の調整 1件
イ 国土利用計画法に基づく土地取引の届出に係る町長意見の形成 10件
ウ 町等の行う施設計画の立地調整 0件
⑶ 県が主催する土地に関する研修会へ参加しました。
説明会 1回
⑷ 地籍調査担当者研修会へ参加しました。
研修会 1回

5 活動指標

指標名	指標の説明（指標式）	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
土地取引に係る届出等	国土利用計画法に基づく届出、公有地の拡大の推進に関する法律に基づく届出、遊休土地対象地調査件数の合計件数	令和２年度	件 10.00	件	個別計画による目標値はありません。
		令和３年度	件 2.00	件	
		令和４年度	件 9.00	件	
		令和５年度	件 14.00	件	

6	直接事業費計	前年度決算額	15,000 円	決算額	11,004 円

款	02	総務費	予算現額	253,163,000 円
項	01	総務管理費	決算額	231,695,906 円
目	07	情報推進費	前年度決算額	259,410,565 円
			対前年比	89.3 %

Ⅰ．事業の目的体系

1 事業名	情報推進事業	ｺｰﾄﾞ	01	02	01	07	02	－
2 総合計画の施策体系	基本目標	6 みんなでつくるまち 【参画・協働】						
	基本施策	04 将来を見据えた行財政運営を進める						
	施策の展開方向	① 最新技術を活用した行政サービスの向上						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	町民、職員、情報システムを利用する人
2	働きかける相手（対象）	町民、職員、情報システムベンダー
3	どのような状態にしたいのか（意図）	最新のＩＣＴ（情報通信技術）を活用し、行政サービスの向上を図ります。 多様なデジタル技術を活用し、デジタルトランスフォーメーションの推進を図ります。 庁内で適切な情報セキュリティ対策を講じ、事務が効率的に遂行できるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

情報推進事業
　ＩＣＴを活用した電子自治体サービスの管理運営、ＬＩＮＥを活用した行政サービスの提供並びに効率的かつ信頼性の高い行政サービスが提供できるよう、総合住民情報システム及び行政ネットワークの管理運営を行いました。
⑴ あいち電子自治体推進協議会による共同利用型システムの企画・構築及び運営に携わり、電子自治体サービスを提供しました。
　ア 「共同利用型施設予約システム」の技術的サポートを行いました。
　イ 「あいち電子申請・届出システム」の共同運用を行いました。
　ウ 「共同セキュリティ監査」及び「標的型攻撃メール対策訓練」に参加しました。
⑵ ＬＩＮＥ公式アカウントを活用した行政サービスを提供しました。
　提供したサービス 住民票及び税証明のオンライン申請、ワクチン接種予約、町立保育園等の欠席連絡、道路・公園等の損傷投稿、各種イベント案内
⑶ 総合住民情報システムの運用管理
　総合住民情報システムが日々安定稼働するための管理と、制度改正などへの対応を行いました。
　主な制度改正等 データレイアウト改版対応、特別徴収税額通知の電子化対応、森林環境税創設対応、障がい者自立支援給付対応
⑷ 行政ネットワーク運用管理
　職員のＯＡ環境の安定化と事務効率化を図るため、行政ネットワークの更改及び運用管理を行いました。
　ア ファイルサーバやグループウェアなどのサーバ管理
　イ ＯＡ環境の適正配備
　ウ 庁内情報資産の管理
⑸ 情報セキュリティ対策
　全庁的な情報セキュリティレベルを向上させるため、職員向けセキュリティ研修を実施しました。
　ア ｅ－ラーニングによる一般職員向けセキュリティ研修（受講：232人）
　イ 情報統計係による新規採用職員向けセキュリティ研修
⑹ 業務効率化に向けた取組
　職員間で効率的に連絡を取りあうため、チャットツールを引き続き運用しました。

5 活動指標

指標名	東郷町ＬＩＮＥ公式アカウント	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	人 1,208.00	人	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	東郷町ＬＩＮＥ公式アカウントの登録者数	令和３年度	人 22,111.00	人	
		令和４年度	人 24,784.00	人	
		令和５年度	人 26,511.00	人	

6 成果指標

指標名	オンライン申請件数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		令和２年度	件	件	（過去３年間の平均値）×1.05
指標の説明（指標式）	オンライン申請で証明書等を取得された件数	令和３年度	件 28.00	件 0.00	
		令和４年度	件 189.00	件 29.00	
		令和５年度	件 161.00	件 114.00	

7 直接事業費計	前年度決算額	241,357,760 円	決算額	207,256,288 円

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	新型コロナウイルス感染症対策事業	ｺｰﾄﾞ	01	02	01	07	03	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	3　安全・安心で、自然と共生するまち　【安全・安心、自然・生活環境】						
		基本施策	02　災害に強いまちをつくる						
		施策の展開方向	⑤　感染症対策						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	町民
2	働きかける相手（対象）	ワクチン接種希望者
3	どのような状態にしたいのか（意図）	ワクチン追加接種に伴う事務が効率的に遂行できるようにします。

4　評価対象年度にどのようなことを実施したのか

新型コロナウイルス感染症対策事業
新型コロナワクチン接種に伴うシステム改修等、以下のシステム改修を行いました。
⑴　令和５年度新型コロナワクチン追加接種に伴う健康管理システム改修業務
⑵　令和５年度新型コロナワクチン秋冬接種に伴う健康管理システム改修業務
⑶　新型コロナワクチン６・７回目接種副本登録に伴うシステム改修業務

5　活動指標

指標名	新型コロナワクチン６・７回目接種者（合計）	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	人	人	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	人	人	
		令和４年度	人	人	
		令和５年度	人 12,578.00	人	

6	直接事業費計	前年度決算額	2,996,400　円	決算額	1,430,000　円

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	物価高騰対策事業	ｺｰﾄﾞ	01	02	01	07	05	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	3　安全・安心で、自然と共生するまち　【安全・安心、自然・生活環境】						
		基本施策	02　災害に強いまちをつくる						
		施策の展開方向	⑤　感染症対策						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	町民
2	働きかける相手（対象）	給付金対象者
3	どのような状態にしたいのか（意図）	食費等の物価高騰の影響により、経済的に影響を受けている世帯が安心して生活できるようにします。

4　評価対象年度にどのようなことを実施したのか

物価高騰対策事業
食料品等の物価高騰の影響を受ける世帯等を支援するため、以下のシステム改修を行いました。
⑴　令和５年度子育て世帯生活支援特別給付金に係るシステム改修
⑵　住民税非課税世帯に対する臨時特別給付金に係るシステム改修
⑶　デフレ完全脱却のための総合経済対策給付金に伴うシステム改修

5　活動指標

指標名	東郷町による子育て世帯生活支援特別給付金（国事業）の受給者数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	人	人	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	人	人	
		令和４年度	人	人	
		令和５年度	人 127.00	人	

6	直接事業費計	前年度決算額	1,380,500　円	決算額	5,676,000　円

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	物価高騰対応事業	ｺｰﾄﾞ	01	02	01	07	06	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	3　安全・安心で、自然と共生するまち　【安全・安心、自然・生活環境】						
		基本施策	02　災害に強いまちをつくる						
		施策の展開方向	⑤　感染症対策						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	町民
2	働きかける相手（対象）	給付金対象者
3	どのような状態にしたいのか（意図）	新たな経済に向けた給付金・定額減税一体措置に対応し、可処分所得を増やすことで、経済的に影響を受けている世帯が安心して生活できるようにします。

4　評価対象年度にどのようなことを実施したのか

物価高騰対応事業
新たな経済に向けた給付金・定額減税一体措置に対応するため、以下のシステム改修を行いました。
⑴　住民税均等割のみ課税世帯への給付金に係るシステム改修
⑵　低所得者の子育て世帯への加算に伴うシステム改修

5　活動指標	指標名	東郷町による住民税均等割のみ課税世帯への給付金（国事業）の受給世帯数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
			令和２年度	世帯	世帯	個別計画による目標値はありません。
	指標の説明（指標式）		令和３年度	世帯	世帯	
			令和４年度	世帯	世帯	
			令和５年度	世帯 55.00	世帯	

6	直接事業費計	前年度決算額　　円	決算額	4,455,000	円

款	02	総務費	予算現額	745,794,877 円
項	01	総務管理費	決算額	728,616,636 円
目	08	人事管理費	前年度決算額	706,913,723 円
			対前年比	103.1 %

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	人事一般管理事業	ｺｰﾄﾞ	01	02	01	08	02	-
2	総合計画の施策体系	基本目標	6 みんなでつくるまち 【参画・協働】						
		基本施策	04 将来を見据えた行財政運営を進める						
		施策の展開方向	② 行政組織の適正化と人材育成						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	職員（正職員及び会計年度任用職員）
2	働きかける相手（対象）	職員（正職員及び会計年度任用職員）
3	どのような状態にしたいのか（意図）	職員の人事管理及び労務管理を適正に行い、効率的な行政運営が図られるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

人事一般管理事業
　人事給与システムにより効率的に給与支払事務を行いました。また、庶務管理システムにより職員の人事管理及び労務管理を適正に行い、関係機関（共済組合、退職手当組合）との連絡調整を適正かつ効率的に進めました。
⑴ 職員数の状況（令和５年４月１日現在）
　正職員 316名 （男 134名 女 182名）
⑵ 採用及び退職の状況（令和５年度中）

	一般事務	保育士	児童厚生員	栄養士	技師	教員	合計
新規採用	11名	３名	０名	０名	３名	４名	21名
退職	９名	７名	１名	１名	１名	２名	21名

⑶ 職種別職員数の状況（令和５年４月１日現在）

一般事務職	198名（うち育児休業等代替任期付職員９名）
技師	18名
医師	１名
保健師	18名
看護師	４名
保育士	65名（うち育児休業等代替任期付職員２名）
児童厚生員	５名
栄養士	４名（うち育児休業等代替任期付職員１名）
合計	313名（町長、副町長及び教育長を除く。）

⑷ 会計年度任用職員の状況（令和５年４月１日現在）
　402名

5 活動指標

指標名	正規職員数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	人 306.00	人	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	各年度４月１日現在の正規職員数（町長、副町長、教育長、短時間再任用職員及び育児休業等代替任期付職員を含む。）	令和３年度	人 312.00	人	
		令和４年度	人 308.00	人	
		令和５年度	人 316.00	人	

6	直接事業費計	前年度決算額	102,428,285 円	決算額	104,269,324 円

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	職員福利厚生事業	ｺｰﾄﾞ	01	02	01	08	03	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	6　みんなでつくるまち　【参画・協働】						
		基本施策	04　将来を見据えた行財政運営を進める						
		施策の展開方向	②　行政組織の適正化と人材育成						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	職員及び職員の家族
2	働きかける相手（対象）	職員
3	どのような状態にしたいのか（意図）	福利厚生事業として職員及び職員と家族の交流を進め、職員の健康保持及び増進を図り心身ともに健康で職務に専念できるようにします。

4　評価対象年度にどのようなことを実施したのか

職員福利厚生事業
⑴　互助会助成事業
　職員互助会が企画・実施する事業に対し助成しました。
　ア　互助会会員数　　321名（派遣職員５名を含む。）（令和５年４月１日現在）
　イ　助成対象事業　　福利厚生事業
⑵　健康診断事業
　福利厚生事業として、職員の健康保持及び増進を図るため、健康診断等を実施しました。
　また、月１回安全衛生委員会を開催し、職員の健康管理、安全及び衛生に関する事項について審議しました。
　ア　健康診断受検者　　81名（正職員66名、会計年度任用職員15名）
　イ　人間ドック受検者　396名（正職員239名うち脳ドック受検者50名を含む。会計年度任用職員157名）
　ウ　ストレスチェック受検者　399名（正職員280、会計年度任用職員119名）

5　活動指標

指標名	健康診断の受検者数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	人 441.00	人	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	健康診断及び人間ドックの合計受検者数	令和３年度	人 471.00	人	
		令和４年度	人 482.00	人	
		令和５年度	人 477.00	人	

6	直接事業費計	前年度決算額	8,715,496　円	決算額	7,372,579　円

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	顕彰事業	ｺｰﾄﾞ	01	02	01	08	04	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	6　みんなでつくるまち　【参画・協働】						
		基本施策	01　協働のまちづくりを進める						
		施策の展開方向	－						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	東郷町行政に貢献し、各分野の進展に功績のあった者
2	働きかける相手（対象）	東郷町行政に貢献し、各分野の進展に功績のあった者、区自治会及び各部局
3	どのような状態にしたいのか（意図）	町行政の発展に貢献された方々の功績を称えることで、町民の町政への参画がより一層促進されるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

顕彰事業
(1) 表彰条例功労者
ア　区自治会及び庁内各部局から被表彰候補者の具申を受け推薦された14名の候補者を、令和５年10月23日に開催された表彰審査委員会に諮り、被表彰者を決定しました。
(ｱ) 地方自治の進展に貢献した者　７名
(ｲ) 教育、体育、学術技芸その他文化の振興に貢献した者　４名
(ｳ) 社会事業に貢献した者　３名
イ　町長ハラスメント問題を重大に受け止め、表彰式の開催を見送りました。

5 活動指標

指標名	被表彰者数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	人 12.00	人	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	表彰条例に基づく被表彰者数	令和３年度	人 17.00	人	
		令和４年度	人 17.00	人	
		令和５年度	人 14.00	人	

6 成果指標

指標名	年度末の町人口10,000人当たりに占める被表彰者の人数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		令和２年度	人 2.73	人 2.59	過去３年間の実績値の平均
指標の説明（指標式）	被表彰者／年度末町総人口×10,000人 【令和6年3月末43,903人】	令和３年度	人 3.89	人 2.50	
		令和４年度	人 3.87	人 2.96	
		令和５年度	人 3.19	人 3.50	

7	直接事業費計	前年度決算額	248,797　円	決算額	267,645　円

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	町主催研修事業	ｺｰﾄﾞ	01	02	01	08	05	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	6　みんなでつくるまち　【参画・協働】						
		基本施策	04　将来を見据えた行財政運営を進める						
		施策の展開方向	②　行政組織の適正化と人材育成						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	職員及び町民
2	働きかける相手（対象）	職員
3	どのような状態にしたいのか（意図）	時代の要請に対応できる人材育成に取り組みます。また、組織力の向上を図ります。

4　評価対象年度にどのようなことを実施したのか

町主催研修事業
⑴　職員研修は、職員個人の能力と意欲の向上を図り、人と組織の不断の成長と活性化を目的として、自己啓発、職場研修（ＯＪＴ）、職場外研修（ＯffＪＴ）の３つを柱として実施しました。
　毎年策定する研修計画に基づき人材育成に取り組みました。
⑵　新規採用職員研修や人事考課者初任者研修、町行政の中核を担う職員の意識改革や能力向上を図るとうごうリーダー塾などの多様な職員研修を実施しました。
【研修受講者数】

ア　新規採用職員研修	14名
イ　人事考課初任者研修	４名
ウ　新規採用職員のためのＯＪＴ担当者研修	12名
エ　法制執務研修	26名
オ　税・収納研修	10名
カ　ハラスメント防止研修	221名
キ　とうごうリーダー塾	24名
合計	311名

5　活動指標

指標名	研修への参加者数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	人 82.00	人	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	研修へ参加した職員の延べ人数	令和３年度	人 162.00	人	
		令和４年度	人 176.00	人	
		令和５年度	人 311.00	人	

6	直接事業費計	前年度決算額	170,760　円	決算額	642,972　円

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	尾張東部研修協議会主催研修事業	ｺｰﾄﾞ	01	02	01	08	06	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	6　みんなでつくるまち　【参画・協働】						
		基本施策	04　将来を見据えた行財政運営を進める						
		施策の展開方向	②　行政組織の適正化と人材育成						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	職員及び町民
2	働きかける相手（対象）	職員
3	どのような状態にしたいのか（意図）	職階層職員ごとに要求される知識等を同じような環境にある近隣市町の職員と合同で研修を行うことで、参加者に刺激を与え、行政視野の拡大を図ります。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

尾張東部研修協議会主催研修事業
　尾張東部研修協議会（瀬戸市・尾張旭市・豊明市・日進市・長久手市・東郷町・愛知中部水道企業団）の主催による各種研修に参加しました。
　【研修受講者数】

(1)	新規採用職員前期研修	14名
(2)	新規採用職員後期研修	14名
(3)	一般職員前期研修	10名
(4)	一般職員中期研修	11名
(5)	一般職員後期研修	12名
(6)	新任係長研修	８名
(7)	現任係長研修	４名
	合計	73名

5 活動指標

指標名	研修への参加者数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	人 18.00	人	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	研修へ参加した職員の延べ人数	令和３年度	人 73.00	人	
		令和４年度	人 65.00	人	
		令和５年度	人 73.00	人	

6	直接事業費計	前年度決算額	451,400　円	決算額	616,700　円

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	県市町村職員研修センター主催研修事業	ｺｰﾄﾞ	01	02	01	08	07	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	6　みんなでつくるまち　【参画・協働】						
		基本施策	04　将来を見据えた行財政運営を進める						
		施策の展開方向	②　行政組織の適正化と人材育成						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	職員及び町民
2	働きかける相手（対象）	職員
3	どのような状態にしたいのか（意図）	町独自では開催が困難な専門研修等に職員を参加させ、その研修で修得した知識等や県内他市町村の情報をキャッチし、町行政の推進に活用できるようにします。

4　評価対象年度にどのようなことを実施したのか

県市町村職員研修センター主催研修事業
職員の能力開発のため、公益財団法人愛知県市町村振興協会研修センター主催の階層別研修及び専門研修に参加しました。

【研修受講者数】

(1)　階層別研修（６名）

ア　部長研修	３名
イ　課長研修	１名
ウ　課長補佐研修	２名

(2)　専門研修（24名）

ア　複式簿記（基礎）	２名	サ　タイムマネジメント研修	３名
イ　複式簿記（実務）	１名	シ　情報公開・個人情報保護研修	１名
ウ　財務会計初任者実務研修	２名	ス　ファシリテーション研修	１名
エ　広報戦略研修	１名	セ　地方税研修（徴収）	１名
オ　法制執務研修（基礎）	１名	ソ　ＪＫＥＴ指導者養成研修	１名
カ　秘書研修	１名	タ　地方公務員法研修	１名
キ　民法研修（家族法）	１名	チ　ロジカルシンキング研修	２名
ク　地方税研修（市町村民税）	１名	ツ　募集チラシの作り方研修	２名
ケ　折衝力・交渉力向上研修	１名		

コ　みんなで取り組む職場のメンタルヘルス研修　１名

(3)　特別セミナー（19名）

ア　オープンセミナー	９名
イ　特別セミナー①	３名
ウ　特別セミナー②	７名
合計	49名

5　活動指標

指標名	研修への参加者数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	人 23.00	人	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	研修へ参加した職員の延べ人数	令和３年度	人 33.00	人	
		令和４年度	人 43.00	人	
		令和５年度	人 49.00	人	

6	直接事業費計	前年度決算額	42,440　円	決算額	47,896　円

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	派遣研修事業	ｺｰﾄﾞ	01	02	01	08	08	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	6　みんなでつくるまち　【参画・協働】						
		基本施策	04　将来を見据えた行財政運営を進める						
		施策の展開方向	②　行政組織の適正化と人材育成						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	職員及び町民
2	働きかける相手（対象）	職員
3	どのような状態にしたいのか（意図）	職員の行政視野を広めるとともに、高度な研修を受け知識等を修得することで、今後の町政が抱える困難な課題に取り組むことができる職員を養成します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

派遣研修事業
愛知県実務研修生の派遣、日本経営協会等の研修参加により、専門的、実務的な能力の向上を図りました。
【研修受講者数】
⑴　愛知県実務研修生　　1名
⑵　市町村共済組合主催研修　　25名
⑶　日本経営協会主催研修　　1名
合計　27名

5 活動指標

指標名	研修への参加者数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	人 4.00	人	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	研修へ参加した職員の延べ人数	令和３年度	人 7.00	人	
		令和４年度	人 10.00	人	
		令和５年度	人 27.00	人	

6	直接事業費計	前年度決算額	83,040　円	決算額	43,410　円

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	特別職報酬等審議会運営事業	ｺｰﾄﾞ	01	02	01	08	09	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	6　みんなでつくるまち　【参画・協働】						
		基本施策	04　将来を見据えた行財政運営を進める						
		施策の展開方向	②　行政組織の適正化と人材育成						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	特別職の職員
2	働きかける相手（対象）	特別職報酬等審議会委員
3	どのような状態にしたいのか（意図）	特別職の職員の報酬を近隣市町との均衡を図りながら、社会情勢に適応した適正な額にします。

4　評価対象年度にどのようなことを実施したのか

特別職報酬等審議会関係事業
　特別職報酬等審議会を開催し、町議会議員の報酬月額並びに町長、副町長及びの給料月額について、適正かどうかを諮問し答申を得ました。
⑴　開催日
　　令和６年１月15日（月）
⑵　委員数
　　８名
⑶　諮問事項
　　東郷町議会議員の報酬及び特別職の給料の額について

5　活動指標

指標名	指標の説明（指標式）	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
特別職報酬等審議会開催回数	年間の開催回数	令和２年度	回 2.00	回	個別計画による目標値はありません。
		令和３年度	回 1.00	回	
		令和４年度	回 1.00	回	
		令和５年度	回 1.00	回	

6	直接事業費計	前年度決算額	56,000　円	決算額	56,000　円

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	町長交際費事業	ｺｰﾄﾞ	01	02	01	08	10	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	6　みんなでつくるまち　【参画・協働】						
		基本施策	04　将来を見据えた行財政運営を進める						
		施策の展開方向	－						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	町政運営に係る公益団体及び個人
2	働きかける相手（対象）	町政運営に係る公益団体及び個人
3	どのような状態にしたいのか（意図）	町政運営に係る公益団体及び個人との良好な関係を築きます。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

町長交際費事業
(1) 町長交際費として下記のとおり支出しました。

ア	香料	2件
イ	会費	9件
ウ	供花代	5件
エ	見舞金	1件
オ	激励金	6件
カ	その他	0件
	合計	23件

5 活動指標

指標名	支払件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	件 17.00	件	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	香料、会費、供花代、見舞金、激励金等の支払件数の合計	令和３年度	件 14.00	件	
		令和４年度	件 23.00	件	
		令和５年度	件 23.00	件	

6	直接事業費計	前年度決算額	261,898　円	決算額	199,203　円

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	愛知県町村会運営事業	ｺｰﾄﾞ	01	02	01	08	11	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	6　みんなでつくるまち　【参画・協働】						
		基本施策	04　将来を見据えた行財政運営を進める						
		施策の展開方向	－						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	職員、町民
2	働きかける相手（対象）	各省庁、政党、国会議員等
3	どのような状態にしたいのか（意図）	町村を中心とした地方自治の振興、発展に向けた政策に関する各種要望等について、町村会にて調査、審議し、当面する諸課題の解決を目指します。調査や国等への要望について検討し、情報交換等を行い、県内町村との連携を図ります。

4　評価対象年度にどのようなことを実施したのか

愛知県町村会運営事業
　愛知県町村会の主催する総会、研修、各種会議に参加しました。
　また、全国町村長大会において各省庁等に対して要望すべき事項の実現について働きかけを行いました。
⑴　全国町村長大会への出席
　　令和５年11月15日、NHKホール（東京都渋谷区）へ愛知郡町村会長が出席しました。
⑵　令和５年度愛知県町村会会費負担金の納入
　　394,000円を支出しました。
⑶　愛知県町村会理事会等への出席
　　総会、研修、各種会議等へ延べ22名が出席しました。
⑷　愛知県町村会を通じ、本町からは国、県に対して、「都市計画道路名古屋春木線の整備及び国道１５３号豊田西バイパスの６車線化について」及び「長寿命化対策等の施設修繕に対する予算確保及び交付基準の見直しについて」の支援を要望しました。

5　活動指標

指標名	指標の説明（指標式）	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
県町村会主催行事等への参加	県町村会主催行事等へ参加した町長を含む職員の延べ人数	令和２年度	人 19.00	人	個別計画による目標値はありません。
		令和３年度	人 18.00	人	
		令和４年度	人 24.00	人	
		令和５年度	人 22.00	人	

6	直接事業費計	前年度決算額	424,410　円	決算額	454,520　円

款	02	総務費	予算現額	161,973,000 円
項	01	総務管理費	決算額	156,756,470 円
目	09	未来プロジェクト推進費	前年度決算額	176,467,220 円
			対前年比	88.8 %

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	地域公共交通事業	ｺｰﾄﾞ	01	02	01	09	02	-
2	総合計画の施策体系	基本目標	4 快適に暮らせるまち 【交通環境・住環境・生活基盤】						
		基本施策	01 公共交通を利用しやすくする						
		施策の展開方向	－						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	巡回バス等利用者、町民
2	働きかける相手（対象）	巡回バス等施設、町民
3	どのような状態にしたいのか（意図）	町民の移動手段を確保し公共交通の利用が不便な地区を解消するとともにその利便性を高め、町内交流の促進及び町内の活性化を図ります。 町民の大規模病院へのアクセス利便性の向上を図ります。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

1 巡回バス運行事業
(1) バスターミナルを発着とした巡回バス路線を運行しました。
運行便数 13,941便
乗車人数 196,524人
料金収入 6,295,022円
(2) バスターミナルと藤田医科大学病院を結ぶ東郷・藤田医大バスを運行しました。
運行便数 2,916便
乗車人数 4,162人
料金収入 871,030円

2 地域公共交通関係事業
(1) 町民の生活に必要なバス等の旅客輸送を確保し利便性の増進を図り、地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項を協議するため、地域公共交通会議を開催しました。また、地域公共交通計画の中間評価及び東郷町バス運行事業公募型プロポーザルを実施しました。
第１回地域公共交通会議 令和５年６月19日 内容：生活交通確保維持改善計画等
第２回地域公共交通会議 令和５年12月20日 内容：地域公共交通確保維持改善事業に係る事業評価等
第３回地域公共交通会議 令和６年３月６日 内容：東郷町地域公共交通計画修正等
(2) 名鉄バス星ケ丘・豊田線（東西線）の継続的な運行に必要な補助金を支出しました。
運行便数 4,752便 乗車人数 35,092人
(3) 尾三地区５市町の広域連携による公共交通に関する会議（尾三地区広域公共交通推進会議）を行いました。
第１回 令和５年11月10日 内容：デマンド型交通導入の制度設計について等
第２回 令和６年３月27日 内容：バスフェスティバルについて等
(4) 高齢者等の移動弱者に対する支援として、デマンドタクシーの本格運行を令和４年７月から行いました。
登録者数 1,263人 利用回数 9,062回 延べ利用者数 11,125人

5 活動指標

指標名	指標の説明（指標式）	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
巡回バスの年間走行距離	コースの運行距離×便数（令和３年度以降は指標に東郷・藤田医大バスを追加）	令和２年度	km 236,936.00	km	個別計画による目標値はありません。
		令和３年度	km 219,934.00	km	
		令和４年度	km 220,122.00	km	
		令和５年度	km 219,934.00	km	

6 成果指標

指標名	指標の説明（指標式）	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
巡回バス年間延べ利用者数	年間延利用者数	令和２年度	人 143,738.00	人 154,000.00	東郷町地域公共交通計画による目標値（令和２年度以前は第５次総合計画による目標値）
		令和３年度	人 150,793.00	人 150,000.00	
		令和４年度	人 170,558.00	人 150,000.00	
		令和５年度	人 196,524.00	人 150,000.00	

7	直接事業費計	前年度決算額	125,060,462 円	決算額	105,538,142 円

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	シティプロモーション事業	ｺｰﾄﾞ	01	02	01	09	03	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	5　産業と交流が盛んなまち　【産業・雇用・交流】						
		基本施策	04　まちの魅力の発信と交流人口・定住を増やす						
		施策の展開方向	②　シティプロモーションの推進						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	町民
2	働きかける相手（対象）	町民、将来の町民、民間企業、大学
3	どのような状態にしたいのか（意図）	先端技術の導入や民間企業等との連携を図り、新たな町の魅力を創生するとともに、町内外に発信し、東郷町が広く認知されるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

シティプロモーション事業
⑴ まちづくりに関する情報や災害発生時の情報を発信することを目的として、X（旧Twitter）を運用しました。
ア フォロワー数 1,109件
イ ツイート数 857件（令和６年３月31日時点）
⑵ 町のPR及びブランディングに繋げることを目的として、Instagramを運用しました。
ア フォロワー数 1,443件
イ 投稿数 648件（令和６年３月31日時点）
⑶ ふるさと納税返礼品の登録数を増やすため、町内事業者を営業訪問し、特産品としての登録申請を促しました。
返礼品登録品数 169品目 （令和６年３月31日時点）
また、Webプロモーション施策として西川コミュニケーションズ（株）との協働による返礼品のバナー広告を配信し、寄付件数増加につなげました。
⑷ ららぽーと愛知東郷内のまちのプロモーションテナント「LivR TOGO まちの窓口」（令和２年９月開業）において、図書館機能、行政サービスの提供、民間企業との連携を通じた町の魅力や取組の発信を行いました。
ア 来場者数 11,171人
イ 予約図書貸出冊数 468冊
ウ 図書返却冊数 1,668冊
エ 住民票受け渡し件数 24件
オ 印鑑証明書受け渡し件数 14件
カ イベント開催件数 34件 参加者数 5,667人
主なイベント
・母の日のお花摘み体験（５月）
・東郷町民納涼まつりへ手作りうちわを持って行こう（８月）
・チュウキョ～くんがやってくる！（10月）
・トッピィ誕生祭2023（11月）
・いちごフェスティバル（２月）

5 活動指標

指標名		「LivR TOGO まちの窓口」イベント回数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
			令和２年度	回	回	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		「LivR TOGO まちの窓口」で実施したイベントの回数	令和３年度	回 14.00	回	
			令和４年度	回 25.00	回	
			令和５年度	回 34.00	回	

6 成果指標

指標名		「LivR TOGO まちの窓口」来場者数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
			令和２年度	人 3,990.00	人	（過去３年間の平均値）×1.05
指標の説明（指標式）		「LivR TOGO まちの窓口」に来場された方の人数	令和３年度	人 6,502.00	人 7,182.00	
			令和４年度	人 7,935.00	人 7,005.00	
			令和５年度	人 11,171.00	人 7,447.00	

7	直接事業費計	前年度決算額	25,405,040 円	決算額	25,466,751 円

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	プロジェクト推進事業	ｺｰﾄﾞ	01	02	01	09	05	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	6　みんなでつくるまち　【参画・協働】						
		基本施策	04　将来を見据えた行財政運営を進める						
		施策の展開方向	①　最新技術を活用した行政サービスの向上						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	町民
2	働きかける相手（対象）	町民、事業者、農家
3	どのような状態にしたいのか（意図）	農商工業を支援し、地域の活性化を図るとともに、互いに連携することで、新たな行政サービスの展開を目指します。

4　評価対象年度にどのようなことを実施したのか

プロジェクト推進事業
⑴　特命事業及び新規事業
ア　有機農業の推進
（ｱ）　持続可能な農業の実現を目指し、その手段として有機農業を推進するため、町内農家に対して有機農業の周知等を目的とした訪問を行いました。
農家訪問数：123戸
農家所有農地面積：468,784㎡
（ｲ）　有機農業に取り組んでいる町外の農業生産法人と、本町への進出や本町との連携について協議しました。
イ　とうごうクールスポット
夏季において小中学生が安全に登下校できるように、体調不良時に立ち寄れる場所の設置について公共施設を含めて、町内事業所に協力依頼をしました。
協力事業所：56事業所
ウ　企業訪問
地域産業の活性化を目的として、町内事業者を訪問し、町の新たな取組や支援制度を案内するほか、事業者からの要望を聴取し、関係部署に繋げました。
企業訪問数：27事業所
⑵　官民連携
株式会社大塚商会と地方創生の推進に向けた包括連携協定を締結しました。
ア　協定締結日
令和５年９月26日
イ　連携事項
（ｱ）　防災に強いまちづくりのための地域防災整備事業の推進に関すること。
（ｲ）　住民の安心・安全の強化及び福祉の向上に関すること。
（ｳ）　ＤＸを活用した業務の効率化、職員の働き方改革推進に関すること。
（ｴ）　その他、地方創生の推進に関すること。

5　活動指標

指標名	企業訪問及び農家訪問の件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	件	件	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	件	件	
		令和４年度	件	件	
		令和５年度	件 150.00	件	

6　成果指標

指標名	有機農業転換農地面積	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		令和２年度	㎡	㎡	前年度実績
指標の説明（指標式）	農家訪問による利用権設定面積	令和３年度	㎡	㎡	
		令和４年度	㎡	㎡	
		令和５年度	㎡ 12,617.00	㎡	

7	直接事業費計	前年度決算額	円	決算額	265,197　円

款	02	総務費	予算現額	67,043,000 円
項	02	徴税費	決算額	66,615,864 円
目	01	税務総務費	前年度決算額	63,622,555 円
			対前年比	104.7 %

Ⅰ．事務の目的体系

1 事業名	賦課徴収一般管理事業	ｺｰﾄﾞ	01	02	02	01	02	－
2 総合計画の施策体系	基本目標	6 みんなでつくるまち 【参画・協働】						
	基本施策	04 将来を見据えた行財政運営を進める						
	施策の展開方向	－						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1 誰のために（受益者）	職員
2 働きかける相手（対象）	町税の各税目に共通する消耗品、備品等
3 どのような状態にしたいのか（意図）	職員が課税事務等を円滑に実施できる環境を整えます。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

税務一般管理事業
⑴ 適正な賦課徴収を執行する上で法制度の遵守並びに適切な解釈が必要であり、また、税制改正等に適切に対応するため、関係法令集及び参考図書等を購入しました。
⑵ 地方税法等の改正に伴い、東郷町税条例等を改正しました。

5 活動指標

指標名	参考図書等購入冊数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	冊 5.00	冊	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	冊 4.00	冊	
		令和４年度	冊 4.00	冊	
		令和５年度	冊 4.00	冊	

6 直接事業費計	前年度決算額	1,486,845 円	決算額	1,623,211 円

款	02	総務費	予算現額	45,172,000 円
項	02	徴税費	決算額	43,552,740 円
目	02	賦課徴収費	前年度決算額	54,157,089 円
			対前年比	80.4 %

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	町民税等賦課徴収事業	ｺｰﾄﾞ	01	02	02	02	01	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	6　みんなでつくるまち　【参画・協働】						
		基本施策	04　将来を見据えた行財政運営を進める						
		施策の展開方向	－						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	町民
2	働きかける相手（対象）	個人町民税、法人町民税、軽自動車税、町たばこ税の納税義務者
3	どのような状態にしたいのか（意図）	自主財源を確保するため、関係法令等に基づき適正な賦課を行います。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

1　町民税関係事業
⑴　所得、課税証明書等交付事務
（所得証明書交付件数　1,720件、課税・非課税証明書交付件数　2,498件、その他　19件）
⑵　町県民税申告、確定申告受付事務
ア　役場大会議室において、税務署による確定申告の相談受付に協力しました。
協力期間　令和６年２月16日から令和６年２月29日まで
（相談受付件数　148件）
イ　確定申告におけるスマートフォン入力作業補助のために、会計年度任用職員を１人任用しました。
（延任用日数　８日）
⑶　住民税等の課税資料をデータ化し適正に管理しました。
⑷　自治体からの文書による所得照会に対し回答しました。

2　町民税等賦課徴収事業
⑴　個人町県民税賦課事務
ア　給与支払報告書、年金支払報告書、確定申告書、町県民税申告書等により当初賦課決定をし、賦課決定通知書及び納税通知書を発送しました。（普通徴収　4,769人、特別徴収　18,664人分）
イ　修正申告又は異動処理等により、賦課更正決定（月例作業）をしました。
ウ　全ての課税資料により課税内容確認、非違事項の調査を行いました。
エ　給与支払報告書、課税資料等の整理等のため、会計年度任用職員５人を任用しました。（延任用日数　437日）
⑵　法人町民税申告納付受付事務
課税法人に対し確定申告書、予定申告書等を送付しました。（送付件数　1,545件）
⑶　軽自動車税賦課事務
ア　窓口において原動機付自転車等の発生、異動及び消滅処理を行いました。（761件）
イ　愛知県軽自動車協会からの軽自動車異動等の報告により、異動処理を行いました。（4,008件）
⑷　町たばこ税申告納付事務
町たばこ税申告納付（申告事業所数　２件、申告本数　43,286,619本）

5 活動指標

指標名	前年度住民税申告者への住民税申告書発送件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	件 749.00	件	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	前年度住民税申告者への住民税申告書送付件数	令和３年度	件 776.00	件	
		令和４年度	件 719.00	件	
		令和５年度	件 738.00	件	

6	直接事業費計	前年度決算額	11,224,165 円	決算額	11,273,796 円

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	固定資産税賦課徴収事業	ｺｰﾄﾞ	01	02	02	02	02	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	6　みんなでつくるまち　【参画・協働】						
		基本施策	04　将来を見据えた行財政運営を進める						
		施策の展開方向	－						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	町民
2	働きかける相手（対象）	固定資産税の納税義務者(土地・家屋・償却資産)
3	どのような状態にしたいのか（意図）	自主財源を確保するため、固定資産税・都市計画税については、関係法令等に基づき現況に合った適正な課税を行います。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

1　固定資産税関係事業
(1)　評価証明書等交付事務（評価証明書交付件数　1,009件、公租公課証明書交付件数　477件、物件証明書交付件数　11件、住宅用家屋証明件数　236件、無登録証明件数　29件）
(2)　公図、名寄帳写しの交付事務（公図写し交付件数　181件、名寄帳写し交付件数　552件）
(3)　土地・家屋台帳等の閲覧（閲覧件数　177件）
(4)　土地・家屋台帳の異動加除等を処理するため、会計年度任用職員を１人任用しました。（延任用日数　50日）
(5)　償却資産データ入力のため、会計年度任用職員を１人任用しました。（延任用日数　22日）

2　固定資産税・都市計画税賦課徴収事業
(1)　固定資産税・都市計画税の課税明細書及び納税通知書を発送しました。（通知書発送件数　17,874件）
(2)　固定資産（土地・家屋）の現況を把握するため、現地調査を実施しました。
(3)　新築家屋等の適正な賦課をするため、家屋評価調査を実施しました。（調査件数　287件）
(4)　令和６年度評価替え（土地）のため、用途地区・状況類似区分図の作成、路線価図の作成、路線価敷設システムの更新等の評価業務を委託しました。
(5)　令和６年度評価替え（家屋）のため、家屋評価システムの更新業務を委託しました。
(6)　賦課期日現在の図面を整備するため、登記申請書を基に固定資産図面の加除業務を委託しました。
(7)　固定資産税・都市計画税を適正に賦課するため、鑑定評価価格の時点修正業務を委託しました。
(8)　事務を効率的に実施するため、航空写真撮影業務を日進市、みよし市及び長久手市と共同実施しました。

5 活動指標	指標名	固定資産税賦課件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
			令和２年度	件 17,409.00	件	個別計画による目標値はありません。
	指標の説明（指標式）	固定資産税の当初賦課件数	令和３年度	件 17,621.00	件	
			令和４年度	件 17,754.00	件	
			令和５年度	件 17,874.00	件	

6	直接事業費計	前年度決算額	42,932,924　円	決算額	32,278,944　円

款	02	総務費	予算現額	73,496,000 円
項	02	徴税費	決算額	65,363,549 円
目	03	収納費	前年度決算額	89,832,399 円
			対前年比	72.8 %

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	収納事務事業	ｺｰﾄﾞ	01	02	02	03	02	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	6　みんなでつくるまち　【参画・協働】						
		基本施策	04　将来を見据えた行財政運営を進める						
		施策の展開方向	－						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	町民
2	働きかける相手（対象）	納税義務者
3	どのような状態にしたいのか（意図）	町税の収納消込処理を始めとした収納管理事務を適正に行うとともに、納期内に納付されない者（滞納者）に対しては、納税指導や滞納処分を適切に行い、税の公平性を図り自主財源の安定的な確保に努めます。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

1　収納事務事業
(1)　納付の状況
ア　町県民税（普通徴収）
口座振替3,094件、コンビニ6,872件、スマートフォン974件
イ　固定資産税・都市計画税
口座振替17,476件、コンビニ10,589件、スマートフォン663件
ウ　軽自動車税（種別割）
口座振替1,234件、コンビニ6,818件、スマートフォン140件
(2)　滞納整理の状況
ア　督促状発送延べ件数
町県民税（普通徴収）3,023件、町県民税（特別徴収）854件、法人町民税35件、
固定資産税・都市計画税3,839件、軽自動車税1,016件
イ　夜間休日納税相談窓口開設
年４回（５月・７月・11月・２月）、納税催告書（相談窓口開設周知）発送延べ件数1,630件
ウ　財産等調査及び滞納処分等件数
実態調査222件、預金・給与等調査1,649件、差押え360件（預金136件、給与180件、生命保険22件、年金10件、売掛金１件、不動産７件、不動産賃料２件、自動車２件）、競売・破産事件に対する交付要求10件
(3)　国民健康保険税滞納繰越分の徴収事務
差押件数153件、差押えによる徴収金額8,740,936円、収納率35.43%
2　町税還付事務
賦課更正等により過誤納となった町税の還付金を1,345件、還付加算金を21件支出しました。
3　証明書交付事務　　納税証明書　1,358件
4　東郷町債権管理委員会の開催
効率的な債権管理のため、債権管理委員会を６回開催し一元化に向けた検討を行いました。
5　愛知尾三地区滞納整理機構負担金
愛知尾三地区滞納整理機構の運営費として負担金を支出しました。

5 活動指標

指標名		年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
滞納処分件数		令和２年度	件 134.00	件	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	差押件数	令和３年度	件 165.00	件	
		令和４年度	件 177.00	件	
		令和５年度	件 360.00	件	

6 成果指標

指標名		年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
収納率（現年課税分と滞納繰越分の合計。ただし、国民健康保険税を除く。）		令和２年度	% 98.71	% 98.54	過去の実績収納率と近年の社会情勢を鑑み目標値を設定しました。
指標の説明（指標式）	収入済額/調定額	令和３年度	% 98.79	% 98.56	
		令和４年度	% 98.90	% 98.69	
		令和５年度	% 98.93	% 98.82	

7	直接事業費計	前年度決算額	42,047,331 円	決算額	25,967,945 円

款	02	総務費	予算現額	81,278,000 円
項	03	戸籍住民基本台帳費	決算額	75,253,550 円
目	01	戸籍住民基本台帳費	前年度決算額	75,479,734 円
			対前年比	99.7 %

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	戸籍住基一般管理事業	ｺｰﾄﾞ	01	02	03	01	02	-
2	総合計画の施策体系	基本目標	6　みんなでつくるまち　【参画・協働】						
		基本施策	04　将来を見据えた行財政運営を進める						
		施策の展開方向	－						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1 誰のために（受益者）	町民等
2 働きかける相手（対象）	住民課職員
3 どのような状態にしたいのか（意図）	戸籍等に関する知識を身に付け職員の資質向上を図ることにより、戸籍・住民基本台帳事務が円滑に実施できるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

戸籍等一般事務事業
法務局主催研修及び愛豊戸籍住民基本台帳事務研究会事業等に参加するため、旅費・負担金を支出しました。
また、通常事務に係る消耗品等の購入を行いました。
(1) 研修等参加件数
ア 法務局主催研修　6件（対面５件、Web１件）
イ 愛豊戸籍住民基本台帳事務研究会　8件（対面８件）
ウ 愛知戸籍住民基本台帳事務協議会　5件（対面３件、Web２件）
エ その他　5件（対面４件、書面１件）
計　24件
(2) 負担金
ア 愛豊管内における事務研究調査及び職員の資質向上を図るため、愛豊戸籍住民基本台帳事務研究会負担金を支出しました。
イ 戸籍住民基本台帳事務の問題研究及び改善を図るため、愛知戸籍住民基本台帳事務協議会負担金を支出しました。

5 活動指標

指標名	研修等参加延べ件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	件 11.00	件	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	件 23.00	件	
		令和４年度	件 25.00	件	
		令和５年度	件 24.00	件	

6 直接事業費計	前年度決算額	215,835 円	決算額	18,247,171 円

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	戸籍事務事業	ｺｰﾄﾞ	01	02	03	01	03	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	6　みんなでつくるまち　【参画・協働】						
		基本施策	04　将来を見据えた行財政運営を進める						
		施策の展開方向	－						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	町民等
2	働きかける相手（対象）	戸籍届出書提出対象者、戸籍証明書請求者、町民又は本町に本籍のある人
3	どのような状態にしたいのか（意図）	戸籍届出書の審査受付、戸籍の記録整備、証明書発行等の事務を、迅速かつ正確に処理し、戸籍事務を円滑に実施します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

戸籍関係事務事業

戸籍届出書の審査受付、戸籍の記録整備、人口動態調査事務、戸籍証明書の発行を行いました。

(1) 届出件数

ア	出生	340件
イ	婚姻	337件
ウ	離婚	83件
エ	死亡	421件
オ	入籍	62件
カ	転籍	266件
キ	養子縁組	18件
ク	養子離縁	3件
ケ	その他	111件
	計	1,641件

(2) 処理件数

ア	新戸籍編成	321件
イ	戸籍全部消除	205件
	計	526件

(3) 諸証明件数

ア	戸籍全部事項証明	5,384件	（内　休日証明発行	76件）
イ	除籍全部事項証明・除籍謄本	713件	（内　休日証明発行	3件）
ウ	戸籍個人事項証明	608件	（内　休日証明発行	12件）
エ	除籍個人事項証明・除籍抄本	7件	（内　休日証明発行	0件）
オ	改製原戸籍謄本・改製原戸籍抄本	1,003件	（内　休日証明発行	9件）
カ	身元証明	280件	（内　休日証明発行	0件）
キ	その他証明			
(ｱ)	記載事項証明	0件	（内　休日証明発行	0件）
(ｲ)	受理証明	124件	（内　休日証明発行	0件）
(ｳ)	届出書に基づく証明	35件	（内　休日証明発行	0件）
ク	広域交付（令和６年３月開始）			
(ｱ)	戸籍全部事項証明	105件		
(ｲ)	除籍全部事項証明	18件		
(ｳ)	除籍謄本・改製原戸籍謄本	113件		
	計	8,390件	（内　休日証明発行	100件）

5 活動指標

指標名	戸籍届出件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	件 1,811.00	件	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	出生・婚姻・離婚・死亡・転籍等の戸籍届出書の年間受理件数	令和３年度	件 1,777.00	件	
		令和４年度	件 1,728.00	件	
		令和５年度	件 1,641.00	件	

6	直接事業費計	前年度決算額	16,088,437　円	決算額	8,690,111　円

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	住民基本台帳事務事業	ｺｰﾄﾞ	01	02	03	01	04	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	6　みんなでつくるまち　【参画・協働】						
		基本施策	04　将来を見据えた行財政運営を進める						
		施策の展開方向	－						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	町民等
2	働きかける相手（対象）	転入出等届出書提出者、印鑑登録申請者、住基証明書請求者
3	どのような状態にしたいのか（意図）	転入出等届出の受付、印鑑登録、住基関係証明書の発行、電子申請による住民票交付、マイナンバーカードの交付等の事務を、迅速かつ正確に処理し、住民基本台帳事務を円滑に実施します。また、マイナンバーカードの普及を図ります。

4　評価対象年度にどのようなことを実施したのか

住民基本台帳関係事業

転入出届出受付、印鑑登録、住民基本台帳関係の事務処理、人口動向調査事務及び住民基本台帳に関する証明書の発行を行いました。また、平成27年度から始まったマイナンバー制度について、引き続きマイナンバーカードの交付を実施しました。なお、マイナンバーカードについては、第２第４土曜日の休日証明窓口（休日交付）に加え、第３木曜日の平日夜間窓口、第１日曜日に休日臨時窓口を開設し、マイナンバーカードの普及に努めました。

(1)　届出件数

ア	転入	1,523件
イ	転出	1,079件
ウ	転居	352件
エ	世帯変更	135件
オ	転出（法第24条の２）	392件
カ	職権修正	1,898件
キ	出生	263件
ク	死亡	389件
ケ	帰化	２件
	計	6,033件

(2)　印鑑登録件数

ア	登録	1,507件	（内　休日窓口登録　52件）
イ	廃止	402件	
ウ	転出	703件	
エ	死亡	330件	
オ	氏変更	23件	
カ	その他	８件	
	計	2,973件	（内　休日窓口登録　52件）

(3)　諸証明等件数

ア	住民票閲覧	3,047件	
イ	住民票写し等	19,186件	（内　休日証明発行　254件　内　広域交付　12件）
ウ	印鑑登録証明	12,333件	（内　休日証明発行　203件）
エ	戸籍附票の写し	1,494件	（内　休日証明発行　４件）
オ	転出証明	1,079件	
カ	その他証明	679件	（内　休日証明発行　０件　内　記載事項証明　458件）
キ	マイナンバーカード	4,728件	（内　休日交付　442件　内　平日夜間　137件　内　休日臨時　109件）
	計	42,546件	（内　休日証明等発行　1,012件）

5　活動指標

指標名	転入出届等の異動者数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	件 5,940.00	件	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	転入・転出・転居・職権修正・出生・死亡等の異動件数の合計	令和３年度	件 17,150.00	件	
		令和４年度	件 6,055.00	件	
		令和５年度	件 6,033.00	件	

6	直接事業費計	前年度決算額	19,215,426　円	決算額	4,043,571　円

款	02	総務費	予算現額	461,000 円
項	04	選挙費	決算額	409,642 円
目	01	選挙管理委員会費	前年度決算額	563,678 円
			対前年比	72.7 %

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	選挙管理委員会運営事業	ｺｰﾄﾞ	01	02	04	01	01	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	6　みんなでつくるまち　【参画・協働】						
		基本施策	04　将来を見据えた行財政運営を進める						
		施策の展開方向	－						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	有権者
2	働きかける相手（対象）	有権者
3	どのような状態にしたいのか（意図）	選挙関係法規に基づき、選挙管理委員会に関する事務を適正に管理執行するとともに、選挙時には、選挙情報を有権者等に情報提供します。また、検察審査員候補者予定者及び裁判員候補者予定者のくじを適正に行います。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

選挙管理委員会運営事業

選挙管理委員会を８回開催し、次の案件を決定し又は実施しました。

(1) 選挙人名簿登録及び登録抹消（定時登録）

町内に住民票が作成され引き続き３か月以上の住所がある日本国籍を有する者を登録しました。

また、本町から転出して４か月以上の日本国籍を有する者を抹消しました。

６月・９月・12月・３月における選挙人名簿の登録者数を決定しました。

（令和６年３月定時登録者数34,845人）

(2) 在外選挙人名簿登録及び登録抹消

町内に最終住所があった日本国籍を有する者が日本国外へ転出し、３か月経過した者のうち在外選挙人名簿への登録申請があったものを登録しました。

また、登録された者が国内へ転入し、４か月経過した者を抹消し、定時登録時に在外選挙人の数を決定しました。

（令和６年３月定時登録者数23人）

(3) 検察審査会検察審査員候補予定者くじの実施

令和５年９月の定時登録で選挙人名簿に登録された者の中から、くじによって10人の検察審査員の候補者予定者を選定し、名古屋第一検察審査会事務局に報告しました。

(4) 裁判員制度裁判員候補予定者くじの実施

令和５年９月の定時登録で選挙人名簿に登録された者の中から、くじによって59人の裁判員の候補者予定者を選定し、名古屋地方裁判所に報告しました。

5 活動指標

指標名	選挙管理委員会開催回数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	回 4.00	回	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	回 8.00	回	
		令和４年度	回 13.00	回	
		令和５年度	回 8.00	回	

6	直接事業費計	前年度決算額	563,678 円	決算額	409,642 円

款	02	総務費	予算現額	444,000 円
項	04	選挙費	決算額	338,067 円
目	02	選挙啓発費	前年度決算額	727,851 円
			対前年比	46.4 %

Ⅰ．事業の目的体系

1 事業名	選挙啓発事業	ｺｰﾄﾞ	01	02	04	02	01	－
2 総合計画の施策体系	基本目標	6 みんなでつくるまち 【参画・協働】						
	基本施策	04 将来を見据えた行財政運営を進める						
	施策の展開方向	－						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1 誰のために（受益者）	有権者
2 働きかける相手（対象）	有権者、小・中学生、高校生
3 どのような状態にしたいのか（意図）	各選挙における投票率の向上及び明るい選挙の推進を図ります。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

選挙啓発事業
⑴ 小中学生を対象に明るい選挙啓発ポスターを募集しました。
応募作品数 53点（小学校 36点、中学校 17点）
ア 町選挙管理委員会入選作品 6点（小学校 3点、中学校 3点）
イ 町選挙管理委員会入選作品6点を明るい選挙啓発ポスターコンクールへの応募作品として送付しました。
ウ 参加者全員に参加賞としてクリアファイル、蛍光ペン、ミニノートを配布しました。
エ 町選挙管理委員会入選者には、参加賞以外に町選挙管理委員会からの賞状と愛知県選挙管理委員会からの記念品を贈呈しました。
⑵ 若者への選挙啓発事業として、令和6年3月11日に東郷高校において、1・2年生徒全員を対象に選挙に関する出前講座を実施しました。
⑶ 令和6年1月7日に開催された成人式において、新成人に啓発冊子を配布しました。

5 活動指標

指標名	選挙啓発回数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和2年度	回 0.00	回	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	選挙が行われた回数（有投票）	令和3年度	回 1.00	回	
		令和4年度	回 3.00	回	
		令和5年度	回 1.00	回	

6 成果指標

指標名	投票率	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		令和2年度	% 0.00	% 0.00	前回の同一選挙執行の平均投票率（無投票のときは、それ以前の有投票の投票率、国政選挙は、小選挙区選出議員選挙又は愛知県選出議員選挙の投票率）
指標の説明（指標式）	各年度に執行された選挙の平均投票率	令和3年度	% 59.60	% 60.70	
		令和4年度	% 47.22	% 46.89	
		令和5年度	% 45.93	% 47.72	

7 直接事業費計	前年度決算額	727,851 円	決算額	338,067 円

款	02	総務費	予算現額	284,000 円
項	04	選挙費	決算額	283,910 円
目	03	愛知県議会議員一般選挙費	前年度決算額	1,475,425 円
			対前年比	19.2 %

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	県議会議員一般選挙事業	ｺｰﾄﾞ	01	02	04	03	01	-
2	総合計画の施策体系	基本目標	6 みんなでつくるまち 【参画・協働】						
		基本施策	04 将来を見据えた行財政運営を進める						
		施策の展開方向	－						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	有権者
2	働きかける相手（対象）	有権者
3	どのような状態にしたいのか（意図）	公平公正かつ効率的な選挙事務を遂行するための準備をします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

愛知県議会議員一般選挙執行事業
令和５年４月９日に執行予定の愛知県議会議員一般選挙の準備を行いました。
(1) 告示日 令和５年３月31日
(2) 投票日 令和５年４月９日
(3) ポスター掲示場数 89か所
本選挙は、告示日において立候補者数が選挙をすべき人数（２人）を超えなかったため、無投票でした。

5 活動指標

		年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
指標名	愛知県議会議員一般選挙における選挙人名簿登録者数	令和２年度	人	人	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	選挙時登録における選挙人名簿登録者数	令和３年度	人	人	
		令和４年度	人 34,796.00	人	
		令和５年度	人 0.00	人	

6	直接事業費計	前年度決算額	1,475,425 円	決算額	283,910 円

款	02	総務費	予算現額	19,856,000 円
項	04	選挙費	決算額	19,839,851 円
目	04	町議会議員一般選挙費	前年度決算額	円
			対前年比	%

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	町議会議員一般選挙事業	ｺｰﾄﾞ	01	02	04	04	01	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	6　みんなでつくるまち　【参画・協働】						
		基本施策	04　将来を見据えた行財政運営を進める						
		施策の展開方向	－						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	有権者
2	働きかける相手（対象）	有権者
3	どのような状態にしたいのか（意図）	公平公正かつ効率的な選挙事務を遂行します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

東郷町議会議員一般選挙執行事業
令和５年４月23日に東郷町議会議員一般選挙を執行しました。
⑴　告示日　令和５年４月18日
⑵　投票日　令和５年４月23日
　　期日前投票期間　令和５年４月19日から令和５年４月22日まで
⑶　選挙公報発行部数　19,000部
⑷　投票所入場整理券を各世帯へ送付しました。
⑸　投票所設営数
　ア　13投票所（区）（投票時間　午前７時から午後８時まで）
　イ　期日前投票所　東郷町役場１階ロビー（投票時間　午前８時30分から午後８時まで）
⑹　ポスター掲示場数　89か所
⑺　啓発
　　公用車に啓発看板及び拡声器を設置し、啓発活動を行いました。
⑻　投票状況
　ア　当日有権者数　34,276人（男17,045人、女17,231人）
　イ　投票者数　15,743人（男7,676人、女8,067人）
　ウ　投票率　45.93%
⑼　開票
　ア　開票開始日時　令和５年４月23日　午後９時15分から
　イ　開票結果　投票総数　15,743票（有効投票数　15,435票、無効投票数　308票）

5 活動指標	指標名	東郷町議会議員一般選挙における選挙人名簿登録者数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
			令和２年度	人	人	
	指標の説明（指標式）	選挙時登録における選挙人名簿登録者数	令和３年度	人	人	
			令和４年度	人	人	
			令和５年度	人 34,825.00	人	

6	直接事業費計	前年度決算額	円	決算額	19,839,851 円

款	02	総務費	予算現額	9,506,000 円
項	05	統計調査費	決算額	8,152,708 円
目	01	統計調査総務費	前年度決算額	8,804,111 円
			対前年比	92.6 %

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	統計事務管理事業	ｺｰﾄﾞ	01	02	05	01	02	-
2	総合計画の施策体系	基本目標	6 みんなでつくるまち 【参画・協働】						
		基本施策	04 将来を見据えた行財政運営を進める						
		施策の展開方向	－						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	国、県、町、統計を利用する人
2	働きかける相手（対象）	町民、登録統計調査員、関係機関等
3	どのような状態にしたいのか（意図）	統計調査員の資質向上を図り、統計調査を円滑に実施できるようにします。東郷町の現況と推移発展を掲載した基本的な統計資料を作成することで、行政施策の立案や基礎資料、民間事業所の事業活動など幅広く活用できるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

1 統計調査員関係事業
(1) 常任統計調査員の資質向上に資することを目的とした常任登録統計調査員研修会について、令和５年５月26日に開催しました。
(2) 常任登録統計調査員７名に報償費を支払いました。

2 統計一般事務事業
(1) オープンデータの推進
ア 近隣７市町で構成する「オープンデータ推進会議」に４回参加しました。（オンライン３回）
イ 昨年度に引き続き、「東郷の統計」のデータをＰＤＦ形式のほかエクセル形式でもホームページに掲載しました。
(2) 「東郷の統計」を作成し、町ホームページに掲載しました。
(3) 市町村民経済計算推計事務を行いました。
(4) データの利活用を推進するため、地域情報化アドバイザー制度を利用し、職員向けに研修を実施しました。

5 活動指標

指標名	東郷町常任登録統計調査員の人数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	人 10.00	人	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	人 9.00	人	
		令和４年度	人 9.00	人	
		令和５年度	人 7.00	人	

6	直接事業費計	前年度決算額	75,680 円	決算額	77,600 円

款	02	総務費	予算現額	1,569,000 円
項	05	統計調査費	決算額	1,325,762 円
目	02	基幹統計費	前年度決算額	458,880 円
			対前年比	288.9 %

Ⅰ．事務の目的体系

1 事業名	基幹統計調査事業	ｺｰﾄﾞ	01	02	05	02	01	－
2 総合計画の施策体系	基本目標	6 みんなでつくるまち 【参画・協働】						
	基本施策	04 将来を見据えた行財政運営を進める						
	施策の展開方向	－						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1 誰のために（受益者）	国、県、町、町民
2 働きかける相手（対象）	町内の世帯または事業所などの統計調査対象者
3 どのような状態にしたいのか（意図）	各統計調査で正確なデータを収集することにより、国、県、市町村での各種計画の策定、社会政策の立案に活用できるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

1 住宅・土地統計調査【所管：総務省統計局】
(1) 調査期日：令和５年10月１日現在
(2) 指導員数：３名
(3) 調査員数：17名
(4) 調査内容：住戸に関する実態並びに現住居以外の土地の保有状況等を調査し、現状と推移を明らかにするため、総務大臣が選定した町内44調査区に居住する世帯の中から無作為に選ばれた世帯を対象に調査しました。
(5) 調査対象者数：748世帯
(6) 回答者数等：665世帯(オンライン回答者数：222世帯)

5 活動指標

指標名	指標の説明（指標式）	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
基幹統計調査のオンライン回答件数と調査員回収等調査票の提出件数	オンライン回答件数、郵送回答件数及び調査員が調査票を取集した件数	令和２年度	件 16,776.00	件	個別計画による目標値はありません。
		令和３年度	件 846.00	件	
		令和４年度	件 128.00	件	
		令和５年度	件 665.00	件	

6 直接事業費計	前年度決算額	458,880 円	決算額	1,325,762 円

款	02	総務費	予算現額	22,170,000 円
項	06	監査委員費	決算額	21,846,564 円
目	01	監査委員費	前年度決算額	21,178,796 円
			対前年比	103.2 %

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	監査委員事務局運営事業	ｺｰﾄﾞ	01	02	06	01	02	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	6　みんなでつくるまち　【参画・協働】						
		基本施策	04　将来を見据えた行財政運営を進める						
		施策の展開方向	－						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	町民
2	働きかける相手（対象）	職員、財政援助団体
3	どのような状態にしたいのか（意図）	行政事務が公正で合理的かつ効率的に行われているかどうかについて監査等を行い、町長及び議長に監査等結果を報告し、行政の適正化を図ります。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

監査委員事務局運営事業
⑴　監査等（監査、検査及び審査）を次のとおり実施しました。
　ア　例月出納検査（一般会計・特別会計、公営企業会計）を毎月実施しました。（計24回）
　　（結果）指摘事項、検討事項なし
　イ　定期監査を９月から３月まで（内８日間）環境課を始め15課を対象に実施しました。（計15回）
　　（結果）指摘事項なし、検討事項なし
　ウ　財政援助団体等の監査を３団体実施しました。（計４回）
　　（ｱ）ハマダスポーツ企画㈱　（兵庫児童館　子育て応援課　９月28日実施）
　　（結果）指摘事項なし、検討事項なし
　　（ｲ）東郷町商工会　（産業振興課　10月31日実施）
　　（結果）指摘事項なし、検討事項なし
　　（ｳ）東郷町施設サービス㈱　（企画情報課　11月28日実施）
　　（結果）指摘事項なし、検討事項なし
　　（ｴ）東郷町施設サービス㈱　（東郷町体育施設　生涯学習課　１月30日実施）
　　（結果）指摘事項なし、検討事項なし
　エ　決算審査を６月23日から７月26日まで（内10日間）全課を対象に実施しました。（計26回）
　　（結果）指摘事項１件、検討事項２件
　オ　財政健全化法に基づく審査及び基金運用状況審査を７月26日に実施しました。（各１回）
　　（結果）指摘事項なし、検討事項なし
⑵　監査委員の職務執行に係る事項を協議するため、監査委員協議会を開催しました。（計12回）

5 活動指標

指標名	監査等（監査、検査及び審査）の実施回数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	回 70.00	回	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	例月出納検査、定期監査、随時監査、行政監査、財政援助団体等監査、特別監査、決算審査、財政健全化判断比率等審査、基金運用状況審査の合計回数	令和３年度	回 76.00	回	
		令和４年度	回 69.00	回	
		令和５年度	回 71.00	回	

6	直接事業費計	前年度決算額	1,206,633 円	決算額	1,361,369 円

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	検査事務事業	ｺｰﾄﾞ	01	02	06	01	03	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	6　みんなでつくるまち　【参画・協働】						
		基本施策	04　将来を見据えた行財政運営を進める						
		施策の展開方向	－						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	町民
2	働きかける相手（対象）	工事（業務）等担当課職員、工事（業務）等請負業者
3	どのような状態にしたいのか（意図）	検査を通して契約内容の適正な履行と品質を確保するとともに、職員の工事・委託業務等の監理技術水準の向上を図ります。

4　評価対象年度にどのようなことを実施したのか

検査事務事業
入札契約案件の検査を112件実施しました。
ア　工事の検査
（ｱ）完了検査　　23件（都市整備課始め７課）
（ｲ）中間検査　　０件
（ｳ）出来形検査　　３件（都市整備課）
イ　委託業務、物品等購入の検査
（ｱ）完了検査　　82件（総務財政課始め15課）
（ｲ）出来形検査　　４件（都市整備課、学校教育課）
（ｳ）一部竣工検査　０件

5　活動指標	指標名	入札契約案件の検査実施件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
			令和２年度	件 98.00	件	個別計画による目標値はありません。
	指標の説明（指標式）	入札契約に係る完了検査、中間検査、一部竣工検査及び出来形検査の件数	令和３年度	件 89.00	件	
			令和４年度	件 97.00	件	
			令和５年度	件 112.00	件	

6	直接事業費計	前年度決算額	21,260　円	決算額	0　円

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	固定資産評価審査委員会運営事業	ｺｰﾄﾞ	01	02	06	01	04	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	6　みんなでつくるまち　【参画・協働】						
		基本施策	04　将来を見据えた行財政運営を進める						
		施策の展開方向	－						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	固定資産を所有する者
2	働きかける相手（対象）	固定資産評価審査委員会の委員、税務課職員、審査申出人
3	どのような状態にしたいのか（意図）	固定資産課税台帳に登録された価格に関する不服について、中立的・専門的な立場から審査・決定することにより、固定資産税における課税の公平性を確保します。

4　評価対象年度にどのようなことを実施したのか

固定資産評価審査委員会運営事業
(1)　固定資産評価審査委員会
　　委員長選任のための委員会を４月28日に開催しました。（１回）
(2)　固定資産評価審査
　　審査申出はありませんでした。

5　活動指標

指標名	指標の説明（指標式）	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
委員会開催件数	固定資産評価審査委員会の会議開催件数	令和２年度	件 0.00	件	個別計画による目標値はありません。
		令和３年度	件 1.00	件	
		令和４年度	件 1.00	件	
		令和５年度	件 1.00	件	

6	直接事業費計	前年度決算額	19,500　円	決算額	19,500　円

款	02	総務費	予算現額	12,633,000 円
項	07	安全安心費	決算額	12,002,486 円
目	02	交通安全対策費	前年度決算額	12,008,582 円
			対前年比	99.9 %

Ⅰ．事業の目的体系

1 事業名	交通安全啓発事業		ｺｰﾄﾞ	01	02	07	02	01	－
2 総合計画の施策体系	基本目標	3 安全・安心で、自然と共生するまち 【安全・安心、自然・生活環境】							
	基本施策	01 犯罪や交通事故等の少ない安全・安心なまちをつくる							
	施策の展開方向	② 交通安全対策の推進							

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1 誰のために（受益者）	町民
2 働きかける相手（対象）	歩行者、ドライバー、事業所、高齢者、園児、関係機関
3 どのような状態にしたいのか（意図）	交通事故の防止を図るため、地域での啓発活動により一人一人の交通安全意識を高めます。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

交通安全啓発事業
⑴ 年間事業
ア 交通指導員９名を小学校区の通学路に配置し、登下校時の交通安全指導を行い事故防止に努めました。
イ 交通安全町民運動を季節ごとに10日間の運動期間とし、町内22か所の交差点等において街頭監視活動及び町広報車による広報活動を実施しました。（協力：町議員、区・自治会、学校、事業所等）
ウ 交通事故死ゼロの日（毎月10日、20日、30日）に町広報車で交通安全啓発広報活動を実施しました。
エ ドライブレコーダーの普及促進により、町民の安全運転意識の向上並びに自動車による交通事故の抑制を図るため、「ドライブレコーダー設置促進事業」により補助金交付を行いました。（申請件数112件、補助合計費2,003,700円）
オ 自転車の交通事故による被害の軽減及び地域振興の活性を図るため、自転車を利用する児童生徒等及び高齢者が購入するヘルメットの費用について、「自転車乗車用ヘルメット着用促進事業」により補助金交付を行いました。（申請件数153件、補助合計費328,460円）
⑵ 交通安全教室
老人クラブを対象に高齢者交通安全教室を実施しました。（７月14日和合老人クラブ始め６地区老人クラブ参加者延べ145名）
⑶ キャンペーン他
ア 東郷町交通安全推進協議会理事会を開催しました。（５月18日）
イ 「飲酒運転しないでねキャンペーン」として、中部保育園、父母の会、交通指導員及び愛知警察署交通課等とパレマルシェ東郷店で啓発品を配布し、交通事故防止を呼びかけました。（７月11日）
ウ 学校教育課主催の通学路総点検に参加しました。（８月29日 東郷小学校）
エ 中部保育園、父母の会とサンフレッシュブルーム東郷店で啓発品を配布し、ハンドアップを呼びかけました。（９月25日）
オ 運転免許証自主返納支援事業として、65歳以上の自主返納者に交通安全啓発品を贈呈しました。（申請件数：21件）

5 活動指標

指標名		年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
交通安全啓発活動実施回数		令和２年度	回 131.00	回	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	街頭監視、広報活動、交通安全教室のキャンペーン回数	令和３年度	回 131.00	回	
		令和４年度	回 129.00	回	
		令和５年度	回 117.00	回	

6 成果指標

指標名		年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
人身事故発生件数		令和２年度	件 121.00	件 168.00	前年度実績
指標の説明（指標式）	各年度の発生件数	令和３年度	件 125.00	件 121.00	
		令和４年度	件 112.00	件 125.00	
		令和５年度	件 87.00	件 112.00	

7 直接事業費計	前年度決算額	12,008,582 円	決算額	12,002,486 円	

款	02	総務費	予算現額	20,728,000 円
項	07	安全安心費	決算額	18,254,944 円
目	03	防犯対策費	前年度決算額	16,051,189 円
			対前年比	113.7 %

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	防犯対策事業	ｺｰﾄﾞ	01	02	07	03	01	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	3 安全・安心で、自然と共生するまち 【安全・安心、自然・生活環境】						
		基本施策	01 犯罪や交通事故等の少ない安全・安心なまちをつくる						
		施策の展開方向	① 防犯体制の強化						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	町民
2	働きかける相手（対象）	町民、犯罪が発生しやすい場所、関係機関
3	どのような状態にしたいのか（意図）	防犯に関する啓発活動により、町民の防犯意識を高めます。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

防犯対策事業
⑴ 年間事業
ア 主に毎月15日の「防犯パトロールの日」において、各地区で防犯パトロールを実施しました。
イ 年４回（春・夏・秋・年末）実施される安全なまちづくり県民運動の期間に合わせ、防犯パトロール、のぼり旗・ポスター・チラシによる啓発活動を行いました。（協力 東郷町防犯協会各支部等）
ウ 青色回転灯パトロールカーによる巡回広報活動を実施しました。
（活動回数242回、走行距離１回当たり約49km）
エ 白土地区防犯パトロールの広報活動を愛知警察署及び地域安心課と合同で実施しました。
オ 「地域安心メール」を使い、不審者情報の提供を行いました。
カ 高齢者の特殊詐欺被害の未然防止を目的として「特殊詐欺対策電話機等購入費補助事業」を実施しました。
（申請件数12件、補助金額60,000円）
⑵ 防犯教室
園児を対象とした誘拐・連れ去り防止教室を開催しました。（協力 愛知レディース４）
⑶ キャンペーン他
ア 東郷町防犯協会役員会を実施しました。（５月18日）
イ 青色回転灯車両を活用した自主防犯パトロールの活動に関する講習会を実施しました。
（実施日 ３月19日（47名受講） 対象 青色回転灯車両所有支部 協力 愛知警察署）
ウ 東郷町交通安全総点検に参加し、通学路における交通安全と防犯の点検を行いました。（東郷小学校８月29日）
エ 東郷町防犯協会白土支部及び愛知警察署と白土コミュニティセンターにて、年末防犯のためチラシや啓発品を配布しました。（12月10日）

5 活動指標

指標名	防犯教室開催回数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	回 0.00	回	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	各地区、保育園、学校での防犯教室の開催回数	令和３年度	回 0.00	回	
		令和４年度	回 0.00	回	
		令和５年度	回 1.00	回	

6 成果指標

指標名	重点罪種犯罪発生件数（侵入盗、車上ねらい、ひったくりなど８種）	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		令和２年度	件 28.00	件 55.00	前年度実績
指標の説明（指標式）	各年１月から12月までの発生件数	令和３年度	件 38.00	件 28.00	
		令和４年度	件 47.00	件 38.00	
		令和５年度	件 56.00	件 47.00	

7	直接事業費計	前年度決算額	2,925,657 円	決算額	3,316,312 円

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	防犯施設設置管理事業	ｺｰﾄﾞ	01	02	07	03	02	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	3　安全・安心で、自然と共生するまち　【安全・安心、自然・生活環境】						
		基本施策	01　犯罪や交通事故等の少ない安全・安心なまちをつくる						
		施策の展開方向	①　防犯体制の強化						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	住民
2	働きかける相手（対象）	防犯灯、防犯カメラ、維持管理等補助者（区長・自治会長）
3	どのような状態にしたいのか（意図）	防犯灯及び防犯カメラを整備し、安全に安心して暮らすことができる地域社会を実現します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

1　防犯灯維持事業
　球切れ交換・修繕・移設件数　13件
　　内訳
　　ア　球切れ交換件数　　1件
　　イ　移設件数　　9件
　　ウ　修繕件数　　3件

2　防犯灯設置事業
　夜間における路上犯罪等を抑制するため、歩行者の通行量に応じ、道路照明等が少ない場所を優先してＬＥＤ防犯灯を新たに設置しました。
【防犯灯の現在数】

既存数（令和４年度末）	2,943基
令和５年度新設	148基
令和５年度撤去	5基
総設置数（令和５年度末）	3,086基

5 活動指標

指標名		防犯灯設置基数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
			令和２年度	基 2,725.00	基	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		【東郷町防犯灯設置要綱】設置基準については、電柱２本につき１基設置する。　通学路にあっては電柱１本につき１本設置することができる。	令和３年度	基 2,810.00	基	
			令和４年度	基 2,943.00	基	
			令和５年度	基 3,086.00	基	

6 成果指標

指標名		重点罪種犯罪発生件数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
			令和２年度	件 28.00	件 55.00	前年度実績
指標の説明（指標式）		各年１月から12月までの発生件数	令和３年度	件 38.00	件 28.00	
			令和４年度	件 47.00	件 38.00	
			令和５年度	件 56.00	件 47.00	

7	直接事業費計	前年度決算額	13,125,532　円	決算額	14,938,632　円

款	02	総務費	予算現額	46,000 円
項	07	安全安心費	決算額	43,966 円
目	04	諸費	前年度決算額	61,902 円
			対前年比	71 %

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	自衛官募集事業	ｺｰﾄﾞ	01	02	07	04	01	-
2	総合計画の施策体系	基本目標	－						
		基本施策	－						
		施策の展開方向	－						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	自衛官入隊有資格者
2	働きかける相手（対象）	自衛官入隊有資格者、自衛隊入隊予定者
3	どのような状態にしたいのか（意図）	日本の平和と独立を守る自衛隊の人材を確保します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

自衛官募集事業
自衛官の募集記事を広報紙に、年間２回掲載するとともに啓発資材を配布し、自衛官の募集に努めました。

5 活動指標

指標名	指標の説明（指標式）	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
自衛官募集記事の掲載回数		令和２年度	回 8.00	回	個別計画による目標値はありません。
		令和３年度	回 6.00	回	
		令和４年度	回 3.00	回	
		令和５年度	回 2.00	回	

6	直接事業費計	前年度決算額	61,902 円	決算額	43,966 円

款	02	総務費	予算現額	44,478,000 円
項	08	地域協働費	決算額	42,987,057 円
目	01	協働推進費	前年度決算額	52,421,865 円
			対前年比	82 %

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	地域協働一般管理事業	ｺｰﾄﾞ	01	02	08	01	02	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	2　子どもがのびのび育つまち　【子育て・教育・文化】						
		基本施策	05　多文化の人々が共生できる社会をつくる						
		施策の展開方向	－						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	町民
2	働きかける相手（対象）	町民
3	どのような状態にしたいのか（意図）	町民が安心して暮らせるよう暮らしに関する相談業務を行います。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

地域協働一般管理事業
⑴　無料法律相談を開催して土地、家屋、相続、家庭問題等に関する相談に弁護士が対応しました。
　ア　実施回数　年12回（毎月第４木曜日）
　イ　定員　　事前予約制で各回14人まで
　ウ　実績　　年間142人
⑵　愛知県事務処理特例条例に基づく、市町村権限移譲事務として実施しました。
　ア　家庭用品品質表示法（１事業者）、消費生活用製品安全法（２事業者）、電気用品安全法（１事業者）に基づく立入検査を実施しました。
　イ　計量法に基づく商品量目検査を夏季に１回、冬季に１回実施しました。
⑶　外国人通訳及び翻訳職員を毎週月曜日と金曜日に配置し、窓口業務や行政手続きなどの通訳及び翻訳を行いました。

5 活動指標

指標名	指標の説明（指標式）	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
無料法律相談回数	無料法律相談の実施回数	令和２年度	回 11.00	回	個別計画による目標値はありません。
		令和３年度	回 12.00	回	
		令和４年度	回 12.00	回	
		令和５年度	回 12.00	回	

6	直接事業費計	前年度決算額	4,050,583 円	決算額	4,188,292 円

Ⅰ．事業の目的体系

1 事業名	コミュニティ活動活性化事業	ｺｰﾄﾞ	01	02	08	01	03	－
2 総合計画の施策体系	基本目標	6 みんなでつくるまち 【参画・協働】						
	基本施策	03 地域交流を促進する						
	施策の展開方向	① コミュニティ活動の推進と活性化						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	町民
2	働きかける相手（対象）	各地区コミュニティ推進協議会、駐在員
3	どのような状態にしたいのか（意図）	地域の自主的なコミュニティ活動の推進を図るとともに、各地区に駐在員1名を配置し、行政運営の円滑な推進を図ります。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

1 コミュニティ一般事務事業

地域コミュニティの醸成のため、地区が主体性を持って実施する活動に対して、補助金を交付することにより地域振興を図りました。

(1) コミュニティ活性化事業補助金

各地区で企画し実施された事業に対し、1事業につき50,000円の補助金を交付しました。

コミュニティ活性化に資する事業　18地区　90事業

(2) コミュニティ振興事業補助金

西白土地区の備品整備事業に対し、2,500,000円の補助金を交付しました。

(3) コミュニティ保険

各地区で実施するコミュニティ活動を安心して実施できるよう、全地区のすべての町民を対象に保険に加入しました。

保険加入期間：令和５年５月１日から令和６年５月１日までの１年間

2 駐在員関係事業

(1) 町と地区とのパイプ役である駐在員を18名配置し、駐在員会議を年５回開催して情報提供を行い、行政運営の円滑な推進を図りました。

(2) 区・自治会長から各地区の道水路の修繕、草刈り等の要望等を受け、関係課等と調整を図って対応しました。

5 活動指標

		年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
指標名	コミュニティ活性化事業の補助対象事業数	令和２年度	事業 85.00	事業	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	コミュニティ活性化事業の補助対象事業実績数	令和３年度	事業 90.00	事業	
		令和４年度	事業 90.00	事業	
		令和５年度	事業 90.00	事業	

6 成果指標

		年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
指標名	区・自治会加入世帯数	令和２年度	世帯 13,032.00	世帯 13,100.00	前年度実績
指標の説明（指標式）	各区・自治会に加入している世帯数	令和３年度	世帯 12,880.00	世帯 13,032.00	
		令和４年度	世帯 12,909.00	世帯 12,880.00	
		令和５年度	世帯 12,043.00	世帯 12,909.00	

7 直接事業費計	前年度決算額	15,768,516 円	決算額		16,307,468 円

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	人権擁護委員活動事業	ｺｰﾄﾞ	01	02	08	01	04	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	6　みんなでつくるまち　【参画・協働】						
		基本施策	02　自分らしく輝ける社会づくりを進める						
		施策の展開方向	①　平和の啓発と人権の尊重						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	町民
2	働きかける相手（対象）	人権擁護委員、小中学校児童生徒、町民
3	どのような状態にしたいのか（意図）	人権に関する啓発が行われ、町民が暮らしやすい健全な生活を保てるようにするとともに、人権の大切さや重要性を人権に関する作品の創作を通じて児童・生徒に理解されるようにします。

4　評価対象年度にどのようなことを実施したのか

人権擁護活動事業
⑴　相談所を開設しました。
　ア　人権擁護委員の日　（年１回　　６月）
　イ　人権週間　　（年１回　　12月）
　ウ　人権相談　　（年10回）
⑵　啓発活動を実施しました。
　ア　全国中学生人権作文コンテスト
　　作文を町内３中学校へ募集依頼し、179点の応募がありました。
　　また、応募者に参加賞を配布しました。
　イ　人権を理解する作品コンクール
　　書道・ポスター・標語作品を町内３中学校及び町内６小学校に募集依頼し、1,477点の応募がありました。
　ウ　人権教室
　　人権への理解を深める授業の一環として、東郷小学校の４年生及び町内6小学校のきらきらこどもにおいて、人権教室を実施しました。
　エ　東郷町文化産業まつり啓発活動
　　人権特設ブースを設置し、人権クイズ・アンケートの実施、啓発資材の配布を行いました（参加者244名）。
⑶　人権擁護を目的とする名古屋人権擁護委員協議会及び愛知地区委員会に負担金を支出しました。
⑷　東郷町イメージキャラクターのトッピィが名古屋法務局長から人権広報大使に委嘱されました（令和４年９月29日から令和５年９月28日までの１年間）。

5　活動指標

指標名	指標の説明（指標式）	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
人権擁護委員の活動回数	人権擁護委員の相談業務、各種会議出席、人権教室開催等の活動回数	令和２年度	回 24.00	回	個別計画による目標値はありません。
		令和３年度	回 28.00	回	
		令和４年度	回 31.00	回	
		令和５年度	回 32.00	回	

6	直接事業費計	前年度決算額	233,533　円	決算額	264,430　円

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	消費生活対策事業	ｺｰﾄﾞ	01	02	08	01	05	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	3　安全・安心で、自然と共生するまち　【安全・安心、自然・生活環境】						
		基本施策	01　犯罪や交通事故等の少ない安全・安心なまちをつくる						
		施策の展開方向	③　消費者被害の未然防止及び相談体制の充実						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	町民
2	働きかける相手（対象）	町民、消費者団体
3	どのような状態にしたいのか（意図）	消費生活に関する啓発を進め、消費生活に関する消費者の自立、育成及び利益保護を図ります。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

消費生活対策事業
⑴　消費生活相談
　ア　日進市と共同で設置している「日進・東郷消費生活センター」の東郷相談所として、毎週火曜日（午前）、金曜日（午後）に相談窓口を開設しました（相談実績　79件/年）。
　イ　５市町（豊明市、日進市、みよし市、長久手市、東郷町）の連携協定による消費生活相談の相互受付を実施しました。
⑵　消費生活啓発パンフレット及びくらしの豆知識をイベントや窓口で配布しました。また、若者向け消費者パンフレットを成人式出席者に配布しました。
⑶　東郷消費者クラブに対し補助金を交付しました。
⑷　消費生活出前講座を開催しました。
　ア　和合老人クラブ（令和５年９月８日（金）実施）
　　講演内容：最近の悪質商法の手口について
　　参加人数：12名
　イ　傍示本老人クラブ（令和５年12月20日（水）実施）
　　講演内容：インターネット関連のトラブルについて、最近の悪質商法の手口について
　　参加人数：10名
　ウ　西白土サロン（令和５年12月22日（金）実施）
　　講演内容：最近の悪質商法の手口等について
　　参加人数：15名
　エ　白鳥老人クラブ（令和６年２月７日（水）実施）
　　講演内容：詐欺的商法撃退法について
　　参加人数：35名

5 活動指標

指標名		年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
消費生活相談実施回数		令和２年度	回 8.00	回	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	1月当たり実施回数	令和３年度	回 8.00	回	
		令和４年度	回 8.00	回	
		令和５年度	回 8.00	回	

6 成果指標

指標名		年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
消費生活出前講座参加者数		令和２年度	人 0.00	人 91.00	前年度実績
指標の説明（指標式）	出前講座参加者数（令和２年度開催なし）	令和３年度	人 224.00	人 0.00	
		令和４年度	人 87.00	人 224.00	
		令和５年度	人 72.00	人 87.00	

7	直接事業費計	前年度決算額	535,500　円	決算額	465,985　円

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	まちづくり活動支援事業	ｺｰﾄﾞ	01	02	08	01	06	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	6　みんなでつくるまち　【参画・協働】						
		基本施策	01　協働のまちづくりを進める						
		施策の展開方向	④　町民活動の支援						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	町民、ＮＰＯ、活動団体
2	働きかける相手（対象）	町民、ＮＰＯ、活動団体
3	どのような状態にしたいのか（意図）	ＮＰＯや活動団体による地域での活動の活性化を図り、地域課題の解決や町民が活躍できるまちづくりを促進します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

まちづくり活動支援事業
⑴　ＮＰＯ等団体数（令和６年３月31日現在）
　ア　町民活動センター登録団体数130団体（ＮＰＯ法人６団体含む。）
　イ　主たる事務所の所在地が東郷町にあるＮＰＯ法人数　11法人
⑵　町民活動センターの登録団体に対して次のとおり実施しました。
　　活動実態調査　74団体（129団体中57.4%）
⑶　「協働によるまちづくり提案事業（公募提案型事業）」の実施
　ア　（団体名）特定非営利活動法人ノーマCafé
　　（企画提案名）いいとこ発見まちおこしイベント「みんな集まれ！TOGO音楽族」
　イ　（団体名）10and.－てんと－
　　（企画提案名）男女共同参画推進事業「子育て中の女性が自分らしく生きるために」
　ウ　（団体名）東郷町おさがりプロジェクト
　　（企画提案名）資源回収促進事業「おさがり品と資源回収品の交換から生まれる環境に優しいまちづくり」
⑷　町職員が講師を務める「まちの出前講座」の開催（実績２件）
　ア　プラスチック資源の分別講習会　　環境課　　１件
　イ　セントラル開発について　　都市計画課　　１件

5 活動指標

指標名		町民活動センター新規登録団体数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
			令和２年度	団体 6.00	団体 5.00	毎年度５団体
指標の説明（指標式）		町民活動センターに新たに登録した団体数	令和３年度	団体 1.00	団体 5.00	
			令和４年度	団体 3.00	団体 5.00	
			令和５年度	団体 9.00	団体 5.00	

6 成果指標

指標名		協働によるまちづくり提案事業採択団体数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
			令和２年度	団体 0.00	団体 3.00	毎年度３団体
指標の説明（指標式）		協働によるまちづくり提案事業として採択した団体数（令和２年度開催なし）	令和３年度	団体 2.00	団体 3.00	
			令和４年度	団体 2.00	団体 3.00	
			令和５年度	団体 3.00	団体 3.00	

7	直接事業費計	前年度決算額	216,580　円	決算額	289,829　円

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	国際交流活動支援事業	ｺｰﾄﾞ	01	02	08	01	07	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	2　子どもがのびのび育つまち　【子育て・教育・文化】						
		基本施策	05　多文化の人々が共生できる社会をつくる						
		施策の展開方向	②　国際交流・国際理解教育の推進						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	町民、在住外国人
2	働きかける相手（対象）	町民、東郷町国際交流協会、在住外国人
3	どのような状態にしたいのか（意図）	町民、在住外国人及び外国人との交流活動により、地域における国際理解並びに国際交流を促進して、多文化共生社会を目指します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

国際交流事業
⑴　在住外国人が日常生活の中で必要な日本語を習得することを支援し、本町での生活への早期適応と地域社会における共生の促進を図るため、東郷町日本語教室に日本語教室事業を委託しました。
　町内在住外国人向けに初級の日本語教室を習熟度別の３クラス及び子ども向けの１クラスで実施しました。
　（前期15回、延べ217名参加、後期15回、延べ263名参加）
⑵　多文化共生事業
ア　広報とうごうに毎月「外国語情報コーナー」として、英語とポルトガル語の２か国語で翻訳した情報を掲載しました。
イ　日本語教室や役場の通訳などについて掲載したチラシを、生活お役立ちチラシとして町内在住外国人に郵送しました。
ウ　名古屋柳城女子大学・名古屋柳城短期大学と協働で多文化子育てサロンを全４回開催しました。
エ　多言語対応の無料アプリ「カタログポケット」に、広報とうごう、議会だより、ゴミと資源の分け方・出し方及び多文化子育てサロンの情報を掲載しました。
⑶　在住外国人への支援
　愛知県国際交流協会作成の地域で生活するために役立つ情報を集めた冊子「愛知生活便利帳」の日本語、ポルトガル語、スペイン語、英語、中国語版を、町ホームページに掲載しました。

5 活動指標

			年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
指標名		日本語教室の開催回数	令和２年度	回 30.00	回 30.00	年30回
指標の説明（指標式）		日本語教室を開催した回数	令和３年度	回 30.00	回 30.00	
			令和４年度	回 30.00	回 30.00	
			令和５年度	回 30.00	回 30.00	

6 成果指標

			年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
指標名		日本語教室の参加人数	令和２年度	人 34.00	人 126.00	（過去３年間の平均値）×1.05
指標の説明（指標式）		日本語教室に登録した外国人の人数	令和３年度	人 62.00	人 104.00	
			令和４年度	人 75.00	人 81.00	
			令和５年度	人 83.00	人 60.00	

7	直接事業費計	前年度決算額	773,000　円	決算額	812,492　円

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	男女共同参画事業	ｺｰﾄﾞ	01	02	08	01	08	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	6　みんなでつくるまち　【参画・協働】						
		基本施策	02　自分らしく輝ける社会づくりを進める						
		施策の展開方向	②　男女共同参画の推進						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	町民
2	働きかける相手（対象）	町民
3	どのような状態にしたいのか（意図）	性別に関係なく、互いにその人権を尊重しつつ責任を分かち合い、個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画社会の実現を推進します。

4　評価対象年度にどのようなことを実施したのか

男女共同参画事業
⑴　東郷町男女共同参画プラン等の推進のため、東郷町男女共同参画審議会を４回開催しました。
⑵　令和５年度東郷町男女共同参画推進事業「映画会」を実施しました。
　日　　時：令和５年10月７日（土）午後１時30分から
　場　　所：町民会館ホール
　第　１　部：講演「自分に合った暮らしをつくる」
　第　２　部：映画上映「老後の資金がありません！」
　参加人数：492名
⑶　啓発活動
　ア　役場１階ロビーで男女共同参画啓発パネルを４回展示しました。
　イ　役場玄関ロビーに設置している男女共同参画情報コーナーの関連図書を新たに18冊購入しました。
　ウ　町立図書館に設置している男女共同参画情報コーナーの関連図書を５冊購入しました。
　エ　文化産業まつりで、男女共同参画関心度調査及びパネル展示を実施しました。

5　活動指標

指標名		年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
男女共同参画推進に係る講座等の開催回数		令和２年度	回 1.00	回	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	講演会・講座及び啓発イベントの開催回数	令和３年度	回 1.00	回	
		令和４年度	回 2.00	回	
		令和５年度	回 2.00	回	

6　成果指標

指標名		年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
審議会等委員の女性比率		令和２年度	% 27.20	% 35.00	東郷町男女共同参画プランにおける目標値
指標の説明（指標式）	附属機関委員への女性の登用率	令和３年度	% 28.10	% 35.00	
		令和４年度	% 27.80	% 35.00	
		令和５年度	% 29.40	% 40.00	

7　直接事業費計	前年度決算額	2,371,057　円	決算額	708,779　円

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	自治体間交流事業	ｺｰﾄﾞ	01	02	08	01	09	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	－						
		基本施策	－						
		施策の展開方向	－						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	長野県王滝村の宿泊施設を利用する町民及び町内の事業所に勤務する人
2	働きかける相手（対象）	町民及び町内の事業所に勤務する人
3	どのような状態にしたいのか（意図）	愛知用水の水源の１つである牧尾ダムがある長野県王滝村を多くの町民に知ってもらうとともに、同村との地域間の交流を図ります。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

自治体間交流事業
(1) 王滝村宿泊施設利用助成事業を実施しました。
王滝村の宿泊施設の宿泊に要する費用の一部を助成しました。
利用実績（延べ）：120泊（106人）
(2) 王滝村宿泊施設利用助成事業のチラシを作成し、王滝村情報コーナー（役場ロビー）に設置しました。
また、広報紙及び町ホームページで宿泊助成制度のＰＲを行いました。
(3) 王滝村宿泊施設利用数の向上に資するための現状把握を目的として、利用者のアンケートを実施しました。
(4) 王滝村情報コーナー
役場ロビーにおいて、王滝村のイベント情報や王滝村宿泊施設利用助成事業のＰＲをしました。また、王滝村の特産品の展示や観光パンフレットの設置も行い、王滝村を含む木曽エリアの情報を提供しました。

5 活動指標

		年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
指標名	王滝村に関する情報提供回数	令和２年度	回 3.00	回	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	王滝村の宿泊助成事業等について情報提供した回数	令和３年度	回 3.00	回	
		令和４年度	回 3.00	回	
		令和５年度	回 3.00	回	

6 成果指標

		年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
指標名	王滝村宿泊助成利用人数	令和２年度	人 51.00	人 113.00	（過去３年間の平均値）×1.1
指標の説明（指標式）	王滝村の宿泊助成を利用した延べ人数	令和３年度	人 47.00	人 56.00	
		令和４年度	人 82.00	人 52.00	
		令和５年度	人 106.00	人 66.00	

7	直接事業費計	前年度決算額	217,887 円	決算額	244,125 円

款	03	民生費	予算現額	1,325,978,427 円
項	01	社会福祉費	決算額	1,125,553,511 円
目	01	社会福祉総務費	前年度決算額	1,015,565,449 円
			対前年比	110.8 %

Ⅰ．事務の目的体系

1 事業名	社会福祉一般管理事業	ｺｰﾄﾞ	01	03	01	01	02	－
2 総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
	基本施策	02 地域福祉を充実する						
	施策の展開方向	－						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1 誰のために（受益者）	福祉サービス対象者とその家族
2 働きかける相手（対象）	福祉サービス対象者
3 どのような状態にしたいのか（意図）	社会福祉事業を円滑に実施するため全般的な庶務業務を行うとともに、適切な福祉サービスを受けられるよう福祉関係の分かりやすい情報を多くの方が入手できるようにします。また、障がいに対する理解や社会福祉活動に関心を持つ人が増えるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

1 福祉一般事務費
生活に困窮する町民に対し、その困窮の程度に応じ、自立を促すため必要な相談・支援を行いました。
生活困窮等に関する相談件数 52件

2 障がい者福祉一般事務費
(1) 町民の福祉に関する情報を提供するため「福祉のしおり」を作成し、障がい者手帳新規交付者及び希望者に配布するとともに、ホームページに掲載しました。
(2) 障害者差別解消法に関する研修
障害者差別解消法に関する研修 1回（対象者：新規採用職員）
(3) 避難行動要支援者名簿の登録を窓口等で案内しました。
(4) 障がいのある方が切れ目のない支援を受けられることを目的に作成されたサポートブックを希望者に配布しました。
(5) 障がい者が周囲に支援を求めやすくするためにヘルプマーク及びヘルプカードの周知、頒布を行いました。

3 社会福祉大会開催費
第39回東郷町社会福祉大会を東郷町社会福祉協議会と合同で開催し、東郷町社会福祉大会福祉事業功労者表彰要綱に基づき顕彰しました。
(1) 日 時 令和５年11月５日（日）午前10時から午前11時00分まで
(2) 場 所 町民会館 ホール
(3) 顕 彰
ア 町長表彰 ４名、３団体
イ 町長感謝 11名、２団体
(4) 記念品
図書券

5 活動指標

指標名	生活困窮者に関する相談件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	件 78.00	件	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	件 53.00	件	
		令和４年度	件 50.00	件	
		令和５年度	件 52.00	件	

6 直接事業費計	前年度決算額	1,190,455 円	決算額	1,000,611 円

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	民生委員活動事業	ｺｰﾄﾞ	01	03	01	01	03	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	1　だれもが元気に暮らせるまち　【健康・医療・福祉】						
		基本施策	02　地域福祉を充実する						
		施策の展開方向	②　地域福祉推進体制の充実						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	町民
2	働きかける相手（対象）	民生委員・児童委員
3	どのような状態にしたいのか（意図）	民生委員・児童委員が地域住民の身近な相談相手となり、必要な支援を行えるようにします。また、福祉サービスに関する情報が提供され、対象者がサービスを利用できるようにします。

4　評価対象年度にどのようなことを実施したのか

民生委員活動事業
⑴　民生委員・児童委員の主な活動
　民生委員・児童委員は、子育てに関すること、高齢者に関すること、健康・医療に関すること等を始め、町民と行政のパイプ役や調整役を務めるなど地域に根ざした活動に取り組みました。
　また、ひとり暮らし高齢者等の見守りや声掛けなどの支援を行いました。
ア　民生委員・児童委員　47人
イ　内、主任児童委員　　３人
⑵　民生委員児童委員協議会の主な活動
ア　毎月の定例会による情報交換
イ　ネットワーク会議の開催
　（関係課の説明、ゲートキーパー養成講座）
ウ　保育園・児童館・小中学校の行事への参加
エ　社会を明るくする運動等への参加
オ　敬老訪問　９月11日（月）～22日（金）
カ　文化産業まつり福祉ブースの出展
⑶　東郷町民生委員児童委員協議会の主な部会活動
ア　生活福祉部会（勉強会開催）
イ　高齢者福祉部会（勉強会開催）
ウ　児童福祉部会（勉強会開催、施設見学）
エ　障がい者福祉部会（勉強会開催）
オ　全体
　民生委員児童委員の日活動強化週間の実施
　県外研修（人と防災未来センター、舞鶴引揚記念館）35人
　町社会福祉大会（東郷町民会館）６人
　ワイワイ交流会（いこまい館）28人
　じどうかんこどもまつり（いこまい館）34人
　町社会福祉協議会主催「ひとり暮らし高齢者支援事業（なばなの里）」協力　34人

5　活動指標

指標名	民生委員活動延べ日数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	日 4,322.00	日	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	日 4,571.00	日	
		令和４年度	日 5,428.00	日	
		令和５年度	日 5,070.00	日	

6	直接事業費計	前年度決算額	4,296,322　円	決算額	4,570,834　円

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	更生保護事業	ｺｰﾄﾞ	01	03	01	01	04	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	1　だれもが元気に暮らせるまち　【健康・医療・福祉】						
		基本施策	02　地域福祉を充実する						
		施策の展開方向	②　地域福祉推進体制の充実						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	町民、罪を犯した人
2	働きかける相手（対象）	町民、保護司会、更生保護女性会、小中学校児童生徒、事業所
3	どのような状態にしたいのか（意図）	犯罪や非行の防止、また、罪を犯した人の更生（再犯防止や社会復帰など）についての町民の理解を深め、犯罪のない明るい社会を築きます。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

1　更生保護事業
⑴　町更生保護女性会及び愛知保護区保護司会東郷部会に補助金を交付しました。
⑵　愛知保護区保護司会に負担金を交付しました。

2　社会を明るくする運動事業
７月を「社会を明るくする運動」の強調月間とし、推進委員会を中心に各種活動を実施しました。
⑴　広報紙への掲載、のぼり・黄色いハンカチの設置、ポスターの掲示、紙人形劇披露等による広報活動
⑵　啓発資材の配布
（場　所）
町内の保育園・こども園・幼稚園、小中学校及び高等学校、金融機関、コンビニ、パチンコ店、町施設等106か所
⑶　記念講演会への参加（令和５年７月６日（木）日進市民会館大ホール）
⑷　ミニ集会の開催
ア　日　時　令和５年９月28日（木）午前10時から正午まで
イ　場　所　イーストプラザいこまい館　多目的室A
ウ　講　師　はんだ郷土史研究会　西　まさる氏　演題：１万５千人もの弱者を救った事実
エ　参加者　100名（自治会、少年補導委員、民生委員児童委員、保護司、更生保護女性会、ＰＴＡ等）
⑸　社会を明るくする運動に関する作文の募集
ア　対象校　高嶺小学校、諸輪小学校、諸輪中学校
イ　応募数　32件

5 活動指標

指標名	啓発活動数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	箇所 103.00	箇所	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	啓発資材配布や街頭活動等の啓発活動を実施した箇所数	令和３年度	箇所 107.00	箇所	
		令和４年度	箇所 106.00	箇所	
		令和５年度	箇所 106.00	箇所	

6 成果指標

指標名	ミニ集会の参加者数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		令和２年度	人 0.00	人 124.00	前年度実績
指標の説明（指標式）		令和３年度	人 73.00	人 0.00	
		令和４年度	人 113.00	人 73.00	
		令和５年度	人 100.00	人 113.00	

7	直接事業費計	前年度決算額	940,237　円	決算額	864,892　円

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	社会福祉協議会補助事業	ｺｰﾄﾞ	01	03	01	01	05	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	1　だれもが元気に暮らせるまち　【健康・医療・福祉】						
		基本施策	02　地域福祉を充実する						
		施策の展開方向	②　地域福祉推進体制の充実						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	福祉サービスの受給者
2	働きかける相手（対象）	社会福祉協議会
3	どのような状態にしたいのか（意図）	地域を主体とする福祉活動の中心的な担い手である社会福祉協議会の安定的な事業運営を確保し、町民福祉の増進のため積極的な福祉活動が展開されるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

社会福祉協議会補助事業
　社会福祉法人として活動するための理事会、監査、評議員会等の開催、経理、職員の福利厚生等の基盤整備を行う法人運営への補助を行いました。
(1)　普通会員　　5,511 口
(2)　賛助会員　　22 口
(3)　法人会員　　261 口
(4)　その他の会員　248 口
　　会員計　　6,042 口

5 活動指標

指標名	社会福祉協議会（法人運営事業）の決算額に占める補助金の割合	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	% 79.00	%	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	運営費補助金÷法人運営事業費	令和３年度	% 74.44	%	
		令和４年度	% 78.51	%	
		令和５年度	% 75.15	%	

6 成果指標

指標名	社会福祉協議会会員率（普通会員）	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		令和２年度	% 34.00	% 37.00	過去３年間の平均値
指標の説明（指標式）	普通会員口数÷年度末総世帯数	令和３年度	% 33.40	% 35.22	
		令和４年度	% 31.22	% 34.04	
		令和５年度	% 29.60	% 35.42	

7	直接事業費計	前年度決算額	35,870,000　円	決算額	38,560,000　円

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	平和祈念事業	ｺｰﾄﾞ	01	03	01	01	06	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	6　みんなでつくるまち　【参画・協働】						
		基本施策	02　自分らしく輝ける社会づくりを進める						
		施策の展開方向	①　平和の啓発と人権の尊重						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	戦没者遺族、一般参列者
2	働きかける相手（対象）	戦没者遺族、町遺族会、町民
3	どのような状態にしたいのか（意図）	先の大戦において亡くなられた方々を追悼するとともに、平和意識の高揚が図られ、平和がいつまでも続くようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

1　平和祈念事業
　先の大戦において亡くなられた方々を追悼し、平和がいつまでも続くことを願い、東郷町遺族会と共催で平和祈念事業を実施しました。
⑴　平和祈念式（式典及び映画上映）
　ア　開催日　令和５年８月26日（土）午前９時30分から午後０時15分まで
　イ　場　所　町民会館ホール
　ウ　参加者　式典：一般参列者（遺族を含む）36人、来賓・関係者30人
　　映画上映（アニメ映画ージョバンニの島）：60人
⑵　戦争に関する資料展示（遺族会から借用）
　ア　開催日　令和５年８月26日（土）午前９時00分から午後３時00分まで
　イ　場　所　町民会館ホワイエ
　ウ　内　容　戦争と平和に関する遺品資料の展示
⑶　戦争に関する資料展（広島平和記念資料館から借用）
　ア　開催日　令和５年８月28日から９月７日まで
　イ　場　所　役場ロビー
　ウ　内　容　戦争に関するパネルや平和を祈る絵はがき受賞作品等
⑷「平和」を祈る絵はがきコンテスト2023
　ア　募　集　令和５年７月１日から８月21日まで　応募総数88点
　イ　対　象　町民
　ウ　賞　　最優秀賞１点、優秀賞６点、審査委員特別賞１点

2　社会福祉団体育成事業
　町遺族会に補助金を交付しました。

5 活動指標

指標名		年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
平和祈念事業の数		令和２年度	事業 2.00	事業	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	平和意識の高揚を諮る平和祈念事業の数	令和３年度	事業 2.00	事業	
		令和４年度	事業 3.00	事業	
		令和５年度	事業 4.00	事業	

6 成果指標

指標名		年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
平和祈念事業参加者のうち一般参加者数		令和２年度	人 0.00	人 197.00	過去３年間の平均値
指標の説明（指標式）	来賓、関係者以外の平和祈念式参加者及び作品応募者数	令和３年度	人 0.00	人 122.67	
		令和４年度	人 210.00	人 58.00	
		令和５年度	人 184.00	人 125.89	

7	直接事業費計	前年度決算額	379,602　円	決算額	691,396　円

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	成年後見制度利用支援事業	ｺｰﾄﾞ	01	03	01	01	07	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	1　だれもが元気に暮らせるまち　【健康・医療・福祉】						
		基本施策	02　地域福祉を充実する						
		施策の展開方向	③　包括的な支援体制の整備						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	ひとり暮らし等で判断能力の不十分な知的障がい者及び精神障がい者
2	働きかける相手（対象）	知的障がい者及び精神障がい者、尾張東部権利擁護支援センター、家庭裁判所
3	どのような状態にしたいのか（意図）	成年後見人を選任し、本人の支援及び権利の擁護ができるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

成年後見制度利用支援事業
⑴　尾張東部権利擁護支援センター（瀬戸市、尾張旭市、豊明市、日進市、長久手市及び東郷町の５市１町で設置）に、成年後見に関する業務を委託しました。
　ア　尾張東部権利擁護支援センター運営協議会開催回数　　２回
　イ　尾張東部権利擁護支援センター適正運営委員会開催回数　６回
⑵　成年後見制度に関する相談事業を尾張東部権利擁護支援センターで実施し、町民からの相談に対応しました。
　ア　相談人数　　33人（延べ相談件数　472件）
　イ　相談者の種別　認知症19人、高齢者３人、障がい者10人、その他１人
⑶　専門職による個人受任が困難な場合に尾張東部権利擁護支援センターが後見人等になり、後見実務を行いました。
　法人受任人数５人（高齢者２人、精神障がい者３人）
⑷　親族等による申立てができない人に対して行う、町長による成年後見審判申立ては０件でした。
⑸　尾張東部権利擁護支援センターにおいて、市民後見人を養成しました。
　市民後見人バンク登録者数（構成市町全体）　55人
⑹　成年後見制度に関する研修事業
　成年後見制度勉強会を尾張東部圏域の住民及び専門職に対して行いました。
　ア　住民向け研修会　　８回
　イ　専門職向け研修会　３回
⑺　周知啓発事業
　成年後見制度、尾張東部権利擁護支援センターの周知を図るため、住民の方を対象に講演会を開催しました。
　ア　開 催 日　令和５年６月９日（金）
　イ　場　　所　日進市民会館
　ウ　参加人数　115人

5 活動指標

指標名	成年後見制度相談件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	件 632.00	件	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	尾張東部成年後見センターが受け付けた東郷町の相談件数	令和３年度	件 811.00	件	
		令和４年度	件 602.00	件	
		令和５年度	件 472.00	件	

6 成果指標

指標名	法人受任件数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		令和２年度	件 5.00	件 5.00	前年度の実績値
指標の説明（指標式）	尾張東部権利擁護支援センターが受任した東郷町の件数（前年度からの継続を含む。）	令和３年度	件 6.00	件 5.00	
		令和４年度	件 7.00	件 6.00	
		令和５年度	件 5.00	件 7.00	

7 直接事業費計	前年度決算額	2,558,345　円	決算額	2,672,983　円

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	障がい者扶助事業	ｺｰﾄﾞ	01	03	01	01	08	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	1　だれもが元気に暮らせるまち　【健康・医療・福祉】						
		基本施策	03　障がいのある方がいきいきと暮らせる						
		施策の展開方向	①　障がい者（児）福祉サービスの充実						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	身体障がい・知的障がい・精神障がいの各手帳所持者及びその家族
2	働きかける相手（対象）	各障がい者手帳所持者
3	どのような状態にしたいのか（意図）	各障がい者手帳所持者が日常生活を営む上での経済的負担が軽減されるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

障がい者扶助料支給事業
　障がい者手帳所持者に扶助料を支給しました。（年２回：９月及び３月）
　⑴　支給実績
　　ア　９月期支給：身体674人、知的260人、精神442人　　計　1,376人
　　イ　３月期支給：身体662人、知的269人、精神443人　　計　1,374人
　⑵　障がい者手帳交付状況（令和６年３月31日現在）
　　ア　身体障害者手帳 1,065人（対前年度比0.7%減）
　　（ｱ）１級　316人
　　（ｲ）２級　147人
　　（ｳ）３級　227人
　　（ｴ）４級　245人
　　（ｵ）５級　 79人
　　（ｶ）６級　 51人
　　イ　療育手帳 317人（対前年度比5.0%増）
　　（ｱ）Ａ判定 113人
　　（ｲ）Ｂ判定　73人
　　（ｳ）Ｃ判定 131人
　　ウ　精神障害者保健福祉手帳 531人（対前年度比7.5%増）
　　（ｱ）１級　 63人
　　（ｲ）２級　335人
　　（ｳ）３級　133人

5 活動指標

指標名		年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
手当受給資格者数		令和２年度	人 1,319.00	人	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	３月期の障がい者扶助料支給人数	令和３年度	人 1,347.00	人	
		令和４年度	人 1,367.00	人	
		令和５年度	人 1,374.00	人	

6 成果指標

指標名		年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
手当受給率		令和２年度	% 100.00	% 100.00	手当受給有資格者全員に手当を支給することを目標としました。
指標の説明（指標式）	手当受給者÷手当受給有資格者×100（%）	令和３年度	% 100.00	% 100.00	
		令和４年度	% 100.00	% 100.00	
		令和５年度	% 100.00	% 100.00	

7	直接事業費計	前年度決算額	49,722,000　円	決算額	50,420,000　円

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	障がい者（児）支援サービス事業	ｺｰﾄﾞ	01	03	01	01	09	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	1　だれもが元気に暮らせるまち　【健康・医療・福祉】						
		基本施策	03　障がいのある方がいきいきと暮らせる						
		施策の展開方向	①　障がい者（児）福祉サービスの充実						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	在宅生活を送る身体障がい児者、知的障がい児者、精神障がい児者及び家族
2	働きかける相手（対象）	在宅生活を送る身体障がい児者、知的障がい児者、精神障がい児者及び家族、社会福祉団体
3	どのような状態にしたいのか（意図）	日常生活を営むことに支障のある障がい者等の外出が促進されるようにするとともに、在宅における経済負担を軽減し、安心して生活できるようにします。また、障がい者の加入する社会福祉団体の活動が活発に行われるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

障がい者（児）支援サービス事業

⑴ 障がい者タクシー料金助成事業
在宅で生活する身体障がい者（１級～３級）、知的障がい者（Ａ判定・Ｂ判定）及び精神障がい者（１級・２級）に対し、タクシー利用券（１枚当たり200円、年間90枚まで）を交付しました。
年間利用枚数　25,595枚

⑵ 社会福祉団体育成事業
町身体障害者福祉協議会、町知的障害児・者連絡協議会、町精神障がい者連絡協議会及び障がい者団体連絡会に補助金を交付しました。

⑶ 家庭介護支援事業
在宅の重度の身体障がい者（下肢又は体幹機能障がい１級・２級）及び知的障がい者（Ａ判定）に対し、介護用品（主におむつ）の購入費の助成をしました。
延べ利用人数　288人

⑷ 障がい者共同生活援助費
共同生活援助を実施する事業所の経営の安定化及び参入促進を図るため補助金を交付しました。
補助金交付事業所：３事業所

5 活動指標

指標名		年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
タクシー利用券交付人数		令和２年度	人 464.00	人	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	人 511.00	人	
		令和４年度	人 544.00	人	
		令和５年度	人 553.00	人	

6 成果指標

指標名		年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
タクシー助成利用率		令和２年度	% 45.29	% 47.15	前年度実績
指標の説明（指標式）	年間利用枚数÷年間交付枚数	令和３年度	% 49.19	% 45.29	
		令和４年度	% 51.45	% 49.19	
		令和５年度	% 51.43	% 51.45	

7	直接事業費計	前年度決算額	7,192,931　円	決算額	7,443,021　円

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	障がい者（児）交流事業	ｺｰﾄﾞ	01	03	01	01	10	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	1　だれもが元気に暮らせるまち　【健康・医療・福祉】						
		基本施策	03　障がいのある方がいきいきと暮らせる						
		施策の展開方向	③　障がいのある方の社会参加の推進						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	交流事業に参加した障がい者・児及びその家族
2	働きかける相手（対象）	障がい者・児とその家族、ボランティア、健常者
3	どのような状態にしたいのか（意図）	日頃の行動範囲に制限を受けてしまう障がい者等に外出の機会の提供及び健康の維持増進を図るとともに、障がい者と健常者が交流することにより互いに理解し、助け合える関係づくりを構築します。

4　評価対象年度にどのようなことを実施したのか

1　障がい者スポーツ、レクリエーション事業

障がい者・児とその家族、一般参加者、障がい福祉サービス事業所及びボランティア等が交流できるよう、障がい者レクリエーション交流会「ワイワイ交流会2023」を開催しました。また、生涯学習課主催のイベント「ＴＯＧＯ春のららスポーツまつり」に障がい者・児が参加しやすいように町内の障害福祉サービス事業所に周知をしました。

(1)　ワイワイ交流会
　ア　実施日　令和５年10月14日（土）　　イ　参加人数　36人　　ウ　実施場所　いこまい館多目的室等

(2)　ＴＯＧＯ春のららスポーツまつり
　ア　実施日　令和６年３月17日（日）　　イ　参加人数　12人　　ウ　実施場所　東郷小ウォーキングコース

2　障がい者芸術促進事業

障がい者の芸術文化活動を振興し、障がい者・児の社会参加を促進するため、障がい者・児を対象とした出張絵画教室を、町内の障害福祉サービス等事業所にて開催しました。制作された絵画については、文化産業まつりおよび役場ロビーにて展示を行いました。

(1)　出張絵画教室
　ア　実施日　　令和５年10月７日（土）、10月11日（水）、11月３日（金）
　イ　参加人数　　合計20名
　ウ　実施場所　　生活介護事業所２か所、放課後等デイサービス事業所１か所

(2)　絵画展示
　ア　文化産業まつり　令和５年11月12日（日）
　イ　LivR TOGO　　令和５年12月１日（金）から12月14日（木）まで
　ウ　役場ロビー　　令和５年12月18日（月）から12月28日（木）まで

5　活動指標

指標名	スポーツ・レクリエーション事業及び芸術促進事業の参加者（児）数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	人 0.00	人	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	参加障がい者（児）数	令和３年度	人 28.00	人	
		令和４年度	人 19.00	人	
		令和５年度	人 68.00	人	

6　成果指標

指標名	参加満足度	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		令和２年度	% 0.00	% 98.00	前年度実績
指標の説明（指標式）	参加者に実施したアンケートで「大満足」「満足」と回答した参加者の割合	令和３年度	% 100.00	% 0.00	
		令和４年度	% 100.00	% 100.00	
		令和５年度	% 100.00	% 100.00	

7	直接事業費計	前年度決算額	53,084　円	決算額	49,266　円

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	障がい者自立支援給付費事業	ｺｰﾄﾞ	01	03	01	01	11	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	1　だれもが元気に暮らせるまち　【健康・医療・福祉】						
		基本施策	03　障がいのある方がいきいきと暮らせる						
		施策の展開方向	①　障がい者（児）福祉サービスの充実						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者、障がい児
2	働きかける相手（対象）	身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者、障がい児及びその保護者
3	どのような状態にしたいのか（意図）	障害者総合支援法に基づく介護給付費等を適正に給付することにより、障がいのある人が必要とするサービスを提供し、地域で安心して暮らすことのできる社会環境となるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

障がい者自立支援給付事業

(1) 介護給付費（延べ）

ア　居宅介護	5,227時間	オ　福祉型短期入所	787日
イ　行動援護	45時間	カ　療養介護	36人
ウ　同行援護	502時間	キ　施設入所支援	153人
エ　生活介護	15,094日		

(2) 訓練等給付費（延べ）

ア　自立訓練	628日	エ　就労定着支援	88日
イ　就労移行支援	2,254日	オ　共同生活援助	471人
ウ　就労継続支援	23,325日	カ　宿泊型自立訓練	92日

(3) 計画相談支援

支給決定を受けた障がいのある人が対象となるサービスを適切に利用できるよう、心身の状況やその他の事情等を勘案し、サービス等利用計画を作成しました。支給決定後は、利用状況の検証を行いました。

計画相談支援　716件

(4) 地域定着支援

入所施設や精神科病院等から退所や退院した人に緊急時の相談や支援を行いました。

地域定着支援　５件

(5) 補装具給付費

各種補装具の給付・修理を決定しました。

義肢２件、装具７件、座位保持装置２件、視覚障がい者安全つえ１件、補聴器11件、車いす10件（合計33件）

5 活動指標

指標名	介護給付費利用実人数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	人 231.00	人	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	介護給付費を利用した障がいのある人の毎月の実人数の平均値（各年度３月～翌年２月)をサービスごとに算出し、合計としました。	令和３年度	人 275.16	人	
		令和４年度	人 367.66	人	
		令和５年度	人 135.12	人	

6 成果指標

指標名	障がい福祉計画における障害福祉サービス等見込量の実施率	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		令和２年度	% 108.00	% 100.00	見込量を目標としました。
指標の説明（指標式）	障がい福祉計画に計上した障害福祉サービス等見込量の実施率（実績値の合計÷見込量の合計）	令和３年度	% 98.86	% 100.00	
		令和４年度	% 102.48	% 100.00	
		令和５年度	% 90.33	% 100.00	

7	直接事業費計	前年度決算額	553,467,865　円	決算額	597,474,684　円

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	福祉サービス支給決定等事業	ｺｰﾄﾞ	01	03	01	01	12	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	1　だれもが元気に暮らせるまち　【健康・医療・福祉】						
		基本施策	03　障がいのある方がいきいきと暮らせる						
		施策の展開方向	①　障がい者（児）福祉サービスの充実						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者
2	働きかける相手（対象）	介護給付を受けようとする障がい者及びその家族、主治医、認定審査会委員
3	どのような状態にしたいのか（意図）	介護給付の必要性を表す障がい支援区分を認定し、障がい者が介護給付の必要度に応じて適切なサービスが利用できるようにします。

4　評価対象年度にどのようなことを実施したのか

1　審査会運営事業
　障がい支援区分を認定するため、５人の委員による障害支援区分等認定審査会を開催し、審査を実施しました。
(1)　審査会開催回数　10回
(2)　審査件数　　61件（新規19件、更新42件）
(3)　区分別内訳
　区分１　　３人
　区分２　　13人
　区分３　　17人
　区分４　　12人
　区分５　　７人
　区分６　　９人
　　計61件

2　障がい支援区分認定調査事業
　障がい支援区分の認定のため、調査員（福祉課保健師）が障がい者の家庭等を訪問し、心身の状況に関する106項目のアセスメントを実施し、障がい支援区分の一次判定を行いました。また、審査に必要となる医師意見書の作成を医療機関に依頼しました。

5　活動指標

指標名	指標の説明（指標式）	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
障がい者支援区分等認定審査会審査件数		令和２年度	件 58.00	件	個別計画による目標値はありません。
		令和３年度	件 66.00	件	
		令和４年度	件 57.00	件	
		令和５年度	件 61.00	件	

6	直接事業費計	前年度決算額	1,300,097　円	決算額	1,331,057　円

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	地域生活支援事業	ｺｰﾄﾞ	01	03	01	01	13	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	1　だれもが元気に暮らせるまち　【健康・医療・福祉】						
		基本施策	03　障がいのある方がいきいきと暮らせる						
		施策の展開方向	①　障がい者（児）福祉サービスの充実						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者、障がい児、発達障がい児者
2	働きかける相手（対象）	身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者、障がい児、発達障がい児者及びその保護者
3	どのような状態にしたいのか（意図）	障害者総合支援法に基づく地域生活支援事業の支給を適正に行うことにより、障がいのある人が必要とするサービスを提供し、地域で安心して暮らすことのできる社会環境となるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

地域生活支援事業

⑴ 日常生活用具給付事業

対象者の身体の状況、介護の状況、住宅環境等を調査し、用具給付等の決定を行いました。699件の申請を受付け、次の用具を給付しました。

住宅改修３件、ストーマ装具621件、紙おむつ等60件、入浴補助用具２件、電気式たん吸引器４件、視覚障がい者ポータブルレコーダー２件、移動用リフト、T字状・棒状つえ、頭部保護帽、電磁調理器、視覚障がい者用読書器、人工咽頭、ネブライザー（吸引器）各１件

⑵ 相談支援事業

障がい者に係る個別の困難事例の対応を検討する個別支援会議に出席しました。（参加回数４回）

⑶ コミュニケーション支援事業

聴覚、言語機能、音声機能その他の障がいのため、意思疎通に支障のある障がい者に手話通訳者を派遣しました。養成講座については、新型コロナウイルス感染症の影響により、入門編のみ開催しました。

ア　手話通訳者派遣　派遣回数 延べ34回、派遣時間 延べ54.5時間

イ　手話奉仕員養成講座（基礎）　５人受講修了

ウ　手話通訳者配置　週２回（月曜日午前・木曜日午後）

⑷ 移動支援事業（延べ）　1,754時間

⑸ 地域活動支援事業（延べ）

ア　地域活動支援センター　361日　　ウ　訪問入浴サービス　202回

イ　日中一時支援　2,530日

⑹ 自立支援協議会

地域における支援体制の課題等について関係機関等が情報を共有し、連携の緊密化を図るために自立支援協議会を開催しました。

ア　全体会議　４回

イ　専門部会　９回（くらし部会４回、就労部会４回、こども部会１回）

5 活動指標

指標名	地域生活支援事業（受給者証発行分)利用実人数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	人 37.00	人	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	移動支援事業、日中一時支援事業、地域活動支援センター事業及び訪問入浴サービス事業のサービスを利用した毎月の実人数の平均値（各年度３月～翌年２月）	令和３年度	人 40.50	人	
		令和４年度	人 50.67	人	
		令和５年度	人 58.05	人	

6 成果指標

指標名	障がい福祉計画における地域生活支援事業見込量の実施率	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		令和２年度	% 27.00	% 100.00	見込量を目標としました。
指標の説明（指標式）	障がい福祉計画に計上した地域生活支援事業（受給者証発行分）の実施率（実績数値の合計÷見込量の合計）	令和３年度	% 49.44	% 100.00	
		令和４年度	% 64.68	% 100.00	
		令和５年度	% 43.65	% 100.00	

7	直接事業費計	前年度決算額	43,342,396　円	決算額	46,344,509　円

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	障がい者相談支援事業	ｺｰﾄﾞ	01	03	01	01	14	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	1　だれもが元気に暮らせるまち　【健康・医療・福祉】						
		基本施策	03　障がいのある方がいきいきと暮らせる						
		施策の展開方向	①　障がい者（児）福祉サービスの充実						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者、障がい児
2	働きかける相手（対象）	身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者、障がい児及びその保護者
3	どのような状態にしたいのか（意図）	障がいのある人及びその家族などからの相談に応じ、必要な情報提供等や権利擁護のために必要な援助を行うことで、障がいのある人が安心して暮らせる体制をつくります。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

障がい者相談支援事業
　障がい者相談支援センター「ローゼル」（身体障がい・知的障がい）及び精神障がい者地域活動支援センター「柏葉」（精神障がい）に委託し、福祉サービスの利用や就労、日常生活に関する相談業務等を実施しました。
⑴　障がい者相談支援センター「ローゼル」
　ア　相談件数　1,259件
　イ　相談方法　訪問110件、来所109件、電話967件、メール73件
⑵　精神障がい者地域活動支援センター「柏葉」
　ア　相談件数　1,620件
　イ　相談方法　訪問242件、来所381件、電話997件

5 活動指標

指標名	指標の説明（指標式）	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
町内における相談支援事業所数		令和２年度	箇所 2.00	箇所	個別計画による目標値はありません。
		令和３年度	箇所 2.00	箇所	
		令和４年度	箇所 2.00	箇所	
		令和５年度	箇所 2.00	箇所	

6 成果指標

指標名	指標の説明（指標式）	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
相談支援事業所における相談件数	相談支援事業所で実施した1年間の相談件数	令和２年度	件 2,389.00	件 3,765.00	前年度実績
		令和３年度	件 2,957.00	件 2,389.00	
		令和４年度	件 2,886.00	件 2,957.00	
		令和５年度	件 2,879.00	件 2,886.00	

7	直接事業費計	前年度決算額	16,904,000　円	決算額	31,635,784　円

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	障がい者計画策定事業	ｺｰﾄﾞ	01	03	01	01	15	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	1　だれもが元気に暮らせるまち　【健康・医療・福祉】						
		基本施策	03　障がいのある方がいきいきと暮らせる						
		施策の展開方向	①　障がい者（児）福祉サービスの充実						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	町民
2	働きかける相手（対象）	町民
3	どのような状態にしたいのか（意図）	障害者総合支援法に基づく「障がい者計画」を策定し、地域共生社会の実現に向けて障がい者施策の充実を図ります。

4　評価対象年度にどのようなことを実施したのか

障がい者計画策定事業
「第５次障がい者計画・第６期障がい福祉計画・第２期障がい児福祉計画」を一体化した「東郷町障がい福祉ビジョン2021」の中間評価及び第７期障がい福祉計画・第３期障がい児福祉計画の策定をしました。
(1)　策定委員会の開催（自立支援協議会を策定委員会として実施）
ア　第１回東郷町自立支援協議会（令和５年８月４日）
・アンケートの調査結果報告及びヒアリング結果報告
・スケジュールについて
イ　第２回東郷町自立支援協議会（令和５年10月30日）
・第５次障がい者計画の中間評価について
ウ　第３回東郷町自立支援協議会（令和５年12月15日）
・第７期障がい者福祉計画及び第３期障がい児福祉計画（案）について
エ　第４回東郷町自立支援協議会（令和６年２月21日）
・東郷町障がい者福祉ビジョン2021（案）について

5　活動指標

指標名	策定委員会の開催回数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	回 4.00	回	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	回 1.00	回	
		令和４年度	回 2.00	回	
		令和５年度	回 4.00	回	

6	直接事業費計	前年度決算額	5,879　円	決算額	172,996　円

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	物価高騰対策事業	ｺｰﾄﾞ	01	03	01	01	19	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	3　安全・安心で、自然と共生するまち　【安全・安心、自然・生活環境】						
		基本施策	02　災害に強いまちをつくる						
		施策の展開方向	⑤　感染症対策						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	町民
2	働きかける相手（対象）	支給対象者
3	どのような状態にしたいのか（意図）	電力・ガスを含むエネルギー・食料品価格等の物価高騰による負担を軽減します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

1　電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金（３万円）
⑴　支給対象者
　基準日時点（令和５年６月１日）において、町の住民基本台帳に記録されている者であって、世帯全員が令和５年度分の市町村民税均等割が課されていない世帯の世帯主。
⑵　給付額　　１世帯につき３万円
⑶　受付件数　　2,657件
⑷　処理件数　　2,657件
　ア　支給件数　2,652件
　イ　辞退件数　２件
　ウ　却下件数　３件

2　電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金（７万円）
⑴　支給対象者
　基準日時点（令和５年12月１日）において、町の住民基本台帳に記録されている者であって、世帯全員が令和５年度分の市町村民税均等割が課されていない世帯の世帯主。
⑵　給付額　　１世帯につき７万円
⑶　受付件数　　2,860件
⑷　処理件数　　2,860件
　ア　支給件数　2,849件
　イ　辞退件数　10件
　ウ　却下件数　１件

5 活動指標

指標名	処理件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	件	件	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	件	件	
		令和４年度	件	件	
		令和５年度	件 5,517.00	件	

6	直接事業費計	前年度決算額	円	決算額	284,686,748　円

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	物価高騰対応事業	ｺｰﾄﾞ	01	03	01	01	20	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	3　安全・安心で、自然と共生するまち　【安全・安心、自然・生活環境】						
		基本施策	02　災害に強いまちをつくる						
		施策の展開方向	⑤　感染症対策						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	町民
2	働きかける相手（対象）	支給対象者
3	どのような状態にしたいのか（意図）	電力・ガスを含むエネルギー・食料品価格等の物価高騰による負担を軽減します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

1　物価高騰対応重点支援給付金（10万円）
(1)　支給対象者
　基準日時点（令和５年12月１日）において、町の住民基本台帳に記録されている者であって、次のいずれにも該当する世帯の世帯主。
　ア　世帯全員が令和５年度分の市町村民税所得割が課されていない世帯。
　イ　電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金の支給対象でない世帯。
(2)　受付件数　　55件
(3)　支給件数　　55件

2　物価高騰対応重点支援給付金（こども加算）（５万円）
(1)　支給対象者
　電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金又は物価高騰対応重点支援給付金を受給する世帯のうち、18歳以下の子どもがいる世帯の世帯主。
(2)　給付額　　こども１人につき５万円
(3)　受付件数　　８件
(4)　支給件数　　８件

5 活動指標

指標名	処理件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	件	件	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	件	件	
		令和４年度	件	件	
		令和５年度	件 63.00	件	

6 直接事業費計	前年度決算額	円	決算額	6,222,738　円

款	03	民生費	予算現額	310,608,000 円
項	01	社会福祉費	決算額	310,385,308 円
目	02	国民健康保険費	前年度決算額	314,241,757 円
			対前年比	98.8 %

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	国民健康保険特別会計繰出金事業	ｺｰﾄﾞ	01	03	01	02	02	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
		基本施策	01 健康づくりを推進する						
		施策の展開方向	④ 医療体制の充実						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	国民健康保険被保険者
2	働きかける相手（対象）	国民健康保険特別会計
3	どのような状態にしたいのか（意図）	国民健康保険特別会計の健全な財政運営を確保し、国民健康保健事業を円滑に運営します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

国民健康保険特別会計繰出金事業
一般会計から国民健康保険特別会計へ259,249,677円を繰り出しました。
(1) 制度に基づく法定繰出金
ア 保険基盤安定繰出金（保険料軽減分） 95,668,326円
イ 保険基盤安定繰出金（保険者支援分） 56,909,398円
ウ 未就学児保険料軽減分 1,782,567円
エ 産前産後保険税繰入金 98,386円
オ 職員給与費等 14,721,000円
カ 出産育児一時金 5,600,000円
キ 財政安定化支援金 9,841,000円
(2) 法定外繰出金
その他一般会計繰入金 74,629,000円

5 活動指標	指標名	国民健康保険特別会計繰出金	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
			令和２年度	円 281,321,696.00	円	個別計画による目標値はありません。
	指標の説明（指標式）		令和３年度	円 238,739,785.00	円	
			令和４年度	円 264,940,753.00	円	
			令和５年度	円 259,249,677.00	円	

6	直接事業費計	前年度決算額	264,940,753 円	決算額	259,249,677 円

款	03	民生費	予算現額	1,177,026,000 円
項	01	社会福祉費	決算額	1,155,739,538 円
目	03	福祉医療費	前年度決算額	1,048,376,718 円
			対前年比	110.2 %

Ⅰ．事務の目的体系

1 事業名	福祉医療一般管理事業	ｺｰﾄﾞ	01	03	01	03	02	－
2 総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
	基本施策	01 健康づくりを推進する						
	施策の展開方向	④ 医療体制の充実						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	福祉医療費受給者
2	働きかける相手（対象）	職員、臨時職員、国民健康保険団体連合会等
3	どのような状態にしたいのか（意図）	福祉医療事務等を確実に処理するとともに、福祉医療費の適正化を図ります。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

1 福祉医療一般管理事業
医療機関から提出されたレセプト（診療報酬明細書）を点検し、医療費請求の適正化を図りました。

2 福祉医療費支払等事務事業
子ども、障がい者、精神障がい者、母子・父子等の診療に係る医療費審査支払委託料及び医療機関事務費支払手数料等を支出しました。

5 活動指標

指標名	福祉医療費審査委託件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	件 158,497.00	件	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	件 170,063.00	件	
		令和４年度	件 174,613.00	件	
		令和５年度	件 200,586.00	件	

6 直接事業費計	前年度決算額	17,106,408 円	決算額	17,750,976 円

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	子ども及び学生医療費事業	ｺｰﾄﾞ	01	03	01	03	03	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	1　だれもが元気に暮らせるまち　【健康・医療・福祉】						
		基本施策	01　健康づくりを推進する						
		施策の展開方向	④　医療体制の充実						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	子ども及び学生医療の受給者
2	働きかける相手（対象）	医療機関及び国民健康保険団体連合会
3	どのような状態にしたいのか（意図）	子どもの健全な育成を支援するとともに、子ども世帯における医療費の負担を軽減し、安心して医療を受けられるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

子ども及び学生医療費事業

(1) 子ども医療費

0歳から18歳の年度末までの子どもに対して受給者証を交付し、医療機関での保険診療に係る自己負担額を助成しました。（令和５年４月から社会人、婚姻者含む）

(2) 学生医療費

19歳になる年度の４月１日から24歳になる年度の３月31日までの学生に対し、医療機関での入院に係る保険診療分の自己負担額を償還払い（領収書による払い戻し）で助成しました。（令和５年４月診療分から実施）

5 活動指標

指標名	子ども医療年間平均受給者数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	人 8,150.00	人	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	各月末の受給者数の総数／12月	令和３年度	人 8,020.00	人	
		令和４年度	人 7,889.00	人	
		令和５年度	人 7,732.00	人	

6 成果指標

指標名	子ども１人当たりの医療費	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		令和２年度	円/人 34,313.00	円/人 39,009.00	前年度実績値
指標の説明（指標式）	年間医療費／年間平均受給者数	令和３年度	円/人 38,499.00	円/人 34,313.00	
		令和４年度	円/人 39,082.00	円/人 38,499.00	
		令和５年度	円/人 46,403.00	円/人 39,082.00	

7	直接事業費計	前年度決算額	308,315,550　円	決算額	360,431,077　円

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	障がい者医療費事業	ｺｰﾄﾞ	01	03	01	03	04	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	1　だれもが元気に暮らせるまち　【健康・医療・福祉】						
		基本施策	01　健康づくりを推進する						
		施策の展開方向	④　医療体制の充実						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	障がい者医療の受給者
2	働きかける相手（対象）	医療機関及び国民健康保険団体連合会
3	どのような状態にしたいのか（意図）	心身障がい者の経済的な負担を軽減し、安心して医療を受けられるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

障がい者医療費事業
⑴　障がい者医療費（精神障がい者及び後期高齢者医療制度加入者を除く）
　下記に該当する方に対して受給者証を交付し、医療機関での保険診療に係る自己負担額を助成しました。
　ア　身体障害者手帳１～３級の人（65歳未満）
　イ　４級の腎臓機能障がいの人
　ウ　４～６級の進行性筋萎縮症の人
　エ　療育手帳Ａ・Ｂ判定の人（Ａ判定のみ65歳未満）
　オ　自閉症状群と診断された人
⑵　精神障がい者医療費（後期高齢者医療制度加入者を除く）
　ア　自立支援医療（精神通院）制度の受給者に対して受給者証（精神通院のみ）を交付し、精神疾患通院分の保険診療に係る自己負担額を助成しました。
　イ　自立支援医療（精神通院）制度の受給者等に対し、精神疾患入院分の保険診療に係る自己負担額の２分の１を助成しました。
　ウ　精神障害者保健福祉手帳（65歳未満）の１・２級の人に対して受給者証（全疾病）交付し、医療機関での保険診療に係る自己負担額を助成しました。（平成26年８月から助成対象者拡大）

5 活動指標

指標名	年間平均受給者数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	人 1,108.00	人	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	各月末の受給者数の総数／12月	令和３年度	人 1,103.00	人	
		令和４年度	人 1,131.00	人	
		令和５年度	人 1,226.00	人	

6 成果指標

指標名	１人当たり医療費	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		令和２年度	円/人 93,386.00	円/人 95,279.00	前年度実績値
指標の説明（指標式）	年間医療費／年間平均受給者数	令和３年度	円/人 95,813.00	円/人 93,386.00	
		令和４年度	円/人 96,187.00	円/人 95,813.00	
		令和５年度	円/人 93,108.00	円/人 96,187.00	

7	直接事業費計	前年度決算額	108,787,833　円	決算額	114,150,631　円

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	母子・父子家庭医療費事業	ｺｰﾄﾞ	01	03	01	03	05	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	1　だれもが元気に暮らせるまち　【健康・医療・福祉】						
		基本施策	01　健康づくりを推進する						
		施策の展開方向	④　医療体制の充実						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	母子・父子家庭医療の受給者
2	働きかける相手（対象）	医療機関及び国民健康保険団体連合会
3	どのような状態にしたいのか（意図）	母子・父子家庭の経済的な負担を軽減し、安心して医療を受けられるようにします。

4　評価対象年度にどのようなことを実施したのか

母子・父子家庭医療費事業
　母子・父子家庭の18歳の年度末までの児童及びその保護者等となる父母に対して受給者証を交付し、医療機関での保険診療に係る自己負担額を助成しました。
　また、1年ごとに資格確認を行い、受給者証を更新しました。

5　活動指標

指標名	年間平均受給者数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	人 504.00	人	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	各月末の受給者数の総数／12月	令和３年度	人 513.00	人	
		令和４年度	人 524.00	人	
		令和５年度	人 528.00	人	

6　成果指標

指標名	1人当たり医療費	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		令和２年度	円/人 47,432.00	円/人 49,153.00	前年度実績値
指標の説明（指標式）	年間医療費／年間平均受給者数	令和３年度	円/人 48,839.00	円/人 47,432.00	
		令和４年度	円/人 46,590.00	円/人 48,839.00	
		令和５年度	円/人 57,469.00	円/人 46,590.00	

7　直接事業費計	前年度決算額	24,413,356　円	決算額	30,343,441　円

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	後期高齢者福祉医療費給付事業	ｺｰﾄﾞ	01	03	01	03	06	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	1　だれもが元気に暮らせるまち　【健康・医療・福祉】						
		基本施策	01　健康づくりを推進する						
		施策の展開方向	④　医療体制の充実						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	後期高齢者福祉医療の受給者
2	働きかける相手（対象）	医療機関及び国民健康保険団体連合会
3	どのような状態にしたいのか（意図）	受給対象者の経済的な負担を軽減し、安心して医療を受けられるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

後期高齢者福祉医療費給付事業
　後期高齢者医療保険に加入する下記の要件に該当する方に対して、受給者証を交付し、医療機関での保険診療に係る自己負担額を助成しました。
⑴　障がい者医療該当者
⑵　準母子・父子家庭の祖父母
⑶　精神保健福祉法第29条の措置入院患者
⑷　結核予防法第29条の命令入所者
⑸　寝たきり高齢者及び認知症高齢者（要介護度４又は５）で町民税非課税世帯の人
⑹　精神障がい者医療該当者

5 活動指標

指標名	年間平均受給者数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	人 585.00	人	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	各月末の受給者数の総数／12月	令和３年度	人 594.00	人	
		令和４年度	人 597.00	人	
		令和５年度	人 601.00	人	

6 成果指標

指標名	1人当たり医療費	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		令和２年度	円/人 100,523.00	円/人 102,862.00	前年度実績値
指標の説明（指標式）	年間医療費／年間平均受給者数	令和３年度	円/人 101,407.00	円/人 100,523.00	
		令和４年度	円/人 98,409.00	円/人 101,407.00	
		令和５年度	円/人 101,634.00	円/人 98,409.00	

7	直接事業費計	前年度決算額	58,750,158　円	決算額	61,081,754　円

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	自立支援医療費事業	ｺｰﾄﾞ	01	03	01	03	07	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	1　だれもが元気に暮らせるまち　【健康・医療・福祉】						
		基本施策	01　健康づくりを推進する						
		施策の展開方向	④　医療体制の充実						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	更生医療受給者、育成医療受給者
2	働きかける相手（対象）	医療機関、国民健康保険団体連合会、社会保険診療報酬支払基金
3	どのような状態にしたいのか（意図）	身体障がい者の身体機能の回復を図るために必要となる医療費の負担を軽減し、安心して医療を受けられるようにします。

4　評価対象年度にどのようなことを実施したのか

1　更生医療扶助事業
身体障がい者の身体機能の回復を図るために必要となる治療のための保険診療に係る自己負担額を助成しました。
なお、対象者は、視覚、聴覚、言語、心臓、腎臓、小腸、免疫障がい及び肢体不自由の方です。

2　育成医療費扶助事業
満18歳に満たない障がい児で、その身体障がいを除去、軽減する手術等の治療によって確実に効果が期待できる方に対してその保険診療に係る自己負担額を助成しました。

5　活動指標

指標名	更生医療扶助料受給者数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	人 133.00	人	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	人 126.00	人	
		令和４年度	人 130.00	人	
		令和５年度	人 120.00	人	

6	直接事業費計	前年度決算額	19,352,286　円	決算額	21,611,758　円

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	後期高齢者医療特別会計負担金事業	ｺｰﾄﾞ	01	03	01	03	08	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	1　だれもが元気に暮らせるまち　【健康・医療・福祉】						
		基本施策	01　健康づくりを推進する						
		施策の展開方向	④　医療体制の充実						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	後期高齢者医療被保険者
2	働きかける相手（対象）	愛知県後期高齢者医療広域連合・後期高齢者医療特別会計
3	どのような状態にしたいのか（意図）	愛知県後期高齢者医療広域連合と後期高齢者医療特別会計の健全な財政運営を確保し、後期高齢者医療関連事業を円滑に運営できるようにします。

4　評価対象年度にどのようなことを実施したのか

後期高齢者医療特別会計負担金事業
⑴　後期高齢者医療制度に係る負担金を一般会計から保険者である愛知県後期高齢者医療広域連合に支出しました。
　ア　後期高齢者療養給付費負担金（現年度分）　399,083,000円
　イ　後期高齢者療養給付費負担金（過年度分）　0円
　ウ　後期高齢者医療広域連合事務費負担金　11,849,730円
⑵　後期高齢者医療制度に係る費用を一般会計から後期高齢者医療特別会計へ繰り出しました。
　ア　後期高齢者医療事務費繰出金　4,354,543円
　イ　後期高齢者医療保険基盤安定繰出金　87,605,816円

5　活動指標

指標名	後期高齢者医療特別会計繰出金額（事務費）	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	円 4,194,459.00	円	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	円 3,747,475.00	円	
		令和４年度	円 3,832,009.00	円	
		令和５年度	円 4,354,543.00	円	

6	直接事業費計	前年度決算額	467,296,057　円	決算額	502,893,089　円

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	未熟児養育医療費事業	ｺｰﾄﾞ	01	03	01	03	09	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	1　だれもが元気に暮らせるまち　【健康・医療・福祉】						
		基本施策	01　健康づくりを推進する						
		施策の展開方向	④　医療体制の充実						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	未熟児養育医療受給者
2	働きかける相手（対象）	医療機関、国民健康保険団体連合会、社会保険診療報酬支払基金
3	どのような状態にしたいのか（意図）	出生時の体重が2,000ｇ以下の未熟児に対して医療費等を助成し、経済的負担の軽減を図ります。

4　評価対象年度にどのようなことを実施したのか

未熟児養育医療費事業
　出生時の体重が2,000ｇ以下の未熟児に対して、入院に係る保険診療の自己負担額を助成しました。

5　活動指標

指標名	未熟児養育医療扶助料受給者	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	人 17.00	人	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	権限移譲による平成25年度からの新規事業	令和３年度	人 11.00	人	
		令和４年度	人 10.00	人	
		令和５年度	人 13.00	人	

6	直接事業費計	前年度決算額	2,510,051　円	決算額	3,471,185　円

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	後期高齢者長寿健診等事業	ｺｰﾄﾞ	01	03	01	03	10	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	1　だれもが元気に暮らせるまち　【健康・医療・福祉】						
		基本施策	01　健康づくりを推進する						
		施策の展開方向	①　疾病予防・健康増進の推進						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	後期高齢者医療被保険者
2	働きかける相手（対象）	後期高齢者医療被保険者
3	どのような状態にしたいのか（意図）	生活習慣病またはフレイルを早期に発見することにより、適切な医療につなげて疾病予防、重症化予防及び健康寿命の延伸を図り、将来的な医療費抑制を図ります。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

後期高齢者長寿健診等事業

後期高齢者医療制度に加入している被保険者に対して、個別健診による長寿健診及び健康状態の把握を行いました。

(1) 長寿健診
町内14医療機関において令和５年５月１日～11月30日の期間で実施しました。
長寿健診対象者数　5,556人　受診者　2,506人　受診率　45.1%

(2) 未受診者に対する受診勧奨
令和５年８月の時点で、長寿健診の未受診者に対し、受診勧奨ハガキを作成し送付しました。送付者　4,395人

(3) 高齢者の健康状態の把握
名古屋大学との共同事業として「東郷いきいき度チェック」を実施しました。参加者　492人
通いの場においてのフレイルチェックを実施しました。　実施者304人（22箇所）

(4) オーラルフレイル予防教室
口腔機能低下が疑われる高齢者に対し、歯科医師、歯科衛生士、音楽療法士、健康運動指導士を講師とした教室を開催し、講話、口腔評価、嚥下体操、口腔ケア指導等を行いました。参加者　30人

(5) 生活習慣病重症化予防栄養指導
長寿健診結果から低栄養（BMI20以下かつ前年度の結果より体重３kg以上の低下あり）や腎機能低下（eGFR)の所見のある75～84歳の人へ栄養指導を実施しました。実施者　68人

(6) 東郷町と名古屋大学共同事業講演会～フレイル予防のコツを知ろう！～
平成28年度から東郷町・名古屋大学共同事業「いきいき度チェック」を行っており、日常生活が自立した高齢者の筋肉量や筋力の減少を主症状とするサルコペニア有症者数やフレイル有症者数を把握し、これらの関連する要因の抽出を行い、有効な介入方法を研究している。平成29年度、令和元年度に続き、町民向けに講演会を開催した。
講師　①名古屋大学教授及び助教授　②中北薬品株式会社　管理栄養士
講演内容　研究結果の報告とフレイル予防
参加者　210人

5 活動指標

指標名	長寿健診受診者数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	人 2,200.00	人	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	人 2,317.00	人	
		令和４年度	人 2,447.00	人	
		令和５年度	人 2,506.00	人	

6	直接事業費計	前年度決算額	24,947,745　円	決算額	25,405,554　円

款	03	民生費	予算現額	36,059,000 円
項	01	社会福祉費	決算額	32,540,855 円
目	04	老人福祉費	前年度決算額	28,994,569 円
			対前年比	112.2 %

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	老人福祉一般管理事業	ｺｰﾄﾞ	01	03	01	04	02	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
		基本施策	04 高齢者がいきいきと暮らせる						
		施策の展開方向	－						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	高齢者
2	働きかける相手（対象）	高齢者
3	どのような状態にしたいのか（意図）	高齢者が健康で生きがいを持って生活できるようにするとともに、老人福祉事務が円滑かつ効率的に実施できるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

老人福祉一般管理事業
⑴ 諸輪・白土地区のゲートボール場及び駐車場用地を借地しました。
ア 諸輪ゲートボール場 1,337㎡
イ 白土ゲートボール場 1,061㎡
ウ 白土ゲートボール場駐車場 426㎡
⑵ 避難行動要支援者の登録及び救急安心カードの配布を行いました（令和６年３月末現在）。
ア 避難行動要支援者登録世帯 1,459世帯 1,968人
イ 救急安心カード配布者 211人

5 活動指標

指標名	高齢者人口	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	人 9,906.00	人	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	65歳以上の高齢者人口（各年度末）	令和３年度	人 9,961.00	人	
		令和４年度	人 9,976.00	人	
		令和５年度	人 10,027.00	人	

6 成果指標

指標名	避難行動要支援者世帯登録率	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		令和２年度	% 48.74	% 49.72	前年度実績値
指標の説明（指標式）	避難行動要支援者登録世帯数÷75歳以上ひとり暮らし高齢者世帯及び75歳以上を含む高齢者（65歳以上）のみ世帯数	令和３年度	% 49.86	% 48.74	
		令和４年度	% 47.32	% 49.86	
		令和５年度	% 49.72	% 47.32	

7	直接事業費計	前年度決算額	4,627,491 円	決算額	7,655,724 円

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	老人福祉施設入所事業	ｺｰﾄﾞ	01	03	01	04	03	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	1　だれもが元気に暮らせるまち　【健康・医療・福祉】						
		基本施策	04　高齢者がいきいきと暮らせる						
		施策の展開方向	③　介護を受けながら安心して暮らせる体制の充実						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	家庭環境や経済的理由により居宅での生活が困難な高齢者及びその家族
2	働きかける相手（対象）	家庭環境や経済的理由により居宅での生活が困難な高齢者及びその家族
3	どのような状態にしたいのか（意図）	老人福祉法に基づく入所措置を適正に行い、家庭環境や経済的理由により居宅での生活が困難になっても、高齢者が安心して生活を送ることができるようにします。

4　評価対象年度にどのようなことを実施したのか

老人福祉施設入所事業
⑴　入所判定事業
　　入所判定委員会の開催はありませんでした。
⑵　老人福祉施設入所措置事業
　　入所措置はありませんでした。

5　活動指標

指標名	指標の説明（指標式）	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
養護老人ホーム措置者数（実人数）	養護老人ホーム入所者数	令和２年度	人 1.00	人	個別計画による目標値はありません。
		令和３年度	人 1.00	人	
		令和４年度	人 0.00	人	
		令和５年度	人 0.00	人	

6	直接事業費計	前年度決算額	0　円	決算額	0　円

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	高齢者在宅支援サービス事業	ｺｰﾄﾞ	01	03	01	04	04	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	1　だれもが元気に暮らせるまち　【健康・医療・福祉】						
		基本施策	04　高齢者がいきいきと暮らせる						
		施策の展開方向	③　介護を受けながら安心して暮らせる体制の充実						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	高齢者及びその家族
2	働きかける相手（対象）	高齢者及びその家族
3	どのような状態にしたいのか（意図）	在宅支援サービスを提供することで、住み慣れた居宅で安心して生活が送れるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

1　緊急通報システム関係事業
　急病や事故等の緊急時に、尾三消防本部と利用者が直接連絡ができる緊急通報装置を申請者宅に設置しました。
⑴　年度末設置済台数（新規設置台数）　　97台（0台）
⑵　緊急通報システムによる救急隊出動件数　14件（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

2　高齢者タクシー料金助成事業
　ひとり暮らし高齢者及び高齢者のみ世帯の75歳以上の高齢者のうち、非課税世帯で自家用車などの交通手段のない方の通院や買い物などの外出を支援するため、タクシー利用券（年1冊（60枚綴）、1枚当たり200円、1回当たりの利用制限なし）を交付しました。
年間交付冊数（年間利用枚数）　289冊（11,606枚）

3　理髪サービス事業
　心身の障がいや傷病等の理由により、一般的な理髪が困難である高齢者や障がい者に対して、店舗又は居宅で理髪サービスを受けられる理髪券を年3回（5月、8月、11月）交付しました。
利用者数（延べ利用者数）　　19人（29人）

4　高齢者等ヘルパー派遣事業
⑴　シルバーハウジング入居者への生活援助
　シルバーハウジングにヘルパー有資格者を派遣し、入居者の安否確認や軽易な日常生活の援助を行いました。
　利用者数（延べ派遣時間）　　1人（150時間）
⑵　車いす利用者への外出支援
　ヘルパー有資格者が乗務する福祉車両により、外出が困難な車いす利用者の通院等を支援しました。
　利用者数（延べ利用者数）　　2人（19回）

5　介護用品購入費助成事業
　在宅生活でおむつを常時必要としている要介護1～5の方に、介護用品の購入費を一部助成しました。
⑴　助成額
　介護負担割合　1割4,500円/月　2割4,000円/月　3割3,500円/月
⑵　助成対象者数（申請者数）　308人
⑶　延べ利用者数　2,411人

5 活動指標

指標名	指標の説明（指標式）	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
タクシー利用券交付冊数	タクシー利用券交付冊数	令和2年度	冊 220.00	冊 190.00	東郷町高齢者福祉計画による実施目標数値
		令和3年度	冊 252.00	冊 240.00	
		令和4年度	冊 267.00	冊 250.00	
		令和5年度	冊 289.00	冊 260.00	

6 成果指標

指標名	指標の説明（指標式）	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
タクシー利用券利用率	年間利用枚数÷年間交付枚数	令和2年度	% 70.64	% 73.95	前年度実績値
		令和3年度	% 70.67	% 70.64	
		令和4年度	% 73.66	% 70.67	
		令和5年度	% 66.93	% 73.66	

7	直接事業費計	前年度決算額	14,552,003　円	決算額	14,514,118　円

款	03	民生費	予算現額	44,051,174 円
項	01	社会福祉費	決算額	44,051,174 円
目	05	高齢者生きがい活動拠点施設管理費	前年度決算額	4,576,926 円
			対前年比	962.5 %

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	高齢者生きがい活動拠点施設管理事業	ｺｰﾄﾞ	01	03	01	05	02	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
		基本施策	04 高齢者がいきいきと暮らせる						
		施策の展開方向	① 高齢者の社会参加と介護予防の推進						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	シニアハウスを利用する高齢者
2	働きかける相手（対象）	シニアハウスの施設・整備
3	どのような状態にしたいのか（意図）	施設の機能を適正に維持管理することで、利用者が快適に利用できるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

高齢者生きがい活動拠点施設管理事業
⑴ 老人クラブの活動場所となるシニアハウスの施設管理を行いました。
ア 利用者数
569人
イ その他
(ｱ) シニアハウス消耗品購入
(ｲ) シニアハウス老人クラブ活動業務委託 通年
(ｳ) 通信カラオケ装置賃貸借業務 1台
⑵ 新しい老人クラブ活動拠点として旧和合保育園を整備しました。

5 活動指標

指標名	指標の説明（指標式）	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
シニアハウス利用者数	シニアハウスの年間利用者数（老人クラブ）	令和２年度	人 60.00	人	個別計画による目標値はありません。
		令和３年度	人 120.00	人	
		令和４年度	人 210.00	人	
		令和５年度	人 569.00	人	

6	直接事業費計	前年度決算額	2,617,938 円	決算額	44,051,174 円

款	03	民生費	予算現額	5,780,000 円
項	01	社会福祉費	決算額	5,690,078 円
目	06	国民年金費	前年度決算額	6,346,685 円
			対前年比	89.7 %

Ⅰ．事務の目的体系

1 事業名	国民年金事業	ｺｰﾄﾞ	01	03	01	06	02	－
2 総合計画の施策体系	基本目標	Ⅰ だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
	基本施策	02 地域福祉を充実する						
	施策の展開方向	－						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1 誰のために（受益者）	20歳到達者や資格の異動者等
2 働きかける相手（対象）	第１号被保険者（町内に住所を有する農業、自営業、学生などで20歳から60歳未満の人）
3 どのような状態にしたいのか（意図）	国民年金法及び国民年金市町村事務処理基準に基づく国民年金事務を適正に遂行し、将来の年金生活の向上が図られるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

国民年金事業
国民年金市町村事務処理基準に基づく国民年金に関する事務を行い、日本年金機構へ進達しました。
⑴ 資格の取得等各種届出の受理
⑵ 転入、転出者の調査
⑶ 保険料免除、学生納付特例申請、産前産後期間の保険料免除申請の受理
⑷ 裁定請求その他給付に係る申請等の受理
⑸ 20歳前障がい年金受給者の所得状況調査及び現況届の受付
⑹ 年金に関する各種相談
⑺ 年金生活者支援給付金に係る事務

5 活動指標

指標名	指標の説明（指標式）	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
第１号被保険者数（年度末）		令和２年度	人 4,344.00	人	個別計画による目標値はありません。
		令和３年度	人 4,299.00	人	
		令和４年度	人 4,245.00	人	
		令和５年度	人 4,169.00	人	

6 直接事業費計	前年度決算額	2,200,616 円	決算額	1,410,597 円

款	03	民生費	予算現額	8,968,826 円
項	01	社会福祉費	決算額	8,201,389 円
目	07	しあわせのまち推進費	前年度決算額	7,829,277 円
			対前年比	104.8 %

Ⅰ．事業の目的体系

1 事業名	高齢者生きがい対策事業	ｺｰﾄﾞ	01	03	01	07	01	－
2 総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
	基本施策	04 高齢者がいきいきと暮らせる						
	施策の展開方向	① 高齢者の社会参加と介護予防の推進						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	高齢者及び老人クラブ会員
2	働きかける相手（対象）	高齢者及び老人クラブ会員
3	どのような状態にしたいのか（意図）	いつまでも生きがいをもって生活が送れるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

1 敬老訪問事業
(1) 敬老訪問
町内の満88歳（166人）・99歳（12人）、最高齢（1人）の方を対象に長年社会に貢献されたことに対し感謝の意を表し、その長寿をお祝いしました（年1回9月、総数179人）。
(2) 長寿番付表の作成
番付表に掲載されることを励みとしていただくため、93歳以上の高齢者98人の長寿番付表を作成しました。
2 老人クラブ運営費補助事業
(1) 老人クラブ助成事業
地区老人クラブごとに60歳以上の会員数に応じて補助金を交付しました。
交付金額 3,419,200円（60,000円×単位クラブ数＋60歳以上会員数×800円）
(2) 花壇管理事業
各地区の花壇管理面積に応じて補助金を交付しました。
交付金額 1,084,800円（花壇面積1㎡当たり1,550円以内）
3 老人クラブスポーツ事業
気軽に参加できる老人クラブ対抗のスポーツ大会を老人クラブ連合会と年3回開催し、心身の健康保持及び会員相互の親睦を図りました。（参加者数 ゲートボール48人、グラウンドゴルフ219人、輪投げ134人）
4 高齢者福祉大会開催事業
(1) 高齢者福祉大会
老人クラブ連合会、社会福祉協議会と、老人クラブに貢献した方の表彰とアトラクションを行いました。
(2) 金婚式祝賀会
結婚50年を迎えたご夫婦をお祝いし、記念品を贈呈しました（参加 9組）。
5 後期高齢者保健事業
(1) 栄養パトロール事業 健康不明層（令和3年及び4年度医療・健診未受診かつ介護給付なし）に健康アンケートを送付し、実態把握と合わせて訪問を行いました。また、ハイリスク者へは継続訪問等の支援を行いました。
対象者97人 アンケート回収74人（問題なし52人、ハイリスク者22人）
(2) 理学療法士による体操教室 転倒リスクの者に対して教室を開催しました。全24回、延参加者408人

5 活動指標

指標名		年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
老人クラブ会員数		令和2年度	人 2,513.00	人	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	東郷町各単位老人クラブ会員数の合計	令和3年度	人 2,442.00	人	
		令和4年度	人 2,367.00	人	
		令和5年度	人 2,324.00	人	

6 成果指標

指標名		年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
老人クラブ加入率		令和2年度	% 21.34	% 22.35	前年度実績値
指標の説明（指標式）	老人クラブ会員数÷60歳以上人口×100	令和3年度	% 20.41	% 21.34	
		令和4年度	% 19.69	% 20.41	
		令和5年度	% 19.14	% 19.69	

7 直接事業費計	前年度決算額	7,829,277 円	決算額	8,201,389 円	

款	03	民生費	予算現額	464,256,573 円
項	01	社会福祉費	決算額	463,842,839 円
目	08	介護保険事業費	前年度決算額	449,267,258 円
			対前年比	103.2 %

Ⅰ．事務の目的体系

1 事業名	介護保険特別対策事業	ｺｰﾄﾞ	01	03	01	08	02	－
2 総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
	基本施策	04 高齢者がいきいきと暮らせる						
	施策の展開方向	③ 介護を受けながら安心して暮らせる体制の充実						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	要介護（要支援）者
2	働きかける相手（対象）	サービス事業者
3	どのような状態にしたいのか（意図）	要介護（要支援）者の経済的な負担を軽減するとともに、安全かつ安心して介護サービスを利用できるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

介護保険特別対策事業
　社会福祉法人が行う介護保険サービスの利用者のうち、低所得等の要件に当てはまる方に対して社会福祉法人が利用料の４分の１を負担しているため、その負担額に対して補助金を支出しました。
(1) 軽減確認証発行者数　　10人
(2) 補助対象者及び施設　　10人（愛厚ホーム東郷苑、日進ホーム）

5 活動指標

指標名	社会福祉法人等利用者負担軽減の補助対象者数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	人 9.00	人	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	人 10.00	人	
		令和４年度	人 12.00	人	
		令和５年度	人 10.00	人	

6 直接事業費計	前年度決算額	100,565 円	決算額	141,841 円

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	介護保険特別会計繰出金事業	ｺｰﾄﾞ	01	03	01	08	03	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	1　だれもが元気に暮らせるまち　【健康・医療・福祉】						
		基本施策	04　高齢者がいきいきと暮らせる						
		施策の展開方向	③　介護を受けながら安心して暮らせる体制の充実						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	介護保険の被保険者
2	働きかける相手（対象）	介護保険特別会計
3	どのような状態にしたいのか（意図）	介護保険特別会計の財源を確保し、介護保険事業を円滑に運営できるようにします。

4　評価対象年度にどのようなことを実施したのか

介護保険特別会計繰出金事業
　介護給付費及び地域支援事業費に対する12.5%相当分と事務費及び低所得者保険料軽減に対する費用を一般会計から繰り出しました。

(1)	介護給付費繰出金	309,705,000円
(2)	地域支援事業繰出金	31,859,000円
(3)	事務費等繰出金	37,486,000円
(4)	低所得者保険料軽減分操出金	29,675,500円
	合　計	408,725,500円

5　活動指標

指標名	繰出金額	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	円 379,407,000.00	円	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	円 385,479,617.00	円	
		令和４年度	円 393,094,425.00	円	
		令和５年度	円 408,725,500.00	円	

6	直接事業費計	前年度決算額	393,094,425　円	決算額	408,725,500　円	

款	03	民生費	予算現額	875,697,330 円
項	02	児童福祉費	決算額	819,184,775 円
目	01	児童福祉総務費	前年度決算額	788,626,790 円
			対前年比	103.9 %

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	児童委員活動事業	ｺｰﾄﾞ	01	03	02	01	02	-
2	総合計画の施策体系	基本目標	2 子どもがのびのび育つまち 【子育て・教育・文化】						
		基本施策	01 子育てしやすい環境をつくる						
		施策の展開方向	① 子育て支援の充実						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	児童、児童の保護者、妊婦
2	働きかける相手（対象）	児童委員、児童、児童の保護者、妊婦
3	どのような状態にしたいのか（意図）	児童委員が子どもたちを見守り、子育ての不安や妊娠中の心配ごとなどの相談・支援等を行うことにより、地域の子どもたちが元気に安心して暮らせるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

児童委員活動事業
　生活が不安定な家庭の見守りや虐待が懸念される家庭の情報提供を依頼するとともに、要保護児童対策地域協議会委員に委嘱し、意見を伺いました。
　活動支援の一助として、民生委員児童委員協議会に対し、活動費補助金を交付しました。
⑴ 児童委員数
　47人（うち、主任児童委員３人）
⑵ 活動状況
　ア 相談・支援件数

子育て・母子保健	５件
子どもの地域生活	28件
子どもの教育・学校生活	33件
その他子どもに関すること	８件
合計	74件

　イ その他の活動件数
　　要保護児童の発見の通告・仲介　９件

5 活動指標

指標名	児童委員の活動件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	件 10.00	件	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	福祉行政報告例に基づく社会福祉統計	令和３年度	件 10.00	件	
		令和４年度	件 30.00	件	
		令和５年度	件 83.00	件	

6	直接事業費計	前年度決算額	970,000 円	決算額	930,000 円

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	母子父子・遺児福祉支援事業	ｺｰﾄﾞ	01	03	02	01	03	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	2　子どもがのびのび育つまち　【子育て・教育・文化】						
		基本施策	01　子育てしやすい環境をつくる						
		施策の展開方向	①　子育て支援の充実						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	母子・父子家庭
2	働きかける相手（対象）	母子・父子家庭及び町民
3	どのような状態にしたいのか（意図）	母子・父子家庭となった児童が心身ともに健やかに成長するように、家庭における経済的負担・精神的負担が軽減されるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

母子父子・遺児福祉支援事業
⑴　遺児手当の支給
　母子・父子家庭の支援要件該当者（延べ児童数6,285人）に、遺児１人当たり月額2,000円の手当を支給しました。
⑵　相談業務
　母子・父子家庭等の自立に向けた相談業務（母子家庭等自立・就業支援相談）を12回実施しました。（月１回）

5 活動指標

指標名		年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
遺児手当支給延べ児童数		令和２年度	人 5,696.00	人	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	人 6,002.00	人	
		令和４年度	人 6,191.00	人	
		令和５年度	人 6,285.00	人	

6 成果指標

指標名		年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
母子・父子自立支援員相談日数		令和２年度	日 12.00	日 12.00	前年度実績
指標の説明（指標式）		令和３年度	日 12.00	日 12.00	
		令和４年度	日 12.00	日 12.00	
		令和５年度	日 12.00	日 12.00	

7	直接事業費計	前年度決算額	12,420,590　円	決算額	12,611,367　円

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	こどもまつり開催事業	ｺｰﾄﾞ	01	03	02	01	04	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	2　子どもがのびのび育つまち　【子育て・教育・文化】						
		基本施策	01　子育てしやすい環境をつくる						
		施策の展開方向	①　子育て支援の充実						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	町内の子どもと保護者及び子どもの育成者
2	働きかける相手（対象）	町内の子どもと保護者及び子どもの育成者
3	どのような状態にしたいのか（意図）	子どもが異年齢で楽しく遊べ、大人にあっては互いに子育てを支え合い、子どもが健やかに生まれ育つ社会を築くとともに、多くの子育て関係者の情報交換が促進されるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

こどもまつり開催事業
　４年ぶりの通常開催となる第20回じどうかんこどもまつりを開催しました。
⑴　運営　児童館で募集した子どもスタッフが主体となって企画・運営しました。
⑵　開催日時　令和５年10月22日（日）午後１時から午後４時まで
⑶　会場　イーストプラザいこまい館
⑷　内容
　各種のブースを出展したほか、記念すべき20回目の開催を祝い、20にちなんだチャレンジゲームを実施しました。
　また、スペシャルゲストに、音貝小学校及び兵庫小学校の外国語指導助手の先生を迎え、オープニングで、司会の子どもたちと英語による掛け合いを組み入れたり、先生が会場のブースを回り、子どもたちと触れ合っていただくことで、まつりを通して、子どもたちが楽しく英語に触れる機会を創出しました。
　出展ブース
・町内６児童館（北部、西部、中部、東部、南部及び兵庫）
・更生保護女性会（クイズスタンプラリー）
・民生委員児童委員協議会（紙コップけん玉）
・産業振興課（オーガニックビレッジTOGO）
・環境課及び地域安心課（遊んで学ぼうエコゲーム）
・絵本の箱（読み聞かせ）

5 活動指標

指標名	子どもスタッフの人数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	人 0.00	人	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	人 31.00	人	
		令和４年度	人 40.00	人	
		令和５年度	人 41.00	人	

6 成果指標

指標名	こどもまつりの来場者数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		令和２年度	人 0.00	人 2,500.00	前年度実績 令和３年度はオンライン（YouTube）開催のため、各児童館100再生回数を目標値と設定しています。 令和４年度及び５年度は、令和元年度の実績を目標値と設定しています。
指標の説明（指標式）	令和３年度はYouTube再生回数	令和３年度	人 1,148.00	人 600.00	
		令和４年度	人 1,000.00	人 2,500.00	
		令和５年度	人 2,000.00	人 2,500.00	

7 直接事業費計	前年度決算額	308,842　円	決算額	699,760　円

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	子ども会活動支援事業	ｺｰﾄﾞ	01	03	02	01	05	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	2　子どもがのびのび育つまち　【子育て・教育・文化】						
		基本施策	02　健やかな子どもを育てる						
		施策の展開方向	④　青少年の健全育成						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	児童及びその保護者
2	働きかける相手（対象）	単位子ども会
3	どのような状態にしたいのか（意図）	子どもに関わる団体の育成が図られ、活発に活動できるようにするとともに、児童が仲間との協力やふれあいなどの体験を通して、たくましく創造性豊かな子どもに育つようにします。

4　評価対象年度にどのようなことを実施したのか

子ども会活動支援事業
⑴　14単位子ども会を対象に、補助金（270円×子ども会員759人、120円×育成者91人）を交付しました。
⑵　東郷町子ども会育成会連絡協議会の活動に対して補助金を交付しました。
⑶　優良子ども会として、愛知県知事から祐福寺子ども会、愛知県社会福祉協議会会長から和合たかね子供会が表彰されました。

5　活動指標

指標名	補助金を交付した子ども会の数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	単子 19.00	単子	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	（単子＝単位子ども会）	令和３年度	単子 18.00	単子	
		令和４年度	単子 13.00	単子	
		令和５年度	単子 14.00	単子	

6　成果指標

指標名	子ども会加入率	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		令和２年度	% 38.80	% 43.04	前年度実績
指標の説明（指標式）	会員数／小学校児童数 Ｒ１：1,243人／2,888人 Ｒ２：1,105人／2,848人 Ｒ３：　998人／2,791人 Ｒ４：　760人／2,756人 Ｒ５：　759人／2,702人	令和３年度	% 35.76	% 38.80	
		令和４年度	% 27.58	% 35.76	
		令和５年度	% 28.09	% 27.58	

7	直接事業費計	前年度決算額	501,202　円	決算額	445,162　円

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	児童発達支援事業所運営事業	ｺｰﾄﾞ	01	03	02	01	07	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	2　子どもがのびのび育つまち　【子育て・教育・文化】						
		基本施策	01　子育てしやすい環境をつくる						
		施策の展開方向	②　多様な保育サービスの提供						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	療育を必要とする子ども及びその保護者、保育園児
2	働きかける相手（対象）	療育を必要とする子ども及びその保護者、保育園児
3	どのような状態にしたいのか（意図）	乳幼児健診（１歳６か月健診）で要観察児と判定された子どもとその保護者に対して、保健担当部署と連携を図り、子どもの発達に関する援助方法の習得や生活習慣の自立を促進します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

児童発達支援事業所運営事業

(1) ハーモニー

心身の発達が緩やかな児童を対象に、親子通園及び単独通園による療育を行いました。
児童への接し方、関わり方などついて、保護者の支援を行いました。
児童の発達に関し、作業療法士等による訪問指導、作業療法等を行いました。

ア　出席延人数　　1,994人（親子通園551人、単独通園1,443人）
イ　実通園児数　　18人
ウ　年間開設日数　　226日
エ　概要
(ｱ) 開設日等　平成27年４月１日（中部保育園２階）
(ｲ) 対象児童　２歳から就学前までの児童
(ｳ) 親子通園　月、水、木、金曜日　　（午前９時30分から午後３時まで）
(ｴ) 単独通園　月、火、水、木、金曜日（午前９時30分から午後３時まで）

(2) らっこ教室

ハーモニーの施設で心身の発達が緩やかな児童のうち、比較的軽度の児童を対象に、親子通園による療育を行いました。また、乳幼児健診時に心身の発達が緩やかと認められる児童とその保護者を対象として、児童の観察と保護者の相談及び指導を行いました。

ア　参加延人数　　216人
イ　実通園児数　　9人
ウ　年間開設日数　　46日
エ　概要
(ｱ) 開設日等　平成13年７月１日（中部保育園２階では平成27年４月１日）
(ｲ) 対象児童　主に２歳児
(ｳ) 通園日等　火曜日（午前９時30分から午前11時45分まで）
オ　連携事業
「なかよし教室」…乳幼児健診後に保健師が行う事後指導（こども健康課所管）

5 活動指標

指標名	年間延人数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	人 2,452.00	人	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	ハーモニー、らっこ教室の参加延人数	令和３年度	人 2,497.00	人	
		令和４年度	人 2,600.00	人	
		令和５年度	人 2,210.00	人	

6 成果指標

指標名	通園児在籍数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		令和２年度	人 22.00	人 30.00	ハーモニーの定員数
指標の説明（指標式）	ハーモニーの実通園児数（最多月の在籍人数）	令和３年度	人 23.00	人 30.00	
		令和４年度	人 18.00	人 30.00	
		令和５年度	人 18.00	人 30.00	

7	直接事業費計	前年度決算額	22,788,435　円	決算額	8,144,576　円

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	子育て支援事業	ｺｰﾄﾞ	01	03	02	01	08	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	2　子どもがのびのび育つまち　【子育て・教育・文化】						
		基本施策	01　子育てしやすい環境をつくる						
		施策の展開方向	①　子育て支援の充実						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	子ども及びその養育者
2	働きかける相手（対象）	子どもを養育している人及び子どもとの関わりに興味のある人
3	どのような状態にしたいのか（意図）	子どもを養育する人に対して多くの子育ての相談や相互の情報交換の場が提供され、安心して子どもを産み育てることができる環境とします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

1　子育て支援関係事業

(1) 子育てに悩みを抱えている養育者の相談を受け助言・指導を実施しました。相談対応件数　803件

(2) 要保護児童地域対策協議会を開催し、要保護児童の把握等に関する窓口の一元化に努めました。（計13回開催）

(3) 多胎児サポーター派遣事業、養育支援訪問事業を実施しました。多胎児サポーター派遣事業新規申請件数　3件

(4) 地域子育て支援拠点事業で3か所の運営を委託しました。

	利用者数	育児講座等の参加人数	育児相談	委託先
西部子育て支援センター	4,727人	1,758人	183件	社会福祉法人明生会
太陽わごう子育て支援センター	4,058人	988人	177件	社会福祉法人若葉会
あやめ子育て支援センター	2,624人	1,675人	21件	社会福祉法人真人舎

(5) 東郷町子どもの権利を考える月間（11月）に東郷町子ども条例の周知のため、小中学校で講義を実施しました。

(6) 次期子ども・子育て支援事業計画策定に向けた基礎資料とするため、アンケート調査を実施し、子ども・子育て会議を2回開催しました。

(7) 夏、冬及び春休みに中学生を対象に各中学校で大学生を学習サポーターとした学習支援教室を実施しました。
開催日数及び参加人数　　夏：9日（61人）、冬：6日（64人）、春：3日（40人）

(8) 夏休みに中学1・2年生を対象に学習塾講師による学習講座を10日間開催し、85人が参加しました。

(9) 小学生を対象にアクティビティ・プログラム（体験型学習支援講座）を開催しました。
内容及び参加児童数　　英語：184人、プログラミング：249人

(10) 愛知県公立高校の新入試制度をテーマとして中学生及びその保護者を対象に学習講演会を開催しました。
開催日及び参加人数　第1回：令和5年4月16日（143人）、第2回：令和5年10月9日（32人）

2　ファミリー・サポート事業

(1) アドバイザーが依頼会員と援助会員を結びつけ、相互援助活動を行いました。
ア　会員数（令和6年3月31日現在）依頼会員 240人、援助会員 53人、両方会員 25人、計318人
イ　依頼件数　609件

(2) 説明会等の実施状況
依頼会員となるための利用説明会や会員期間3年を経過する援助会員のための講習会等を延べ17回開催し、延べ317名の会員等が参加しました。

5 活動指標

指標名	子育てに関する相談件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和2年度	件 858.00	件	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和3年度	件 880.00	件	
		令和4年度	件 852.00	件	
		令和5年度	件 803.00	件	

6 成果指標

指標名	ファミリー・サポート会員数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		令和2年度	人 310.00	人 312.00	前年度実績
指標の説明（指標式）		令和3年度	人 279.00	人 310.00	
		令和4年度	人 271.00	人 279.00	
		令和5年度	人 318.00	人 271.00	

7	直接事業費計	前年度決算額	29,234,493　円	決算額	44,973,493　円

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	幼稚園教育振興事業	ｺｰﾄﾞ	01	03	02	01	09	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	2　子どもがのびのび育つまち　【子育て・教育・文化】						
		基本施策	01　子育てしやすい環境をつくる						
		施策の展開方向	①　子育て支援の充実						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	私立幼稚園に就園する園児の保護者、私立幼稚園
2	働きかける相手（対象）	私立幼稚園に就園する園児の保護者、私立幼稚園運営者
3	どのような状態にしたいのか（意図）	私立幼稚園に通園する子どもの保護者の経済的負担を軽減します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

幼稚園教育振興事業

⑴　教育・保育給付費（１号認定）

子ども・子育て支援法に基づき、保育の必要性のない３歳以上の教育認定を受けた園児が通う子ども・子育て新制度に移行した幼稚園及び認定こども園に給付費を支出しました。

園児数　225人、施設数　11園、支給額　215,780,315円

⑵　施設等利用給付費（幼児教育・保育の無償化）

子ども・子育て支援法に基づき、子ども・子育て新制度に移行していない幼稚園に通う子どもの保護者に対し、国の定める給付額を支給しました（令和元年10月以降、上限25,700円／月・人）。

園児数　307人、施設数　21園、支給額　91,222,547円

⑶　施設等利用給付費（預かり保育）（幼児教育・保育の無償化）

子ども・子育て支援法に基づき、幼稚園が教育課程以外の時間で実施する預かり事業を利用する保育の必要性が認められる保護者に対し、国の定める給付額を支給しました（令和元年10月以降、上限11,300円／月・人、満３歳児の場合は、上限16,300円／月・人）。

園児数　82人、支給額　3,632,420円

⑷　実費徴収補足給付事業補助金（幼児教育・保育の無償化）

子ども・子育て新制度に移行していない幼稚園に通う子どもの保護者で、住民税非課税世帯や第３子以降の子どもの副食費相当額を助成しました（令和５年４月以降、上限4,700円／月・人）。

園児数　24人、補助金額　922,590円

5 活動指標

指標名	指標の説明（指標式）	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
施設等利用給付費（未移行幼稚園）の支給者数	平成30年度までは、私立幼稚園就園奨励費支給者数。令和元年度からは、施設等利用給付費（未移行）の支給者数。	令和２年度	人 506.00	人 ／ 個別計画による目標値はありません。
		令和３年度	人 511.00	人
		令和４年度	人 512.00	人
		令和５年度	人 307.00	人

6 成果指標

指標名	指標の説明（指標式）	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
私立幼稚園就園率	（町内在住の私立幼稚園児÷３・４・５歳児数）×100 R５:532人÷1,218人×100	令和２年度	% 42.47	% 44.00	過去３か年実績値の平均値 1,667人÷3,852人×100 【内訳】 R２：547人÷1,288人×100 R３：557人÷1,267人×100 R４：563人÷1,297人×100
		令和３年度	% 43.96	% 42.89	
		令和４年度	% 43.40	% 42.71	
		令和５年度	% 43.68	% 43.28	

7	直接事業費計	前年度決算額	204,677,241　円	決算額	311,703,326　円

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	障がい児支援事業	ｺｰﾄﾞ	01	03	02	01	10	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	1　だれもが元気に暮らせるまち　【健康・医療・福祉】						
		基本施策	03　障がいのある方がいきいきと暮らせる						
		施策の展開方向	①　障がい者（児）福祉サービスの充実						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	障がい児
2	働きかける相手（対象）	障がい児及びその保護者
3	どのような状態にしたいのか（意図）	児童福祉法に基づく障がい児通所給付費を適正に給付することにより、障がいのある児童が必要とするサービスを提供し、地域で安心して暮らすことのできる社会環境となるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

障がい児支援事業
⑴　放課後等デイサービス等の障害児通所給付費を給付しました。
　ア　放課後等デイサービス　延べ20,516日
　イ　児童発達支援　延べ5,904日
　ウ　保育所等訪問支援　延べ196日
　エ　障がい児相談支援　延べ458人
⑵　軽度・中等度等の難聴児に対する補聴器購入費補助金の交付はありませんでした。
⑶　巡回支援専門員整備事業にて保育園等に巡回し、相談を実施しました。　相談件数　延べ289件
⑷　ペアレントトレーニングを実施しました。　参加者実人数4人
⑸　障がい児計画相談支援事業「ファイン」
　ア　相談件数　895件
　イ　相談方法　訪問218件、来所62件、電話346件、メール269件

5 活動指標

指標名		年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
通所給付費利用実人数		令和２年度	人 147.00	人	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	年度末時点における障害児通所給付費の給付決定実人数	令和３年度	人 153.00	人	
		令和４年度	人 181.00	人	
		令和５年度	人 201.00	人	

6 成果指標

指標名		年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
障がい児全体におけるサービス利用率		令和２年度	% 97.00	% 95.40	前年度実績
指標の説明（指標式）	障がい児全体における通所サービスの利用率（年度末の利用実人数÷年度末時点における18歳未満の３障がい手帳保持者数）	令和３年度	% 89.47	% 97.00	
		令和４年度	% 95.26	% 89.47	
		令和５年度	% 105.78	% 95.26	

7	直接事業費計	前年度決算額	248,028,808　円	決算額	271,918,009　円

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	放課後子ども教室推進事業	ｺｰﾄﾞ	01	03	02	01	11	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	2　子どもがのびのび育つまち　【子育て・教育・文化】						
		基本施策	01　子育てしやすい環境をつくる						
		施策の展開方向	①　子育て支援の充実						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	小学校に在籍する児童
2	働きかける相手（対象）	小学校に在籍する児童及び保護者
3	どのような状態にしたいのか（意図）	身近な学校施設を利用し、地域で健やかな子どもを育む環境を充実させるとともに、学年の異なる子ども同士や地域の大人との交流を図り、学習の支援を始めとした様々な体験活動を通じて、子どもたちの自主性・社会性・創造性を養います。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

放課後子ども教室推進事業

(1) 内容

ア　学びの場：自主学習の支援、読書等

イ　遊びの場：将棋・囲碁、サッカー教室、体育館スポーツ、屋外での遊び等

ウ　体験の場：工作、昔遊び等

(2) 開所日等

令和５年４月１日から令和６年３月31日まで

月曜日から金曜日まで（土日・祝日、お盆期間、年末年始、式日、その他学校行事による施設利用不可日等は除く。）

授業のある日：各学年授業終了後から午後５時30分まで

授業のない日：午前９時から午後５時まで

(3) 場所

兵庫小学校、高嶺小学校、東郷中学校、音貝小学校、諸輪小学校、春木台小学校

(4) 開所日数、登録児童数及び１日平均参加児童数

	開所日数	登録児童数	平均参加児童数	延べ参加者数	
兵　庫	216日	106人	約13人／日	2,902人	
高　嶺	220日	126人	約23人／日	5,113人	
東　郷	209日	127人	約22人／日	4,552人	
音　貝	219日	109人	約20人／日	4,389人	
諸　輪	219日	133人	約40人／日	8,795人	
春木台	221日	98人	約21人／日	4,679人	計30,430人

(5) 参加費

無料（別途傷害保険料年額800円、材料費等実費相当分については参加者の自己負担）

(6) 主な物品供給

プリンター、掃除機、扇風機、傘立て、センサーライト、知育玩具

5 活動指標

指標名	放課後子ども教室開所日数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	日 1,153.00	日	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	日 1,279.00	日	
		令和４年度	日 1,293.00	日	
		令和５年度	日 1,304.00	日	

6 成果指標

指標名	１日平均参加児童数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		令和２年度	人 104.00	人 150.00	１校平均25人
指標の説明（指標式）		令和３年度	人 101.00	人 150.00	
		令和４年度	人 119.00	人 150.00	
		令和５年度	人 139.00	人 150.00	

7	直接事業費計	前年度決算額	34,610,634　円	決算額	40,746,938　円

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	新型コロナウイルス感染症対策事業	ｺｰﾄﾞ	01	03	02	01	12	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	3　安全・安心で、自然と共生するまち　【安全・安心、自然・生活環境】						
		基本施策	02　災害に強いまちをつくる						
		施策の展開方向	⑤　感染症対策						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	子ども及びその養育者
2	働きかける相手（対象）	子どもを養育している人
3	どのような状態にしたいのか（意図）	新型コロナウイルス感染症の影響により、経済的に影響を受けている子育て世帯が安心して生活できるようにします。

4　評価対象年度にどのようなことを実施したのか

新型コロナウイルス感染症対策事業
令和４年度に行った低所得子育て世帯生活支援特別給付金（その他世帯）に関して、補助金の精算返還をしました。
(1)　令和４年度の事業内容
令和４年４月分の児童手当又は特別児童扶養手当の支給を受けている方等で、かつ、令和４年度分の住民税均等割が非課税である方等に対して、児童１人当たり50,000円の給付金を支給しました。
(2)　補助金返還額(過年度精算)
ア　事務費　　618,000円
イ　事業費　　950,000円

5　活動指標

			年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
指標名		低所得子育て世帯生活支援特別給付金受給者数（その他世帯）	令和２年度	人	人	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和５年度は、令和４年度事業に係る補助金の返還のみのため給付はありません。	令和３年度	人 161.00	人	
			令和４年度	人 104.00	人	
			令和５年度	人 0.00	人	

6	直接事業費計	前年度決算額	79,123,584　円	決算額	1,568,000　円

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	物価高騰対策事業	ｺｰﾄﾞ	01	03	02	01	13	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	3　安全・安心で、自然と共生するまち　【安全・安心、自然・生活環境】						
		基本施策	02　災害に強いまちをつくる						
		施策の展開方向	⑤　感染症対策						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	子ども及びその養育者
2	働きかける相手（対象）	子どもを養育している人
3	どのような状態にしたいのか（意図）	食費等の物価高騰の影響により、経済的に影響を受けている子育て世帯が安心して生活できるようにします。

4　評価対象年度にどのようなことを実施したのか

物価高騰対策事業
　子育て世帯生活支援特別給付金（ひとり親世帯以外）
　物価高騰の影響を受ける低所得の子育て世帯（ひとり親世帯以外）に対し、生活支援特別給付金を支給し、生活支援を行いました。
⑴　手当額　児童１人当たり50,000円
⑵　支給額　12,400,000円
⑶　受給者数　127人（対象児童248人）

5　活動指標

指標名	低所得の子育て世帯に対する生活支援特別給付金（ひとり親世帯以外）受給者数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	人	人	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	人	人	
		令和４年度	人	人	
		令和５年度	人 127.00	人	

6	直接事業費計	前年度決算額	67,851,054　円	決算額	12,943,697　円

款	03	民生費	予算現額	798,610,000 円
項	02	児童福祉費	決算額	771,878,051 円
目	02	児童措置費	前年度決算額	801,149,487 円
			対前年比	96.3 %

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	児童手当支給事業	ｺｰﾄﾞ	01	03	02	02	01	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	2 子どもがのびのび育つまち 【子育て・教育・文化】						
		基本施策	01 子育てしやすい環境をつくる						
		施策の展開方向	① 子育て支援の充実						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	児童及び児童を養育している人
2	働きかける相手（対象）	広報紙やインターネット等の情報媒体、転入出者、出生届出者、児童養育者
3	どのような状態にしたいのか（意図）	家庭における生活の安定と次世代を担う児童の健全な育成及び資質の向上に資するため、児童手当法に基づく児童手当を適正に支給します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

児童手当関係事業
中学校卒業までの児童を養育している方に対して、児童手当を支給しました。
⑴ 手当額
ア ３歳未満児 15,000円／月
イ ３歳以上小学生まで
（ｱ）第１子 10,000円／月
（ｲ）第２子 10,000円／月
（ｳ）第３子以降 15,000円／月
ウ 中学生 10,000円／月
エ 所得制限限度額以上の所得がある場合は、上記に関わらず一律5,000円／月（特例給付）
⑵ 支給額

ア	６月期定期支払（２～５月分）	256,360,000円	（うち学校給食費等 343,300円）
イ	10月期定期支払（６～９月分）	250,925,000円	（うち学校給食費等 229,330円）
ウ	２月期定期支払（10～１月分）	253,400,000円	（うち学校給食費等 221,122円）
エ	随時支払	9,180,000円	
オ	合計	769,865,000円	（うち学校給食費等 793,752円）

⑶ 受給者数（10月期定期支払時受給者数） 3,562人

5 活動指標

指標名	児童手当受給者数（10月期定期支払時受給者数）	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	人 3,889.00	人	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	人 3,820.00	人	
		令和４年度	人 3,643.00	人	
		令和５年度	人 3,562.00	人	

6	直接事業費計	前年度決算額	801,149,487 円	決算額	771,878,051 円

款	03	民生費	予算現額	200,314,123 円
項	02	児童福祉費	決算額	186,438,197 円
目	03	児童館費	前年度決算額	153,624,277 円
			対前年比	121.4 %

Ⅰ．事業の目的体系

1 事業名	児童館管理運営事業（一般来館者）	ｺｰﾄﾞ	01	03	02	03	02	－
2 総合計画の施策体系	基本目標	2 子どもがのびのび育つまち 【子育て・教育・文化】						
	基本施策	01 子育てしやすい環境をつくる						
	施策の展開方向	① 子育て支援の充実						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1 誰のために（受益者）	町内の子ども及びその保護者
2 働きかける相手（対象）	児童館を利用する子ども及びその保護者
3 どのような状態にしたいのか（意図）	安心して楽しく児童館を利用してもらうとともに、保護者に子育て情報が提供されるようにします。児童館施設・設備を適正に維持管理し、子どもやその保護者等が児童館を安全で快適に利用できるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

1 児童館運営事業（一般来館者）
(1) 来館人数（開館日数）
ア 北部児童館 5,136人(292日) イ 西部児童館 5,134人(292日) ウ 中部児童館 7,074人(292日)
エ 東部児童館 3,156人(292日) オ 南部児童館 3,185人(292日) カ 兵庫児童館 14,938人(292日)
(2) 主な活動内容
ア 子どもが自由に遊ぶことができる場所の提供
イ 子育てに関する相談
ウ 新1年生を迎える会、夏のお楽しみ会、クリスマス会等の行事の実施
エ 親子行事
(3) その他
兵庫児童館は、指定管理者（ハマダスポーツ企画㈱）が運営
2 児童館管理事業（一般来館者、放課後児童クラブ共通）
(1) 主な物品供給
デジタルアンプ、デジタルカメラ、液晶テレビ、洗濯機、座卓、掃除機
(2) 主な業務委託
浄化槽保守点検業務、浄化槽清掃業務、事業系一般廃棄物収集運搬業務、遊具体育用具保守点検業務、消防用設備等保守点検業務、児童福祉施設清掃業務、植栽維持管理業務、粗大ごみ処理業務
(3) 主な工事
フェンス設置工事、エアコン修繕工事、照明LED工事、区画線工事

5 活動指標

指標名	指標の説明（指標式）	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
全児童館の一般来館人数	全児童館の一般来館及び児童館事業参加者の延べ人数（放課後児童クラブを除く。）	令和２年度	人 13,305.00	人	個別計画による目標値はありません。
		令和３年度	人 28,098.00	人	
		令和４年度	人 30,737.00	人	
		令和５年度	人 38,623.00	人	

6 成果指標

指標名	指標の説明（指標式）	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
1日当たりの児童館平均利用者数	全児童館一般来館者人数÷年間開館日数（平均）÷6館	令和２年度	人 12.05	人 28.12	前年度実績
		令和３年度	人 16.78	人 12.05	
		令和４年度	人 18.83	人 16.78	
		令和５年度	人 22.05	人 18.83	

7 直接事業費計	前年度決算額	37,304,175 円	決算額	47,374,505 円	

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	児童館管理運営事業（放課後児童クラブ）	ｺｰﾄﾞ	01	03	02	03	03	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	2　子どもがのびのび育つまち　【子育て・教育・文化】						
		基本施策	01　子育てしやすい環境をつくる						
		施策の展開方向	①　子育て支援の充実						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	放課後児童クラブ申込児童及びその保護者
2	働きかける相手（対象）	放課後児童クラブ申込児童及びその保護者
3	どのような状態にしたいのか（意図）	共働き家庭の児童が、放課後を安全・安心に過ごし、多様な遊びや活動ができるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

1　児童館運営事業（放課後児童クラブ）

(1)　放課後児童クラブ利用者延人数（開所日数）

ア　北部児童館　11,615人(242日)　イ　西部児童館　9,974人(242日)　ウ　中部児童館　10,141人(292日)
エ　東部児童館　8,698人(242日)　オ　南部児童館　8,437人(242日)　カ　兵庫児童館　14,097人(243日)

(2)　定員、登録児童及び待機児童

	定員	登録児童	待機児童
ア　北部児童館	68	82	4
イ　西部児童館	68	74	3
ウ　中部児童館	68	74	9
エ　東部児童館	68	63	0
オ　南部児童館	68	69	0
カ　兵庫児童館	98	105	2
計	438	467	18

注1）定員は、別に各館２人ずつの緊急定員枠あり
　2）登録児童及び待機児童は、令和５年５月１日時点

(3)　利用料金

ア　通年利用：月額5,000円。ただし、４・12・１・３月は6,500円、７月は7,000円、８月は9,000円
イ　学校のある日のみ利用：月額5,000円（８月は利用対象外）
ウ　長期休暇のみの利用：アのただし書きと同様

(4)　おやつ

より安全安心に摂取できるように、おやつの全てを原材料にアレルゲンを含まないものにして提供しました。

(5)　待機児童対策事業

待機が発生しているクラブの待機児童を対象に、定員に空きがあるクラブに、タクシーで移送して受入れを行いました（利用者６名）。

また、春休みに兵庫小学校区で、夏休みに、兵庫及び高嶺小学校区で、学校施設等を活用した放課後児童クラブのサテライト教室を開所して、待機児童の受入れを行いました（利用者計12名）。

2　児童館管理事業（一般来館者、放課後児童クラブ共通）

児童館管理運営事業（一般来館者）の「２　児童館管理事業（一般来館者、放課後児童クラブ共通）」参照

5 活動指標

指標名	放課後児童クラブ延べ利用者数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	人 55,129.00	人	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	放課後児童クラブを利用した延べ人数	令和３年度	人 51,722.00	人	
		令和４年度	人 57,401.00	人	
		令和５年度	人 62,962.00	人	

6 成果指標

指標名	放課後児童クラブ入所率（5/1現在）	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		令和２年度	% 97.00	% 100.00	申込者全員の入所
指標の説明（指標式）	入所者数÷（入所者数＋待機児童数）	令和３年度	% 92.54	% 100.00	
		令和４年度	% 90.30	% 100.00	
		令和５年度	% 96.29	% 100.00	

7	直接事業費計	前年度決算額	69,279,182　円	決算額	77,295,244　円

款	03	民生費	予算現額	868,188,676 円
項	02	児童福祉費	決算額	847,141,568 円
目	04	保育総務費	前年度決算額	965,113,096 円
			対前年比	87.8 %

Ⅰ．事務の目的体系

1 事業名	保育総務一般管理事業	ｺｰﾄﾞ	01	03	02	04	02	-
2 総合計画の施策体系	基本目標	2 子どもがのびのび育つまち 【子育て・教育・文化】						
	基本施策	01 子育てしやすい環境をつくる						
	施策の展開方向	② 多様な保育サービスの提供						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1 誰のために（受益者）	園児の保護者
2 働きかける相手（対象）	園児の保護者、保育士、事業者
3 どのような状態にしたいのか（意図）	保育士の資質の向上を図るとともに、保育料の算定、徴収など保育業務全般にわたる管理業務を行い、保育事業を円滑かつ効率的に運営します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

1 保育総務一般事務事業
(1) 保育料の徴収を口座振替で実施しました。
(2) 口座振替ができなかった未納者に対し、園長を経由して保護者へ未納のお知らせとコンビニ納付が可能な納付書を渡し、納付勧奨をしました。
(3) 未納者に対しては、保護者からの申出による児童手当からの徴収をしました。
(4) 保護者への緊急メール配信サービスを実施しました。
(5) 園児の怪我や事故への保険対応として日本スポーツ振興センター災害共済給付金事務を実施しました。
(6) 町公式LINEから町立保育園の欠席連絡ができるようになりました。
開始時期 令和４年11月１日【終了時期 令和６年３月31日】
(7) 保育業務支援システムを町立保育園で導入し、QRコードによる園児の登降園の管理やアプリを使って欠席連絡ができるようになりました。
開始時期 令和６年３月１日
2 保育士研修事業
(1) 研修の開催
ア 保育士講演会 １回 参加者延べ 53人
イ 全体研修会 16回（各園４回） 参加者延べ 339人
ウ 主任、副主任研修 １回 参加者延べ 17人
エ 副主任、中堅保育士研修 １回 参加者延べ 24人
オ 内部研修（用務員研修） 延べ ６人
(2) 研修への参加
ア 愛知県現任保育士研修運営協議会主催研修
(ｱ) 園長研修 １人
(ｲ) 初任者研修 ２人
(ｳ) その他研修 13人

5 活動指標

指標名	研修参加人数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	人 157.00	人	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	人 460.00	人	
		令和４年度	人 523.00	人	
		令和５年度	人 455.00	人	

6 直接事業費計	前年度決算額	3,173,914 円	決算額	3,425,885 円

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	民間保育所運営支援事業	ｺｰﾄﾞ	01	03	02	04	03	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	2　子どもがのびのび育つまち　【子育て・教育・文化】						
		基本施策	01　子育てしやすい環境をつくる						
		施策の展開方向	②　多様な保育サービスの提供						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	保育園入所希望者
2	働きかける相手（対象）	民間保育園、民間保育所
3	どのような状態にしたいのか（意図）	民間保育所が適正に運営されるよう指導するとともに、待機児童が発生する乳児の入所施設を支援します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

民間保育所運営支援事業
(1) 保育給付　子ども・子育て支援法に基づき、給付を行いました。
　ア　私立保育所委託費　支給対象　５施設、支給額　185,939,630円
　イ　地域型保育給付費　支給対象　３施設、支給額　117,410,600円
　ウ　教育・保育給付費　支給対象　４施設、支給額　419,142,040円
(2) 延長保育事業補助金　支給対象　３施設、助成額　3,320,000円
　通常の保育時間を超えて保育を実施した事業者に対し、費用の一部を助成しました。
(3) 低年齢児途中入所円滑化事業　支給対象　５施設、助成額　7,000,000円
　低年齢児の途中入所に対応する保育士を配置した保育所に、費用の一部を助成しました。
(4) 認可外保育所運営費補助金　支給対象　子ども数　11人、補助金額　2,976,000円
　３歳未満児を受け入れる認可外保育施設に対し、運営費を助成し、利用者の保育料の一部を助成しました。（施設運営費　14,800円／月・人、利用者助成　10,000円）
(5) 施設等利用給付費（認可外保育施設）　子ども数　８人、支給額　4,008,444円
　認可外保育施設を利用した保育の必要性が認められる保護者に対し、給付費を支給しました。（上限37,000円／月・人、子どもが３歳未満児で住民税非課税世帯の場合は、上限42,000円／月・人）
(6) 一時預かり事業　東郷せいぶ保育園で延べ1,030人、東郷あやめこども園で延べ388人、あずま♪ららら保育園愛知東郷で延べ252人、太陽わごうこども園で延べ155人の一時預かりを実施しました。
(7) 祝日保育　東郷あやめこども園で祝日保育を実施しました。　子ども数　延べ49人、実施日数　10日
(8) 保育士宿舎借り上げ支援事業費補助金　支給対象　２施設　補助額　1,232,000円
　保育士不足を解消するために宿舎借り上げを実施している保育所等に対して費用の一部を助成しました。
(9) 保育所等給食費負担軽減交付金　支給対象　９施設　補助額　14,029,840円
　物価高騰に係る給食費を負担している保育所等に対して、費用の一部を助成しました。
(10) 保育所等における性被害防止対策に係る設備等支援事業補助金　支給対象施設　１施設　補助額　75,000円
　性被害防止対策に係る設備等を実施する保育所等に対して、費用の一部を助成しました。

5 活動指標

指標名	民間保育所等の保育給付費	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	円 516,301,390.00	円	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	円 584,281,380.00	円	
		令和４年度	円 600,723,900.00	円	
		令和５年度	円 722,492,270.00	円	

6 成果指標

指標名	保育所等入所児童数（私立）	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		令和２年度	人 488.00	人 575.00	認可定員数
指標の説明（指標式）	３月１日現在の保育所等入所児童数（私立）	令和３年度	人 539.00	人 588.00	
		令和４年度	人 542.00	人 588.00	
		令和５年度	人 639.00	人 723.00	

7	直接事業費計	前年度決算額	908,909,212　円	決算額	786,905,998　円

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	病児保育事業	ｺｰﾄﾞ	01	03	02	04	04	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	2　子どもがのびのび育つまち　【子育て・教育・文化】						
		基本施策	01　子育てしやすい環境をつくる						
		施策の展開方向	②　多様な保育サービスの提供						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	病気及び病気回復期の児童及びその保護者
2	働きかける相手（対象）	病気及び病気回復期の児童及びその保護者
3	どのような状態にしたいのか（意図）	病気及び病気回復期の児童に対し、適切な保育が実施され、保護者が安心して就労できるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

病児保育事業
　生後６か月から小学校３年生までの病気の子どもや病気から回復期の子どもを、専用施設（日進おりど病院　病児病後児保育センター）で有料で預かる事業を実施しました。
⑴　契約者
　　医療法人大医会（日進おりど病院）
⑵　開設日
　　月曜日から土曜日まで（祝日及び年末年始を除く。）
⑶　登録者数等
　ア　登録者数　　335人（令和5年度新規登録者　53人）
　イ　予約件数　　154件
　ウ　利用者延人数　108人

5 活動指標

指標名	指標の説明（指標式）	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
病児・病後児保育室利用者数		令和２年度	人 52.00	人	個別計画による目標値はありません。
		令和３年度	人 64.00	人	
		令和４年度	人 71.00	人	
		令和５年度	人 108.00	人	

6 成果指標

指標名	指標の説明（指標式）	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
病児・病後児保育室登録者数（累計）		令和２年度	人 402.00	人 572.00	小学校３年生までの子どもの数の15% R5:3,419×0.15
	年度末現在の病児・病後児保育室登録者数	令和３年度	人 376.00	人 544.00	
		令和４年度	人 332.00	人 534.60	
		令和５年度	人 335.00	人 512.85	

7	直接事業費計	前年度決算額	5,493,000　円	決算額	5,493,000　円

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	保育安心対策事業	ｺｰﾄﾞ	01	03	02	04	05	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	2　子どもがのびのび育つまち　【子育て・教育・文化】						
		基本施策	01　子育てしやすい環境をつくる						
		施策の展開方向	－						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	保育所等に通園する園児
2	働きかける相手（対象）	私立保育所等運営者
3	どのような状態にしたいのか（意図）	私立保育所等に通園する園児及びその保護者が安心して通園できる環境を整備します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

1　保育安心対策事業
(1)　こども園から転園した園児の保育を実施するために会計年度任用職員の雇用及び人材派遣の保育士を活用しました。
ア　会計年度任用職員の雇用　中部保育園　1名
イ　派遣保育の活用　中部保育園　1名　たかね保育園　2名　計3名

2　第三者委員会運営事業
(1)　東郷町不適切保育等の再発防止に関する第三者委員会を開催しました。
ア　委員数　5名
イ　会議等の開催
(ｱ)　会議　6回
(ｲ)　こども園ヒアリング　3回
ウ　報告書の提出　令和6年1月15日（月）

5 活動指標

指標名	第三者委員会会議等開催回数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和2年度	回	回	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	会議の開催及びこども園ヒアリング実施の回数	令和3年度	回	回	
		令和4年度	回	回	
		令和5年度	回 9.00	回	

6	直接事業費計	前年度決算額	円	決算額	5,733,676　円

款	03	民生費	予算現額	513,032,547 円
項	02	児童福祉費	決算額	475,680,924 円
目	05	保育園費	前年度決算額	528,366,554 円
			対前年比	90 %

Ⅰ．事務の目的体系

1 事業名	保育園保健事業	ｺｰﾄﾞ	01	03	02	05	02	－
2 総合計画の施策体系	基本目標	2 子どもがのびのび育つまち 【子育て・教育・文化】						
	基本施策	01 子育てしやすい環境をつくる						
	施策の展開方向	② 多様な保育サービスの提供						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1 誰のために（受益者）	保育園児
2 働きかける相手（対象）	保育園児、保育士、医師
3 どのような状態にしたいのか（意図）	園児の健康管理を充実し、疾患等の早期発見に努めます。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

1 保健一般事務事業
(1) 保育園で使用する洗口液や絆創膏などの医薬材料を購入し、子どものけが等に対応しました。
(2) 消毒液やペーパータオルなどの消耗品を購入し、感染症対策を実施しました。
(3) 園児の歯科検診で使用する器具をリースしました。

2 園医等設置事業
町立保育園に必要な嘱託医（内科医、歯科医、耳鼻咽喉科医、眼科医）を配置し、検診を実施しました。

5 活動指標

指標名	指標の説明（指標式）	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
内科検診受診者数	前期検診と後期検診の内、多い方の受診者数	令和２年度	人 606.00	人	個別計画による目標値はありません。平成30年度からは５園分。令和5年度からは４園分。
		令和３年度	人 576.00	人	
		令和４年度	人 552.00	人	
		令和５年度	人 439.00	人	

6 直接事業費計	前年度決算額	5,079,121 円	決算額	4,081,507 円

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	保育園管理事業	ｺｰﾄﾞ	01	03	02	05	03	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	2　子どもがのびのび育つまち　【子育て・教育・文化】						
		基本施策	01　子育てしやすい環境をつくる						
		施策の展開方向	③　幼児教育・保育の質の向上						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	園児及び保育士
2	働きかける相手（対象）	保育所の施設
3	どのような状態にしたいのか（意図）	保育需要に対応するため園舎・設備を適正に維持管理することで、良好な保育環境や職場環境を保ちます。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

保育園一般管理事業

(1)　主な物品供給

ア　中部保育園　やわらかゴムマット、乳児用ハイハイクッションマット、パルスオキシメーター、温室センサー付きホットカーペット

イ　南部保育園　カーテン

ウ　音貝保育園　ユニットターフ、フリーダムテーブル、プリズモパーツ

エ　たかね保育園　キーボード、やわらぎフロアーマット、ジョイントついたて、背板付棚、折りたたみテーブル、安全ハンガースタンド

(2)　主な業務委託

浄化槽保守点検業務、浄化槽清掃業務、事業系一般廃棄物収集運搬業務、遊具体育用具保守点検業務、消防用設備等保守点検業務、児童福祉施設清掃業務、植栽維持管理業務、粗大ごみ処理業務等

(3)　主な工事

ア　和合保育園跡地　緊急地震速報端末撤去工事

イ　中部保育園　食器洗い乾燥機取付工事、混合水栓増設工事、ガス配管取付工事

ウ　南部保育園　藤棚撤去処分工事

エ　音貝保育園　食器洗い乾燥機取付工事、砂山すきとり工事、エアコン移設工事（２件）、エアコン更新工事、ワイヤレス設備更新工事、給湯器取替工事、電灯回路不均衡対策工事

オ　たかね保育園　引戸取替工事、エアコン更新工事

(4)　土地の賃借

ア　南部保育園用地について、借地料を支払いました。

イ　押草団地内の駐車場（12区画）をたかね保育園の駐車場として借り上げました。

5 活動指標

指標名	改修工事を施工した件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	件 13.00	件	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	件 12.00	件	
		令和４年度	件 11.00	件	
		令和５年度	件 15.00	件	

6	直接事業費計	前年度決算額	36,402,577　円	決算額	33,076,113　円

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	保育園運営事業	ｺｰﾄﾞ	01	03	02	05	04	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	2　子どもがのびのび育つまち　【子育て・教育・文化】						
		基本施策	01　子育てしやすい環境をつくる						
		施策の展開方向	②　多様な保育サービスの提供						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	保護者の就労等で保育が必要な乳幼児及びその家庭、地域住民
2	働きかける相手（対象）	保護者の就労等で保育が必要な乳幼児及びその家庭、地域住民
3	どのような状態にしたいのか（意図）	保育メニューの充実を図り保育の必要性が認められる乳幼児の保育を行うとともに、保護者の子育てと就労の両立が図られるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

1　保育園運営事業
(1)　町立町営保育園４園（中部、南部、音貝及びたかね保育園）で469人の子どもの保育を実施しました。
（令和６年３月１日現在）
(2)　障がい児保育、延長保育、１・２歳児保育を全園で、０歳児保育を２園(中部・南部保育園)で実施しました。
(3)　南部保育園では、土曜保育の時間を午後６時まで実施しました。
(4)　第三子以降の保育料無料化事業を対象者20人に実施しました。
(5)　保育園でおやつを提供しました。（フルーツをおおむね週１回提供しました。）
(6)　人形劇公演を実施しました。
(7)　幼児期運動指針実践プログラムを基にした運動あそびを町立保育園（全園）で実施しました。
(8)　作業療法士などの専門家が、全保育園を訪問し、保育の支援を実施しました。
(9)　生活発表会及び運動会を実施しました。
(10)　外国人講師を町内公立園に派遣し、園児が体験的に英語に慣れ親しむ機会を提供しました。
事業者　一般社団法人　アップビートインターナショナルスクール、活動実績　延べ409日
(11)　人材派遣の保育士を活用しました。
(12)　中部保育園で、人材派遣の看護師を配置し、医療的ケア児保育を実施しました。

2　ふれあい交流事業
地域に開かれた保育園、親しまれる保育園づくりを推進するため地域住民（未入園児とその保護者、お年寄り、小中学生など）に参加を募り、保育園園庭開放やクリスマス会などの事業を通して交流を図りました。

5 活動指標

指標名	ふれあい交流事業数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	回 0.00	回	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	平成29年度9月まで７園、10月から５園。令和5年度4月から４園。	令和３年度	回 25.00	回	
		令和４年度	回 17.00	回	
		令和５年度	回 22.00	回	

6 成果指標

指標名	保育所入所児童数（町立）	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		令和２年度	人 622.00	人 765.00	認可定員数　平成29年度以降は５園。令和５年度以降４園。
指標の説明（指標式）	３月１日現在の入所児童数（町立）	令和３年度	人 597.00	人 765.00	
		令和４年度	人 582.00	人 765.00	
		令和５年度	人 469.00	人 640.00	

7 直接事業費計	前年度決算額	242,973,483　円	決算額	231,156,757　円

款	03	民生費	予算現額	47,180,000 円
項	02	児童福祉費	決算額	44,010,170 円
目	06	給食調理費	前年度決算額	47,734,778 円
			対前年比	92.2 %

Ⅰ．事業の目的体系

1 事業名	保育園給食事業	ｺｰﾄﾞ	01	03	02	06	02	－
2 総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
	基本施策	01 健康づくりを推進する						
	施策の展開方向	③ 食育の推進						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	保育園児、保護者
2	働きかける相手（対象）	保育園児、保育士、父母の会、食材
3	どのような状態にしたいのか（意図）	園児の健全な発達に資するため、安全で安心かつ、栄養バランスの取れた魅力あるおいしい給食が提供できるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

保育園給食賄材料費
(1) 園児の心身の健全な発達に資するため、栄養のバランスに配慮した献立内容で調理し、給食を実施しました。（町内４保育園等で138,782食）
(2) 各園の代表、栄養士による保育園給食献立委員会を11回開催しました。
(3) 給食物資選定委員会を11回開催しました。
(4) 園児向けの食育指導を実施しました。（中部・南部・たかね・音貝　計14回）
(5) 東郷町産の食材を使用した給食を実施しました。（使用食材21品目）

主な食材名	使用月	使用した献立名
米	年中	白飯、ちらし寿司
トマト	年中	東郷町産トマト、米粉のカレーライス
ナス	６～８月	なすのみそ汁、マーボーなす丼
ローゼル	１月	チキンのローゼルソースがけ
さつまいも	11～12月	さつまいものみそ汁、さつまいもの米粉かき揚げ、さつまいもコロッケ
米粉	６～３月	東郷町産米粉のナポリタン、東郷町産お米のタルト他
たまねぎ	５月	豚肉のしょうが炒め、ミネストローネ、玉ねぎの米粉かき揚げ

(6) 有機野菜を使用した給食を実施しました。（使用食材８品目）

主な食材名	使用月	使用した献立名
小松菜	４～３月	小松菜のじゃこナムル、生揚げと小松菜のみそ汁
きゅうり	７～10月	きゅうりのごま醤油あえ、ゆかりあえ、棒棒鶏サラダ
ピーマン	7、８月	夏野菜の米粉カレーライス、豚肉とピーマンの細切り炒め
にんじん	12～２月	キャロットピラフ、キャロットポタージュ、冬野菜のポトフ
ほうれんそう	12月	ほうれんそうのおかかあえ

(7) 規格外の東郷町産さつまいもをコロッケにして提供しました。
(8) 園児の食物アレルギー対象食材を除いた「にこにこ給食」を12回実施しました。
(9) 卒園児対象のリクエスト献立を実施しました。

5 活動指標

指標名		年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
保育園用給食の年間総給食数		令和２年度	食 189,677.00	食	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	４保育園、ハーモニー、小規模保育室ひよこルームの乳児・幼児・職員及び給食センターでの総給食数（保存食は含めない）	令和３年度	食 164,778.00	食	
		令和４年度	食 171,513.00	食	
		令和５年度	食 138,782.00	食	

6 成果指標

指標名		年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
東郷町産の食材を提供した給食回数		令和２年度	回 109.00	回 93.00	前年度実績値
指標の説明（指標式）	米飯を除いた提供数	令和３年度	回 108.00	回 109.00	
		令和４年度	回 139.00	回 108.00	
		令和５年度	回 142.00	回 139.00	

7 直接事業費計	前年度決算額	45,157,272 円	決算額	41,500,286 円	

款	03	民生費	予算現額	2,000 円
項	03	災害救助費	決算額	0 円
目	01	災害救助費	前年度決算額	0 円
			対前年比	- %

Ⅰ．事務の目的体系

1 事業名	災害救助事業		ｺｰﾄﾞ	01	03	03	01	01	-
2 総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】							
	基本施策	02 地域福祉を充実する							
	施策の展開方向	① 地域福祉活動の推進							

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1 誰のために（受益者）	被災者
2 働きかける相手（対象）	被災者
3 どのような状態にしたいのか（意図）	災害により被害を受けた町民の支援を迅速に行うことで、被災者の生活の安定が図られるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

災害救助事業
災害救助は、ありませんでした。

5 活動指標

指標名	被災者数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	人 0.00	人	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	人 0.00	人	
		令和４年度	人 0.00	人	
		令和５年度	人 0.00	人	

6 直接事業費計	前年度決算額	0 円	決算額	0 円

款	04	衛生費	予算現額	92,965,000 円
項	01	保健衛生費	決算額	91,626,915 円
目	01	保健衛生総務費	前年度決算額	88,719,845 円
			対前年比	103.3 %

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	保健衛生一般管理事業	ｺｰﾄﾞ	01	04	01	01	02	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
		基本施策	01 健康づくりを推進する						
		施策の展開方向	－						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	町職員
2	働きかける相手（対象）	町職員・関係機関
3	どのような状態にしたいのか（意図）	関係機関と連携を図り、健康増進法、母子保健法、予防接種法等に基づく各種事業を円滑に実施します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

保健衛生一般管理事業
⑴ いきいき東郷21推進協議会（３回）
いきいき東郷21（第３次）を策定しました（計画期間2024年～2035年）。
⑵ 献血活動
町献血推進協議会に補助金を交付しました。（献血回数５回、献血者数144人）
⑶ 骨髄ドナー助成事業
助成対象者 ０人
⑷ がん患者アピアランスケア支援事業
助成対象者 ９人
⑸ 災害時に備えた保健活動
ア １月23日に県と協働で保健師災害初動時体制構築訓練を実施しました。
イ 災害時の保健活動に必要な物品の保管場所の管理、アクションカードの更新を行いました。
ウ 広域災害・救急医療情報システム（ＥＭＩＳ）の入力訓練を実施しました。
エ 医療救護所の設置・運営及び被災者への健康支援活動について非常時優先業務対応マニュアルの更新を行いました。
⑹ 会議の参加
ア 尾張東部医療圏域保健医療福祉推進会議 ２人
イ 尾張東部地域救急医療対策連絡協議会 ２人
ウ 尾張東部圏域地域・職域連携推進協議会 ３人
エ 尾張東部医療圏地域災害医療部会 ２人
オ 災害時保健活動体制整備強化会議 1人
カ 歯と口の健康づくり推進会議 1人
キ アルコール健康障害対策地域連携会議 ２人
ク 瀬戸保健所難病対策地域協議会 １人
ケ 母子保健医療連絡会議 ２人
コ 母子保健推進会議 ２人
サ 愛知県地域医療対策協議会 ３人
シ 愛知県医療審議会５事業等推進部会 2人
ス 愛知県市町村保健師協議会（書面会議）１人
セ 瀬戸保健所栄養士総会等栄養及び栄養士に関する会議 ２人
ソ 東名古屋保健連絡協議会事務担当者会議 15人
タ いこまい会議 70人
チ 地域ケア推進会議他 ９人
⑹の合計120人
⑺ 研修
感染症、健康増進、母子保健、栄養、歯科、災害及び保健師のスキルアップ等の研修に参加しました。
72人

5 活動指標

指標名	会議及び研修に参加した延べ人数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	人 68.00	人	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	人 113.00	人	
		令和４年度	人 111.00	人	
		令和５年度	人 192.00	人	

6	直接事業費計	前年度決算額	4,288,768 円	決算額	4,177,310 円

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	医師会・歯科医師会関係事業	ｺｰﾄﾞ	01	04	01	01	03	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	1　だれもが元気に暮らせるまち　【健康・医療・福祉】						
		基本施策	01　健康づくりを推進する						
		施策の展開方向	④　医療体制の充実						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	町民
2	働きかける相手（対象）	医師会・歯科医師会
3	どのような状態にしたいのか（意図）	町と医師会及び歯科医師会との連携を図り、保健事業を円滑に実施します。

4　評価対象年度にどのようなことを実施したのか

医師会・歯科医師会関係事業
　町民の健康保持と保健衛生業務を円滑に運営することを目的として、東名古屋東郷町医師会及び愛豊歯科医師会東郷支部に対し、助成金を交付しました。
　また、医師及び歯科医師との連絡調整のため、医師連絡会及び歯科医師連絡会（情報提供）を開催しました。
⑴　医師会（医師25人）　助成額　400,000円
　ア　医師会講演会
　　令和６年１月14日（日）に、町民を対象とした「いきいき健康講座」を開催しました。
　イ　医師連絡会　４回開催
⑵　歯科医師会（歯科医師20人）　助成額　292,000円
　ア　8020・8820運動表彰
　　愛豊歯科医師会に加入するかかりつけ医にて表彰を行いました。
　　8020表彰　97人
　　8820表彰　18人
　イ　オーラルフレイル予防教室
　　口腔機能検査と講話を実施しました。
　ウ　文化産業まつり
　　オーラルフレイル（口腔機能の低下）の予防啓発活動を行いました。
　エ　歯科医師連絡会　２回開催
⑶　あいち医療通訳システム
　　愛知県で実施している外国人県民と医療機関の言葉の壁をなくすための通訳派遣及び電話通訳等のシステムに対し助成を行いました。
　　東郷町利用数　８人

5　活動指標

指標名	医師・歯科医師連絡会の開催回数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	回 1.00	回	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	回 3.00	回	
		令和４年度	回 6.00	回	
		令和５年度	回 6.00	回	

6	直接事業費計	前年度決算額	1,154,974　円	決算額	1,192,548　円

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	東郷診療所特別会計繰出金事業	ｺｰﾄﾞ	01	04	01	01	04	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	1　だれもが元気に暮らせるまち　【健康・医療・福祉】						
		基本施策	01　健康づくりを推進する						
		施策の展開方向	④　医療体制の充実						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	東郷診療所受診者
2	働きかける相手（対象）	東郷診療所特別会計
3	どのような状態にしたいのか（意図）	東郷診療所特別会計の健全な運営を確保し、診療所事業を円滑に運営します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

東郷診療所特別会計繰出金事業
　東郷診療所特別会計のうち、訪問看護事業に対する財源として、一般会計から2,338,000円を繰り出しました。

5 活動指標

指標名	一般会計繰出金額	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	円 2,201,000.00	円	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	円 2,287,000.00	円	
		令和４年度	円 2,245,000.00	円	
		令和５年度	円 2,338,000.00	円	

6	直接事業費計	前年度決算額	2,245,000　円	決算額	2,338,000　円

款	04	衛生費	予算現額	432,102,000 円
項	01	保健衛生費	決算額	357,481,112 円
目	02	予防費	前年度決算額	521,708,152 円
			対前年比	68.5 %

Ⅰ．事業の目的体系

1 事業名	感染症まん延防止事業	ｺｰﾄﾞ	01	04	01	02	01	-
2 総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
	基本施策	01 健康づくりを推進する						
	施策の展開方向	① 疾病予防・健康増進の推進						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1 誰のために（受益者）	町民
2 働きかける相手（対象）	予防接種法及び感染症法上の対象者
3 どのような状態にしたいのか（意図）	感染の恐れがある疾病の発生及びまん延の予防が図られるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

1 感染症予防事業
流行している感染症について、ホームページへの掲載やポスターを掲示し注意を促しました。
2 定期予防接種事業（法律に基づいたワクチン接種）
(1) 乳幼児予防接種

ア	ＢＣＧ	279人	
イ	四種混合	1,216人	
ウ	二種混合	299人	
エ	麻しん風しん	678人（1期 304人 2期 374人）	
オ	日本脳炎	1,591人	
カ	Ｈｉｂ感染症	1,115人	
キ	小児用肺炎球菌	1,115人	
ク	子宮頸がん	598人（小学校6年～高校1年相当 236人	キャッチアップ 362人）
ケ	水痘（水ぼうそう）	616人	
コ	Ｂ型肝炎	821人	
サ	ロタウイルス感染症	550人	ア～サ 計8,878人…①（内町外接種者 1,596人）

(2) 成人を対象とした予防接種
昭和37年４月２日生から昭和54年４月１日生までの男性を対象に、風しん抗体検査及び予防接種を行いました。（平成31年４月１日から令和７年３月31日までの時限措置）

ア	インフルエンザ	5,699人	イ 高齢者肺炎球菌 307人
ウ	男性の風しん予防接種	27人	エ 男性の風しん抗体検査 129人

ア～ウ 計6,033人…②（内町外接種者1,200人）
3 任意予防接種事業
(1) 風しん対策事業として、妊娠を希望する女性（経産婦を含む）で風しんの抗体のない人に風しんワクチン接種費用の半額助成を実施しました。 助成人数 8人
(2) 15歳・18歳の人を対象にインフルエンザワクチン接種費用の全額助成を実施しました。助成人数 319人
3(1)～(2) 計327人…③ ①＋②＋③＝15,238人

5 活動指標

指標名	予防接種延べ人数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	人 16,757.00	人	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	予防接種、任意予防接種の延べ人数	令和３年度	人 15,119.00	人	
		令和４年度	人 16,212.00	人	
		令和５年度	人 15,238.00	人	

6 成果指標

指標名	麻しん風しん1期接種率	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		令和２年度	% 91.00	% 100.00	接種率100%を目標とします。
指標の説明（指標式）	（麻しん風しん1期接種者）÷（対象者）×100	令和３年度	% 91.60	% 100.00	
		令和４年度	% 95.60	% 100.00	
		令和５年度	% 87.10	% 100.00	

7 直接事業費計	前年度決算額	137,100,370 円	決算額	125,426,972 円

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	成人保健健康診査事業	ｺｰﾄﾞ	01	04	01	02	02	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	1　だれもが元気に暮らせるまち　【健康・医療・福祉】						
		基本施策	01　健康づくりを推進する						
		施策の展開方向	①　疾病予防・健康増進の推進						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	健康診査等受診者
2	働きかける相手（対象）	健康診査等を職場などで受ける機会のない人、医療機関
3	どのような状態にしたいのか（意図）	検診及び健康診査に対する受診意識の向上を図ります。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

成人保健健康診査事業
　各種がん検診、女性特有のがん検診推進事業、肝炎ウイルス検診、結核検診、歯周病検診、骨粗しょう症検診及び20～39歳の方のための健診を行いました。
　また、保健事業年間スケジュールを作成し、保健事業の啓発を行うとともに、令和４年度の保健活動のまとめと評価を行い「東郷の保健活動」を作成しました。
⑴　各種がん検診　合計　7,332人
　ア　胃がん　　40歳以上　1,137人（内胃内視鏡検査146人）
　イ　大腸がん　　40歳以上　2,476人
　ウ　子宮頸がん　　20歳以上　854人
　　（妊婦健診と同時に実施した分は母子健康診査事業に記載あり。）
　エ　乳がん　　40歳以上　786人
　オ　肺がん　　40歳以上　1,246人（内喀痰検査を合わせて受診 53人）
　カ　前立腺がん　　50歳以上　833人
⑵　女性特有のがん検診推進事業
　※実績数値は⑴の各種がん検診の数字に含まれます。
　ア　子宮頸がん　　20歳　８人（対象者 257人）
　イ　乳がん　　40歳　53人（対象者 271人）
⑶　肝炎ウイルス検診　　20人
⑷　歯周病検診　　30・35・40・45・50・55・60・65・70・75・80歳　456人
⑸　骨粗しょう症検診　　184人
⑹　20～39歳の方のための健診　　209人
⑺　結核検診　　65歳以上　　3,427人（肺がん検診としての実施分は除く。）
⑻　8020運動表彰　　表彰者 97人
⑼　8820運動表彰　　表彰者 18人

5 活動指標

指標名	指標の説明（指標式）	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
がん検診受診者数	胃がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がん、肺がん、前立腺がん受診者数	令和２年度	人 5,906.00	人	個別計画による目標値はありません。
		令和３年度	人 7,701.00	人	
		令和４年度	人 7,673.00	人	
		令和５年度	人 7,332.00	人	

6 成果指標

指標名	指標の説明（指標式）	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
胃がん検診受診率	40歳以上の胃がん検診受診率	令和２年度	% 10.00	% 8.00	前年度の愛知県内の平均値を目標値とします。
		令和３年度	% 10.48	% 5.70	
		令和４年度	% 11.65	% 5.90	
		令和５年度	% 11.35	% 5.80	

7	直接事業費計	前年度決算額	48,771,494　円	決算額	46,611,533　円

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	成人保健健康教育事業	ｺｰﾄﾞ	01	04	01	02	03	-
2	総合計画の施策体系	基本目標	1　だれもが元気に暮らせるまち　【健康・医療・福祉】						
		基本施策	01　健康づくりを推進する						
		施策の展開方向	①　疾病予防・健康増進の推進						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	町民
2	働きかける相手（対象）	健康講座等で健康教育を受ける人等、町民（40歳から64歳までの町民）
3	どのような状態にしたいのか（意図）	健康的な生活を送ることができるよう健康に関する意識を高め、正しい知識を持って健康づくりに取り組むことができるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

成人保健健康教育事業
⑴　健康講演会（きらめきエクササイズ）
　町民を対象に、健康づくりに取り組むきっかけの場として、ストレッチ体操を始めとする教室を実施しました。
　開催回数６回（２クール）　参加者　78人
⑵　骨粗しょう症予防教室
　骨粗しょう症検診受診者の内要精密検査等と判定された方を対象に講座を実施しました。
　開催回数６回（２クール）　参加者　76人
⑶　とうごう体操普及推進事業
　とうごう体操出前講座
　地区等からの依頼により、とうごう体操の実演や講習会を開催しました。
　開催回数２回　参加者162人
⑷　文化産業まつり健康コーナー
　町民を対象に、健康に対する意識の向上を図るために健康コーナーを設けました。
　1回　2,142人（延べ）
⑸　いきいき健康マイレージ
　愛知県と東郷町の協働事業としてチャレンジシートを作成し、６月１日から開始しました。日々の健康づくりができる環境の整備や動機付けを行いました。今年度からLINEでの参加を可能にしました。
　100ポイント達成者　340人　（内「まいか」取得者244人）
⑹　健康づくりリーダー健康体操教室
　12回　148人
⑴～⑹の合計　27回　2,946人

5 活動指標

指標名		年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
成人保健健康教育の実施回数		令和２年度	回 13.00	回	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	成人保健健康教育の実施回数	令和３年度	回 7.00	回	
		令和４年度	回 15.00	回	
		令和５年度	回 27.00	回	

6 成果指標

指標名		年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
成人保健健康教育の参加者数		令和２年度	人 177.00	人 2,647.00	前年度実績
指標の説明（指標式）	成人保健健康教育の参加者数	令和３年度	人 381.00	人 177.00	
		令和４年度	人 1,477.00	人 381.00	
		令和５年度	人 2,946.00	人 1,477.00	

7	直接事業費計	前年度決算額	1,456,081　円	決算額	1,573,907　円

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	成人保健相談・訪問指導事業	ｺｰﾄﾞ	01	04	01	02	04	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	1　だれもが元気に暮らせるまち　【健康・医療・福祉】						
		基本施策	01　健康づくりを推進する						
		施策の展開方向	①　疾病予防・健康増進の推進						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	町民
2	働きかける相手（対象）	相談（訪問）が必要な人
3	どのような状態にしたいのか（意図）	相談者が心身の健康に関する相談、指導及び助言を受けることができ、家庭における健康管理が促進されるようにします。また、心身機能の低下の防止と健康の保持増進が図られるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

成人保健相談・訪問指導事業
(1) 健康相談　2,382人
ア　みんなの栄養相談（毎週月～金曜日、ただし祝日は除く。）　２人
内容　栄養相談、食生活に関する相談、離乳食の相談など
イ　からだ・こころの健康相談（毎週月曜日、ただし祝日は除く。）　８人
内容　からだやこころに関する相談
ウ　20～39歳の方のための健診結果説明･相談会　204人
（内、重点健康相談を受けた人数　156人）
エ　文化産業まつり健康コーナー　延べ2,142人　実442人

薬剤師コーナー	367人	内容：薬分包体験、薬相談、栄養サロン、脳年齢チェック
保健師コーナー	526人	内容：大腸がんクイズラリー、魚釣りで健康生活を釣りあげよう！
藤田医科大学コーナー	422人	内容：お手軽健康チェック、健康相談、白衣撮影
瀬戸保健所	234人	内容：たばこクイズ、アルコールパッチテスト
歯科医師会コーナー	266人	内容：舌の使い方チェック
健康づくりリーダー	41人	内容：みんなで楽しくとうごう体操
第一生命	286人	内容：血管年齢チェック

オ　若年者向け保健指導
20～39歳の方のための健診においてメタボリックシンドロームに該当した方に対してトレーニングジムを利用した個別支援を行いました。
実６人　延べ26人
(2) 成人訪問指導
訪問相談　２件
(3) 「こころの体温計」
内容　携帯電話やパソコンを利用して、ストレス度や落ち込み度が分かるメンタルチェックシステム
アクセス数　町内 3,848件、町外 1,261件

5 活動指標

指標名	20～39歳の方のための健診結果説明・相談を受けた人数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	人 0.00	人	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	人 222.00	人	
		令和４年度	人 142.00	人	
		令和５年度	人 204.00	人	

6 成果指標

指標名	20～39歳の方のための健診後説明・相談にて、重点健康相談を受けた人数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		令和２年度	人 0.00	人 79.00	前年度の実績値
指標の説明（指標式）	重点とは、高血圧・高脂血症・糖尿病・歯周疾患・骨粗しょう症・肥満等についての相談・指導のことをいいます。	令和３年度	人 126.00	人 0.00	
		令和４年度	人 114.00	人 126.00	
		令和５年度	人 156.00	人 114.00	

7	直接事業費計	前年度決算額	332,008　円	決算額	388,640　円

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	健康づくり地区活動支援事業	ｺｰﾄﾞ	01	04	01	02	05	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	1　だれもが元気に暮らせるまち　【健康・医療・福祉】						
		基本施策	01　健康づくりを推進する						
		施策の展開方向	②　地域ぐるみの健康づくり						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	町民
2	働きかける相手（対象）	地区における健康づくり活動に関心がある人・関係機関
3	どのような状態にしたいのか（意図）	町民一人ひとりが「自分の健康は自分でつくる」という意識を持ち、生涯を通じた健康づくりを主体的に地域で取り組むことができるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

健康づくり地区活動支援事業
　健康づくり地区活動支援として、児童館、子育て支援センター等からの依頼による健康に関する講座の実施や食生活改善推進員の活動の支援を実施しました。
⑴　健康づくり地区活動支援（地区の健康講座）　14回　174人
　ア　児童館　９回　親子38組　86人
　イ　子育て支援センター　２回　親子18組　40人
　ウ　自治会　２回　親子８組　16人
　エ　老人クラブ　１回　32人
⑵　食生活改善推進員活動支援　助成額40,000円　　16回　193人
　町民の食を通じた健康づくりを支援することを目的とし食生活改善推進員協議会が行う食生活改善事業に要する費用に対し、助成金を交付しました。
　ア　定例会　12回　150人
　イ　研修会　１回　13人
　ウ　勉強会　３回　30人

5 活動指標

指標名	指標の説明（指標式）	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
健康づくり地区活動支援の実施回数		令和２年度	回 0.00	回	個別計画による目標値はありません。
		令和３年度	回 33.00	回	
		令和４年度	回 26.00	回	
		令和５年度	回 30.00	回	

6 成果指標

指標名	指標の説明（指標式）	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
健康づくり地区活動支援の参加者数		令和２年度	人 205.00	人 594.00	前年度実績
		令和３年度	人 302.00	人 205.00	
		令和４年度	人 349.00	人 302.00	
		令和５年度	人 367.00	人 349.00	

7	直接事業費計	前年度決算額	104,518　円	決算額	69,763　円

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	救急医療対策事業	ｺｰﾄﾞ	01	04	01	02	06	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	1　だれもが元気に暮らせるまち　【健康・医療・福祉】						
		基本施策	01　健康づくりを推進する						
		施策の展開方向	④　医療体制の充実						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	救急医療を必要とする人
2	働きかける相手（対象）	休日急病診療所、救急病院
3	どのような状態にしたいのか（意図）	早急に医療行為が必要な人が、安心して治療ができるよう医療機関が確保され、その体制が維持できるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

救急医療対策事業

愛知県の救急医療体制が構築されているなか、尾張東部医療圏に属する本町は、第１次救急医療施設の休日急病診療所と第２次救急医療施設の尾張東部地域救急医療対策連絡協議会（５市１町）の救急病院に運営費を支出しました。

(1) 第１次救急医療施設　日進市休日急病診療所（日進市）

令和５年度休日急病診療所利用状況

ア	東郷町	581人	13.5%
イ	日進市	2,399人	55.6%
ウ	長久手市	1,063人	24.7%
エ	その他	268人	6.2%
	計	4,311人	

(2) 第２次救急医療施設　日進おりど病院（日進市）、旭労災病院（尾張旭市）

日進おりど病院と旭労災病院が指定病院です。また、陶生病院が、第３次救急医療施設（第２次救急医療機関の後方病院として脳卒中、心筋梗塞、頭部損傷その他特殊診療部門（熱傷、小児、中毒等）における重篤救急患者の救命医療を担当する。）に指定されています。

※第１次救急医療施設とは、救急医療体制下において、傷病の初期及び急性期症状の医療を担当し、第２次救急医療施設への選別機能を持つ医療機関をいう。

※第２次救急医療施設とは、第１次救急医療施設の後方病院として、入院又は緊急手術を要する救急患者の医療を担当する医療機関をいう。

5 活動指標

指標名	日進市休日急病診療所（東名古屋医師会運営）受診者数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	人 4,017.00	人	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	人 1,520.00	人	
		令和４年度	人 3,347.00	人	
		令和５年度	人 4,311.00	人	

6 成果指標

指標名	日進市休日急病診療所（東名古屋医師会運営）を受診した東郷町民の数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		令和２年度	人 610.00	人 605.00	過去３年間の実績値の平均
指標の説明（指標式）		令和３年度	人 238.00	人 592.00	
		令和４年度	人 537.00	人 468.00	
		令和５年度	人 581.00	人 462.00	

7	直接事業費計	前年度決算額	3,287,678　円	決算額	3,133,635　円

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	新型コロナウイルスワクチン接種事業	ｺｰﾄﾞ	01	04	01	02	08	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	3　安全・安心で、自然と共生するまち　【安全・安心、自然・生活環境】						
		基本施策	02　災害に強いまちをつくる						
		施策の展開方向	⑤　感染症対策						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	町民
2	働きかける相手（対象）	生後６か月以上の町民
3	どのような状態にしたいのか（意図）	新型コロナウイルス感染症の発症、重症化及びまん延の防止を図ります。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

予防接種法第６条第３項の規定に基づき、新型コロナウイルスワクチンの特例臨時接種を実施しました。
※令和５年春開始接種（令和５年５月８日から開始）令和５年秋開始接種（令和５年９月20日から開始）

⑴　接種者数
- ア　１回目　　14件（うち　小児接種　　１件、乳幼児接種　５件）
- イ　２回目　　15件（うち、小児接種　　１件、乳幼児接種　５件）
- ウ　３回目　　60件（うち、小児接種　　４件、乳幼児接種　８件）
- エ　４回目　183件（うち、小児接種　40件、乳幼児接種　３件）
- オ　５回目　1,902件（うち、小児接種　５件）
- カ　６回目　7,170件
- キ　７回目　5,408件

（再掲）令和５年春開始接種　6,606件　令和５年秋開始接種　8,051件

⑵　接種率（令和５年３月31日時点）
- ア　１回目　71.9%（65歳以上　92.8%、小児接種　12.1%、乳幼児接種　1.3%）
- イ　２回目　71.8%（65歳以上　92.6%、小児接種　11.9%、乳幼児接種　1.3%）
- ウ　３回目　59.8%（65歳以上　91.0%、小児接種　5.8%、乳幼児接種　1.1%）
- エ　４回目　38.3%（65歳以上　85.8%、小児接種　1.1%、乳幼児接種　0.2%）
- オ　５回目　24.5%（65歳以上　77.8%、小児接種　0.2%）
- カ　６回目　16.0%（65歳以上　62.2%）
- キ　７回目　12.2%（65歳以上　51.4%）

（再掲）令和５年春開始接種　15.0%　令和５年秋開始接種18.3%

⑶　接種体制の確保

各クールの接種開始時に接種券がない方に対して接種券を発送し、集団接種及び町内医療機関での接種予約を町コールセンター及び町公式LINEで受け付けました。なお、前回町内接種会場で接種した65歳以上の方は、日時を指定してご案内しました。また、接種を希望する方が早期に接種できるよう町内の接種会場を確保しました。

- ア　集団接種　接種会場　１か所　実施回数　延べ64回（うち２価ワクチン40回、１価ワクチン24回）
- イ　個別接種　接種会場　町内19協力医療機関

5 活動指標

指標名	延べ接種回数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	件 184.00	件	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	件 89,565.00	件	
		令和４年度	件 36,660.00	件	
		令和５年度	件 14,657.00	件	

6 成果指標

指標名	新型コロナウイルスワクチン接種率	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		令和２年度	% 0.00	% 0.00	国の新型コロナウイルスワクチン接種率（令和２年度、３年度は１回目接種率、令和４年度は３回目接種率、令和５年度は秋開始接種接種率）
指標の説明（指標式）		令和３年度	% 81.22	% 80.27	
		令和４年度	% 64.58	% 68.58	
		令和５年度	% 51.40	% 53.70	

7	直接事業費計	前年度決算額	324,737,357　円	決算額	180,276,662　円

款	04	衛生費	予算現額	103,678,000 円
項	01	保健衛生費	決算額	93,205,958 円
目	03	母子保健費	前年度決算額	78,404,340 円
			対前年比	118.9 %

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	母子保健健康診査事業	ｺｰﾄﾞ	01	04	01	03	01	-
2	総合計画の施策体系	基本目標	2 子どもがのびのび育つまち 【子育て・教育・文化】						
		基本施策	01 子育てしやすい環境をつくる						
		施策の展開方向	① 子育て支援の充実						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	妊産婦とその夫、乳幼児とその保護者
2	働きかける相手（対象）	妊産婦とその夫、乳幼児とその保護者
3	どのような状態にしたいのか（意図）	妊婦・乳幼児が健康診査並びに保健指導を受けることができ、健康保持、育児上の不安解消及び母子の疾病予防が図られるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

母子保健健康診査事業
(1) 健康診査の状況　(1)ア～ク　合計5,676人
妊産婦及び乳幼児を対象とした健診（妊婦健診（14回）、産婦健診、乳児健診（２回）、妊産婦歯科健診、４か月児健診、１歳６か月児健診、２歳児歯科健診、３歳児健診）を実施しました。
ア　妊婦健診・子宮頸がん健診　一般　3,311人（内県外・助産所受診　延べ92人）　子宮頸がん　258人
イ　産婦健診　272人（内県外受診　延べ17人）
ウ　乳児健診（県外受診含む）　479人（内県外受診　延べ16人）
エ　妊産婦歯科健診　84人
オ　４か月児健診　269人（対象者283人、受診率95.1%、要精密検査14人）
カ　１歳６か月児健診　337人（対象者349人、受診率96.6%、要精密検査25人）
キ　２歳児歯科健診　308人（対象者364人、受診率84.6%）
ク　３歳児健診　358人（対象者363人、受診率98.6%、要精密検査73人）
(2) むし歯予防の取り組み
１歳６か月児健診及び２歳児歯科健診で個別指導を行いました。
(3) 健診未受診者対策
受診のない児には、電話で受診勧奨し、受診できない児へは家庭訪問や面接、入園状況の確認等で児の所在及び発達確認を行いました。
(4) 健診での他機関との協働
３歳児健診において町保育士が同席し、就園に向けた支援のため児の発達等の情報共有を行いました。
(5) 妊産婦タクシー助成
妊娠中から安全安心に移動できる手段として、妊婦１人当たり10,000円分のタクシー助成券を配付しました。
ア　タクシー券申請者数　296人
イ　利用者人数及び利用率　延べ221人（実人数149人）　50.3%

5 活動指標

指標名	健診受診者数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	人 6,288.00	人	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	妊婦健診、子宮頸がん健診、産婦健診、乳児健診、妊産婦歯科健診、４か月児健診、１歳６か月児健診、２歳児歯科健診、３歳児健診の合計受診者数	令和３年度	人 6,071.00	人	
		令和４年度	人 6,058.00	人	
		令和５年度	人 5,676.00	人	

6 成果指標

指標名	１歳６か月児健診受診率	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		令和２年度	% 94.00	% 100.00	全ての子どもの状況把握と育児支援のため100%を目標とした。
指標の説明（指標式）	健診受診者÷健診対象者×100	令和３年度	% 101.10	% 100.00	
		令和４年度	% 94.74	% 100.00	
		令和５年度	% 96.56	% 100.00	

7	直接事業費計	前年度決算額	41,551,634 円	決算額	38,976,802 円

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	母子保健教育事業	ｺｰﾄﾞ	01	04	01	03	02	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	2　子どもがのびのび育つまち　【子育て・教育・文化】						
		基本施策	01　子育てしやすい環境をつくる						
		施策の展開方向	①　子育て支援の充実						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	妊産婦とその夫、乳幼児とその保護者
2	働きかける相手（対象）	妊産婦とその夫、乳幼児とその保護者
3	どのような状態にしたいのか（意図）	離乳食教室、マタニティクラス等の保健教育について、乳幼児及び保護者の健康が保持され、子育てに関する正しい知識の習得や仲間づくりの機会を設けます。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

母子保健教育事業
健康づくりセンターを拠点に下記の教室を開催しました。
⑴ 離乳食教室
ア 内容 離乳食の基本の習得を目的に離乳食についての講話及び試食の提供を行いました。
イ スタッフ 管理栄養士、保健師
ウ 実施回数及び実績 12回 実人数 初産婦65人、経産婦11人 合計76人
⑵ マタニティクラス（初期編）
ア 内容 妊娠期における食生活及び体と心の変化について
イ スタッフ 管理栄養士、保健師
ウ 実施回数及び実績 ６回 実人数 妊婦38人、パートナー等42人
⑶ マタニティクラス（後期編）
ア 内容 沐浴指導、出産時の心得及び陣痛緩和マッサージについての講話を実施しました。
イ 講師 助産師 スタッフ 保健師
ウ 実施回数及び実績 ６回 実人数 妊婦44人、パートナー等43人
⑷ なかよし教室（集団クラス）
ア 内容 遊びを通して子どもとの関わり方や声かけの方法を学ぶ機会としました
イ 講師 臨床心理士 スタッフ 保育士、保健師
ウ 実施回数及び実績 24回 実人数（児）45人、延べ人数（児）202人
⑸ 双子交流会
ア 多胎児を育児している保護者の交流会を実施しました。多胎児を妊娠した妊婦にも教室の案内をし、妊娠期からの参加を促しました。
イ 実施回数 ４回
ウ 実績 参加延べ８組（うち多胎妊婦１組）

5 活動指標

指標名		なかよし教室参加人数（実人数）	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
			令和２年度	人 30.00	人	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）			令和３年度	人 48.00	人	
			令和４年度	人 24.00	人	
			令和５年度	人 45.00	人	

6 成果指標

指標名		マタニティクラスに参加した妊婦の割合	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
			令和２年度	%	%	医療機関等の教室に参加する人もあるため、町のマタニティクラスの参加は半数程度を目標とする。
指標の説明（指標式）		マタニティクラス妊婦の参加数÷妊娠届出数×100	令和３年度	%	%	
			令和４年度	%	%	
			令和５年度	% 31.50	% 50.00	

7 直接事業費計	前年度決算額	248,141 円	決算額	345,392 円

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	母子保健相談・訪問指導事業	ｺｰﾄﾞ	01	04	01	03	03	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	2　子どもがのびのび育つまち　【子育て・教育・文化】						
		基本施策	01　子育てしやすい環境をつくる						
		施策の展開方向	①　子育て支援の充実						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	妊産婦とその夫、乳幼児とその保護者
2	働きかける相手（対象）	妊産婦とその夫、乳幼児とその保護者
3	どのような状態にしたいのか（意図）	適切な保健指導・育児相談が受けられるようにし、妊産婦・乳幼児の健康が保持され、育児上の不安が解消されるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

1　母子健康包括支援センター
(1)　母子健康手帳交付時の面接、マタニティコール及びハッピーコール　260人（うち多胎妊娠２人）
　　母子健康手帳交付数　262冊
(2)　要支援妊婦の把握及び支援カンファレンス　12回　　支援プラン作成数　８件

2　母子保健相談
　健康づくりセンターにおいて下記の相談を実施しました。
(1)　育児相談（就学前児童対象）
　ア　内容　保健師・管理栄養士による育児相談を実施しました。
　イ　実施回数　育児相談・栄養相談　12回
　ウ　実績　乳児（実人数　61人、延べ人数　121人）幼児（実人数　36人、延べ人数　64人）
(2)　離乳食相談・栄養相談
　ア　内容　育児相談時に管理栄養士による栄養相談を実施しました。
　イ　実績　延べ16人
(3)　なかよし個別相談
　ア　内容　臨床心理士による相談を実施し、遊びを通した子どもとの関わり方等についての助言を行いました。
　イ　実施回数及び実績　16回　実人数（児）18人、延べ人数（児）22人

3　訪問指導事業
　赤ちゃん訪問（未熟児を含む）を始めとする訪問指導を実施しました。
(1)　妊婦訪問　　実人数　３人　訪問回数５回
(2)　赤ちゃん訪問　　実人数271人（内他市町村に依頼５人）訪問対象者　272人
(3)　産婦訪問　　実人数276人（内他市町村に依頼５人）
(4)　乳児・幼児訪問　　実件数　22人　訪問回数28回
(5)　歯科衛生士訪問　　実人数　２人　訪問回数２回
(6)　産後ケア訪問　　実人数　５人　訪問回数６回

5 活動指標

指標名	育児相談（オンライン含む）人数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	人 311.00	人	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	人 171.00	人	
		令和４年度	人 217.00	人	
		令和５年度	人 185.00	人	

6 成果指標

指標名	新生児家庭訪問実施率	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		令和２年度	% 98.00	% 100.00	すべての赤ちゃんの育児環境の把握と育児支援のため100%とする。
指標の説明（指標式）	委託助産師・町保健師・保健所保健師による訪問者率 （赤ちゃん訪問実人数）÷（訪問対象者）×100	令和３年度	% 99.07	% 100.00	
		令和４年度	% 99.31	% 100.00	
		令和５年度	% 99.63	% 100.00	

7	直接事業費計	前年度決算額	9,201,531　円	決算額	8,064,678　円

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	発達障がい早期総合支援事業	ｺｰﾄﾞ	01	04	01	03	04	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	2　子どもがのびのび育つまち　【子育て・教育・文化】						
		基本施策	01　子育てしやすい環境をつくる						
		施策の展開方向	①　子育て支援の充実						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	幼児とその保護者、児童、生徒、発達障がい児を支援する人
2	働きかける相手（対象）	幼児とその保護者、児童、生徒、発達障がい児を支援する人
3	どのような状態にしたいのか（意図）	発達障がい児及び発達障がいの特徴のある児童に対する正しい支援方法を、保護者や支援者が理解し、発達障がい児及び発達障がいの特徴のある児童が生活しやすい環境を整えます。

4　評価対象年度にどのようなことを実施したのか

早期総合支援体制

⑴　すくすく発達相談（５歳児スクリーニング）事業

発達障がいの早期発見と、保護者及び保育士に対し支援方法の指導を実施するため、町内保育園・幼稚園のうち５園を対象に巡回し、保護者アンケート等を参考に、発達障がいの特徴のある児童への園での対応について助言等を行いました。また、必要な園児、希望する園児には後日発達検査、発達相談を実施しました。

アンケート回収：173人

発達検査、発達相談の実施　10人

⑵　小学校等巡回相談

発達障がい傾向にある児童の支援方法を現場支援者（教員等）と検討しました。

実施状況　町内小学校　2回（相談児童2人）、町内中学校　2回（相談生徒2人）　合計4回

⑶　発達障がい早期総合支援連絡協議会

発達障がい児及び発達障がいの特徴のある児童に対する支援体制の充実を図るための協議を実施しました。

⑷　発達障がい早期総合支援研修会

発達障がい傾向のある児童や生徒にかかわる職員（保育士、小中学校の介助員、放課後子ども教室担当者、相談員、保健師等）に対しオンライン研修（一部来場）及びYoutube配信を実施しました。参加者67人

講演会

「読み書きが苦手なお子さんへの支援について」

講師　ディスレクシア協会名古屋代表　吉田　優英　氏

相談合計　187人（講演会除く）

5　活動指標

指標名	発達に関する相談件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	人 341.00	人	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	発達検査、発達相談、すくすく発達相談、小学校等巡回相談における相談児童・生徒数	令和３年度	人 192.00	人	
		令和４年度	人 179.00	人	
		令和５年度	人 187.00	人	

6　成果指標

指標名	小学校等巡回相談実施回数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		令和２年度	回 6.00	回 9.00	小学校等巡回相談を全小中学校にて実施します。
指標の説明（指標式）	小学校等巡回相談の実施回数	令和３年度	回 5.00	回 9.00	
		令和４年度	回 5.00	回 9.00	
		令和５年度	回 4.00	回 9.00	

7	直接事業費計	前年度決算額	463,938　円	決算額	270,000　円

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	不妊治療費事業	ｺｰﾄﾞ	01	04	01	03	05	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	2　子どもがのびのび育つまち　【子育て・教育・文化】						
		基本施策	01　子育てしやすい環境をつくる						
		施策の展開方向	①　子育て支援の充実						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	不妊症や不育症に悩む夫婦
2	働きかける相手（対象）	不妊症や不育症に悩む夫婦
3	どのような状態にしたいのか（意図）	不妊や不育に悩む夫婦に対し、治療に係る経済的な負担の軽減が図られるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

不妊治療費事業
(1) 不妊治療　（不妊治療に要する費用の一部を助成しました。）合計77件
　ア　一般不妊治療　38件
　イ　特定不妊治療　39件
(2) 不育症治療（不育症治療に要する費用を一部を助成しました。）
　不育症治療　1件

5 活動指標

指標名	不妊治療・不育症治療費申請延べ件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	件 111.00	件	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	件 86.00	件	
		令和４年度	件 68.00	件	
		令和５年度	件 78.00	件	

6 成果指標

指標名	不妊治療・不育治療費助成金支給額	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		令和２年度	円 7,615,566.00	円 7,235,916.00	前年度実績
指標の説明（指標式）		令和３年度	円 6,016,685.00	円 7,615,566.00	
		令和４年度	円 4,262,694.00	円 6,016,685.00	
		令和５年度	円 4,961,047.00	円 4,262,694.00	

7	直接事業費計	前年度決算額	4,262,694　円	決算額	4,961,047　円

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	出産・子育て応援事業	ｺｰﾄﾞ	01	04	01	03	06	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	2　子どもがのびのび育つまち　【子育て・教育・文化】						
		基本施策	01　子育てしやすい環境をつくる						
		施策の展開方向	①　子育て支援の充実						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	妊婦、児童を養育する保護者
2	働きかける相手（対象）	妊婦、児童を養育する保護者
3	どのような状態にしたいのか（意図）	妊婦・子育て家庭に対して、妊娠届出時５万円、出生届出時５万円を支給することで経済的な負担の軽減が図られるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

出産・子育て応援事
　遡及対象者（令和４年４月１日から令和５年２月２８日までに出生した児童の母及び養育者）に対し令和５年３月にアンケート及び申請案内を発送しました。アンケートの回答内容から、必要に応じて電話や面談を実施しました。令和５年３月１日以降で妊娠の届出をした妊婦、出生した児童を養育する人及び転入者には、随時、相談支援を実施し、申請の案内をしました。
⑴　出産応援給付金（妊婦に対して１人５万円を給付）
　　給付者数　453人
⑵　子育て応援給付金（児童を養育する保護者に対し、児童１人につき５万円を給付）
　　給付者数　340人

⑴⑵合計　793人　（給付対象者数　796人）

5 活動指標

指標名	出産・子育て応援給付金の給付者数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	人	人	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	出産応援給付金、子育て応援給付金の給付者数	令和３年度	人	人	
		令和４年度	人 449.00	人	
		令和５年度	人 793.00	人	

6 成果指標

指標名	出産・子育て応援給付金の給付率	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		令和２年度	%	%	前年度実績
指標の説明（指標式）	出産応援給付金、子育て応援給付金の給付率 （給付者数）÷（給付対象者数）×100	令和３年度	%	%	
		令和４年度	% 61.59	%	
		令和５年度	% 99.62	% 61.59	

7	直接事業費計	前年度決算額	22,676,402　円	決算額	40,588,039　円

款	04	衛生費	予算現額	166,522,000 円
項	01	保健衛生費	決算額	161,693,709 円
目	04	いこまい館費	前年度決算額	163,354,468 円
			対前年比	99 %

Ⅰ．事業の目的体系

1 事業名	いこまい館管理事業	ｺｰﾄﾞ	01	04	01	04	01	－
2 総合計画の施策体系	基本目標	6 みんなでつくるまち 【参画・協働】						
	基本施策	04 将来を見据えた行財政運営を進める						
	施策の展開方向	④ 町有施設の総合管理						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	施設利用者
2	働きかける相手（対象）	指定管理者、施設、施設利用者
3	どのような状態にしたいのか（意図）	いこまい館を利用する人が安心で快適に利用できるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

いこまい館管理事業
(1) いこまい館施設維持管理業務
指定管理者により施設の管理運営を実施しました。指定管理期間は令和5年度から令和9年度までの5年間です。
年間施設利用者数は、有料施設131,168人、無料施設10,683人、合計141,851人でした。

ア	有料施設	(131,168人)
(ア)	トレーニングジム	50,978人
(イ)	水中トレーニング室	22,703人
(ウ)	介助浴室	12人
(エ)	自主活動スペース	(57,475人)
a	多目的室Ａ	22,255人
b	多目的室Ｂ	10,346人
c	調理室・ﾗﾝﾁﾙｰﾑ	3,356人
d	会議室Ａ	3,100人
e	会議室Ｂ	6,079人
f	和室（３室）	7,686人
g	音楽練習室	2,743人
h	指導会議室（２室）	1,910人
イ	無料施設	(10,683人)
(ア)	町民活動センター	7,006人
(イ)	無料町民ギャラリー	87日間（11団体）※利用日数のみ
(ウ)	シニアハウス	569人
(エ)	おやこおもちゃルーム	3,108人

(2) 施設整備工事

ア	空調機器取替工事	1式	イ	防犯カメラ改修工事	1式
ウ	上水加圧給水装置（PU-1）更新工事	1式	エ	防火戸改修工事	1式
オ	ブラインド修理工事	1式	カ	移動観覧席修繕工事	1式

5 活動指標

指標名	管理運営会議の開催数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	回 12.00	回	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	施設設置者である町と指定管理者との管理運営会議	令和３年度	回 12.00	回	
		令和４年度	回 12.00	回	
		令和５年度	回 12.00	回	

6 成果指標

指標名	有料施設の利用人数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		令和２年度	人 36,889.00	人 165,882.00	前年度実績
指標の説明（指標式）	トレーニングルーム、水中トレーニング室等有料施設の利用人数	令和３年度	人 104,452.00	人 36,889.00	
		令和４年度	人 109,878.00	人 104,452.00	
		令和５年度	人 131,168.00	人 109,878.00	

7 直接事業費計	前年度決算額	163,354,468 円	決算額	161,693,709 円	

款	04	衛生費	予算現額	66,222,000 円
項	01	保健衛生費	決算額	55,887,600 円
目	05	環境衛生費	前年度決算額	60,789,140 円
			対前年比	91.9 %

Ⅰ．事務の目的体系

1 事業名	環境衛生一般管理事業	ｺｰﾄﾞ	01	04	01	05	02	-
2 総合計画の施策体系	基本目標	3 安全・安心で、自然と共生するまち 【安全・安心、自然・生活環境】						
	基本施策	04 環境にやさしいまちをつくる						
	施策の展開方向	－						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	町民、職員
2	働きかける相手（対象）	職員
3	どのような状態にしたいのか（意図）	環境行政全般を円滑に推進します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

環境衛生一般事務事業
⑴ 愛知県主催の不法投棄連絡会議、騒音・振動・悪臭担当者研修や関係機関の会議に参加しました。
⑵ 作業服、ハチやクモの駆除剤等を購入しました。

5 活動指標

指標名	指標の説明（指標式）	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
研修会、協議会等への参加回数		令和２年度	回 23.00	回	個別計画による目標値はありません。
		令和３年度	回 26.00	回	
		令和４年度	回 28.00	回	
		令和５年度	回 12.00	回	

6 直接事業費計	前年度決算額	479,410 円	決算額	772,007 円

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	狂犬病対策事業	ｺｰﾄﾞ	01	04	01	05	03	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	3　安全・安心で、自然と共生するまち　【安全・安心、自然・生活環境】						
		基本施策	02　災害に強いまちをつくる						
		施策の展開方向	⑤　感染症対策						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	町民
2	働きかける相手（対象）	犬の所有者、獣医
3	どのような状態にしたいのか（意図）	国内で狂犬病が発生した場合に、発生の拡大とまん延防止を図るとともに、無登録犬の減少と飼い主のマナーの向上が図られるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

狂犬病対策事業
⑴　飼い主へはがきによる予防注射案内を送付し、預託による予防注射を24病院で実施しました。
　ア　犬登録頭数　3,372頭
　イ　注射頭数　　2,306頭

⑵　犬及び猫の適正な飼養の推進及び災害等により逸走した際の所有者早期特定を目的として、マイクロチップを装着する者に対して補助金を交付しました。（実績10件、22,100円）

5 活動指標

指標名	狂犬病予防注射接種率	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	% 74.00	% 74.93	過去３か年における実績の平均値を目標値とします。（令和５年度分から）
指標の説明（指標式）	狂犬病予防注射接種頭数÷登録犬数×100	令和３年度	% 71.06	% 74.00	
		令和４年度	% 71.66	% 71.06	
		令和５年度	% 68.39	% 73.33	

6 成果指標

指標名	マイクロチップ装着推進事業補助金交付件数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		令和２年度	頭	頭	前年度実績値を目標値とします。（令和４年度開始事業であるためそれ以前の実績値、目標値はなし）
指標の説明（指標式）		令和３年度	頭	頭	
		令和４年度	頭 8.00	頭	
		令和５年度	頭 10.00	頭 8.00	

7	直接事業費計	前年度決算額	1,122,094　円	決算額	995,631　円

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	環境保全事業	ｺｰﾄﾞ	01	04	01	05	04	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	3　安全・安心で、自然と共生するまち　【安全・安心、自然・生活環境】						
		基本施策	05　美しいまちをつくる						
		施策の展開方向	③　環境保全対策の推進						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	町民
2	働きかける相手（対象）	町民、自然
3	どのような状態にしたいのか（意図）	緑豊かな東郷町を守り、自然の大切さを感じることができるように、幼少期から環境に対する学習の機会を提供することで、町民自らが地域に愛着を持ち緑豊かな自然環境が保たれるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

1　環境保全事業
　ホタル生息地の調査を行い、ホームページで公表しました。
(1)　調査回数　２回
(2)　調査場所　町内18か所

2　環境学習推進事業
　子どもたちが環境や自然について楽しみながら学習できるイベントを複数回実施しました。
(1)　「じどうかんこどもまつり」への環境学習ブース出展　参加者　約2,000人
(2)　児童館出前講座の実施　開催回数６回　参加者計264人

5 活動指標

指標名	事業開催数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	回 2.00	回	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	ホタル生息地調査及びこども環境学習イベントの開催回数	令和３年度	回 2.00	回	
		令和４年度	回 4.00	回	
		令和５年度	回 9.00	回	

6 成果指標

指標名	環境保全関連事業参加者数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		令和２年度	人 0.00	人 2,100.00	前年度実績値を目標値とします。（ただし、中止等により実績値がない場合は、直近の実績値を目標値とする。）
指標の説明（指標式）	環境学習イベントの参加者数	令和３年度	人 0.00	人 2,100.00	
		令和４年度	人 1,000.00	人 2,100.00	
		令和５年度	人 2,264.00	人 1,000.00	

7	直接事業費計	前年度決算額	6,984,670　円	決算額	618,896　円

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	地球温暖化防止活動推進事業	ｺｰﾄﾞ	01	04	01	05	05	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	3　安全・安心で、自然と共生するまち　【安全・安心、自然・生活環境】						
		基本施策	04　環境にやさしいまちをつくる						
		施策の展開方向	①　地球温暖化対策の推進						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	町民
2	働きかける相手（対象）	一般家庭、事業者、町職員
3	どのような状態にしたいのか（意図）	地球温暖化の防止、低炭素社会への転換、資源の有効利用、環境負荷の低減、環境保全等について、町民、事業者、職員が自ら率先して行動できるようにするとともに、環境にやさしいライフスタイルへの転換が図られるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

1　東郷版ＩＳＯ推進事業
　東郷版ＩＳＯの普及
　「東郷版ＩＳＯエコチャレンジ１０」について、文化産業まつりにおいてブース出展し、積極的にＰＲしました。

2　東郷町地球温暖化対策設備導入促進費補助事業
　地球温暖化対策設備の設置者に対して、設置及び購入に要する費用の一部を補助することにより、エネルギーの地産地消に対する意識の高揚及び、温室効果ガスの排出抑制の促進を図りました。
(1)　家庭用燃料電池システム
　補助件数　　6件
　補助金額　　300,000円
(2)　定置用リチウムイオン蓄電システム
　補助件数　　27件
　補助金額　　1,350,000円
(3)　家庭用エネルギー管理システム
　補助件数　　14件
　補助金額　　140,000円
(4)　電気自動車等充給電設備
　補助件数　　4件
　補助金額　　200,000円
(5)　一体的導入
　（住宅用太陽光発電施設＋定置用リチウムイオン蓄電システム＋家庭用エネルギー管理システム）
　補助件数　　17件
　補助金額　　3,400,000円
(6)　ＺＥＨの導入
　補助件数　　9件
　補助金額　　2,700,000円

5 活動指標

指標名		年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
「東郷版ＩＳＯエコチャレンジ１０」参加者数		令和２年度	人 90.00	人	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	人 42.00	人	
		令和４年度	人 80.00	人	
		令和５年度	人 89.00	人	

6 成果指標

指標名		年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
地球温暖化対策設備導入促進費補助金交付件数		令和２年度	件 47.00	件 123.00	前年度実績値を目標値とします。
指標の説明（指標式）	地球温暖化対策設備導入促進費補助金を交付した件数	令和３年度	件 53.00	件 47.00	
		令和４年度	件 85.00	件 53.00	
		令和５年度	件 77.00	件 85.00	

7	直接事業費計	前年度決算額	8,369,900　円	決算額	8,228,050　円

款	04	衛生費	予算現額	4,596,000 円
項	01	保健衛生費	決算額	2,215,943 円
目	06	公害対策費	前年度決算額	2,228,752 円
			対前年比	99.4 %

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	水質浄化事業	ｺｰﾄﾞ	01	04	01	06	01	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	3 安全・安心で、自然と共生するまち 【安全・安心、自然・生活環境】						
		基本施策	05 美しいまちをつくる						
		施策の展開方向	③ 環境保全対策の推進						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	町民
2	働きかける相手（対象）	市街化調整区域の町民、子ども、町民、水質
3	どのような状態にしたいのか（意図）	河川等の水質を浄化することによって、水環境への負荷の軽減を図ります。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

1 合併処理浄化槽推進事業
生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止するため、市街化調整区域で単独処理浄化槽から合併処理浄化槽に付替えた者に対して補助金を交付しました。（実績1件、415,000円）

2 水質浄化啓発事業
(1) 水質検査
ア 河川の水質汚濁状況を定期的に把握するため、11河川等12か所の水質検査を３回行いました。
イ 水環境の保全に努めるため、生活排水路４か所の水質検査を２回行いました。
(2) 水生生物調査（境川生きものウォッチング）
境川河川敷（交通児童遊園前）において、町内の小学生３～６年生を対象に境川に生息する生物を採取し、その生物指標により水質階級を決める事業を通して生活排水の浄化推進を啓発しました。
ア 開催日 ８月５日（土）
イ 参加者 57名
ウ 調査結果 水質階級Ⅱ（ややきれいな水）

5 活動指標

指標名		水質測定による監視回数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
			令和２年度	回 3.00	回	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		河川等における水質検査の実施回数	令和３年度	回 3.00	回	
			令和４年度	回 3.00	回	
			令和５年度	回 3.00	回	

6 成果指標

指標名		合併処理浄化槽付替件数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
			令和２年度	基 4.00	基	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への付替件数	令和３年度	基 4.00	基	
			令和４年度	基 2.00	基	
			令和５年度	基 1.00	基	

7	直接事業費計	前年度決算額	1,505,895 円	決算額	1,598,548 円

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	公害対策事業	ｺｰﾄﾞ	01	04	01	06	02	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	3　安全・安心で、自然と共生するまち　【安全・安心、自然・生活環境】						
		基本施策	05　美しいまちをつくる						
		施策の展開方向	③　環境保全対策の推進						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	町民
2	働きかける相手（対象）	事業者、町民、土壌・騒音・振動・悪臭などの原因
3	どのような状態にしたいのか（意図）	発生した公害が早期に解決され、良好な生活環境が保全されるようにします。また、有害物質による土壌汚染や土砂の流出等による災害の発生が未然に防止されるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

1　公害等対策事業
生活環境に悪影響を及ぼす公害を監視し、町民の生活環境を良好に保つとともに、通報に対して直ちに調査し対処しました。
(1)　公害苦情件数　５件（典型７公害等に関するもの）
(2)　東郷町土質等規制条例許可申請件数　０件

2　騒音対策事業
(1)　届出の受付
騒音規制法、振動規制法及び県民の生活環境の保全等に関する条例（以下「愛知県条例」。）に基づく騒音・振動などの届出を受け、監視するとともに監視先に対する苦情処理を行い、快適な生活環境を守りました。
ア　特定施設の設置届出件数　３件（前年度比＋３件）
イ　愛知県条例に基づく悪臭関係工場等の届出件数　３件
ウ　特定建設作業実施届出件数
(ｱ)　騒音規制法に基づく届出　177件
(ｲ)　振動規制法に基づく届出　85件
(ｳ)　愛知県条例に基づく届出　444件
(2)　騒音測定等
町内の幹線道路の騒音状況を把握するため、町内６路線８地点の騒音測定を実施し、町民の健康及び生活環境の保全を図りました。

3　自動車排出ガス濃度調査事業
愛知県の調査制度を利用し、大気環境測定車による調査を実施し、公表しました。
(1)　調査地点：東郷町大字春木字弥計511-1
(2)　調査期間：令和５年７月４日(火)から７月26日(水)まで

5 活動指標

指標名	公害苦情処理件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	件 8.00	件	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	件 8.00	件	
		令和４年度	件 5.00	件	
		令和５年度	件 5.00	件	

6 成果指標

指標名	苦情解決率	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		令和２年度	% 100.00	% 100.00	発生した苦情は100%解決を目指します。
指標の説明（指標式）	（苦情件数-未解決件数）÷苦情件数×100	令和３年度	% 100.00	% 100.00	
		令和４年度	% 100.00	% 100.00	
		令和５年度	% 100.00	% 100.00	

7	直接事業費計	前年度決算額	722,857　円	決算額	617,395　円

款	04	衛生費	予算現額	74,132,000 円
項	02	清掃費	決算額	72,305,045 円
目	01	清掃総務費	前年度決算額	38,400,088 円
			対前年比	188.3 %

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	地域環境対策事業	ｺｰﾄﾞ	01	04	02	01	01	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	3　安全・安心で、自然と共生するまち　【安全・安心、自然・生活環境】						
		基本施策	05　美しいまちをつくる						
		施策の展開方向	④　まちの環境美化と不法投棄対策の推進						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	町民
2	働きかける相手（対象）	町民、町内通行者
3	どのような状態にしたいのか（意図）	ポイ捨てや不法投棄のない清潔な生活環境を保持します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

1　地域環境美化事業
(1)　犬猫等動物死骸処理
公道等における交通事故等で死亡した犬猫等の死骸を処理しました。
処理件数　107件
(2)　地域清掃活動用ごみ袋の配布
地域清掃や公共の場をボランティアで清掃される方に、専用のごみ袋を配布しました。
申請件数　105件

2　不法投棄監視等事業
不法投棄が多い不法投棄重点監視区域を中心に、町内を監視パトロールしたほか、不法投棄物や散乱ごみを回収及び運搬しました。
(1)　パトロール日数　142日
(2)　不法投棄確認件数　117件
(3)　回収した不法投棄物の重量　8,880kg

3　クリーンアップキャンペーンの実施
廃棄物減量等推進員及び環境美化推進員、一般参加者との協働により、清掃活動を行いながら廃棄物の減量について学びました。
令和５年５月27日　清掃地区：諸輪・祐福寺　参加者：22名
令和５年11月19日　清掃地区：役場周辺　参加者：19名

5 活動指標

指標名	不法投棄物確認件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	件 193.00	件	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	不法投棄監視で確認した不法投棄物の件数	令和３年度	件 189.00	件	
		令和４年度	件 126.00	件	
		令和５年度	件 117.00	件	

6 成果指標

指標名	不法投棄物の年間処理量	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		令和２年度	kg 9,740.00	kg 9,293.00	過去３年間における実績値の平均値
指標の説明（指標式）	不法投棄監視で回収した不法投棄物の年間処理量	令和３年度	kg 9,690.00	kg 9,320.00	
		令和４年度	kg 8,500.00	kg 9,403.00	
		令和５年度	kg 8,880.00	kg 9,310.00	

7	直接事業費計	前年度決算額	5,051,950 円	決算額	4,540,496 円

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	廃棄物減量推進事業	ｺｰﾄﾞ	01	04	02	01	02	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	3　安全・安心で、自然と共生するまち　【安全・安心、自然・生活環境】						
		基本施策	04　環境にやさしいまちをつくる						
		施策の展開方向	③　ごみの適正処理と３Rの推進						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	町民
2	働きかける相手（対象）	町民、廃棄物減量等推進員
3	どのような状態にしたいのか（意図）	町民一人ひとりが、限られた資源を有効に使うことによってごみを減量させる。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

廃棄物減量推進事業

(1) 廃棄物減量等推進員及び環境美化推進員事業

町内18地区に各１から２名（合計35名）の推進員を配置し、ごみの減量の啓発、廃棄物の適正処理の推進等を行いました。推進員の主な職務は、「廃棄物の減量に関する啓発」、「資源回収の推進」、「ごみの分別及び適正排出の推進」、「不法投棄等の監視に係る活動」、「ごみ集積場所の設置等に関する連絡調整」等があります。

事業活動を理解してもらうため、説明会を開催しました。

(2) 生ごみの減量化

生ごみの減量対策として、電動生ごみ処理機、生ごみ処理容器の購入者に補助金を交付しました。

補助実績

電動生ごみ処理機８基、生ごみ処理容器4基

(3) フードドライブの実施

家庭で廃棄される食品（食品ロス）を削減するため、食べきれない食品を町民に持ち寄ってもらい、必要とされる方に寄付する活動を年３回実施しました。

令和５年６月１日～15日　持込点数：160点、211kg
令和５年10月２日～16日　持込点数：331点、133kg
令和６年２月１日～13日　持込点数：265点、 85kg

5 活動指標

指標名		年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
フードドライブ参加人数		令和２年度	人 0.00	人 11.00	過去３年の実施回数の中の最大値
指標の説明（指標式）	フードドライブの参加者数	令和３年度	人 70.00	人 11.00	
		令和４年度	人 91.00	人 70.00	
		令和５年度	人 79.00	人 91.00	

6 成果指標

指標名		年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
生ごみ処理機の補助実績		令和２年度	基 13.00	基 12.00	過去３年間における実績値の平均値
指標の説明（指標式）	生ごみ処理機・生ごみ処理容器の購入者に対する補助実績	令和３年度	基 17.00	基 11.00	
		令和４年度	基 17.00	基 14.00	
		令和５年度	基 12.00	基 16.00	

7	直接事業費計	前年度決算額	1,279,126　円	決算額	1,235,945　円

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	資源回収事業	ｺｰﾄﾞ	01	04	02	01	03	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	3　安全・安心で、自然と共生するまち　【安全・安心、自然・生活環境】						
		基本施策	04　環境にやさしいまちをつくる						
		施策の展開方向	③　ごみの適正処理と３Rの推進						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	町民
2	働きかける相手（対象）	町民、区・自治会、集団資源回収団体
3	どのような状態にしたいのか（意図）	町民一人ひとりがリサイクルへの意識を持ち、地域で主体的に取り組むことができるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

資源回収事業
⑴ 資源回収ステーションでの資源回収の推進
常設の資源回収ステーション２か所（北部・中部）で資源の回収に努めました。
ア 回収品目 26品目
（新聞、雑誌、段ボール、紙パック、古着、紙製容器包装、雑がみ、その他の紙製容器包装、プラスチック製容器包装、ペットボトル、ペットボトルのキャップ、白色トレイ、蛍光管、びん、缶、廃食用油、乾電池、スプレー缶、使い捨てライター、割りばし、インクカートリッジ、水銀入り体温計、小型家電、充電式電池、ボタン電池、バッテリー）
イ 回収量 620t
⑵ 地区における資源回収の促進
資源の分別収集を実施した区・自治会に対し、月額9,000円の奨励金を交付しました。
ア 対象品目 ２品目（ペットボトル、びん）
イ 回収量 45ｔ
⑶ 集団資源回収の促進
集団資源回収実施団体に対し、資源回収量に応じ、奨励金を交付しました。
ア 団体数 32団体
イ 対象品目 ７品目（新聞、雑誌、段ボール、布類、紙パック、アルミ缶、スチール缶）
ウ 回収量 674ｔ

5 活動指標

指標名		年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
資源回収量		令和２年度	t 1,519.00	t	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	資源回収ステーション、地区資源回収、集団資源回収で回収した資源の量	令和３年度	t 1,527.00	t	
		令和４年度	t 1,458.00	t	
		令和５年度	t 1,339.00	t	

6 成果指標

指標名		年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
資源回収率		令和２年度	% 14.20	% 14.80	前年度実績値
指標の説明（指標式）	資源回収量÷（資源回収量＋処理しなければならないごみ量）×100	令和３年度	% 14.80	% 14.20	
		令和４年度	% 14.80	% 14.80	
		令和５年度	% 18.70	% 14.80	

7 直接事業費計	前年度決算額	32,069,012 円	決算額	66,528,604 円	

款	04	衛生費	予算現額	516,151,000 円
項	02	清掃費	決算額	514,781,685 円
目	02	塵芥処理費	前年度決算額	359,518,873 円
			対前年比	143.2 %

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	一般廃棄物処理事業	ｺｰﾄﾞ	01	04	02	02	01	-
2	総合計画の施策体系	基本目標	3 安全・安心で、自然と共生するまち 【安全・安心、自然・生活環境】						
		基本施策	04 環境にやさしいまちをつくる						
		施策の展開方向	③ ごみの適正処理と３Rの推進						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	町民
2	働きかける相手（対象）	町民、事業者、一般廃棄物、尾三衛生組合
3	どのような状態にしたいのか（意図）	町内から発生する一般廃棄物を、計画的、衛生的かつ効率的に収集・運搬し、適正に処理できるようにします。また、焼却施設などで処理しなければならないごみの量を抑制するようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

一般廃棄物処理事業
(1) 計画収集等
町内全域で、家庭系ごみは町指定ごみ袋により衛生的な収集（可燃ごみは週２回、金属類は月２回、陶磁器・ガラスは月１回）を行い、事業系ごみは許可業者による収集を行い、尾三衛生組合等に搬入し、処分しました。粗大ごみは、電話予約により受付後、毎週１回戸別有料方式で収集を行い、尾三衛生組合に搬入し、処分しました。
［尾三衛生組合へのごみ搬入量（家庭系及び事業系の合計。直接搬入を含む。）］
ア 可燃ごみ 9,810t（うち計画収集 6,800t）
イ 金属類 175t（うち計画収集 175t）
ウ 陶磁器・ガラス 132t（うち計画収集 132t）
エ 乾電池・蛍光管 11t（うち計画収集 -t）
オ 粗大ごみ 541t（うち計画収集 72t）
(2) 指定ごみ袋
ごみ収集のための指定ごみ袋を印刷し指定ごみ袋の販売（ごみ処理手数料の徴収）を販売店に委託しました。
委託店舗数 62店舗
(3) 尾三衛生組合負担金
ア 尾三衛生組合（本町、日進市及びみよし市で構成する一部事務組合）の運営に必要な負担金を支払いました。
イ 組合議会、正副管理者会議、管内担当課長会議、管内担当者会議に出席しました。
(4) 令和５年７月からプラスチック資源の分別回収を開始しました。

5 活動指標

指標名	処理しなければならないごみ量	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	t 12,175.00	t	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	尾三衛生組合に持ち込まれた可燃・資源・粗大ごみの年間排出量（直接搬入を含む）	令和３年度	t 11,792.00	t	
		令和４年度	t 11,468.00	t	
		令和５年度	t 10,669.00	t	

6 成果指標

指標名	１人１日当たりの処理しなければならない家庭系のごみ	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		令和２年度	g 567.00	g 500.00	一般廃棄物処理計画中間見直しでの目標値
指標の説明（指標式）	可燃・資源・粗大ごみ/人数/年間日数	令和３年度	g 550.00	g 500.00	
		令和４年度	g 532.00	g 496.00	
		令和５年度	g 486.00	g 496.00	

7	直接事業費計	前年度決算額	359,518,873 円	決算額	514,781,685 円

款	04	衛生費	予算現額	260,530,000 円
項	02	清掃費	決算額	250,918,541 円
目	03	し尿処理事業	前年度決算額	136,284,202 円
			対前年比	184.1 %

Ⅰ．事業の目的体系

1 事業名	し尿処理事業	ｺｰﾄﾞ	01	04	02	03	01	－
2 総合計画の施策体系	基本目標	3 安全・安心で、自然と共生するまち 【安全・安心、自然・生活環境】						
	基本施策	04 環境にやさしいまちをつくる						
	施策の展開方向	③ ごみの適正処理と３Rの推進						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1 誰のために（受益者）	町民
2 働きかける相手（対象）	町民、日進美化センター、日進市南部浄化センター
3 どのような状態にしたいのか（意図）	生し尿を適正に収集処理することにより、清潔な生活環境を保持するようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

し尿処理事業
(1) し尿処理
し尿汲取券で従量制により収集し、処理施設である日進市南部浄化センターに搬入し、処理しました。
年間収集量 生し尿収集量 215,840kg
（参考 浄化槽汚泥収集量 7,203,690kg）
(2) し尿汲取券
し尿汲取券の販売（し尿処理手数料の徴収）を販売店に委託しました。
(3) 日進美化センター・日進市南部浄化センター運営業務委託事業
し尿処理業務について、日進美化センターと日進市南部浄化センターへ運営を委託しました。
(4) 日進市南部浄化センターの施設整備に係る負担金（繰越分）を支払いました。
(5) 日進美化センター既存施設解体費負担金を支払いました。

5 活動指標

指標名	生し尿収集量	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	kg 223,540.00	kg	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	kg 225,540.00	kg	
		令和４年度	kg 218,600.00	kg	
		令和５年度	kg 215,840.00	kg	

6 成果指標

指標名	し尿収集量の処理施設搬入割合	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		令和２年度	% 100.00	% 100.00	収集したし尿の全てを処理施設へ搬入することを目標とします。
指標の説明（指標式）	し尿搬入量÷し尿収集量×100	令和３年度	% 100.00	% 100.00	
		令和４年度	% 100.00	% 100.00	
		令和５年度	% 100.00	% 100.00	

7 直接事業費計	前年度決算額	136,284,202 円	決算額		250,918,541 円

款	05	労働費	予算現額	17,622,000 円
項	01	労働諸費	決算額	17,622,000 円
目	01	労働諸費	前年度決算額	16,936,000 円
			対前年比	104.1 %

Ⅰ．事業の目的体系

1 事業名	シルバー人材センター運営事業	ｺｰﾄﾞ	01	05	01	01	01	－
2 総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
	基本施策	04 高齢者がいきいきと暮らせる						
	施策の展開方向	④ 高齢者の就労・社会貢献の推進						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	高齢者
2	働きかける相手（対象）	公益社団法人東郷町シルバー人材センター
3	どのような状態にしたいのか（意図）	長年の職業経験や技能を活かしたいと望む高齢者に働く機会を提供することを通じて、生きがいの充実や生活の安定、地域社会の維持・発展を図ります。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

シルバー人材センター運営事業
(1) 公益社団法人東郷町シルバー人材センターの令和５年度事業報告
ア 会員数
283人（月平均270人）
イ 事務局職員数
４人
ウ 就業延人数
2,303人（月平均192人）
エ 就業率（月平均）
71.0%
オ 受託事業収入
93,997,404円
カ 派遣事業支出
14,560,906円
キ シルバー生活応援隊事業実績
41件
(2) シルバー人材センターに対して運営事業費補助金を交付しました。
ア 補助対象経費
給料手当 19,069,182円
法定福利費 3,245,499円
イ 補助金額 17,622,000円

5 活動指標

指標名	受託事業収入	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	千円 87,322.00	千円 112,000.00	公益社団法人東郷町シルバー人材センター中期計画
指標の説明（指標式）	就業機会の確保及び提供による収入	令和３年度	千円 86,592.00	千円 100,116.00	
		令和４年度	千円 93,604.00	千円 103,464.00	
		令和５年度	千円 93,998.00	千円 104,720.00	

6 成果指標

指標名	会員就業率	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		令和２年度	% 70.00	% 86.90	公益社団法人東郷町シルバー人材センター中期計画
指標の説明（指標式）	就業人数÷会員数×100（毎月の平均値）	令和３年度	% 72.60	% 88.90	
		令和４年度	% 75.60	% 90.60	
		令和５年度	% 71.00	% 92.60	

7 直接事業費計	前年度決算額	16,936,000 円	決算額		17,622,000 円

款	06	農林水産業費	予算現額	11,882,000 円
項	01	農業費	決算額	11,558,846 円
目	01	農業委員会費	前年度決算額	11,558,463 円
			対前年比	100 %

Ⅰ．事務の目的体系

1 事業名	農業委員会運営事業	ｺｰﾄﾞ	01	06	01	01	02	－
2 総合計画の施策体系	基本目標	5 産業と交流が盛んなまち 【産業・雇用・交流】						
	基本施策	01 農業を活性化する						
	施策の展開方向	－						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1 誰のために（受益者）	農業者
2 働きかける相手（対象）	農地所有者、農業委員、農地利用最適化推進委員
3 どのような状態にしたいのか（意図）	農地を効率的に利用する耕作者の権利取得等を促進するなど農地の利用関係を調整するとともに、貴重な資源である農地の転用を適切に規制し、町内で良好な農業経営が図られるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

農業委員会運営事業
農地の効率的な利用を図るため、農業的土地利用の観点から的確な農業委員会活動を行いました。
⑴ 農業委員会総会開催回数 12回（毎月１回）
⑵ 農地法関係の届出及び許可の取扱件数

ア ３条許可	８件
イ ４条許可	２件
ウ ４条１項７号届出	17件
エ ５条許可	23件
オ ５条１項６号届出	75件
合計	125件

⑶ 先進地視察研修
愛知県立農業大学校及び岡崎市で先進的な営農を行う㈲小久井農場を視察しました。
⑷ 農業委員用タブレット端末の活用
農業委員用のタブレット端末（５台）を農地の現地確認等で活用しました。

5 活動指標

指標名	農業委員会の開催回数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	回 12.00	回	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	回 12.00	回	
		令和４年度	回 12.00	回	
		令和５年度	回 12.00	回	

6 直接事業費計	前年度決算額	4,309,589 円	決算額	4,247,616 円

款	06	農林水産業費	予算現額	31,450,000 円
項	01	農業費	決算額	30,069,474 円
目	02	農業総務費	前年度決算額	32,242,932 円
			対前年比	93.3 %

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	農業総務一般管理事業	ｺｰﾄﾞ	01	06	01	02	02	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	5 産業と交流が盛んなまち 【産業・雇用・交流】						
		基本施策	01 農業を活性化する						
		施策の展開方向	－						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	農業者、職員
2	働きかける相手（対象）	職員
3	どのような状態にしたいのか（意図）	農業行政全般を円滑に推進できるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

農業総務一般事務事業
職員の知識向上を図るため、下記の研修会に参加しました。
⑴ 管内農地転用・農振制度実務者研修会
⑵ 農地事務担当者研修会
⑶ 農地中間管理事業の推進に向けた研修会
⑷ 地域計画職員向け研修会
⑸ その他農政関係の各種研修会

5 活動指標

指標名	会議、研修会等への参加回数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	回 6.00	回	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	回 8.00	回	
		令和４年度	回 12.00	回	
		令和５年度	回 15.00	回	

6	直接事業費計	前年度決算額	37,742 円	決算額	27,760 円

款	06	農林水産業費	予算現額	26,982,000 円
項	01	農業費	決算額	24,877,186 円
目	03	農業振興費	前年度決算額	16,971,288 円
			対前年比	146.6 %

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	農業振興一般事業	ｺｰﾄﾞ	01	06	01	03	01	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	5　産業と交流が盛んなまち　【産業・雇用・交流】						
		基本施策	01　農業を活性化する						
		施策の展開方向	－						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	農業者
2	働きかける相手（対象）	農業者、農業関係団体
3	どのような状態にしたいのか（意図）	各種の農業施策事業を展開し、担い手農家の育成や特産品の開発・普及を進め、農業の活性化が図られるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

1　農業振興一般事業
⑴　農業者が行う地球温暖化防止、生物多様性保全活動に対して助成しました。
　・環境保全型農業直接支払交付金　623,400円（３団体）
⑵　認定新規就農者に補助金を交付しました。
　・農業次世代人材投資資金（経営開始型）　5,148,440円（３経営体）
⑶　軽トラ市をいこまい館及び町内各所で開催し、地産地消の推進を図りました。
⑷　地域計画策定のため、地域農業・農地利用に関する意向調査及び祐福寺地区にて座談会を実施しました。

2　有機農業推進事業
　有機農業の推進を図るため、国のみどりの食料システム戦略緊急対策交付金を活用し、東郷町有機農業実施計画の実現に向けた各種取組を実践しました。
⑴　生産関連の主な取組
　ア　有機稲作講習会・現地技術指導　各12回
　イ　先進地視察　２回
　　(ｱ)　岐阜県白川町（令和５年７月11日）　参加者：７人
　　(ｲ)　千葉県いすみ市等（令和５年７月31日、８月１日）　参加者：16人
　ウ　有機JAS認証取得推進事業
　　(ｱ)　有機JAS講習会（令和５年11月９日、11月10日）　参加者：14人
　　(ｲ)　有機JAS認証取得推進事業補助金　356,920円（14人）
⑵　加工・流通関連の主な取組
　有機農産物マルシェ（令和５年11月11日）　出店者：８農家
⑶　消費関連の取組
　ア　親子有機野菜づくり体験事業　　２回（春夏・秋冬、参加者：各10世帯）
　イ　保育園での自然栽培と園児との交流　２回（対象者：たかね保育園５歳児）
　ウ　小学校での自然栽培と児童との交流　２回（対象者：音貝小学校２年生）
　エ　有機野菜の食育料理教室　　２回（参加者：延べ45人）

5 活動指標

指標名		年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
町内有機農業者数		令和２年度	戸	戸	東郷町有機農業実施計画の目標値 計画策定：令和４年度 計画期間：令和５年度～令和９年度 目標値（令和９年度末）：35戸
指標の説明（指標式）	町内の有機農業で営農する経営体数	令和３年度	戸 12.00	戸	
		令和４年度	戸 15.00	戸	
		令和５年度	戸 20.00	戸	

6 成果指標

指標名		年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
有機農業取組面積		令和２年度	ha	ha	東郷町有機農業実施計画の目標値 計画策定：令和４年度 計画期間：令和５年度～令和９年度 目標値（令和９年度末）：28.6ha
指標の説明（指標式）	町内有機農業者により有機農業が取り組まれている町内農地の面積	令和３年度	ha 6.38	ha	
		令和４年度	ha 7.05	ha	
		令和５年度	ha 9.22	ha	

7	直接事業費計	前年度決算額	15,402,300 円	決算額	23,373,928 円

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	ふるさと農園管理事業	ｺｰﾄﾞ	01	06	01	03	02	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	5　産業と交流が盛んなまち　【産業・雇用・交流】						
		基本施策	01　農業を活性化する						
		施策の展開方向	－						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	ふるさと農園利用者
2	働きかける相手（対象）	ふるさと農園利用者、町民
3	どのような状態にしたいのか（意図）	町民が健康的でゆとりのある日常生活の増進と農業に対する理解を深める足掛かりとして、ふるさと農園について知ってもらい、新たな利用者を増やすとともに、農園がより使いやすく親しみやすい場所として利用されるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

ふるさと農園管理事業
農園の貸出し及び農園の維持管理を実施しました。
⑴　区画
かがやの里　　52区画（20㎡／１区画）利用者48人（利用率 92.3%）
かがみだの里　64区画（20㎡／１区画）利用者62人（利用率 96.9%）
⑵　利用料（１区画当たり）
4,000円
⑶　維持管理事業
ア　利用者による草刈り
６月及び12月に実施（参加者　６月：58人　12月：25人）
イ　事業者委託によるゴミ集積場所ゴミ運搬処分（10月）

5 活動指標

指標名	指標の説明（指標式）	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
ふるさと農園維持管理事業数	農園利用者による草刈り	令和２年度	回数 1.00	回数	個別計画による目標値はありません。
		令和３年度	回数 0.00	回数	
		令和４年度	回数 2.00	回数	
		令和５年度	回数 2.00	回数	

6 成果指標

指標名	指標の説明（指標式）	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
ふるさと農園利用率		令和２年度	% 92.00	% 100.00	全区画の利用
		令和３年度	% 99.14	% 100.00	
		令和４年度	% 98.28	% 100.00	
		令和５年度	% 94.83	% 100.00	

7	直接事業費計	前年度決算額	418,013　円	決算額	431,075　円

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	農学校運営事業	ｺｰﾄﾞ	01	06	01	03	03	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	5　産業と交流が盛んなまち　【産業・雇用・交流】						
		基本施策	01　農業を活性化する						
		施策の展開方向	①　担い手及び新規就農者の育成						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	農学校生徒
2	働きかける相手（対象）	農学校生徒、講師
3	どのような状態にしたいのか（意図）	とうごう農学校での学習や体験の機会を提供することで、多様な農業者の育成を進めるとともに、遊休農地の解消を図ります。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

農学校運営事業
　農業の実践及び農業を体験することにより、農業知識の取得や農作業を通して、農業の重要性を各自が認識することができました。
⑴　受講者数　14名
⑵　期間
　ア　春夏露地野菜づくりコース　４月から７月まで
　イ　秋冬露地野菜づくりコース　８月から11月まで
⑶　実習及び講座回数
　実習　　年　32回
　講座　　年　８回
　研修　　年　２回
　収穫祭　文化産業まつりにて、とうごう農学校のブースを設け、収穫した野菜の販売実習を行いました。
⑷　栽培作物
　ア　春夏　スイカ、シシトウ、キュウリ、ピーマン、ナス、トマト等
　イ　秋冬　白菜、大根、キャベツ、小松菜、ブロッコリー、カブ等

5 活動指標

指標名	指標の説明（指標式）	実習、講座回数、研修等	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
			令和２年度	回 23.00	回	個別計画による目標値はありません。
			令和３年度	回 44.00	回	
			令和４年度	回 42.00	回	
			令和５年度	回 43.00	回	

6 成果指標

指標名	指標の説明（指標式）	農学校修了者の就農者数（累計）	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
			令和２年度	人 9.00	人 10.00	毎年１人増加を目標とし、前年度実績値から１人増加した値とする。
		農学校修了者で営農した人数（累計）	令和３年度	人 13.00	人 10.00	
			令和４年度	人 14.00	人 14.00	
			令和５年度	人 14.00	人 15.00	

7	直接事業費計	前年度決算額	1,150,975　円	決算額	1,072,183　円

款	06	農林水産業費	予算現額	2,983,000 円
項	01	農業費	決算額	2,884,519 円
目	04	地域農政推進費	前年度決算額	2,937,392 円
			対前年比	98.2 %

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	水田農業構造改革対策事業	ｺｰﾄﾞ	01	06	01	04	01	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	5 産業と交流が盛んなまち 【産業・雇用・交流】						
		基本施策	01 農業を活性化する						
		施策の展開方向	① 担い手及び新規就農者の育成						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	農業者
2	働きかける相手（対象）	農業者
3	どのような状態にしたいのか（意図）	米の需要均衡の回復と価格安定のため、需要に応じた米の計画的生産の徹底を図るとともに、担い手への支援及び育成を行い、遊休農地対策を図ります。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

水田農業構造改革対策事業
　需要に応じた作物生産と良好な水田環境の保全を図りながら生産数量目標の目安の達成、水田農業の構造改革を推進し、消費者の期待に応える取組を支援しました。
(1) 担い手育成事業（土地利用集積助成金）
　農業の担い手が行う農地の利用集積に対し、その面積に応じて助成しました。
　8826.9a×150円/a＝1,324,045円
(2) 担い手育成事業（農作業委託費助成金）
　担い手に農作業の委託をした農業者に、委託料金の一部を助成しました。
　助成額　1,080,474円
　≪実績≫　耕起　131,636㎡（助成単価1.0円/㎡）
　代掻き　78,603㎡（助成単価1.2円/㎡）
　田植え　107,444㎡（助成単価1.1円/㎡）
　刈取り　222,183㎡（助成単価3.3円/㎡）
(3) 東郷町地域農業再生協議会の経営所得安定対策等に要する経費を助成しました。
　水田農業経営所得安定対策推進費補助金　480,000円

5 活動指標

指標名	指標の説明（指標式）	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
農地集積面積	管内農地のうち、担い手に集積された農地の面積	令和２年度	ha 87.00	ha 92.00	農業委員会で定める目標値
		令和３年度	ha 94.00	ha 101.00	
		令和４年度	ha 97.60	ha 115.00	
		令和５年度	ha 101.40	ha 111.00	

6 成果指標

指標名	指標の説明（指標式）	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
農地集積率	管内農地のうち、担い手に集積された農地の割合	令和２年度	% 26.50	% 26.20	農業委員会で定める目標値
		令和３年度	% 26.80	% 28.80	
		令和４年度	% 29.00	% 32.80	
		令和５年度	% 30.10	% 32.90	

7	直接事業費計	前年度決算額	2,937,392 円	決算額	2,884,519 円

款	06	農林水産業費	予算現額	8,569,000 円
項	01	農業費	決算額	7,925,200 円
目	05	農地費	前年度決算額	6,369,200 円
			対前年比	124.4 %

Ⅰ．事業の目的体系

1 事業名	農業用施設維持管理事業	ｺｰﾄﾞ	01	06	01	05	01	－
2 総合計画の施策体系	基本目標	5 産業と交流が盛んなまち 【産業・雇用・交流】						
	基本施策	01 農業を活性化する						
	施策の展開方向	－						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1 誰のために（受益者）	農業者、町民
2 働きかける相手（対象）	農業用ため池の所有者又は管理者、農業用施設
3 どのような状態にしたいのか（意図）	農業用ため池の管理者等と協力して維持管理を行い、農業用水の安定的な供給に資するとともに自然災害等を未然に防止できるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

農業用施設維持管理事業
(1) 町内にある農業用ため池を維持管理するため、５つの地区が実施した農業用ため池の管理事業（堤体の草刈り及び除去）に対し補助しました。

ア 諸輪地区	８か所	7,650㎡	153,000円
イ 和合地区	２か所	2,238㎡	44,000円
ウ 傍示本地区	４か所	6,831㎡	136,000円
エ 祐福寺地区	２か所	3,456㎡	69,000円
オ 部田地区	２か所	1,425㎡	28,000円
合 計	18か所	21,600㎡	430,000円

(2) 豊明北部地区水質障害対策事業維持管理費負担金
豊明市と締結している維持管理協定に基づき、維持管理費（浚渫費用）に係る負担金を支払いました。
負担金額 781,000円

5 活動指標

指標名	指標の説明（指標式）	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
農業用ため池の管理事業を実施したため池の数	事業の対象となるため池の数	令和２年度	箇所 18.00	箇所	個別計画による目標値はありません。
		令和３年度	箇所 18.00	箇所	
		令和４年度	箇所 18.00	箇所	
		令和５年度	箇所 18.00	箇所	

6 成果指標

指標名	指標の説明（指標式）	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
農業用ため池管理事業実施面積	草刈り及び除去の面積	令和２年度	㎡ 21,600.00	㎡ 21,600.00	前年度実績
		令和３年度	㎡ 21,600.00	㎡ 21,600.00	
		令和４年度	㎡ 21,600.00	㎡ 21,600.00	
		令和５年度	㎡ 21,600.00	㎡ 21,600.00	

7 直接事業費計	前年度決算額	2,970,200 円	決算額	1,698,700 円

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	農業土木事業	ｺｰﾄﾞ	01	06	01	05	02	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	5　産業と交流が盛んなまち　【産業・雇用・交流】						
		基本施策	01　農業を活性化する						
		施策の展開方向	－						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	農家及び地域住民
2	働きかける相手（対象）	土地改良区域内にある道路、排水路、農水管
3	どのような状態にしたいのか（意図）	農地の保全及びその利用の高度化のため、農業基盤を整備することにより生産性の高い農業の育成並びに農業経営の合理化及び効率化を図ります。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

農業土木事業
(1) 地元管と町所有管の間の所管不明の農水管で漏水したため、修繕を行いました。
　祐福寺地区にある農水管の管帽　1件
(2) 町道新池・春木台線整備事業に伴い、愛知用水施設等を付け替える必要があるため、当業務の受委託について愛知用水土地改良区と協定を締結し、事業費を負担しました。（令和４年度：実施設計、令和５年度：工事）
　ア　愛知用水施設等付替業務受委託負担金（工事）　4,559,000円
　イ　愛知用水施設等付替業務受委託負担金（引継図書作成）　1,344,000円

5 活動指標

指標名	土地改良事業実施箇所のうち整備した箇所数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	箇所 0.00	箇所	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	箇所 1.00	箇所	
		令和４年度	箇所 0.00	箇所	
		令和５年度	箇所 1.00	箇所	

6 成果指標

指標名	土地改良事業実施箇所のうち修繕した箇所数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		令和２年度	箇所 1.00	箇所 1.00	過去３年間の平均値（整数値）
指標の説明（指標式）		令和３年度	箇所 1.00	箇所 1.00	
		令和４年度	箇所 0.00	箇所 1.00	
		令和５年度	箇所 1.00	箇所 1.00	

7	直接事業費計	前年度決算額	3,217,000　円	決算額	6,040,500　円

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	土地改良一般管理事業	ｺｰﾄﾞ	01	06	01	05	03	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	5　産業と交流が盛んなまち　【産業・雇用・交流】						
		基本施策	01　農業を活性化する						
		施策の展開方向	－						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	農業者
2	働きかける相手（対象）	愛知用水東郷利水組合組合員
3	どのような状態にしたいのか（意図）	愛知用水を利用する農業団体及び農業者と密接な連携を保ち、地区間相互の均衡を図ることで、農業用施設の維持管理や農業経営の円滑化、合理化及び効率化が図られるようにします。

4　評価対象年度にどのようなことを実施したのか

土地改良事業一般事務事業
　愛知県土地改良事業団体連合会に賦課金を支払いました。
　次のとおり会議等に出席しました。
　⑴　愛知県土地改良事業団体連合会名古屋支会
　⑵　ブロック別懇談会

　愛知用水を利用する農業団体、農家等と密接なる連携を保つ愛知用水東郷利水組合の５管理区に対し、活動の活性化を図るため、活動奨励金として計156,000円を交付しました。

5　活動指標

指標名	会議、研修会の参加回数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	回 2.00	回	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	回 3.00	回	
		令和４年度	回 3.00	回	
		令和５年度	回 3.00	回	

6	直接事業費計	前年度決算額	182,000　円	決算額	186,000　円

款	06	農林水産業費	予算現額	9,575,000 円
項	02	林業費	決算額	9,415,000 円
目	01	林業振興費	前年度決算額	12,613,045 円
			対前年比	74.6 %

Ⅰ．事業の目的体系

1 事業名	林業一般管理事業	ｺｰﾄﾞ	01	06	02	01	01	－
2 総合計画の施策体系	基本目標	3 安全・安心で、自然と共生するまち 【安全・安心、自然・生活環境】						
	基本施策	03 緑豊かなまちを守る						
	施策の展開方向	－						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	町民、木曽川流域の住民
2	働きかける相手（対象）	町民、銀河の森（2.94ha）、伐採届届出者、森林の土地の所有者届届出者
3	どのような状態にしたいのか（意図）	林業が担い手不足や高齢化等の状況にある中、人工林を育てることで林業経営の安定化、森林の公益的機能（おいしい水や空気を供給する機能）の促進を図るとともに、町民の森林・林業に対する理解と協力が促進されるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

林業振興一般事業
⑴ 森林法による届出の受付
　ア 森林法による伐採届の受付件数 ２件
　イ 森林法による森林の土地の所有者届の受付件数 ２件
⑵ 森林環境譲与税基金積立て
　後年度の事業に備え、森林環境譲与税4,840,000円を全額基金に積み立てました。
⑶ 里山林整備事業
　あいち森と緑づくり事業交付金を活用し、諸輪御嶽神社周辺の里山林の整備を実施しました。
　作業内容：神社敷地内参道の不要木の伐採等

5 活動指標

指標名	指標の説明（指標式）	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
森林伐採届及び森林の土地の所有者届の受付件数	伐採届の受付件数＋森林の土地の所有者届の受付件数	令和２年度	件 12.00	件	個別計画による目標値はありません。
		令和３年度	件 13.00	件	
		令和４年度	件 9.00	件	
		令和５年度	件 4.00	件	

6 成果指標

指標名	指標の説明（指標式）	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
銀河の森植栽面積	銀河の森植栽延べ面積	令和２年度	ha 2.94	ha 2.94	銀河の森植栽延べ面積
		令和３年度	ha 2.94	ha 2.94	
		令和４年度	ha 2.94	ha 2.94	
		令和５年度	ha 2.94	ha 2.94	

7 直接事業費計	前年度決算額	12,613,045 円	決算額		9,415,000 円

款	07	商工費	予算現額	10,967,000 円
項	01	商工費	決算額	9,241,836 円
目	01	商工総務費	前年度決算額	11,622,759 円
			対前年比	79.5 %

Ⅰ．事務の目的体系

1 事業名	商工一般管理事業	ｺｰﾄﾞ	01	07	01	01	02	－
2 総合計画の施策体系	基本目標	5 産業と交流が盛んなまち 【産業・雇用・交流】						
	基本施策	02 商工業を活性化する						
	施策の展開方向	－						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1 誰のために（受益者）	商工業者、職員
2 働きかける相手（対象）	職員
3 どのような状態にしたいのか（意図）	創業支援及び町内企業の雇用増進を図ることを目的に商工行政全般を円滑に推進できるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

商工一般事務事業
⑴ 産業立地に関する情報収集等のため、愛知県産業立地推進協議会に負担金を支払いました。
⑵ 日進市、豊明市、長久手市、みよし市及び東郷町で構成する尾三商工研究会で情報交換を行いました。
開催日 令和５年６月１日
⑶ ８市町（大府市、豊明市、東郷町、みよし市、日進市、長久手市、瀬戸市及び尾張旭市）合同地元就職フェアを開催し、就労支援を実施しました。
ア 開催日 令和６年２月12日
イ 開催場所 ウインクあいち

5 活動指標

指標名	地元就職フェア参加町内企業数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	社 5.00	社	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	地元就職フェアに参加した町内企業数	令和３年度	社 6.00	社	
		令和４年度	社 7.00	社	
		令和５年度	社 5.00	社	

6 直接事業費計	前年度決算額	96,940 円	決算額	92,310 円

款	07	商工費	予算現額	369,432,000 円
項	01	商工費	決算額	350,987,492 円
目	02	商工業振興費	前年度決算額	329,878,592 円
			対前年比	106.4 %

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	文化産業まつり開催事業	ｺｰﾄﾞ	01	07	01	02	01	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	6　みんなでつくるまち　【参画・協働】						
		基本施策	03　地域交流を促進する						
		施策の展開方向	③　町民相互の絆を深める						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	町民、事業者
2	働きかける相手（対象）	来場者
3	どのような状態にしたいのか（意図）	町民の文化創造、町内の産業振興及び福祉の増進を図るとともに、賑わいとふれあいの場を創出します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

文化産業まつり開催事業
⑴ 開催日時
令和５年11月11日（土）　午前10時から午後４時まで
12日（日）　午前９時から午後３時まで
⑵ 会場
イーストプラザいこまい館、町民会館、総合体育館、役場、あいち尾東農業協同組合東郷支店
⑶ 来場者数
約13,000人
⑷ 催事
ア　11日（土）　文化部作品展示及び芸能大会、町内有機農業者によるマルシェ
イ　12日（日）　商工部・農産部・福祉部等によるブース出展、文化部作品展示、ステージ発表　等
⑸ 開催委員会
ア　幹事会
（ｱ）令和５年６月20日（火）
（ｲ）８月４日（金）
（ｳ）11月29日（水）
イ　役員会
（ｱ）令和５年８月22日（火）
（ｲ）12月19日（火）
（ｳ）令和６年３月（書面会議）

5 活動指標

指標名	全事業数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	事業 0.00	事業	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	各部催事の計	令和３年度	事業 0.00	事業	
		令和４年度	事業 168.00	事業	
		令和５年度	事業 164.00	事業	

6 成果指標

指標名	来場者数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		令和２年度	人 0.00	人 20,000.00	令和２年度までは、第５次総合計画による目標値。
指標の説明（指標式）	文化産業まつりの来場者数	令和３年度	人 0.00	人 5,000.00	令和３年度はコロナにより検討当時のイベント開催時の人数上限を目標値としました。
		令和４年度	人 8,110.00	人 18,000.00	
		令和５年度	人 13,000.00	人 8,110.00	

7	直接事業費計	前年度決算額	7,691,086 円	決算額	8,400,975 円

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	商工関係事業	ｺｰﾄﾞ	01	07	01	02	02	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	5　産業と交流が盛んなまち　【産業・雇用・交流】						
		基本施策	02　商工業を活性化する						
		施策の展開方向	－						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	商工業者、東郷町商工会及び町民
2	働きかける相手（対象）	東郷町商工会
3	どのような状態にしたいのか（意図）	商工業者の経営改善等が行われ、商工業の活性化が図られるようにします。また、東郷町商工会所有の街路灯を良好な状態に保ちます。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

1　商工会運営事業
(1)　東郷町商工会から令和５年度の事業報告がありました。
ア　一般会員数
683名
イ　事務局職員数
９名
ウ　経営指導員による指導件数
1,029件
エ　講習会等参加人数
集団指導57名　個別指導174名
オ　金融斡旋件数
12件
(2)　東郷町商工会に対して運営事業費補助金を交付しました。
ア　補助対象経費
経営改善普及事業費　49,912,196円
管理費　18,788,079円
イ　補助金額　26,792,000円

2　商工団体育成事業
東郷町商工会に対して街路灯維持管理費補助金を交付しました。
(1)　修繕件数　21件
(2)　補助対象経費　1,429,200円
(3)　補助金額　250,000円

5 活動指標

指標名	経営指導員等による指導件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	件 1,837.00	件 2,000.00	東郷町商工会の事業計画書に記載された数値
指標の説明（指標式）	経営指導員等による巡回指導、窓口指導した件数	令和３年度	件 1,251.00	件 2,000.00	
		令和４年度	件 1,085.00	件 1,500.00	
		令和５年度	件 1,029.00	件 1,500.00	

6 成果指標

指標名	一般会員数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		令和２年度	人 658.00	人 650.00	東郷町商工会の事業計画書に記載された数値
指標の説明（指標式）	東郷町商工会に入会している会員数	令和３年度	人 679.00	人 680.00	
		令和４年度	人 689.00	人 690.00	
		令和５年度	人 683.00	人 700.00	

7	直接事業費計	前年度決算額	23,075,000　円	決算額	27,042,000　円

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	小規模企業等振興事業	ｺｰﾄﾞ	01	07	01	02	03	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	5　産業と交流が盛んなまち　【産業・雇用・交流】						
		基本施策	02　商工業を活性化する						
		施策の展開方向	②　中小企業等への支援						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	小規模企業者
2	働きかける相手（対象）	小規模企業者、金融機関
3	どのような状態にしたいのか（意図）	金融機関との取引の薄い中小規模の商工業者の方々が、事業上必要とする運転資金等の融通を円滑にし、その事業の振興を図ります。

4　評価対象年度にどのようなことを実施したのか

小規模企業等振興事業
⑴　小規模企業等振興資金
　ア　制度利用件数
　　10件
　イ　貸付総額
　　21,300,000円
⑵　特定中小企業者及び危機関連保証の特例中小企業者の認定
　ア　セーフティネット４号：77件
　イ　セーフティネット５号：27件
⑶　信用保証料・利子補給補助金
　ア　小規模企業等振興資金　272,000円（10件）
　イ　日本政策金融公庫利子補給補助金　39,000円（２件）
⑷　小規模事業者持続化補助金
　　日本商工会議所が定める小規模事業者持続化補助金の交付を受けた商工会一般会員に対して、上乗せ補助を実施しました。
　　1,267,438円（９件）

5　活動指標

指標名	信用保証料補助金額	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	円 603,000.00	円	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	小規模企業等振興資金及びサポート資金（セーフティネット）の信用保証料補助金	令和３年度	円 487,000.00	円	
		令和４年度	円 597,000.00	円	
		令和５年度	円 272,000.00	円	

6　成果指標

指標名	取扱金融機関による貸付金額	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		令和２年度	千円 17,450.00	千円 122,927.00	過去３年間実績値の平均値
指標の説明（指標式）	小規模企業等振興資金融資制度に基づく貸付金額	令和３年度	千円 64,400.00	千円 97,346.00	
		令和４年度	千円 39,350.00	千円 75,283.00	
		令和５年度	千円 21,300.00	千円 40,400.00	

7	直接事業費計	前年度決算額	50,957,000　円	決算額	51,578,438　円

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	企業立地促進事業	ｺｰﾄﾞ	01	07	01	02	04	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	5　産業と交流が盛んなまち　【産業・雇用・交流】						
		基本施策	02　商工業を活性化する						
		施策の展開方向	①　町内企業の拡張						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	商工業者
2	働きかける相手（対象）	商工業者
3	どのような状態にしたいのか（意図）	東郷町都市計画マスタープランの既成市街地ゾーン（工業系）及び新市街地候補ゾーン（工業系）に工場を立地させ、産業の振興と雇用の拡大を図ります。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

企業立地促進事業
⑴　愛知県産業立地推進協議会が作成する愛知県産業立地ガイドブックに本町の案内記事を掲載しました。
⑵　企業訪問等を37社に実施しました。
　ア　現況聞取り、情報交換等　　17社
　イ　条例に基づく奨励金について等　　８社
　ウ　ふるさと納税返礼品について等　　12社
⑶　企業立地促進条例に基づく奨励金を交付しました。
　ア　工場等新設促進奨励金　　２社　　9,011,000円
　イ　工場等増設促進奨励金　　２社　　2,824,000円
　ウ　償却資産取得奨励金　　２社　　366,000円
　エ　雇用促進奨励金　　１社　　450,000円
⑷　商業施設等立地促進条例の対象事業者を指定しました。
　ア　商業施設等新設促進奨励金　　１社
　イ　雇用促進奨励金　　１社
⑸　低炭素社会の実現に取り組む事業者の設備投資促進条例に基づく奨励金を交付しました。
　償却資産取得奨励金　　２社　　20,000,000円

5 活動指標

指標名	訪問した企業数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	社 14.00	社	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	開発の意向のある企業やふるさと納税返礼品の新規企業等を訪問した数	令和３年度	社 34.00	社	
		令和４年度	社 63.00	社	
		令和５年度	社 37.00	社	

6 成果指標

指標名	新しく誘致できた企業数（累計）	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		令和２年度	社 7.00	社 6.00	令和２年度までは第５次総合計画による目標値（累計） 令和３年度以降は前年度実績値＋１社を目標値とする。
指標の説明（指標式）	企業立地促進条例を適用した企業数（事業数の累計）	令和３年度	社 8.00	社 8.00	
		令和４年度	社 9.00	社 9.00	
		令和５年度	社 10.00	社 10.00	

7	直接事業費計	前年度決算額	19,856,000　円	決算額	32,651,000　円

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	移住支援事業	ｺｰﾄﾞ	01	07	01	02	05	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	5　産業と交流が盛んなまち　【産業・雇用・交流】						
		基本施策	04　まちの魅力の発信と交流人口・定住を増やす						
		施策の展開方向	③　移住・定住の促進						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	町民、事業者
2	働きかける相手（対象）	町民（東京圏からの転入者）
3	どのような状態にしたいのか（意図）	人口減少の時代において、東京圏からの移住者を呼び込むことで、町が活力を維持し持続的に発展し続けることを目指します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

移住支援事業費
　東郷町内への移住・定住の促進及び中小企業等における人手不足の解消に資するため、愛知県と共同して、東京圏から東郷町に移住される人を対象に、東郷町移住支援金交付要綱に基づき、支援金を支給する事業
　令和５年度実績：０件

5 活動指標

指標名	支給件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	件 0.00	件	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	移住支援金を支給した件数	令和３年度	件 0.00	件	
		令和４年度	件 0.00	件	
		令和５年度	件 0.00	件	

6 成果指標

指標名	支援金対象の移住件数（累計）	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		令和２年度	件 0.00	件 1.00	前年度の実績値＋予算措置上の件数
指標の説明（指標式）	移住支援金を支給した移住件数の累計	令和３年度	件 0.00	件 1.00	
		令和４年度	件 0.00	件 1.00	
		令和５年度	件 0.00	件 1.00	

7	直接事業費計	前年度決算額	0　円	決算額	0　円

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	新型コロナウイルス感染症対策事業	ｺｰﾄﾞ	01	07	01	02	06	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	3　安全・安心で、自然と共生するまち　【安全・安心、自然・生活環境】						
		基本施策	02　災害に強いまちをつくる						
		施策の展開方向	⑤　感染症対策						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	町民、事業者
2	働きかける相手（対象）	事業者
3	どのような状態にしたいのか（意図）	町民及び事業者を含め町が一丸となってコロナ禍以前の賑わいを取り戻し、町内の事業者が従前通り経営を継続します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

新型コロナウイルス感染症対策事業

(1) 町内飲食店の支援

町内でデリバリーやテイクアウトを実施している店舗を町ホームページで紹介し、町内飲食店の利用促進を支援しました。（ホームページ掲載店舗数　26店舗）

(2) みんながお得！！TOGOエールチケット事業

町内消費喚起及び町民の皆様の経済的支援のため、全町民を対象に、１枚500円のチケットを次のとおり配布しました。

チケットの種類は、取扱店全店で使用可能な共通券と商工会員事業者等で使用可能な地元応援券の２種類としました。

ア　配布額：１人当たり5,000円（共通券２枚、地元応援券８枚）

イ　取扱店：373店舗

ウ　発行額：224,025,000円

エ　換金額：215,080,500円（96.01％）

5 活動指標

指標名	指標の説明（指標式）	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
みんながお得！！TOGOエールチケット取扱店数		令和２年度	店 401.00	店	同事業の前回実績値を上回ることを目標としました。
		令和３年度	店	店	
		令和４年度	店 366.00	店 401.00	
		令和５年度	店 373.00	店 366.00	

6 成果指標

指標名	指標の説明（指標式）	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
みんながお得！！TOGOエールチケット換金率		令和２年度	% 91.70	%	同事業の前回実績値を上回ることを目標としました。
		令和３年度	%	%	
		令和４年度	% 94.67	% 92.00	
		令和５年度	% 96.01	% 95.00	

7	直接事業費計	前年度決算額	228,299,506　円	決算額	231,315,079　円

款	08	土木費	予算現額	103,034,000 円
項	01	土木管理費	決算額	95,101,096 円
目	01	土木総務費	前年度決算額	92,137,605 円
			対前年比	103.2 %

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	土木行政一般管理事業	ｺｰﾄﾞ	01	08	01	01	02	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	4 快適に暮らせるまち 【交通環境・住環境・生活基盤】						
		基本施策	02 安心して通行できる道路を整備する						
		施策の展開方向	－						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	町民
2	働きかける相手（対象）	職員、関係団体、町道等
3	どのような状態にしたいのか（意図）	土木関係事務を適切かつ効率的に処理するとともに、関係団体又は関係機関との連絡調整を行い、円滑に事務を行う必要があります。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

土木一般管理事務事業
⑴ 事務関係及び設計関係の消耗品を購入しました。
⑵ 道路照明灯の電気料を支出しました。
⑶ 公共用地価格審査会を６回開催しました。
⑷ 土木積算システムのデータ作成を委託しました。
⑸ 雨水貯留タンクの設置費の一部を補助しました。 ４件
⑹ 各種協議会等の総会又は研修会に参加し、負担金を支出しました。
⑺ 道路等に係る境界確認申請、占用許可申請、承認工事申請等を836件審査しました。
ア 境界確認申請 134件
イ 道路占用許可申請 298件
ウ 道路承認工事申請 73件
エ 河川占用許可申請 8件
オ 公共用物使用許可申請 29件
カ 公共用物承認工事申請 16件
キ 道路使用許可申請 91件
ク 特殊車両許可申請 156件
ケ 雨水浸水阻害行為許可申請 13件
コ 後退用地に関する事前協議 18件
⑻ 地籍調査 前川地区（１年目） 0.04k㎡

5 活動指標

指標名	指標の説明（指標式）	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
道路等の境界確認申請、占用許可申請、承認工事申請等の受理件数		令和２年度	件 996.00	件	個別計画による目標値はありません。
		令和３年度	件 865.00	件	
		令和４年度	件 824.00	件	
		令和５年度	件 836.00	件	

6	直接事業費計	前年度決算額	27,238,397 円	決算額	30,041,489 円

款	08	土木費	予算現額	52,610,000 円
項	02	道路橋りょう費	決算額	49,371,575 円
目	01	道路橋りょう総務費	前年度決算額	49,688,889 円
			対前年比	99.4 %

Ⅰ．事務の目的体系

1 事業名	道路橋りょう一般管理事業	ｺｰﾄﾞ	01	08	02	01	02	-
2 総合計画の施策体系	基本目標	4 快適に暮らせるまち 【交通環境・住環境・生活基盤】						
	基本施策	02 安心して通行できる道路を整備する						
	施策の展開方向	－						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1 誰のために（受益者）	町民
2 働きかける相手（対象）	職員、関係団体、町道等
3 どのような状態にしたいのか（意図）	道路関係事務を適切かつ効率的に処理するとともに、関係団体又は関係機関との連絡調整を行い、円滑に事務を行う必要があります。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

道路橋りょう一般管理事務事業
⑴ 事務関係及び設計関係の消耗品を購入しました。
⑵ 土木積算システムのデータ作成を委託しました。
⑶ 各種協議会等の総会又は研修会に参加し、負担金を支出しました。

5 活動指標

指標名	協議会等への参加回数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
		令和２年度	回	回
指標の説明（指標式）		令和３年度	回	回
		令和４年度	回 15.00	回
		令和５年度	回 19.00	回

6 直接事業費計	前年度決算額	2,189,176 円	決算額	2,885,968 円

款	08	土木費	予算現額	130,126,000 円
項	02	道路橋りょう費	決算額	118,095,539 円
目	02	道路維持費	前年度決算額	94,894,192 円
			対前年比	124.4 %

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	道路維持管理事業	ｺｰﾄﾞ	01	08	02	02	01	-
2	総合計画の施策体系	基本目標	4 快適に暮らせるまち 【交通環境・住環境・生活基盤】						
		基本施策	02 安心して通行できる道路を整備する						
		施策の展開方向	－						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	道路を利用する人
2	働きかける相手（対象）	道路
3	どのような状態にしたいのか（意図）	道路の機能を適正に維持することにより、車両、歩行者等の通行の円滑化を図ります。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

道路維持管理事業
(1) 道路維持管理用消耗品を購入しました。
草刈り機替刃、チェーンソー替刃等
(2) 道路維持作業車の法定点検、修理しました。
(3) 工事等により変更された内容を道路台帳に反映し、一般公開（町HP掲載、窓口用パソコン設置）しました。
補正 2.45ｋｍ、台帳製本 1部
(4) 道路の除草及び剪定を委託しました。
愛知池線外24路線
除草 23,779㎡
芝生刈込 417㎡
剪定（中高木） 605本
剪定（低木） 3,182㎡
(5) 道路損傷箇所等の維持修繕を行いました。
舗装工事 768.7m
側溝工事 417.3m
(6) 道路補修用資材を購入しました。
再生砕石、常温・加熱合材、セメント等
(7) 町LINE公式アカウント「道路等の損傷投稿」による情報提供（48件）があり、修繕等を実施しました。

5 活動指標

		年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
指標名	道路施設修繕、整備延長	令和２年度	m 2,802.00	m	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	m 3,004.80	m	
		令和４年度	m 2,606.70	m	
		令和５年度	m 1,186.00	m	

6 成果指標

		年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
指標名	工事発注件数	令和２年度	件数 39.00	件数 39.00	過去３年間の平均値
指標の説明（指標式）		令和３年度	件数 25.00	件数 40.00	
		令和４年度	件数 40.00	件数 33.00	
		令和５年度	件数 42.00	件数 35.00	

7	直接事業費計	前年度決算額	94,894,192 円	決算額	118,095,539 円

款	08	土木費	予算現額	187,845,000 円
項	02	道路橋りょう費	決算額	115,933,073 円
目	03	道路新設改良費	前年度決算額	199,466,734 円
			対前年比	58.1 %

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	道路新設改良事業	ｺｰﾄﾞ	01	08	02	03	01	-
2	総合計画の施策体系	基本目標	4 快適に暮らせるまち 【交通環境・住環境・生活基盤】						
		基本施策	02 安心して通行できる道路を整備する						
		施策の展開方向	－						

Ⅱ．（Do）建設事業の内容

1	誰のために（受益者）	道路を利用する人		
2	働きかける相手（対象	道路		
3	どのような状態にしたいのか（意図）	地域の生活道路を整備することにより、通行車両等の通行の円滑化を図ります。		
4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	工事・路線名	藤坂・涼松２号線	新池・春木台線	牛廻間１０号線（地区計画道路４号）
	工事期間	令和元年度 ～ 令和６年度	令和３年度 ～ 令和７年度	令和５年度 ～ 令和５年度
	全体工事概要	用地取得地権者 １名 取得面積 105.91㎡ （土地開発公社先行取得）	工事延長 L＝400m 用地取得地権者 27名 取得面積 2,830㎡	工事延長 L＝52.0m 用地取得地権者 2名 用地取得面積 12.27㎡
	評価年度の実施内容	償還金支出 A＝21.18㎡	用地取得地権者 15名 物件補償地権者 7名 道路詳細設計等委託 L=400m 物件調査 N＝２件 不動産鑑定 N＝３筆 土地評価 N＝１件 境界確定測量 A＝3,008㎡	用地取得地権者 ２名 物件調査 N＝１件 不動産鑑定 N＝３筆 分筆登記 N＝３筆 道路改良工事 L＝52.0m
	予定全体事業量[A]	106.00 ㎡	400.00 m	52.00 m
	評価年度までの事業量[Σa]	95.32 ㎡	79.20 m	52.00 m
	事業量の進捗率[Σa/A]	89.9 %	19.8 %	100.0 %
	予定全体直接事業費[B]	9,694,242 円	512,741,500 円	8,272,635 円
	評価年度までの直接事業費[Σb]	8,732,549 円	101,381,720 円	8,272,635 円
	事業費の進捗率[Σb/B]	90.1 %	19.8 %	100.0 %
	評価年度の事業量[a]	21.18 ㎡	18.00 m	52.00 m
	評価年度の直接事業費[b]	1,928,426 円	68,767,820 円	8,272,635 円
	事業量1単位当たり直接事業費[b/a]	91,049 円	3,820,434 円	159,089 円

5	直接事業費計	前年度決算額	199,466,734 円	決算額	115,933,073 円

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	道路新設改良事業	ｺｰﾄﾞ	01	08	02	03	01	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	4　快適に暮らせるまち　【交通環境・住環境・生活基盤】						
		基本施策	02　安心して通行できる道路を整備する						
		施策の展開方向	－						

Ⅱ．（Do）建設事業の内容

1	誰のために（受益者）	道路を利用する人		
2	働きかける相手（対象）	道路		
3	どのような状態にしたいのか（意図）	地域の生活道路を整備することにより、通行車両等の通行の円滑化を図ります。		
4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	工事・路線名	東蚊谷線	木戸畑・百々線	東蚊谷２号線
	工事期間	令和５年度 ～ 令和６年度	令和３年度 ～ 令和７年度	令和３年度 ～ 令和５年度
	全体工事概要	工事延長　L＝69.8m 用地取得地権者３名 用地借地地権者１名	工事延長　L＝131.9m 用地取得地権者　3名	工事延長　L＝52m 用地取得地権者　1名
	評価年度の実施内容	用地取得地権者　N＝３名 用地借地地権者　N＝１名 境界確定測量　N＝81㎡ 不動産鑑定　N＝３筆	用地買収地権者　N＝３名 不動産鑑定　N＝３筆 分筆登記　N＝３筆 道路詳細設計委託　L=0.1km 道路改良関連委託　N=1工事 交差点改良工事　N=1箇所	用地買収地権者　N＝１名 境界杭設置　N＝５筆
	予定全体事業量[A]	69.80　m	131.90　m	52.00　m
	評価年度までの事業量[Σa]	24.07　m	54.47　m	52.00　m
	事業量の進捗率[Σa／A]	34.5　%	41.3　%	100.0　%
	予定全体直接事業費[B]	14,785,973　円	105,526,405　円	41,967,919　円
	評価年度までの直接事業費[Σb]	5,098,973　円	43,619,202　円	41,967,919　円
	事業費の進捗率[Σb／B]	34.5　%	41.3　%	100.0　%
	評価年度の事業量[a]	24.07　m	38.79　m	0.83　m
	評価年度の直接事業費[b]	5,098,973　円	31,036,797　円	667,319　円
	事業量1単位当たり直接事業費[b／a]	211,839　円	800,124　円	803,999　円

5	直接事業費計	前年度決算額	199,466,734　円	決算額	115,933,073　円

款	08	土木費	予算現額	6,743,000 円
項	02	道路橋りょう費	決算額	6,743,000 円
目	04	橋りょう維持費	前年度決算額	9,284,000 円
			対前年比	72.6 %

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	橋りょう維持管理事業	ｺｰﾄﾞ	01	08	02	04	01	-
2	総合計画の施策体系	基本目標	4 快適に暮らせるまち 【交通環境・住環境・生活基盤】						
		基本施策	02 安心して通行できる道路を整備する						
		施策の展開方向	－						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	橋を利用する人
2	働きかける相手（対象）	橋りょう施設
3	どのような状態にしたいのか（意図）	橋の機能を適正に維持することにより、安全に通行できる状態を保ちます。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

橋りょう維持管理事業
(1) 橋りょう定期点検業務を委託しました。
25橋（仁登橋外24橋）
(2) 橋梁補修設計業務を委託しました。
1橋（9-4-1橋（字石塔地内））

5 活動指標

指標名	橋りょう補修に関する事業件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	件 1.00	件	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	件 0.00	件	
		令和４年度	件 1.00	件	
		令和５年度	件 1.00	件	

6 成果指標

指標名	点検橋りょう面積	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		令和２年度	m2 1,149.05	m2 1,222.11	点検を必要とする橋りょう（6,110.55m2、86橋）を５年に１度点検する。
指標の説明（指標式）	（点検を必要とする橋りょう面積（m2）／５年）	令和３年度	m2 1,336.55	m2 1,222.11	
		令和４年度	m2 1,714.06	m2 1,222.11	
		令和５年度	m2 892.92	m2 1,222.11	

7	直接事業費計	前年度決算額	9,284,000 円	決算額	6,743,000 円

款	08	土木費	予算現額	9,524,000 円
項	02	道路橋りょう費	決算額	9,320,300 円
目	05	交通安全対策事業費	前年度決算額	31,857,100 円
			対前年比	29.3 %

Ⅰ．事業の目的体系

1 事業名	交通安全対策事業	ｺｰﾄﾞ	01	08	02	05	01	－
2 総合計画の施策体系	基本目標	3 安全・安心で、自然と共生するまち 【安全・安心、自然・生活環境】						
	基本施策	01 犯罪や交通事故等の少ない安全・安心なまちをつくる						
	施策の展開方向	② 交通安全対策の推進						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	道路を利用する人
2	働きかける相手（対象）	道路
3	どのような状態にしたいのか（意図）	道路を利用する人及び車両の安全を確保するため、通行の円滑化を図ります。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

1 交通安全対策一般事務事業
東郷小学校区で交通安全総点検を実施しました。

2 交通安全施設整備事業
交通安全施設工事を実施しました。
(1) 区画線 3,238.5m
(2) 防護柵 99.05m
(3) 道路反射鏡 10基
(4) カラー舗装 19.8㎡

5 活動指標

指標名	区画線、防護柵等施工延長	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	m 4,825.00	m	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	m 2,522.30	m	
		令和４年度	m 2,732.30	m	
		令和５年度	m 3,337.55	m	

6 成果指標

指標名	交通安全施設整備箇所数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		令和２年度	箇所 189.00	箇所 105.00	過去３年間の平均値
指標の説明（指標式）	区画線、防護柵、反射鏡等の設置箇所数（路線・交差点）	令和３年度	箇所 46.00	箇所 119.00	
		令和４年度	箇所 51.00	箇所 107.00	
		令和５年度	箇所 25.00	箇所 95.00	

7 直接事業費計	前年度決算額	31,857,100 円	決算額	9,320,300 円

款	08	土木費	予算現額	18,844,000 円
項	03	河川費	決算額	18,288,270 円
目	01	河川維持改修費	前年度決算額	36,913,877 円
			対前年比	49.5 %

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	河川等維持管理事業	ｺｰﾄﾞ	01	08	03	01	01	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	3 安全・安心で、自然と共生するまち 【安全・安心、自然・生活環境】						
		基本施策	02 災害に強いまちをつくる						
		施策の展開方向	① 災害に強い都市基盤の整備						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	町民
2	働きかける相手（対象）	河川及び排水路
3	どのような状態にしたいのか（意図）	河川等の施設を適正に維持することにより、通水能力の保持及び景観を良好な状態にします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

河川等維持管理事業
(1) 河川等の維持修繕工事及び浚渫工事を実施しました。
　修繕工事　7か所
　浚渫工事　2か所
(2) 河川の除草及び剪定を委託しました。
　ア 春木川
　　堤防除草　9,983㎡×３回
　　護岸除草　4,565㎡×１回
　　低木剪定工　138㎡×１回
　イ 西の川
　　堤防除草　2,218㎡×3回
　ウ 小口川
　　堤防除草　2,771㎡×2回
　　7,276㎡×１回
　　護岸除草　4,136㎡×１回
　エ 小川
　　堤防除草　841㎡×２回

5 活動指標

指標名	指標の説明（指標式）	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
施設の維持管理作業の延べ面積	除草、剪定作業	令和２年度	㎡ 40,730.00	㎡ 個別計画による目標値はありません。
		令和３年度	㎡ 47,663.00	㎡
		令和４年度	㎡ 59,285.00	㎡
		令和５年度	㎡ 59,942.00	㎡

6 成果指標

指標名	指標の説明（指標式）	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
通水阻害部分の解消箇所	排水路浚渫箇所、排水路整備箇所	令和２年度	箇所 11.00	箇所 7.00	過去３年間の平均値
		令和３年度	箇所 10.00	箇所 8.00	
		令和４年度	箇所 7.00	箇所 9.00	
		令和５年度	箇所 9.00	箇所 9.00	

7	直接事業費計	前年度決算額	36,913,877 円	決算額	18,288,270 円

款	08	土木費	予算現額	45,312,000 円
項	04	都市計画費	決算額	43,623,922 円
目	01	都市計画総務費	前年度決算額	52,247,998 円
			対前年比	83.5 %

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	都市計画一般管理事業	ｺｰﾄﾞ	01	08	04	01	02	-
2	総合計画の施策体系	基本目標	4 快適に暮らせるまち 【交通環境・住環境・生活基盤】						
		基本施策	03 魅力ある市街地を整備する						
		施策の展開方向	－						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	町民及び窓口サービス利用者
2	働きかける相手（対象）	町職員、関係機関、愛知県都市計画協会及び愛知県街路事業促進協議会
3	どのような状態にしたいのか（意図）	内部事務を適切かつ効率的に処理し、関係課及び関係機関との連絡調整を行い、都市計画事業を円滑に運営します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

都市計画関係一般事務事業
⑴ 地区計画の区域内における行為の届出
審査件数 70件
⑵ 都市計画基本図のコピー、都市計画図等の販売
件数 465件
⑶ 愛知県都市計画協会負担金を支出し、都市計画の調査研究に努めました。
⑷ 愛知県街路事業促進協議会負担金を支出し、未整備区間のある都市計画道路整備に関する要望、陳情等を実施しました。

5 活動指標

指標名	都市計画基本図のコピー及び都市計画図売払件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	件 486.00	件	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	件 470.00	件	
		令和４年度	件 571.00	件	
		令和５年度	件 465.00	件	

6	直接事業費計	前年度決算額	65,764 円	決算額	117,711 円

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	都市計画調査決定事業	ｺｰﾄﾞ	01	08	04	01	03	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	4　快適に暮らせるまち　【交通環境・住環境・生活基盤】						
		基本施策	03　魅力ある市街地を整備する						
		施策の展開方向	②　秩序あるまちの形成						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	町民及び町内に土地、家屋等を所有する人
2	働きかける相手（対象）	関係機関職員、町都市計画審議会委員、地区まちづくり団体及び町民
3	どのような状態にしたいのか（意図）	健全で秩序あるまちづくりを目指し、土地利用のあり方や道路・公園の整備等について計画を策定することにより、町民が安全で安心して暮らせるまちづくりを誘導します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

都市計画調査決定事業

(1) 都市計画基礎調査

５年サイクルの３年目として、町で実施する調査項目として土地利用現況調査を実施しました。

(2) 町都市計画マスタープランの部分改定

ア　部分改定の内容

将来都市構造を次のとおり見直ししました。

(ｱ) 愛知県総合教育センター跡地を住居系新市街地候補ゾーンから研究開発・工業系新市街地候補ゾーンに改定。

(ｲ) 諸輪東部丘陵地区を研究開発系新市街地候補ゾーンから研究開発・工業系新市街地候補ゾーンに改定。

イ　改定手続

(ｱ) 都市計画審議会　　令和５年11月15日開催

(ｲ) パブリックコメント　　令和５年11月27日から12月17日まで（提出意見：２件）

(ｳ) 改定（公表）　　令和５年12月26日

(3) 都市計画支援システム

ア　都市計画支援システムの良好な運用等のため、保守業務及びデータ修正業務を実施しました。

イ　庁内における都市計画支援システムの利用を促進し事務の効率化を図るため、職員向け操作説明会を開催しました。（令和５年６月21日）

(4) 諸輪東部丘陵まちづくり

(都)日進三好線の沿線地域において、諸輪地区役員及び地権者等を対象とした（仮称）諸輪東部丘陵まちづくり検討会を開催しました。

ア　令和５年６月23日（参加者数：８名）

イ　令和５年８月18日（参加者数：５名）

ウ　令和６年２月10日（参加者数：41名）

5 活動指標

指標名		年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
会議への出席回数		令和２年度	回 3.00	回	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	都市計画関係の会議への出席回数	令和３年度	回 2.00	回	
		令和４年度	回 3.00	回	
		令和５年度	回 4.00	回	

6 成果指標

指標名		年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
愛知県都市計画基礎調査委託業務項目数		令和２年度	項目 0.00	項目 0.00	愛知県都市計画基礎調査における調査項目数
指標の説明（指標式）	愛知県都市計画基礎調査における町で実施した調査項目数	令和３年度	項目 2.00	項目 2.00	
		令和４年度	項目 2.00	項目 2.00	
		令和５年度	項目 1.00	項目 1.00	

7	直接事業費計	前年度決算額	17,530,814　円	決算額	2,916,030　円

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	建築指導事業	ｺｰﾄﾞ	01	08	04	01	04	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	4　快適に暮らせるまち　【交通環境・住環境・生活基盤】						
		基本施策	04　良好な住環境をつくる						
		施策の展開方向	①　市街地の住環境の向上						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	町民及び町内に土地、家屋等を所有する人
2	働きかける相手（対象）	宅地造成事業及び住宅等建設事業を施行する人
3	どのような状態にしたいのか（意図）	秩序あるまちづくりを図るとともに、町民の快適な生活環境の確保に努めます。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

建築確認関係事業
⑴　都市計画法、宅地造成等規制法、建築基準法等の許認可申請の受付事務
　ア　開発行為許可申請　18件
　イ　建築物の新築等許可申請　18件
　ウ　宅地造成に関する工事の許可申請　7件
　エ　建設リサイクル届　106件
⑵　屋外広告物に関する事務
　許可申請　33件
⑶　宅地開発、建築事業計画の指導事務
　「開発行為及び土地利用の調整に関する条例」に基づく事前協議を審査しました。（33件）
⑷　建築指導
　愛知県尾張建設事務所の担当職員と建築に関する相談、検査等を実施しました。（67件）
⑸　空き家対策事務
　ア　被相続人居住者家屋等確認書を交付しました。（８件）
　イ　空き家の疑いのある建物の所有者へ適正管理を依頼する文書を送付しました。（４件）

5 活動指標

指標名	会議への出席回数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	回 8.00	回	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	建築指導事業関係の会議への出席回数	令和３年度	回 8.00	回	
		令和４年度	回 7.00	回	
		令和５年度	回 13.00	回	

6 成果指標

指標名	許認可受付件数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		令和２年度	件 217.00	件 189.00	実績値の直近３年の平均値
指標の説明（指標式）	許認可申請等の受付処理件数	令和３年度	件 206.00	件 198.00	
		令和４年度	件 187.00	件 200.00	
		令和５年度	件 223.00	件 204.00	

7	直接事業費計	前年度決算額	1,089,994　円	決算額	1,293,066　円

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	耐震化促進事業	ｺｰﾄﾞ	01	08	04	01	05	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	3　安全・安心で、自然と共生するまち　【安全・安心、自然・生活環境】						
		基本施策	02　災害に強いまちをつくる						
		施策の展開方向	①　災害に強い都市基盤の整備						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	地域住民
2	働きかける相手（対象）	旧耐震基準の家屋を所有する者
3	どのような状態にしたいのか（意図）	災害に強い街づくりを図るとともに、町民の安全な生活環境の確保に努めます。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

耐震化促進事業
⑴　民間木造住宅耐震診断（無料）を実施しました。（18件）
⑵　民間木造住宅耐震改修費の補助を実施しました。（３件）
⑶　民間木造住宅耐震除却費の補助を実施しました。（４件）
⑷　東郷町耐震改修促進計画-2030-に基づき、和合・傍示本地区において耐震診断ローラー作戦（旧耐震基準の木造住宅の所有者に対し、無料耐震診断を個別に案内）を実施しました。（郵送164件、戸別訪問13件）

5 活動指標

指標名		年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
木造住宅耐震診断の件数		令和２年度	件 8.00	件 20.00	過去３年間の実績値の平均
指標の説明（指標式）	旧耐震基準の民間木造住宅に対し町の無料耐震診断を実施した件数	令和３年度	件 10.00	件 14.00	
		令和４年度	件 20.00	件 9.00	
		令和５年度	件 18.00	件 13.00	

6 成果指標

指標名		年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
木造住宅耐震改修補助の件数		令和２年度	件 2.00	件 3.00	過去３年間の実績値の平均
指標の説明（指標式）	旧耐震基準の民間木造住宅の耐震改修工事に対して補助金を交付した件数	令和３年度	件 2.00	件 2.00	
		令和４年度	件 2.00	件 2.00	
		令和５年度	件 3.00	件 2.00	

7	直接事業費計	前年度決算額	3,657,000　円	決算額	4,664,600　円

款	08	土木費	予算現額	510,598,000 円
項	04	都市計画費	決算額	343,782,097 円
目	02	公園緑地費	前年度決算額	106,639,508 円
			対前年比	322.4 %

Ⅰ．事業の目的体系

1 事業名	公園緑地等維持管理事業	ｺｰﾄﾞ	01	08	04	02	01	－
2 総合計画の施策体系	基本目標	3 安全・安心で、自然と共生するまち 【安全・安心、自然・生活環境】						
	基本施策	03 緑豊かなまちを守る						
	施策の展開方向	③ 公園・緑地の整備						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	公園利用者
2	働きかける相手（対象）	公園施設
3	どのような状態にしたいのか（意図）	公園施設を適正に維持管理することにより、町民に安全で、かつ、快適な憩いの場を提供します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

1 都市公園緑地維持管理事業
(1) 公園、緑地の維持管理を次のとおり実施しました。
ア 都市公園・緑地 37か所
イ 親水公園、ふれあい広場 3か所
ウ 児童遊園 8か所
エ ちびっこ広場 8か所
オ その他公園・緑地 29か所
(2) 定期的な維持管理として、除草、園内のゴミ清掃、トイレ清掃、浄化槽の保守点検、遊具の安全点検等を実施しました。
(3) 電気及び上下水道の使用料、うしばさん公園を始め6公園の用地借地料を支払いました。
(4) 遊具、水のみ場等の公園施設は、老朽した部分又はいたずらによる破損箇所などの修繕を実施しました。
(5) 町LINE公式アカウント「公園等の損傷投稿」による情報提供（25件）について、修繕等を実施しました。
(6) 交通児童遊園は地元老人クラブ、涼松緑道は愛知豊川用水振興協会、ふれあい広場及び桝池親水公園は指定管理者により施設の維持管理を実施しました。
(7) 公園愛護会16団体（複数の公園で活動する団体があります。）に、19か所の公園の清掃活動等を行っていただき、報償金を支払いました。
(8) 老朽化した公園施設の長寿命化対策として、都市公園35か所の公園施設長寿命化計画を策定しました。
(9) 利用者の安全確保のため、老朽化が進んでいた涼松緑道のせせらぎ水路を改修しました。

5 活動指標

指標名	指標の説明（指標式）	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
維持管理した都市公園、緑地等の面積（ha）	都市計画公園･緑地等計85か所	令和２年度	ha 28.46	ha	個別計画による目標値はありません。
		令和３年度	ha 28.76	ha	
		令和４年度	ha 28.73	ha	
		令和５年度	ha 28.73	ha	

6 成果指標

指標名	指標の説明（指標式）	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
長寿命化計画に基づく更新が必要な遊具に対する更新割合（%）	更新された遊具数÷更新が必要な遊具134基×100	令和２年度	% 0.00	%	令和６年度より10年間で更新率を100%とする。
		令和３年度	% 0.00	%	
		令和４年度	% 0.00	%	
		令和５年度	% 0.00	%	

7 直接事業費計	前年度決算額	100,020,608 円	決算額	161,079,372 円

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	公園緑地築造事業	ｺｰﾄﾞ	01	08	04	02	02	-
2	総合計画の施策体系	基本目標	3　安全・安心で、自然と共生するまち　【安全・安心、自然・生活環境】						
		基本施策	03　緑豊かなまちを守る						
		施策の展開方向	③　公園・緑地の整備						

Ⅱ．（Do）建設事業の内容

1	誰のために（受益者）	地域住民及び公園利用者		
2	働きかける相手（対象）	公園施設等		
3	どのような状態にしたいのか（意図）	地区住民の利用に供する身近な公園を整備することで、良好な居住環境の形成を図ります。		
4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか	工事・路線名	上鏡田公園築造工事	（仮称）春木中学校東広場整備工事	
	工事期間	令和２年度 ～ 令和６年度	令和４年度 ～ 令和７年度	～
	全体工事概要	公園築造工事　A＝5,500㎡	広場築造工事　A＝3,900㎡	
	評価年度の実施内容	公園築造工　一式 工作物確認申請　一式 物件調査　1件	用地買収地権者　5名 用地借地地権者　2名 詳細設計業務　一式	
	予定全体事業量[A]	5,500.00　㎡	3,900.00　㎡	㎡
	評価年度までの事業量[Σa]	1,826.00　㎡	1,856.40　㎡	㎡
	事業量の進捗率[Σa/A]	33.2　%	47.6　%	%
	予定全体直接事業費[B]	325,634,000　円	178,194,500　円	円
	評価年度までの直接事業費[Σb]	108,180,720　円	84,802,555　円	円
	事業費の進捗率[Σb/B]	33.2　%	47.6　%	%
	評価年度の事業量[a]	0.00　㎡	140.00　㎡	㎡
	評価年度の直接事業費[b]	101,910,720　円	79,737,055　円	円
	事業量1単位当たり直接事業費[b/a]	0　円	569,550　円	円

5	直接事業費計	前年度決算額	5,065,500　円	決算額	181,647,775　円

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	緑化振興事業	ｺｰﾄﾞ	01	08	04	02	03	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	3　安全・安心で、自然と共生するまち　【安全・安心、自然・生活環境】						
		基本施策	03　緑豊かなまちを守る						
		施策の展開方向	④　緑化の推進						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	町民
2	働きかける相手（対象）	町民（文化産業まつり参加者、小中学校、自治会）
3	どのような状態にしたいのか（意図）	地域における緑化の推進や一般家庭の緑化を促進することにより、町民の緑化に対する意識の向上が図られるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

1　緑化振興事業
令和５年５月20日に豊川市で開催された愛知県植樹祭へ参加しました。

2　緑化事業
⑴　緑化木配布事業として、文化産業まつりでフェイジョアの苗木を235本配布しました。また、配布と合わせて緑の募金運動を実施しました。
⑵　愛知県緑化推進委員会に会費を支出しました。
⑶　緑の募金委員会の運営
ア　春期緑の募金運動を令和５年４月１日から令和５年７月31日まで実施しました。
募金総額　270,553円
イ　自治会等16団体へ花壇整備等の緑化推進事業に対し助成金を交付しました。
⑷　都市緑化推進事業として、民有地の緑化に対し１件補助金を交付しました。

5 活動指標

指標名		年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
緑化木配布本数		令和２年度	本 0.00	本	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	緑化木配布事業で配布した本数	令和３年度	本 0.00	本	
		令和４年度	本 320.00	本	
		令和５年度	本 235.00	本	

6 成果指標

指標名		年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
町人口100人当たりの募金額		令和２年度	円 555.00	円 637.00	過去３年間の実績値の平均
指標の説明（指標式）	募金総額÷人口×100人 人口＝43,937人（令和５年７月末時点）	令和３年度	円 646.00	円 592.00	
		令和４年度	円 586.00	円 587.00	
		令和５年度	円 615.00	円 605.00	

7	直接事業費計	前年度決算額	1,553,400　円	決算額	1,054,950　円

款	08	土木費	予算現額	114,000 円
項	04	都市計画費	決算額	68,040 円
目	03	開発事業費	前年度決算額	47,409,560 円
			対前年比	0.1 %

Ⅰ．事業の目的体系

1 事業名	開発推進事業	ｺｰﾄﾞ	01	08	04	03	02	-
2 総合計画の施策体系	基本目標	4 快適に暮らせるまち 【交通環境・住環境・生活基盤】						
	基本施策	03 魅力ある市街地を整備する						
	施策の展開方向	① まちの顔となる都市拠点の形成						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	町民、土地区画整理組合、まちづくりを推進する地区の地区内の住民及び権利者
2	働きかける相手（対象）	町民、土地区画整理組合、まちづくりを推進する地区の地区内の住民及び権利者
3	どのような状態にしたいのか（意図）	経済動向に左右されることなく、時代の変化に合わせた実現性の高い土地利用を展開し、地区を一体的に整備することにより、快適で活気あふれるまちになるようにします。また、集約型都市構造への転換を目指し、魅力ある「まちの中心核」の形成を図ります。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

Ⅰ 開発事業一般事務事業
⑴ 愛知県土地区画整理組合連合会の研修会等へ４回参加しました。
⑵ 尾東土地区画整理事務研究協議会の研修会等に３回参加しました。
⑶ 公益財団法人愛知県都市整備協会の研修会等に１回参加しました。
⑷ まちづくりを円滑に推進するため、県等関係機関との連絡・調整を行うとともに、まちづくりに関する相談に対応しました。
⑸ 土地区画整理事業地内の建築行為に係る土地区画整理法第76条に基づく許可事務を行いました。（51件）

２ 東郷町まちづくり推進事業
⑴ 土地区画整理事業への技術的支援
ア 東郷中央土地区画整理事業
(ｱ) 組合が開催する総代会、役員会、委員会等の各種会議に出席し、指導・助言をしました。
(ｲ) 組合が発注する工事等の設計・積算等に対し指導を行いました。
イ 東郷和合知々釜土地区画整理事業
(ｱ) 組合が開催する総会、役員会等の各種会議に出席し、指導・助言をしました。
(ｲ) 組合が行った清算手続に係る県との調整等を実施しました。
(ｳ) 組合の清算手続完了に伴い、組合の書類の引継ぎを実施しました。
⑵ 東郷町エコまちづくり計画の推進
本計画を推進するため、計画に掲げる導入メニューの実現に向けた調査・検討を行うとともに、計画の進捗を管理しました。

5 活動指標

指標名		年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
東郷中央土地区画整理組合の各種会議への出席回数		令和２年度	回 49.00	回	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	東郷中央土地区画整理組合が開催した各種会議や説明会等への町職員の出席回数	令和３年度	回 44.00	回	
		令和４年度	回 30.00	回	
		令和５年度	回 32.00	回	

6 成果指標

指標名		年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
事業進捗率		令和２年度	% 86.71	% 84.03	事業計画の年度別資金計画を目標値としました。
指標の説明（指標式）	東郷中央土地区画整理事業の事業進捗率 累積事業費／総事業費×100	令和３年度	% 91.03	% 92.05	
		令和４年度	% 94.78	% 95.26	
		令和５年度	% 97.78	% 98.01	

7 直接事業費計	前年度決算額	47,409,560 円	決算額	68,040 円

款	08	土木費	予算現額	375,386,000 円
項	05	下水道費	決算額	351,827,000 円
目	01	下水道整備費	前年度決算額	238,346,000 円
			対前年比	147.6 %

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	下水道事業会計繰出金事業	ｺｰﾄﾞ	01	08	05	01	01	-
2	総合計画の施策体系	基本目標	4 快適に暮らせるまち 【交通環境・住環境・生活基盤】						
		基本施策	04 良好な住環境をつくる						
		施策の展開方向	② 下水道の整備・維持管理						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	公共下水道区域内の町民、事業者
2	働きかける相手（対象）	下水道事業会計
3	どのような状態にしたいのか（意図）	東郷町下水道事業会計の健全な財政運営を確保し、下水道事業を計画どおり進めます。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

下水道事業会計繰出金
　下水道事業費の財源について、当該事業に充てられる国庫補助金、企業債、受益者負担金、下水道使用料及び雑収益以外の財源を一般会計から繰り出しました。

5 活動指標

指標名	繰出金額	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	円 442,751,000.00	円	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	円 437,249,000.00	円	
		令和４年度	円 238,346,000.00	円	
		令和５年度	円 351,827,000.00	円	

6	直接事業費計	前年度決算額	238,346,000 円	決算額	351,827,000 円	

款	09	消防費	予算現額	586,192,000 円
項	01	消防費	決算額	586,192,000 円
目	01	常備消防費	前年度決算額	568,228,000 円
			対前年比	103.2 %

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	尾三消防組合負担金事業	ｺｰﾄﾞ	01	09	01	01	01	-
2	総合計画の施策体系	基本目標	3 安全・安心で、自然と共生するまち 【安全・安心、自然・生活環境】						
		基本施策	02 災害に強いまちをつくる						
		施策の展開方向	③ 消防体制の強化						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	町民、事業所、町内一時滞在者
2	働きかける相手（対象）	尾三消防組合
3	どのような状態にしたいのか（意図）	消防・救急等の消防力の強化を図り、町民の生命、身体及び財産を守ります。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

尾三消防組合負担金事業
尾三消防組合に対し、負担金を支出しました。

5 活動指標

指標名	尾三消防組合負担金額	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	千円 542,280.00	千円	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	千円 548,833.00	千円	
		令和４年度	千円 568,288.00	千円	
		令和５年度	千円 586,192.00	千円	

6	直接事業費計	前年度決算額	568,228,000 円	決算額	586,192,000 円

款	09	消防費	予算現額	70,558,000 円
項	01	消防費	決算額	66,163,476 円
目	02	非常備消防費	前年度決算額	63,520,287 円
			対前年比	104.2 %

Ⅰ．事業の目的体系

1 事業名	消防団運営事業	ｺｰﾄﾞ	01	09	01	02	01	－
2 総合計画の施策体系	基本目標	3 安全・安心で、自然と共生するまち 【安全・安心、自然・生活環境】						
	基本施策	02 災害に強いまちをつくる						
	施策の展開方向	③ 消防体制の強化						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	各種災害の被災者
2	働きかける相手（対象）	消防団員
3	どのような状態にしたいのか（意図）	消防団員の資質及び機動力の向上を図るとともに、団員を確保し、地域における防災体制を整えます。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

1 消防団運営事業
(1) 東郷町消防団の組織（令和５年４月１日現在）
ア 団長 １名、副団長 ２名
イ 分団員数 (ｱ) 諸輪分団 15名 (ｲ) 和合分団 13名 (ｳ) 傍示本分団 18名 (ｴ) 祐福寺分団 12名
(ｵ) 部田分団 10名 (ｶ) 白土分団 ６名 計74名（団長・副団長を含まない。）
(2) 会議、研修会等
ア 正副分団長会議を年８回開催し、活動内容の確認、出動状況及び情報交換を実施しました。
イ ６月17日～６月18日に役員県外研修を実施しました。（研修先 兵庫県）
(3) 各種訓練、点検活動等
ア ４月２日 基本訓練 参加団員33名
イ 10月１日 尾三消防連絡協議会合同訓練 参加団員21名
ウ 12月27日～30日 年末特別警戒（地区全域）
エ １月７日 出初・観閲式 参加団員27名
オ １月27日 文化財防火訓練（富士浅間神社） 参加団員７名
カ 毎月１回 無線試験、放水訓練及び資機材等点検
キ ５月～10月 消防水利点検（５～８月）、消防用ホース耐圧試験（９月～10月）
ク 「水防訓練」及び「町消防団入退団式」は、中止しました。
(4) 火災風水害等に伴う出動
家屋火災等に伴う出動 １件 ９名
(5) その他の活動等
ア 各地区で開催された防災訓練、文化産業まつりに参加しました。
イ １月７日に「あいち消防団の日」啓発活動を実施しました。
2 町消防操法大会
５月28日開催の東郷町消防操法大会に６分団が出場し、部田分団が優勝しました。
3 消防団詰所建替事業
祐福寺分団詰所の建替え工事を実施しました。

5 活動指標

		年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
指標名	各種訓練実施回数（基本訓練、操法訓練、水防訓練、文化財防火訓練、林野火災訓練）	令和２年度	回 1.00	回	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	消防団全体で実施する各種訓練の回数（ただし、分団個別の訓練、啓発活動、会議を除く。）	令和３年度	回 4.00	回	
		令和４年度	回 4.00	回	
		令和５年度	回 3.00	回	

6 成果指標

		年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
指標名	基本訓練参加率	令和２年度	% 0.00	% 29.03	過去３年間の最高値
指標の説明（指標式）	基本訓練に参加した人数÷団長・副団長を含む消防団員数（各年４月１日現在）×100	令和３年度	% 26.32	% 29.03	
		令和４年度	% 42.50	% 29.03	
		令和５年度	% 42.86	% 42.50	

7 直接事業費計	前年度決算額	62,795,382 円	決算額	66,163,476 円

款	09	消防費	予算現額	7,294,000 円
項	01	消防費	決算額	5,959,673 円
目	03	消防施設費	前年度決算額	6,272,762 円
			対前年比	95 %

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	消防水利設置管理事業	ｺｰﾄﾞ	01	09	01	03	01	-
2	総合計画の施策体系	基本目標	3　安全・安心で、自然と共生するまち　【安全・安心、自然・生活環境】						
		基本施策	02　災害に強いまちをつくる						
		施策の展開方向	③　消防体制の強化						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	被災者
2	働きかける相手（対象）	消防水利
3	どのような状態にしたいのか（意図）	耐震性貯水槽、消火栓を整備、維持管理して消防力を強化します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

1　消防水利設置事業
(1)　防火水槽並びに消火栓（地下式、地上式）の新設、移設及び撤去を実施しました。
(2)　格納箱の交換を実施しました。
(3)　防火水槽の有蓋化工事を実施しました。

2　消火栓維持管理事業
(1)　消火栓（474基分）の維持管理負担金を愛知中部水道企業団へ支出しました。（令和４年10月時点）
(2)　備品を購入しました。（除草剤）

【参考】
消防水利の状況（令和６年３月末現在）

防火水槽	蓋有	122基（うち耐震性貯水槽　22基）
	蓋無	４基
	プール	10か所
消火栓	65ミリ地下式	289基
	65ミリ地上式	７基
	40ミリ地下式	２基
	40ミリ地上式	175基（格納箱併設　筒先１個・40ミリホース２本・金具１個）
	計	609基（所）

5 活動指標

指標名	指標の説明（指標式）	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
消防水利整備基数	耐震性貯水槽設置数＋防火水槽蓋設置数＋消火栓設置数＋消防水利修繕数	令和２年度	基 2.00	基 個別計画による目標値はありません。
		令和３年度	基 3.00	基
		令和４年度	基 1.00	基
		令和５年度	基 1.00	基

6 成果指標

指標名	指標の説明（指標式）	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
消防水利の総数（池、河川含まず。）		令和２年度	基 608.00	基 605.00	前年度末設置数
		令和３年度	基 610.00	基 608.00	
		令和４年度	基 609.00	基 610.00	
		令和５年度	基 609.00	基 609.00	

7	直接事業費計	前年度決算額	6,272,762 円	決算額	5,959,673 円

款	09	消防費	予算現額	1,793,000 円
項	01	消防費	決算額	925,827 円
目	04	防災啓発費	前年度決算額	1,070,233 円
			対前年比	86.5 %

Ⅰ．事業の目的体系

1 事業名	防災啓発事業	ｺｰﾄﾞ	01	09	01	04	01	－
2 総合計画の施策体系	基本目標	3 安全・安心で、自然と共生するまち 【安全・安心、自然・生活環境】						
	基本施策	02 災害に強いまちをつくる						
	施策の展開方向	② 地域の安全・安心の強化						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	町民
2	働きかける相手（対象）	自主防災組織、町民
3	どのような状態にしたいのか（意図）	各自主防災組織を中心に災害時の緊急対応力を強化するとともに、町民の防災意識を高めます。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

防災啓発事業
自主防災組織の育成及び防災訓練などの各種活動を支援しました。
⑴ 自主防災組織の数 18団体
⑵ 自主防災組織等の活動
各地区及び自主防災組織の13団体において、年１回程度、初期消火、避難、情報伝達などの防災訓練を実施しました。
⑶ 自主防災組織活動助成金
自主防災組織の活動に対する助成金を12地区に交付しました。
諸輪、部田、白土、御岳、春木台、北山台、押草北、押草南、西白土、兵庫、三ツ池、清水
各50,000円
計600,000円
⑷ 賞味期限が１年未満となった備蓄食料を防災啓発品として、地区の防災訓練に利用するため、アルファ米（2,400食）、ライスクッキー（1,728食）を配布しました。
⑸ 家具転倒防止器具取付事業として、65歳以上の高齢者のみの世帯等に対して、家具の転倒を防止するため、金具の取付を行いました。（申請世帯数14世帯）
⑹ 感震ブレーカー設置費補助事業として、感震ブレーカー（簡易タイプ）を設置する世帯に対し、通電火災を防止するため、購入費用の一部を補助金として交付しました。（申請世帯数５世帯）
⑺ 避難所開設訓練
避難所の受付方法など避難所開設体制を確認し、災害発生時の円滑な避難所開設を行うことができるよう実施しました。（11月25日春木台小学校、諸輪小学校、音貝小学校で実施）（160名参加）

5 活動指標

指標名	自主防災組織数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	地区 17.00	地区	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	令和４年度以降の自主防災組織数は18地区	令和３年度	地区 17.00	地区	
		令和４年度	地区 18.00	地区	
		令和５年度	地区 18.00	地区	

6 成果指標

指標名	防災訓練を実施した自主防災組織及び自治会数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		令和２年度	件 10.00	件 17.00	訓練実施地区を18地区全部としました。
指標の説明（指標式）		令和３年度	件 9.00	件 17.00	
		令和４年度	件 12.00	件 18.00	
		令和５年度	件 13.00	件 18.00	

7	直接事業費計	前年度決算額	1,070,233 円	決算額	925,827 円

款	09	消防費	予算現額	21,711,000 円
項	01	消防費	決算額	19,918,413 円
目	05	災害対策費	前年度決算額	16,400,076 円
			対前年比	121.5 %

Ⅰ．事業の目的体系

1 事業名	災害対策事業		ｺｰﾄﾞ	01	09	01	05	01	-
2 総合計画の施策体系	基本目標	3 安全・安心で、自然と共生するまち 【安全・安心、自然・生活環境】							
	基本施策	02 災害に強いまちをつくる							
	施策の展開方向	－							

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1 誰のために（受益者）	被災者
2 働きかける相手（対象）	町民、職員、防災資機材
3 どのような状態にしたいのか（意図）	防災計画に基づく職員非常配備体制を整えるとともに、災害時の備蓄品、災害用資機材を充実します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

1 災害対策職員給与関係事業
(1) 8月15日 台風7号の接近に伴い、第1非常配備を執り、警戒に当たりました。
(2) 1月～3月 令和6年能登半島地震に係る石川県志賀町へ職員派遣を行い、住家の被害認定調査を行いました。（派遣職員5名）

2 災害対策事業
(1) 災害用備蓄品を購入し、防災倉庫において備蓄しました。
飲料水（2Lペットボトル）1,470本、飲料水（500mlペットボトル）192本、ライスクッキー2,352食、アルファ米（わかめ・山菜おこわ・きのこごはん・梅がゆ）計4,200食、粉ミルク（アレルギー対応800ｇ）56缶、液体ミルク（200mℓ）24缶
(2) 3月18日に東郷町防災会議を開催し、地域防災計画を見直しました。

3 防災無線整備事業
(1) 全国瞬時警報システム（J－ALERT）の保守点検を実施しました。
(2) 防災行政無線無停電電源装置・J-ALERT自動起動装置を更新しました。

4 職員訓練等
(1) 災害発生時、避難所における応急対策活動を円滑に遂行するため、「地震災害初動要員訓練」を5月に実施しました。（参加職員23名）
(2) 土のう作成等訓練を実施し、水防技術の向上を図りました。（参加職員20名）

5 活動指標

指標名	指標の説明（指標式）	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
災害対策本部設置回数		令和2年度	回 1.00	回	個別計画による目標値はありません。
		令和3年度	回 0.00	回	
		令和4年度	回 1.00	回	
		令和5年度	回 1.00	回	

6 成果指標

指標名	指標の説明（指標式）	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
備蓄整備計画に基づき町で確保する非常備蓄食糧数		令和2年度	食 19,650.00	食 18,400.00	H27～過去地震最大モデルによる想定避難者数（1日目600人、2、3日目4,300人）×2食
	各年度末の総備蓄食糧数（昼食・夕食用のアルファ米食数）（高齢者用のお粥、朝食用のクラッカーは含めない。）	令和3年度	食 19,650.00	食 18,400.00	
		令和4年度	食 19,650.00	食 18,400.00	
		令和5年度	食 18,400.00	食 18,400.00	

7 直接事業費計	前年度決算額	16,273,467 円	決算額	19,814,208 円	

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	新型コロナウイルス感染症対策事業	ｺｰﾄﾞ	01	09	01	05	02	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	3　安全・安心で、自然と共生するまち　【安全・安心、自然・生活環境】						
		基本施策	02　災害に強いまちをつくる						
		施策の展開方向	⑤　感染症対策						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	町民
2	働きかける相手（対象）	町民、職員、感染症対策資機材
3	どのような状態にしたいのか（意図）	職員を中心に感染症発生時の災害対応力を強化するとともに、災害発生時の避難所内での感染症防止対策を適切に対応できるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

新型コロナウイルス感染症対策事業
(1) 感染症対策資機材を購入し、庁舎内の感染防止対策を行いました。
　手指消毒液、ニトリル手袋
(2) 感染症の対策を実施しました。
　ア　対策本部会議
　　新型コロナウイルス感染症が５月８日に５類感染症に位置付けられたことから、新型コロナウイルス等対策本部会議を一旦廃止しました。
　イ　周知啓発方法について
　　町HPで町民へ向け感染症に関する周知を行いました。

5 活動指標

指標名	対策本部開催回数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	回 51.00	回	個別計画による指標はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	回 30.00	回	
		令和４年度	回 11.00	回	
		令和５年度	回 1.00	回	

6 成果指標

指標名	感染症対策資機材を備蓄する指定避難所数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		令和２年度	校 9.00	校 9.00	主要な避難所である小中学校９校全てへの備蓄を目標としました。
指標の説明（指標式）	備蓄を行う指定避難所は主要な避難所としている小中学校	令和３年度	校 9.00	校 9.00	
		令和４年度	校 9.00	校 9.00	
		令和５年度	校 9.00	校 9.00	

7	直接事業費計	前年度決算額	126,609　円	決算額	104,205　円

款	10	教育費	予算現額	2,063,000 円
項	01	教育総務費	決算額	1,774,117 円
目	01	教育委員会費	前年度決算額	1,740,520 円
			対前年比	101.9 %

Ⅰ．事務の目的体系

1 事業名	教育委員会運営事業	ｺｰﾄﾞ	01	10	01	01	01	－
2 総合計画の施策体系	基本目標	2 子どもがのびのび育つまち 【子育て・教育・文化】						
	基本施策	02 健やかな子どもを育てる						
	施策の展開方向	－						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1 誰のために（受益者）	町民、小中学校の児童生徒及びその保護者
2 働きかける相手（対象）	教育委員
3 どのような状態にしたいのか（意図）	教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律により設置が義務付けられており、教育行政の政治的中立性や政策決定、行政運営などを確保することを目的に設置されている合議制の行政委員会です。教育委員会が円滑に運営できるように事務処理を行います。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

教育委員会運営事業
教育委員５名により本町の教育行政の政策決定及び行政運営を実施しました。
⑴ 定例会
12回（月１回）開催しました。
ア 議事 0件
イ 議案 53件
(ｱ) 人事関係 18件
(ｲ) 予算関係 6件
(ｳ) 条例、規則等 9件
(ｴ) 後援名義使用許可 12件
(ｵ) 表彰、褒賞等 2件
(ｶ) その他 6件
⑵ 臨時会
１回（４月）開催しました。
ア 議事 0件
イ 議案 1件
(ｱ) その他 1件

5 活動指標

指標名	教育委員会開催回数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	回 13.00	回	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	定例会開催回数＋臨時会開催回数	令和３年度	回 13.00	回	
		令和４年度	回 14.00	回	
		令和５年度	回 13.00	回	

6 直接事業費計	前年度決算額	1,740,520 円	決算額	1,774,117 円

款	10	教育費	予算現額	187,894,000 円
項	01	教育総務費	決算額	175,686,231 円
目	02	事務局費	前年度決算額	157,848,348 円
			対前年比	111.3 %

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	教育振興一般管理事業	ｺｰﾄﾞ	01	10	01	02	02	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	2　子どもがのびのび育つまち　【子育て・教育・文化】						
		基本施策	02　健やかな子どもを育てる						
		施策の展開方向	－						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	児童、生徒、保護者
2	働きかける相手（対象）	教育機関、教職員
3	どのような状態にしたいのか（意図）	児童生徒の教育を受ける権利を保障するため就学関係事務を執行することにより、義務教育の円滑な運営を図ります。教育委員会内の他部署、学校及びその他教育機関の円滑な運営を支えていきます。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

教育振興一般管理事業
⑴　全ての学齢児童生徒が義務教育を受けるための学齢簿の整理、就学指導を行いました。
⑵　教育委員会内の他部署、学校及びその他教育機関との連絡調整、予算・決算等庶務的事務を行いました。
⑶　各小中学校の校長による校長会を毎月１回開催し、連絡調整及び各種の取組みを協議・決定しました。
⑷　スクールソーシャルワーカー４名を学校教育課に配置しました。
⑸　会計年度任用職員を配置しました。
　ア　一般事務　１名（学校教育課配置）
　イ　学校教育専門員　１名（学校教育課配置）
　ウ　養護教諭補助員　４名（小中学校巡回）
　エ　建築技術専門員　１名（学校教育課配置）
⑹　外国語指導助手（ＪＥＴプログラム）を５名小中学校に配置しました。
⑺　小中学校において、委託事業で外国語指導助手を配置しました。
⑻　医療的ケア児が安心して学校生活を送られるよう看護師を派遣しました。
⑼　春木台小学校、諸輪小学校、音貝小学校、高嶺小学校及び兵庫小学校において、学校運営協議会を開催しました。
⑽　学校の諸問題に法律的な見地から助言を得られるよう、尾三連携によりスクールロイヤーを配置しました。
⑾　ラーケーションを10月から実施するため、小中学校に非常勤講師等を配置しました。

5 活動指標

指標名	指標の説明（指標式）	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
義務教育諸学校就学率	義務教育諸学校就学者数／学齢児童生徒数	令和２年度	% 100.00	%	個別計画による目標値はありません。
		令和３年度	% 100.00	%	
		令和４年度	% 100.00	%	
		令和５年度	% 100.00	%	

6	直接事業費計	前年度決算額	73,930,236 円	決算額	82,289,481 円

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	教育支援センター運営事業	ｺｰﾄﾞ	01	10	01	02	03	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	2　子どもがのびのび育つまち　【子育て・教育・文化】						
		基本施策	02　健やかな子どもを育てる						
		施策の展開方向	③　いじめ・不登校対策						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	不登校（長期欠席）又は不登校傾向にある児童生徒
2	働きかける相手（対象）	不登校又は不登校傾向にある児童生徒及びその保護者
3	どのような状態にしたいのか（意図）	不登校又は不登校傾向にある児童生徒の集団生活への適応、情緒の安定、基礎学力の補充、基本的生活習慣の改善等のための相談・学習指導・適応指導を行い、心の安定、基礎学力の補充、生活習慣の改善を支援します。

4　評価対象年度にどのようなことを実施したのか

適応指導事業
⑴　東郷町教育支援センター「ハートフル東郷」を開設しました。
　ア　支援員及び支援補助員を配置し、不登校又は不登校傾向にある児童生徒の自立を促すと同時に学校生活への適応を図るため、次の指導を行いました。
　　(ｱ) 自分の言動に自信を持たせ、心の安定を図りました。
　　(ｲ) 基本的な生活習慣の確立に向けた助言を通して、自立する力を養いました。
　　(ｳ) 対人関係の広がりを支援し、集団への適応力を育成しました。
　　(ｴ) 個人に応じた学習活動を進め、学校生活への復帰を支援しました。
　イ　運営時間
　　午前９時から午後３時まで（月曜日から金曜日）
　ウ　通室者数
　　５人〔町内小中学校不登校児童生徒数171人（Ｒ５年度不登校児童生徒状況調査）〕
⑵　不登校や不登校傾向の子どもを持つ保護者を対象に「ハートフル東郷親の会」を開催しました。

5　活動指標

指標名		1人当たりの登校及び通室延べ日数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
			令和２年度	日 83.00	日	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		通室者1人当たりの登校及び通室の延べ日数	令和３年度	日 50.00	日	
			令和４年度	日 43.00	日	
			令和５年度	日 41.00	日	

6　成果指標

指標名		学校復帰者	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
			令和２年度	人 1.00	人 4.00	通室者の５割
指標の説明（指標式）		通室者のうち学校への復帰者	令和３年度	人 1.00	人 3.00	
			令和４年度	人 0.00	人 3.00	
			令和５年度	人 0.00	人 2.00	

7　直接事業費計	前年度決算額	6,911,063　円	決算額	7,944,719　円

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	児童生徒指導事業	ｺｰﾄﾞ	01	10	01	02	04	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	2　子どもがのびのび育つまち　【子育て・教育・文化】						
		基本施策	02　健やかな子どもを育てる						
		施策の展開方向	－						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	全小中学生
2	働きかける相手（対象）	町内小中学校の児童生徒及び保護者、各学校区生徒指導推進協議会、地域
3	どのような状態にしたいのか（意図）	学校を中心に家庭や地域社会との連携を密にした指導を行うとともに、生徒が気軽に悩みを話せる環境をつくり、児童生徒自身が不安や悩みを軽減したり、解消したりできるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

生徒指導事業

⑴　生徒指導推進協議会

３中学校の生徒指導推進協議会へ負担金を交付し、各中学校区内における地域との情報交換会・街頭指導・非行防止の啓発活動を行いました。

⑵　スクールカウンセラー

ア　【小学校】６小学校に計２名のスクールカウンセラーが愛知県から配置され、児童等からの相談を受けました。（児童等相談件数　206件　参考：R４年度205件、Ｒ３年度376件、Ｒ２年度311件、Ｒ元年度419件）
年間相談時間　389時間

イ　【中学校】３中学校に１名ずつ計３名のスクールカウンセラーが愛知県から配置され、生徒等からの相談を受けました。
（生徒等相談件数　555件　参考：Ｒ４年度527件、Ｒ３年度341件、Ｒ２年度594件、Ｒ元年度626件）
年間相談時間　609時間

⑶　心の教室相談員

小中学校に計１０名（東郷中学校２名、春木中学校３名、諸輪中学校２名、諸輪小学校１名、高嶺小学校１名、兵庫小学校１名）の心の教室相談員を配置し、児童生徒等が気軽に相談できる環境を整備しました。
中学校生徒等相談件数　480件
勤務時間数　東郷中学校　205時間、春木中学校　311時間、諸輪中学校　405時間
小学校児童等相談件数　211件
勤務時間数　諸輪小学校　262時間、高嶺小学校　96時間、兵庫小学校　59時間

⑷　スクールサポーター

不登校傾向又は軽度発達障がい等で集団での授業に参加できない児童生徒及びその他の教育活動に支援を必要としている児童生徒に対し、将来教職に就きたいと考えている大学生を小学校に合計８名配置しました。
勤務日数　小学校117日

5 活動指標

指標名	心の教室相談員配置校	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	校 9.00	校	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	校 6.00	校	
		令和４年度	校 8.00	校	
		令和５年度	校 6.00	校	

6 成果指標

指標名	相談件数（スクールカウンセラー及び心の教室相談員）	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		令和２年度	件 1,274.00	件 1,560.00	過去３年間の平均相談件数
指標の説明（指標式）		令和３年度	件 1,304.00	件 1,376.00	
		令和４年度	件 1,327.00	件 1,031.00	
		令和５年度	件 1,452.00	件 1,301.00	

7 直接事業費計	前年度決算額	2,243,500　円	決算額	2,025,000　円

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	高等学校等教育振興事業	ｺｰﾄﾞ	01	10	01	02	05	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	2　子どもがのびのび育つまち　【子育て・教育・文化】						
		基本施策	02　健やかな子どもを育てる						
		施策の展開方向	－						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	私立高等学校及び専修学校の高等課程等に在籍している生徒
2	働きかける相手（対象）	私立高等学校及び専修学校の高等課程等に在籍している生徒の保護者
3	どのような状態にしたいのか（意図）	保護者負担を軽減し、公私立高等学校及び専修学校間における授業料等の自己負担分の格差を是正します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

高等学校等教育振興事業
　令和５年10月１日時点で私立高等学校等に生徒が在籍しており、かつ、保護者が同日時点で町内に在住し、授業料等（授業料、入学金、教育充実費、諸会費、設備維持費及びこれらに類するもの（保護者が負担する経費））の自己負担分が15,000円を超える場合、生徒１人当たり年額15,000円を補助しました。
(1) 補助実施生徒数
　467人
(2) 補助実施生徒在籍学校数
　78校

5 活動指標

指標名		年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
私立高等学校等授業料等補助金交付者数		令和２年度	人 383.00	人	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	令和５年度から、補助基準等改正	令和３年度	人 338.00	人	
		令和４年度	人 307.00	人	
		令和５年度	人 467.00	人	

6 成果指標

指標名		年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
申請率		令和２年度	% 73.94	% 70.00	対象者の７割
指標の説明（指標式）	申請者／対象者	令和３年度	% 62.25	% 70.00	
		令和４年度	% 56.75	% 70.00	
		令和５年度	% 86.96	% 70.00	

7	直接事業費計	前年度決算額	3,070,000　円	決算額	7,005,000　円

款	10	教育費	予算現額	1,241,380,970 円
項	02	小学校費	決算額	491,526,001 円
目	01	学校管理費	前年度決算額	368,306,682 円
			対前年比	133.5 %

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	小学校保健事業	ｺｰﾄﾞ	01	10	02	01	01	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	2　子どもがのびのび育つまち　【子育て・教育・文化】						
		基本施策	02　健やかな子どもを育てる						
		施策の展開方向	－						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	町立小学校児童、教職員
2	働きかける相手（対象）	町立小学校児童、教職員、医療関係者
3	どのような状態にしたいのか（意図）	疾病の早期発見と健康指導の徹底を図り、健康で健やかな学校生活を送れるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

1　小学校保健一般事業
(1)　児童健診（対象者数：2,702人）
　　尿（２回）、心電図（１・４年生）、胸部Ｘ線（結核精密検査該当者４人）
(2)　教職員健診（受診者数：212人）
　　胃（35歳以上）、尿、胸部Ｘ線（結核）、血液、心電図、大腸がん、Ｂ型肝炎、内科、眼底（35歳以上）

2　小学校学校医等設置事業
(1)　学校医
　　内科検診（児童、教職員）と就学時健診
　　眼科分（２・３・５・６年生）と就学時健診
(2)　歯科医
　　歯科検診（児童）と就学時健診
(3)　耳鼻科医
　　耳鼻科検診（１・４年生）
(4)　眼科医
　　眼科検診（１・４年生）
(5)　薬剤師
　　環境測定、プール水質検査

5 活動指標

指標名	健康診断受診者数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	人 3,037.00	人	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	健康診断を受診した児童・教職員数	令和３年度	人 2,990.00	人	
		令和４年度	人 2,950.00	人	
		令和５年度	人 2,914.00	人	

6	直接事業費計	前年度決算額	19,410,681 円	決算額	19,615,416 円

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	小学校維持管理事業	ｺｰﾄﾞ	01	10	02	01	02	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	2　子どもがのびのび育つまち　【子育て・教育・文化】						
		基本施策	02　健やかな子どもを育てる						
		施策の展開方向	②　教育環境の充実						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	小学校で学ぶ児童、教諭及び施設利用者
2	働きかける相手（対象）	小学校施設・設備
3	どのような状態にしたいのか（意図）	施設の機能を適正に維持することで、安全で快適に利用できるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

小学校維持管理事業
⑴　小学校一般維持管理費
　学校の健全かつ正常な運営が損なわれないように機能維持を図りました。
　ア　小学校施設の維持管理、機械設備の保守点検（全25件）を実施しました。
　（ｱ）学校消防用設備等保守点検業務　（ｲ）学校浄化槽保守点検業務　（ｳ）兵庫小学校維持管理業務
　（ｴ）粗大ごみ収集運搬処分業務　（ｵ）浄化槽清掃業務　（ｶ）学校遊具体育用具等保守点検業務
　（ｷ）学校施設・設備等清掃業務　（ｸ）学校植栽維持管理業務　（ｹ）事業系ごみ収集運搬処分業務
　（ｺ）自家用電気工作物保安管理業務　（ｻ）学校昇降機維持保全業務　（ｼ）舞台吊物設備保守点検業務
　（ｽ）ガス空調設備保守点検業務　（ｾ）学校施設機械警備業務 始め12件
　イ　小学校に会計年度任用職員を配置しました。
　（ｱ）学校用務員　６人　（ｲ）学校給食配膳員　６人
　（ｳ）非常勤講師　８人　（ｴ）学校生活支援員　50人
　（ｵ）学校生活介護員　２人　（ｶ）学校図書館司書教諭補助員　６人
⑵　小学校施設改修費
　学校の老朽化や管理運営上必要となる施設設備の補修、修繕、改修工事等を実施しました。
　ア　コンピュータ室改修工事（春木台小学校南校舎）
　イ　コンピュータ室改修工事設計業務（春木台小学校南校舎）
　ウ　コンピュータ室改修工事監理業務（春木台小学校南校舎）
　エ　トイレ改修工事（音貝小学校南校舎）
　オ　トイレ改修工事監理業務（音貝小学校南校舎）
　カ　昇降機改修工事（春木台小学校南校舎）
　キ　昇降機改修工事監理業務（春木台小学校南校舎）
　ク　昇降機改修工事（諸輪小学校南校舎）
　ケ　昇降機改修工事監理業務（諸輪小学校南校舎）
　コ　昇降機改修工事（音貝小学校北校舎）
　サ　昇降機改修工事監理業務（音貝小学校）
　シ　多目的トイレ増築工事設計業務（東郷小学校西校舎）
　ス　長寿命化改修工事実施設計業務（諸輪小学校南校舎）
　セ　防水補修工事（諸輪小学校北校舎）始め49件

5 活動指標

指標名	保守点検等の委託業務数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	件 24.00	件	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	小学校施設の維持管理等の委託業務数	令和３年度	件 22.00	件	
		令和４年度	件 28.00	件	
		令和５年度	件 25.00	件	

6	直接事業費計	前年度決算額	348,896,001　円	決算額	454,114,750　円

款	10	教育費	予算現額	147,919,000 円
項	02	小学校費	決算額	141,027,159 円
目	02	教育振興費	前年度決算額	92,660,374 円
			対前年比	152.2 %

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	小学校運営事業	ｺｰﾄﾞ	01	10	02	02	01	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	2　子どもがのびのび育つまち　【子育て・教育・文化】						
		基本施策	02　健やかな子どもを育てる						
		施策の展開方向	－						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	町立小学校の児童
2	働きかける相手（対象）	町立小学校の児童、教職員
3	どのような状態にしたいのか（意図）	小学校の運営に必要な公費で負担すべき経費を支出し、教育の機会均等と教育水準の維持向上を図ります。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

小学校一般運営事業
⑴　教科用消耗品の購入、教材備品の購入・修理、部活動に対する補助を行いました。
⑵　学校評議員を21名委嘱し、学校評議員会を年間延べ12回開催し、延べ51人が出席しました。
⑶　小学校の状況（令和５年５月１日現在）

ア	東郷小学校	児童数	472人、	学級数	21学級、	教職員数 35人
イ	春木台小学校	児童数	399人、	学級数	17学級、	教職員数 31人
ウ	諸輪小学校	児童数	370人、	学級数	17学級、	教職員数 32人
エ	音貝小学校	児童数	398人、	学級数	18学級、	教職員数 35人
オ	高嶺小学校	児童数	493人、	学級数	23学級、	教職員数 41人
カ	兵庫小学校	児童数	570人、	学級数	23学級、	教職員数 42人
	計	児童数	2,702人、	学級数	119学級、	教職員数 216人

⑷　水泳指導業務
　　小学校で水泳指導の委託を行いました。
⑸　オーストラリア姉妹校と対面及びオンラインで交流しました。
　ア　対面交流実施校
　　東郷小学校
　イ　オンライン交流実施校
　　全小学校
⑹　令和6年度の教科書改訂のため、教員用指導書、指導用備品等を整備しました。

5 活動指標

指標名	児童数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	人 2,848.00	人	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	毎年５月１日 現在	令和３年度	人 2,791.00	人	
		令和４年度	人 2,756.00	人	
		令和５年度	人 2,702.00	人	

6	直接事業費計	前年度決算額	40,607,600 円	決算額	88,834,573 円

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	小学校図書館整備事業	ｺｰﾄﾞ	01	10	02	02	02	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	2　子どもがのびのび育つまち　【子育て・教育・文化】						
		基本施策	02　健やかな子どもを育てる						
		施策の展開方向	②　教育環境の充実						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	町立小学校児童
2	働きかける相手（対象）	町立小学校、町立小学校児童
3	どのような状態にしたいのか（意図）	各学校の蔵書数を学校図書館図書標準冊数まで引き上げ、学校図書館の充実を図り、児童の本に触れる機会を増やすことにより、読書を通じた情報収集能力や読書を通して感じたことを人に伝える楽しさなど、読書の持つ本来の楽しさが理解できるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

小学校図書館整備事業
学校図書館の図書の整備を図りました。
(1) 蔵書状況

	購入	廃棄	蔵書数	標準冊数	充足率
東郷小学校	224冊	210冊	10,894冊	10,960冊	99%
春木台小学校	738冊	481冊	10,939冊	10,360冊	106%
諸輪小学校	632冊	451冊	10,820冊	10,560冊	102%
音貝小学校	242冊	532冊	10,400冊	10,360冊	100%
高嶺小学校	214冊	379冊	11,935冊	11,560冊	103%
兵庫小学校	248冊	0冊	12,670冊	11,560冊	109%
計	2,298冊	2,053冊	67,658冊	65,360冊	

(2) 年間貸出冊数

東郷小学校	6,686冊
春木台小学校	13,246冊
諸輪小学校	10,706冊
音貝小学校	10,878冊
高嶺小学校	8,721冊
兵庫小学校	23,107冊
計	73,344冊

5 活動指標

指標名		購入後蔵書数（全小学校分）	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
			令和２年度	冊 65,637.00	冊 61,960.00	学校図書館図書標準冊数（公立義務教育諸学校の学校図書館に整備すべき蔵書の標準冊数）
指標の説明（指標式）		前年度末蔵書数＋当該年度整備冊数－廃棄数	令和３年度	冊 65,704.00	冊 62,560.00	
			令和４年度	冊 66,511.00	冊 61,960.00	
			令和５年度	冊 67,658.00	冊 65,360.00	

6 成果指標

指標名		児童１人当たり年間貸出冊数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
			令和２年度	冊 19.98	冊 20.57	過去３年間の最大値
指標の説明（指標式）			令和３年度	冊 25.41	冊 20.18	
			令和４年度	冊 28.16	冊 25.41	
			令和５年度	冊 27.14	冊 28.16	

7	直接事業費計	前年度決算額	2,838,301　円	決算額	3,184,313　円

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	小学校特別支援教育奨励事業	ｺｰﾄﾞ	01	10	02	02	03	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	1　だれもが元気に暮らせるまち　【健康・医療・福祉】						
		基本施策	03　障がいのある方がいきいきと暮らせる						
		施策の展開方向	①　障がい者（児）福祉サービスの充実						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	障がいのある児童の保護者
2	働きかける相手（対象）	障がいのある児童の保護者
3	どのような状態にしたいのか（意図）	障がいのある児童の保護者の経済的負担の軽減を図ります。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

小学校特別支援教育奨励事業
特別支援学級に在籍する児童の保護者に対し、学校に係る経費の一部を支給しました。
(1)　支給人数
70人
(2)　支給費目
学用品費、学校給食費、新入学用品費、校外活動費、修学旅行費
(3)　費目別支給金額
ア　学用品費　291,540円
イ　学校給食費　1,247,505円
ウ　新入学用品費　255,550円
エ　校外活動費　46,390円
オ　修学旅行費　96,662円

5 活動指標

指標名	支給人数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	人 53.00	人	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	人 57.00	人	
		令和４年度	人 69.00	人	
		令和５年度	人 70.00	人	

6	直接事業費計	前年度決算額	1,907,560　円	決算額	1,937,647　円

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	小学校就学援助事業	ｺｰﾄﾞ	01	10	02	02	04	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	2　子どもがのびのび育つまち　【子育て・教育・文化】						
		基本施策	01　子育てしやすい環境をつくる						
		施策の展開方向	④　支援を必要とする子どもや家庭への取組の推進						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	経済的な事情により、就学困難な町立小学校児童
2	働きかける相手（対象）	町立小学校児童の保護者
3	どのような状態にしたいのか（意図）	経済的な事情により就学困難な児童の保護者を援助することにより、全ての児童が安心して義務教育を受けることができるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

小学校就学援助事業
　町立小学校の保護者からの申請に基づき、就学困難な世帯と認定された保護者に対し、就学に必要な費用を援助しました。
　また、令和６年度小学校入学予定者及び中学校入学予定者に対し、新入学用品費を入学前に支給しました。
⑴　支給人員
　　163人（うち、19人は令和６年度小学校入学予定者）
⑵　支給費目
　　学用品費、通学用品費、学校給食費、新入学用品費、校外活動費、修学旅行費、卒業アルバム等購入費、ＰＴＡ会費
⑶　費目別支給金額

ア	学用品費	1,743,870円
イ	通学用品費	298,170円
ウ	学校給食費	5,551,400円
エ	新入学用品費	563,070円
オ	校外活動費	448,586円
カ	修学旅行費	676,077円
キ	卒業アルバム等購入費	66,920円
ク	ＰＴＡ会費	220,000円
ケ	入学前支給	2,539,140円（小学校入学予定者　1,027,140円、中学校入学予定者　1,512,000円）

5 活動指標

指標名	支給人数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	人 146.00	人	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	人 143.00	人	
		令和４年度	人 158.00	人	
		令和５年度	人 163.00	人	

6	直接事業費計	前年度決算額	9,613,771　円	決算額	12,107,233　円

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	小学校情報教育推進事業	ｺｰﾄﾞ	01	10	02	02	05	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	2　子どもがのびのび育つまち　【子育て・教育・文化】						
		基本施策	02　健やかな子どもを育てる						
		施策の展開方向	②　教育環境の充実						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	町立小学校児童
2	働きかける相手（対象）	町立小学校児童、町立小学校施設
3	どのような状態にしたいのか（意図）	全小学校の学習用タブレット端末を効果的に利用できる状態とし、校内ＬＡＮにより各教室で児童がコンピュータを利用し学ぶことができる環境を整備して、情報教育を推進します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

小学校情報教育推進事業
　ＧＩＧＡスクール構想に基づき、児童１人に１台の学習用タブレット端末を利用し、ＩＣＴを効果的に活用した教育を実施しました。
⑴　学習用タブレット端末の台数　2,872台
⑵　学習用タブレット端末の効果的な利活用に向けたサポート
　　ＩＣＴ支援員　１名を配置
⑶　大型提示装置の整備
　　全小学校の普通教室等に設置　131台
⑷　安定した学習用タブレット端末の運用
　ア　インターネット接続サービスの利用
　イ　各種アカウントの管理及び更新
　ウ　卒業、入学等に伴う学習用タブレット端末の移動
　エ　新規導入アプリの登録

5 活動指標

指標名	学習用タブレット端末を活用し授業を行った学級の割合	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	% 0.00	% 0.00	全学級
指標の説明（指標式）		令和３年度	% 100.00	% 100.00	
		令和４年度	% 100.00	% 100.00	
		令和５年度	% 100.00	% 100.00	

6 成果指標

指標名	ＩＣＴ支援員の配置人数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		令和２年度	人 1.00	人 1.00	ＩＣＴに関する専門知識を有する支援員の必要人数
指標の説明（指標式）	令和２年度はＧＩＧＡスクールサポーターの配置人数	令和３年度	人 1.00	人 1.00	
		令和４年度	人 1.00	人 1.00	
		令和５年度	人 1.00	人 1.00	

7	直接事業費計	前年度決算額	37,693,142　円	決算額	34,963,393　円

款	10	教育費	予算現額	199,238,000 円
項	03	中学校費	決算額	176,923,325 円
目	01	学校管理費	前年度決算額	177,725,248 円
			対前年比	99.5 %

Ⅰ．事務の目的体系

1 事業名	中学校保健事業	ｺｰﾄﾞ	01	10	03	01	01	-
2 総合計画の施策体系	基本目標	2 子どもがのびのび育つまち 【子育て・教育・文化】						
	基本施策	02 健やかな子どもを育てる						
	施策の展開方向	－						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1 誰のために（受益者）	町立中学校生徒、教職員
2 働きかける相手（対象）	町立中学校生徒、教職員
3 どのような状態にしたいのか（意図）	疾病の早期発見と健康指導の徹底を図り、健康で健やかな学校生活を送れるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

1 中学校保健一般事業
(1) 生徒健診（対象者数：1,434人）
尿（２回）、心電図（１年生）、血液検査（２年生）、胸部Ｘ線（結核精密検査該当者２人）
(2) 教職員健診（受診者数：119人）
胃（35歳以上）、尿、胸部Ｘ線（結核）、血液、心電図、大腸がん、Ｂ型肝炎、内科、眼底（35歳以上）
(3) 産業医の委託（春木中１名）

2 中学校学校医等設置事業
(1) 学校医
内科検診（生徒、教職員）
眼科分（２・３年生）
(2) 歯科医
歯科検診（生徒）
(3) 耳鼻科医
耳鼻科検診（１年生）
(4) 眼科医
眼科検診（１年生）
(5) 薬剤師
環境測定、プール水質検査

5 活動指標

指標名	健康診断受診者数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	人 1,531.00	人	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	健康診断を受診した生徒・教職員数	令和３年度	人 1,571.00	人	
		令和４年度	人 1,549.00	人	
		令和５年度	人 1,553.00	人	

6 直接事業費計	前年度決算額	11,081,061 円	決算額	10,929,488 円

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	中学校維持管理事業	ｺｰﾄﾞ	01	10	03	01	02	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	2　子どもがのびのび育つまち　【子育て・教育・文化】						
		基本施策	02　健やかな子どもを育てる						
		施策の展開方向	②　教育環境の充実						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	中学校で学ぶ生徒、教諭及び施設利用者
2	働きかける相手（対象）	中学校施設・設備
3	どのような状態にしたいのか（意図）	施設の機能を適正に維持することで、安全で快適に利用できるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

中学校維持管理事業
⑴　中学校一般維持管理費
　学校の健全かつ正常な運営が損なわれないように機能維持を図りました。
　ア　中学校施設の維持管理、機械設備の保守点検（全24件）を実施しました。
　（ｱ）学校消防用設備等保守点検業務　（ｲ）学校浄化槽保守点検業務　（ｳ）プールろ過装置保守点検業務
　（ｴ）粗大ごみ収集運搬処分業務　（ｵ）浄化槽清掃業務　（ｶ）学校遊具体育用具等保守点検業務
　（ｷ）学校施設・設備等清掃業務　（ｸ）学校植栽維持管理業務　（ｹ）事業系ごみ収集運搬処分業務
　（ｺ）自家用電気工作物保安管理業務　（ｻ）学校昇降機維持保全業務　（ｼ）舞台吊物設備保守点検業務
　（ｽ）学校施設機械警備業務 始め12件
　イ　中学校に会計年度任用職員を配置しました。
　（ｱ）学校用務員　３人　（ｲ）学校給食配膳員　３人
　（ｳ）非常勤講師　７人　（ｴ）学校生活支援員　９人
　（ｵ）学校図書館司書教諭補助員　３人
⑵　中学校施設改修費
　学校の老朽化や管理運営上必要となる施設設備の補修、修繕、改修工事等を実施しました。
　ア　屋上防水改修工事（春木中学校北校舎）
　イ　屋内運動場屋上防水改修工事（東郷中学校屋内運動場）
　ウ　昇降機改修工事設計業務（東郷中学校北校舎）
　エ　階段室壁修繕工事（諸輪中学校体育館）　始め18件

5 活動指標

指標名	保守点検等の委託業務数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	件 19.00	件	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	中学校施設の維持管理等の委託業務数	令和３年度	件 16.00	件	
		令和４年度	件 22.00	件	
		令和５年度	件 24.00	件	

6	直接事業費計	前年度決算額	166,644,187　円	決算額	165,993,837　円

款	10	教育費	予算現額	53,836,000 円
項	03	中学校費	決算額	47,048,044 円
目	02	教育振興費	前年度決算額	53,963,564 円
			対前年比	87.2 %

Ⅰ．事務の目的体系

1 事業名	中学校運営事業	ｺｰﾄﾞ	01	10	03	02	01	－
2 総合計画の施策体系	基本目標	2 子どもがのびのび育つまち 【子育て・教育・文化】						
	基本施策	02 健やかな子どもを育てる						
	施策の展開方向	－						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1 誰のために（受益者）	町立中学校の生徒
2 働きかける相手（対象）	町立中学校の生徒、教職員
3 どのような状態にしたいのか（意図）	町立中学校の運営に必要な公費で負担すべき経費を支出し、教育の機会均等と教育水準の維持向上を図ります。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

中学校一般運営事業
⑴ 教科用消耗品の購入、教材備品の購入・修理、外部講師の謝礼、部活動に対する補助を行いました。
⑵ 学校評議員を13名委嘱し、学校評議員会を年間延べ６回開催し、延べ26人が出席しました。
⑶ 中学校の状況（令和５年５月１日現在）

ア	東郷中学校	生徒数	454人、	学級数	16学級、	教職員数 36人
イ	春木中学校	生徒数	751人、	学級数	25学級、	教職員数 51人
ウ	諸輪中学校	生徒数	229人、	学級数	10学級、	教職員数 25人
	計	生徒数	1,434人、	学級数	51学級、	教職員数 112人

⑷ オーストラリア姉妹校と対面及びオンラインで交流しました。
ア 対面交流実施校
東郷中学校
イ オンライン交流実施校
全中学校

5 活動指標

指標名	生徒数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	人 1,419.00	人	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	毎年５月１日 現在	令和３年度	人 1,451.00	人	
		令和４年度	人 1,433.00	人	
		令和５年度	人 1,434.00	人	

6 直接事業費計	前年度決算額	22,771,525 円	決算額	23,145,428 円	

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	中学校図書館整備事業	ｺｰﾄﾞ	01	10	03	02	02	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	2　子どもがのびのび育つまち　【子育て・教育・文化】						
		基本施策	02　健やかな子どもを育てる						
		施策の展開方向	②　教育環境の充実						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	町立中学校生徒
2	働きかける相手（対象）	町立中学校、町立中学校生徒
3	どのような状態にしたいのか（意図）	各学校の蔵書数を学校図書館図書標準冊数まで引き上げ、学校図書館の充実を図り、生徒の本に触れる機会を増やすことにより、読書を通じた情報収集能力や感じたことを人に伝える楽しさなど、読書の持つ本来の楽しさが理解できるようにします。

4　評価対象年度にどのようなことを実施したのか

中学校図書館整備事業
学校図書館の図書の整備を図りました。
(1)　蔵書状況

	購入	廃棄	蔵書数	標準冊数	充足率
東郷中学校	930冊	1,411冊	12,679冊	12,160冊	104%
春木中学校	274冊	270冊	17,192冊	15,520冊	110%
諸輪中学校	611冊	492冊	9,730冊	8,480冊	114%
計	1,815冊	2,173冊	39,601冊	36,160冊	

(2)　年間貸出冊数

東郷中学校	1,589冊
春木中学校	3,835冊
諸輪中学校	973冊
計	6,397冊

5　活動指標

指標名	購入後蔵書数（全中学校分）	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	冊 38,929.00	冊 37,600.00	学校図書館図書標準冊数（公立義務教育諸学校の学校図書館に整備すべき蔵書の標準冊数）
指標の説明（指標式）	前年度末蔵書数＋当該年度整備冊数－廃棄数	令和３年度	冊 39,324.00	冊 38,160.00	
		令和４年度	冊 39,959.00	冊 36,720.00	
		令和５年度	冊 39,601.00	冊 36,160.00	

6　成果指標

指標名	生徒１人当たり年間貸出冊数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		令和２年度	冊 6.57	冊 5.87	過去３年間の最大値
指標の説明（指標式）		令和３年度	冊 6.58	冊 6.57	
		令和４年度	冊 4.46	冊 6.58	
		令和５年度	冊 4.46	冊 6.58	

7	直接事業費計	前年度決算額	2,014,556　円	決算額	2,698,883　円

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	中学校特別支援教育奨励事業	ｺｰﾄﾞ	01	10	03	02	03	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	1　だれもが元気に暮らせるまち　【健康・医療・福祉】						
		基本施策	03　障がいのある方がいきいきと暮らせる						
		施策の展開方向	①　障がい者（児）福祉サービスの充実						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	障がいのある生徒の保護者
2	働きかける相手（対象）	障がいのある生徒の保護者
3	どのような状態にしたいのか（意図）	障がいのある生徒の保護者の経済的負担の軽減を図ります。

4　評価対象年度にどのようなことを実施したのか

中学校特別支援教育奨励事業
特別支援学級に在籍する生徒の保護者に対し、学校に係る経費の一部を支給しました。
(1)　支給人数
27人
(2)　支給費目
学用品費、学校給食費、新入学用品費、校外活動費、修学旅行費
(3)　費目別支給金額
ア　学用品費　237,920円
イ　学校給食費　466,240円
ウ　新入学用品費　274,410円
エ　校外活動費　24,333円
オ　修学旅行費　225,384円

5　活動指標

指標名	支給人数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	人 23.00	人	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	人 25.00	人	
		令和４年度	人 22.00	人	
		令和５年度	人 27.00	人	

6	直接事業費計	前年度決算額	886,581　円	決算額	1,240,507　円

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	中学校就学援助事業	ｺｰﾄﾞ	01	10	03	02	04	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	2　子どもがのびのび育つまち　【子育て・教育・文化】						
		基本施策	01　子育てしやすい環境をつくる						
		施策の展開方向	④　支援を必要とする子どもや家庭への取組の推進						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	経済的な事情により、就学困難な町立中学校生徒
2	働きかける相手（対象）	町立中学校生徒の保護者
3	どのような状態にしたいのか（意図）	経済的理由により就学困難な生徒の保護者を援助することにより、全ての生徒が安心して義務教育を受けることができるよう円滑な義務教育の運営を図ります。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

中学校就学援助事業
町立中学校の保護者からの申請に基づき、就学困難な世帯と認定された保護者に対し、就学に必要な費用を援助しました。

(1) 支給人員
73人

(2) 支給費目
学用品費、通学用品費、学校給食費、新入学用品費、校外活動費、修学旅行費、卒業アルバム等購入費、ＰＴＡ会費、生徒会費

(3) 費目別支給金額

ア　学用品費	1,489,090円
イ　通学用品費	112,610円
ウ　学校給食費	2,262,680円
エ　新入学用品費	171,000円
オ　校外活動費	638,108円
カ　修学旅行費	1,031,028円
キ　卒業アルバム等購入費	294,150円
ク　ＰＴＡ会費	116,083円
ケ　生徒会費	26,946円

5 活動指標

指標名	支給人数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	人 84.00	人	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	人 82.00	人	
		令和４年度	人 80.00	人	
		令和５年度	人 73.00	人	

6	直接事業費計	前年度決算額	7,553,243　円	決算額	6,141,695　円

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	中学校情報教育推進事業	ｺｰﾄﾞ	01	10	03	02	05	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	2　子どもがのびのび育つまち　【子育て・教育・文化】						
		基本施策	02　健やかな子どもを育てる						
		施策の展開方向	②　教育環境の充実						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	町立中学校生徒
2	働きかける相手（対象）	町立中学校生徒、町立中学校施設
3	どのような状態にしたいのか（意図）	全中学校の学習用タブレット端末を効果的に利用できる状態とし、校内ＬＡＮにより各教室で生徒がコンピュータを利用し学ぶことができる環境を整備して、情報教育を推進します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

中学校情報教育推進事業
　ＧＩＧＡスクール構想に基づき、生徒１人に１台の学習用タブレット端末を利用し、ＩＣＴを効果的に活用した教育を実施しました。
⑴　学習用タブレット端末の台数　1,512台
⑵　学習用タブレット端末の効果的な利活用に向けたサポート
　　ＩＣＴ支援員　１名を配置
⑶　大型提示装置の整備
　　全中学校の普通教室等に設置　65台
⑷　安定した学習用タブレット端末の運用
　ア　インターネット接続サービスの利用
　イ　各種アカウントの管理及び更新
　ウ　卒業、入学に伴う学習用タブレット端末の移動
　エ　新規導入アプリの登録

5 活動指標

指標名	学習用タブレット端末を活用し授業を行った学級の割合	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	% 0.00	% 0.00	全学級
指標の説明（指標式）		令和３年度	% 100.00	% 100.00	
		令和４年度	% 100.00	% 100.00	
		令和５年度	% 100.00	% 100.00	

6 成果指標

指標名	ＩＣＴ支援員の配置人数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		令和２年度	人 1.00	人 1.00	ＩＣＴに関する専門知識を有する支援員の必要人数
指標の説明（指標式）	令和２年度はＧＩＧＡスクールサポーターの配置人数	令和３年度	人 1.00	人 1.00	
		令和４年度	人 1.00	人 1.00	
		令和５年度	人 1.00	人 1.00	

7	直接事業費計	前年度決算額	20,737,659　円	決算額	13,821,531　円

款	10	教育費	予算現額	42,111,764 円
項	04	社会教育費	決算額	37,380,112 円
目	01	社会教育総務費	前年度決算額	27,988,190 円
			対前年比	133.6 %

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	社会教育委員会運営事業	ｺｰﾄﾞ	01	10	04	01	02	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	2　子どもがのびのび育つまち　【子育て・教育・文化】						
		基本施策	03　生涯を通じた学びを推進する						
		施策の展開方向	－						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	町民
2	働きかける相手（対象）	社会教育委員
3	どのような状態にしたいのか（意図）	社会教育委員としての見聞を広め、地域と行政の連携を促進し、効果的な生涯学習を推進します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

社会教育委員会運営事業
⑴　社会教育法第15条に基づく社会教育委員20人により、年間６回の委員会を開催（内、庁外研修１回）し、社会教育行事の内容及び運営方法について検討し、社会教育の充実を図りました。
⑵　第53回東海北陸社会教育研究大会愛知大会
　ア　日　時　令和５年10月12日（木）・13日（金）
　イ　会　場　福井県福井市　福井県生活学習館
　ウ　内　容　全体会、分科会等
⑶　第５回社会教育委員会（視察研修）
　ア　日　時　令和５年12月７日（火）
　イ　場　所　関ケ原古戦場記念館　岐阜かがみがはら航空宇宙博物館

5 活動指標

指標名	委員会開催回数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	回 3.00	回	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	回 6.00	回	
		令和４年度	回 6.00	回	
		令和５年度	回 6.00	回	

6	直接事業費計	前年度決算額	873,517 円	決算額	944,016 円

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	社会教育一般管理事業	ｺｰﾄﾞ	01	10	04	01	03	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	2　子どもがのびのび育つまち　【子育て・教育・文化】						
		基本施策	03　生涯を通じた学びを推進する						
		施策の展開方向	－						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	町民
2	働きかける相手（対象）	社会教育委員、社会教育指導員
3	どのような状態にしたいのか（意図）	県社会教育委員連絡協議会における研修等に積極的に参加し、情報交換しながら本町に合った施策を実施することによって生涯学習を推進します。

4　評価対象年度にどのようなことを実施したのか

社会教育総務一般事務事業
県社会教育委員連絡協議会の会議等に参加しました。
⑴　県社会教育委員連絡協議会東尾張支部総会・講演会
ア　開催日　令和５年５月18日(木)
イ　会　場　知多市勤労文化会館　１階　やまももホール
ウ　出席者　６名
⑵　県社会教育委員連絡協議会評議員会・総会
台風接近のため中止
⑶　愛知県社会教育委員連絡協議会東尾張支部研修会
第６回愛知・地域づくり推進大会を開催したため休会。

5　活動指標

指標名	県社会教育委員連絡協議会会議及び研修への参加日数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	日 2.00	日	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	日 2.00	日	
		令和４年度	日 2.00	日	
		令和５年度	日 1.00	日	

6	直接事業費計	前年度決算額	2,240　円	決算額	2,930　円

款	10	教育費	予算現額	17,710,000 円
項	04	社会教育費	決算額	15,659,359 円
目	02	社会教育振興費	前年度決算額	6,549,894 円
			対前年比	239.1 %

Ⅰ．事業の目的体系

1 事業名	社会教育振興事業	ｺｰﾄﾞ	01	10	04	02	01	-
2 総合計画の施策体系	基本目標	2 子どもがのびのび育つまち 【子育て・教育・文化】						
	基本施策	03 生涯を通じた学びを推進する						
	施策の展開方向	－						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	東郷町の生涯学習及び社会教育に関心と参加意欲を持つ人
2	働きかける相手（対象）	町民
3	どのような状態にしたいのか（意図）	生涯学習関連事業の情報を各家庭で容易に入手できるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

社会教育振興一般事務事業
(1) 生涯学習情報誌「ジョイフル」の刊行（年２回）
印刷部数：2023秋号 19,500部
2024春号 19,500部
(2) 「東郷の教育」の作製
データをホームページに掲載しました。
(3) 生涯学習講座の講師登録者数
新規で７人登録がありました。

5 活動指標

指標名	「ジョイフル」の発行部数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	部 18,600.00	部	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	部 36,800.00	部	
		令和４年度	部 38,000.00	部	
		令和５年度	部 39,000.00	部	

6 成果指標

指標名	ジョイフルのページ数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		令和２年度	頁 24.00	頁 40.00	前年度実績
指標の説明（指標式）		令和３年度	頁 40.00	頁 24.00	
		令和４年度	頁 40.00	頁 40.00	
		令和５年度	頁 40.00	頁 40.00	

7 直接事業費計	前年度決算額	1,165,460 円	決算額		1,196,910 円

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	町民納涼まつり開催事業	ｺｰﾄﾞ	01	10	04	02	02	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	6　みんなでつくるまち　【参画・協働】						
		基本施策	03　地域交流を促進する						
		施策の展開方向	③　町民相互の絆を深める						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	町民納涼まつり来場者
2	働きかける相手（対象）	町民
3	どのような状態にしたいのか（意図）	「東郷音頭」・「東郷小唄」をみんなで踊ることを通じて、地域の伝統文化が伝承されるとともに、町民相互の交流を促進します。さらに、行政主導ではなく、町民中心・民営の「まつり」へと移行していきます。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

町民納涼まつり開催事業
　東郷音頭、東郷小唄等を踊り、諸輪囃子太鼓や現代和太鼓を楽しみ、コミュニティを広めていくため、第45回東郷町民納涼まつりを開催しました。
　昔ながらの盆踊りを第１部、東郷町商工会青年部による手筒花火を第２部とした２部構成で実施しました。当日は、東郷町商工会や愛知県小商業協同組合等による露店が出店し、みんなが楽しめるまつりを実施しました。
⑴　開催日　　：令和５年８月19日（土）午後６時～午後９時
⑵　参加人数　　：15,000人
⑶　実行委員会　　：７月18日　出席者数　19名（構成団体19団体）
⑷　まつり参加団体（協力団体11団体）
　　東郷町商工会、東郷町文化協会、東郷音頭保存会、あいち尾東農業協同組合東郷事業本部、太鼓サークル華鼓、諸輪囃子太鼓保存会、社会教育委員会、区・自治会、愛知警察署、尾三消防本部東郷消防署、東郷町消防団

5 活動指標

指標名	指標の説明（指標式）	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
まつりのため活動する関係者の人数	実行委員（社会教育委員、文化協会、商工会、東郷音頭保存会、JAあいち尾東、駐在員代表他）	令和２年度	人 0.00	人	個別計画による目標値はありません。
		令和３年度	人 0.00	人	
		令和４年度	人 0.00	人	
		令和５年度	人 19.00	人	

6 成果指標

指標名	指標の説明（指標式）	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
納涼まつり入場者数	納涼まつり開催中の会場内延べ人数	令和２年度	人 0.00	人 13,000.00	前年度実績
		令和３年度	人 0.00	人 0.00	
		令和４年度	人 0.00	人 0.00	
		令和５年度	人 15,000.00	人 0.00	

7	直接事業費計	前年度決算額	144,430　円	決算額	8,546,204　円

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	家庭教育等推進事業	ｺｰﾄﾞ	01	10	04	02	03	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	2　子どもがのびのび育つまち　【子育て・教育・文化】						
		基本施策	02　健やかな子どもを育てる						
		施策の展開方向	－						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	家庭を形成する親子・家族
2	働きかける相手（対象）	各小学校区単位の家庭教育推進委員会
3	どのような状態にしたいのか（意図）	家庭教育や子育てに関する情報交換の場を提供し、親同士の連帯を深め、子育ての不安を解消します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

家庭教育等推進事業
　家庭教育推進連絡協議会を開催するとともに、各小学校の家庭教育推進委員会において教育講演会や親子ふれあい講座等を企画・実施しました。

(1)	東郷小学校	開催講座数	4講座	延べ参加人数	141人
(2)	春木台小学校	開催講座数	3講座	延べ参加人数	92人
(3)	諸輪小学校	開催講座数	5講座	延べ参加人数	156人
(4)	音貝小学校	開催講座数	3講座	延べ参加人数	111人
(5)	高嶺小学校	開催講座数	4講座	延べ参加人数	119人
(6)	兵庫小学校	開催講座数	4講座	延べ参加人数	505人
		合　計	23講座		1,124人

5 活動指標

指標名	各小学校区における講座等の実施数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	回 8.00	回	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	回 9.00	回	
		令和４年度	回 25.00	回	
		令和５年度	回 23.00	回	

6 成果指標

指標名	家庭教育推進事業参加延べ人数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		令和２年度	人 804.00	人 1,844.00	前年度実績
指標の説明（指標式）		令和３年度	人 639.00	人 804.00	
		令和４年度	人 1,124.00	人 639.00	
		令和５年度	人 1,124.00	人 1,124.00	

7	直接事業費計	前年度決算額	164,000　円	決算額	141,670　円

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	青少年健全育成事業	ｺｰﾄﾞ	01	10	04	02	04	-
2	総合計画の施策体系	基本目標	2　子どもがのびのび育つまち　【子育て・教育・文化】						
		基本施策	02　健やかな子どもを育てる						
		施策の展開方向	④　青少年の健全育成						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	東郷町の青少年
2	働きかける相手（対象）	青少年健全育成団体、青少年、町民
3	どのような状態にしたいのか（意図）	東郷町の将来を担う青少年が健全に育ち社会に貢献できるよう、各地区の青少年健全育成地区会が中心となって活動するための情報交換の場づくりを進めます。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

青少年健全育成事業
⑴　青少年健全育成推進事業
　各地区における青少年健全育成事業に対する補助金交付、情報交換、優良青少年･指導者及び団体の表彰、啓発資材の作成及び配布を実施しました。
　ア　優良青少年･指導者及び団体の表彰（令和５年11月５日表彰式）
　　青少年の部　　20人
　　青少年指導者の部　　４人
　　青少年団体の部　　該当なし
　イ　啓発資材作成及び掲示
　　のぼり、ポケットティッシュ
⑵　少年補導委員事業
　少年補導員８人による放課後等における少年少女の非行防止活動を行いました。（10日程度/月）
⑶　青少年全国大会等出場奨励金事業
　全国大会等に出場する青少年に奨励金を交付しました。
　ア　全国大会　延べ　107名
　イ　国際大会　延べ　６名

5 活動指標

指標名	会議・大会の開催回数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	回 3.00	回	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	地区長会（２回）、役員会（２回）、表彰式（１回）の開催回数	令和３年度	回 2.00	回	
		令和４年度	回 5.00	回	
		令和５年度	回 5.00	回	

6 成果指標

指標名	各地区青少年健全育成行事参加者延べ人数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		令和２年度	人 846.00	人 16,698.00	前年度実績
指標の説明（指標式）	地区推進委員会、盆踊り、パトロールの行事等、地区において参加した人数	令和３年度	人 936.00	人 846.00	
		令和４年度	人 7,354.00	人 936.00	
		令和５年度	人 11,817.00	人 7,354.00	

7	直接事業費計	前年度決算額	1,407,387　円	決算額	1,992,525　円

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	文化団体育成事業	ｺｰﾄﾞ	01	10	04	02	05	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	2　子どもがのびのび育つまち　【子育て・教育・文化】						
		基本施策	04　地域文化を大切にする						
		施策の展開方向	③　文化団体の活動促進						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	町民
2	働きかける相手（対象）	文化団体
3	どのような状態にしたいのか（意図）	団塊世代の余暇時間の増加、自己実現意識の向上に対応し、生涯学習の一環である文化活動に多くの町民が参加できるよう、文化団体の活動を支援し、その活動を活性化します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

文化団体育成事業

(1) 文化協会育成推進事業

文化協会の運営活動に助言・支援を行いました。

ア　加盟部数　23団体

イ　各部の活動回数

囃子太鼓	47回	棒の手	26回	絵手紙	30回	茶華道	11回	書道	14回
舞踊	18回	ﾌﾗﾜｰﾃﾞｻﾞｲﾝ	11回	俳句	16回	陶芸	28回	古文書	24回
詩吟	7回	歌謡	10回	手芸&和紙	3回	水墨画	30回	社交ﾀﾞﾝｽ	3回
箏曲	10回	写真	21回	生ﾊﾞﾝﾄﾞ歌謡	25回	エイサー	48回	ﾊﾜｲｱﾝｷﾙﾄ	16回
ｸﾗｼｯｸﾊﾞﾚｴ	97回	ｷｯｽﾞｶﾙﾁｬｰ	55回	ﾊﾜｲｱﾝﾀﾞﾝｽ	48回				

（合計 598回）

(2) 東郷音頭保存会育成事業

東郷音頭、東郷小唄を永年に保存するとともに、広く町民に普及をさせるために活動を行っている東郷音頭保存会へ補助金を交付しました。

ア　会員数　64人

イ　自主活動回数

(ｱ) 練習会　18回

(ｲ) 伝統文化親子・子ども教室　11回

(ｳ) 保育園・児童館・幼稚園・放課後子ども教室での指導　20回

(ｴ) 町行事（民踊講習会、納涼まつり、高齢者福祉大会、伝統文化発表会）　4回

(ｵ) その他行事（地区盆踊り）　8回

5 活動指標

指標名	文化協会加盟部数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	団体 25.00	団体	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	団体 24.00	団体	
		令和４年度	団体 23.00	団体	
		令和５年度	団体 23.00	団体	

6 成果指標

指標名	各部の活動回数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		令和２年度	回 270.00	回 578.00	前年度実績
指標の説明（指標式）		令和３年度	回 487.00	回 270.00	
		令和４年度	回 553.00	回 487.00	
		令和５年度	回 598.00	回 553.00	

7	直接事業費計	前年度決算額	2,886,696　円	決算額	3,124,951　円

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	成人式開催事業	ｺｰﾄﾞ	01	10	04	02	06	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	2　子どもがのびのび育つまち　【子育て・教育・文化】						
		基本施策	02　健やかな子どもを育てる						
		施策の展開方向	－						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	成人式出席予定の成人（20歳）
2	働きかける相手（対象）	成人(20歳）及びその家庭
3	どのような状態にしたいのか（意図）	二十歳を迎えた成人をお祝いするとともに、成人が明るい未来への担い手としての自覚を持ち、社会人として責任ある行動がとれるよう、成人式をとおして成人の意識を高めます。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

成人式開催事業
令和６年１月７日（日）に町民会館ホールにおいて、成人式を開催しました。
⑴　成人式案内状送付数　553通
⑵　出席者数　　419人
⑶　実行委員会
　　新成人から実行委員を公募し、実行委員会形式での式を開催しました。
　ア　募集方法　広報、ホームページ、生涯学習情報誌ジョイフル等
　イ　開催回数　４回
　ウ　実施内容　司会、誓いの言葉、アトラクション等

5 活動指標

指標名	成人式案内状発送件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	件 592.00	件	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	件 559.00	件	
		令和４年度	件 539.00	件	
		令和５年度	件 553.00	件	

6 成果指標

指標名	成人式出席率	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		令和２年度	% 73.48	% 75.30	前年度実績
指標の説明（指標式）	出席者÷発送件数×100	令和３年度	% 77.30	% 73.48	
		令和４年度	% 78.11	% 77.30	
		令和５年度	% 75.40	% 78.11	

7	直接事業費計	前年度決算額	781,921　円	決算額	657,099　円

款	10	教育費	予算現額	6,296,000 円
項	04	社会教育費	決算額	5,625,390 円
目	03	公民館費	前年度決算額	4,152,136 円
			対前年比	135.5 %

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	公民館一般管理事業	ｺｰﾄﾞ	01	10	04	03	01	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	2　子どもがのびのび育つまち　【子育て・教育・文化】						
		基本施策	03　生涯を通じた学びを推進する						
		施策の展開方向	－						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	公民館利用者
2	働きかける相手（対象）	社会教育委員及び職員
3	どのような状態にしたいのか（意図）	公民館連合会等の研修・研究事業に参加し情報交換することによって、充実した社会教育活動を展開していきます。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

公民館一般事務事業
(1) 県公民館連合会の会議等に出席しました。
ア 県公民館連合会東尾張支部総会
(ｱ) 出席者 1人
(ｲ) 開催日 令和５年５月25日(木)
(ｳ) 会 場 オンライン開催
イ 県公民館連合会総会
(ｱ) 出席者 4人
(ｲ) 開催日 令和５年５月31日(水)
(ｳ) 会 場 へきしんギャラクシープラザ
ウ 県公民館連合会東尾張支部研究発表会
第６回愛知・地域づくり推進大会と代替

5 活動指標

指標名	愛知県公民館連合会会議における社会教育委員等参加数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	人 6.00	人	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	人 6.00	人	
		令和４年度	人 9.00	人	
		令和５年度	人 5.00	人	

6	直接事業費計	前年度決算額	19,272 円	決算額	19,272 円

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	公民館文化ふれあい事業	ｺｰﾄﾞ	01	10	04	03	02	-
2	総合計画の施策体系	基本目標	2　子どもがのびのび育つまち　【子育て・教育・文化】						
		基本施策	03　生涯を通じた学びを推進する						
		施策の展開方向	③　こころの豊かさを育てる機会の充実						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	町民
2	働きかける相手（対象）	町民
3	どのような状態にしたいのか（意図）	身近な公民館で優れた音楽芸術、舞台芸術、文化講演などに頻繁にふれあう機会を提供するとともに、地域の芸術文化の質を向上していきます。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

1　コンサートへの誘い事業
　第81回　寺井尚子カルテットIN東郷町
⑴　開催日　　令和５年９月９日（土）
⑵　入場者数　518人

2　レクチャー・ミニコンサート事業
　サロン風の雰囲気の中でアーティスト自身のレクチャーと演奏によって音楽を楽しく学ぶために、レクチャーミニコンサートを４回実施しました。
（延べ入場者数243人）

3　TOGO大学講座（ミニ文化講演)事業
　今日的課題をテーマとして、様々な分野のエキスパートによるミニ講演会を４回実施しました。
（延べ入場者数137人）

5 活動指標

指標名	公民館文化ふれあい事業の年間開催回数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	回 2.00	回	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	回 4.00	回	
		令和４年度	回 8.00	回	
		令和５年度	回 9.00	回	

6 成果指標

指標名	公民館文化ふれあい事業の入場者数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		令和２年度	人 232.00	人 905.00	前年度実績
指標の説明（指標式）		令和３年度	人 400.00	人 232.00	
		令和４年度	人 696.00	人 400.00	
		令和５年度	人 898.00	人 696.00	

7	直接事業費計	前年度決算額	2,405,958　円	決算額	4,025,132　円

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	音楽祭開催事業	ｺｰﾄﾞ	01	10	04	03	03	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	2　子どもがのびのび育つまち　【子育て・教育・文化】						
		基本施策	04　地域文化を大切にする						
		施策の展開方向	③　文化団体の活動促進						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	町民、町内を中心に活動するプロやアマチュア音楽家、音大生、生徒
2	働きかける相手（対象）	町内を中心に活動するプロやアマチュア音楽家、音大生、生徒
3	どのような状態にしたいのか（意図）	町内を中心に活動するプロやアマチュア音楽家、音大生に日頃の練習の成果を発表する機会をつくるとともに、町民が演奏を楽しみ、心のゆとりを作ります。プロ主体・鑑賞型の「コンサートへの誘い」と合わせて豊かな芸術文化環境をつくります。

4　評価対象年度にどのようなことを実施したのか

音楽祭開催事業
(1)　ソロ・アンサンブルの部
　ア　開催日　　令和５年12月３日（日）
　イ　入場者数　406人
　ウ　出場団体数　13団体
(2)　合唱の部
　ア　開催日　　令和６年３月17日（日）
　イ　入場者数　519人
　ウ　出場団体数　11団体

5　活動指標

指標名	年間開催日数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	日 0.00	日	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	日 1.00	日	
		令和４年度	日 3.00	日	
		令和５年度	日 2.00	日	

6　成果指標

指標名	音楽祭参加個人・団体数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		令和２年度	団体 0.00	団体 14.00	前年度実績
指標の説明（指標式）		令和３年度	団体 8.00	団体 0.00	
		令和４年度	団体 20.00	団体 8.00	
		令和５年度	団体 24.00	団体 20.00	

7	直接事業費計	前年度決算額	703,935　円	決算額	115,890　円

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	各種教室開催事業	ｺｰﾄﾞ	01	10	04	03	04	-
2	総合計画の施策体系	基本目標	2　子どもがのびのび育つまち　【子育て・教育・文化】						
		基本施策	03　生涯を通じた学びを推進する						
		施策の展開方向	①　生涯学習の充実						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	生涯学習に興味のある町民
2	働きかける相手（対象）	生涯学習に興味のある町民
3	どのような状態にしたいのか（意図）	興味のある教室・講座を受講し、自身の生涯学習を推進することによって人生を豊かにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

各種教室開催事業

(1)	少年少女ミュージッククラス	2回開催	24回講座	参加者	13人	延べ	110人
(2)	韓国語講座　入門編	2回開催	20回講座	参加者	30人	延べ	239人
(3)	スマートフォン教室	1回開催	4回講座	参加者	20人	延べ	62人
(4)	星空観察会	2回開催	10回講座	参加者	42人	延べ	141人
(5)	からくり木のおもちゃを作ろう	1回開催	1回講座	参加者	15人	延べ	11人
(6)	暮らしと税	1回開催	4回講座	参加者	30人	延べ	104人
(7)	ハートフルポップアップ	1回開催	3回講座	参加者	5人	延べ	12人
	合計	10回開催	66回講座	参加者	155人	延べ	679人

5 活動指標

指標名	各種教室講座数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	教室 1.00	教室	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	教室 9.00	教室	
		令和４年度	教室 9.00	教室	
		令和５年度	教室 10.00	教室	

6 成果指標

指標名	年間受講者延べ人数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		令和２年度	人 90.00	人 706.00	前年度実績
指標の説明（指標式）		令和３年度	人 332.00	人 90.00	
		令和４年度	人 664.00	人 332.00	
		令和５年度	人 679.00	人 664.00	

7	直接事業費計	前年度決算額	1,022,971　円	決算額	1,465,096　円

款	10	教育費	予算現額	4,887,000 円
項	04	社会教育費	決算額	4,422,315 円
目	04	文化財保護費	前年度決算額	1,778,043 円
			対前年比	248.7 %

Ⅰ．事業の目的体系

1 事業名	文化財保護事業	ｺｰﾄﾞ	01	10	04	04	01	－
2 総合計画の施策体系	基本目標	2 子どもがのびのび育つまち 【子育て・教育・文化】						
	基本施策	04 地域文化を大切にする						
	施策の展開方向	① 文化財保護意識の高揚						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	町民
2	働きかける相手（対象）	文化財保護関係者、町民
3	どのような状態にしたいのか（意図）	町内の文化財を広く町民に周知するとともに、貴重な文化財を後世に伝承できるよう保存していきます。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

文化財保護事業
⑴ 文化財保護委員会関係事業
町内にある文化財の大切さを町民に広く周知するとともに、貴重な文化財を後世に伝承できるよう文化財保護委員会を３回開催しました。
また、町指定文化財管理状況の視察を実施しました。
⑵ 文化財講座等事業
ア 文化財めぐり
町民に町内の文化財を知っていただくため、文化財めぐりを開催しました。
期 日 令和５年10月28日（土）
講 師 赤羽 一郎氏、野々山 和夫氏（東郷町文化財保護委員）
場 所 傍示本城址、祐福寺
参加者 16人
イ 歴史講講座
「いざ出陣！小牧・長久手の戦いの舞台へ」
期 日 令和５年９月６日（水）、11月１日（水）、11月15日（水）
講 師 内貴 健太氏（岩崎城歴史記念館 学芸員）
参加者 27人
⑶ 文化財保存事業
ア 町指定無形民俗文化財の保存及び伝承育成のため、活動に対し補助を行いました。
イ 県指定文化財である祐福寺一里塚の草刈りを年３回実施しました。
ウ 傍示本地蔵堂遺物の保護・保存を行いました。
エ 古民家解体前の記録保存調査を行いました。
オ 傍示本城址の試掘調査を行いました。
カ 広報紙に町内城址、小牧・長久手の戦いに関する記事について掲載しました。
キ 伝統文化発表会を開催しました。

5 活動指標

指標名	文化財保護委員会の年間会議開催回数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	回 1.00	回	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	回 3.00	回	
		令和４年度	回 3.00	回	
		令和５年度	回 3.00	回	

6 成果指標

指標名	指定文化財の数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		令和２年度	件 27.00	件 27.00	前年度実績
指標の説明（指標式）	愛知県指定文化財と東郷町指定文化財の件数	令和３年度	件 28.00	件 27.00	
		令和４年度	件 28.00	件 28.00	
		令和５年度	件 30.00	件 28.00	

7 直接事業費計	前年度決算額	681,886 円	決算額	1,282,816 円

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	歴史民俗資料事業	ｺｰﾄﾞ	01	10	04	04	02	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	2　子どもがのびのび育つまち　【子育て・教育・文化】						
		基本施策	04　地域文化を大切にする						
		施策の展開方向	①　文化財保護意識の高揚						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	町民
2	働きかける相手（対象）	文化財保護関係者及び一般町民
3	どのような状態にしたいのか（意図）	町の貴重な考古・歴史・民俗資料を収集、調査・整理、活用のために公開し、多くの町民に東郷町の歴史・文化財に触れる機会を提供していきます。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

歴史民俗一般管理事業
⑴ 郷土資料館・昔体験館の活用
郷土資料館・昔体験館を常時開館し、絵や写真を活用して郷土の歴史・文化をわかりやすく展示しました。
また、昔体験館には、大型モニターで昔のことを思い出させる映像を流しました。
⑵ 郷土資料館・昔体験館ガイドツアー
音貝小学校１回、諸輪小学校１回、愛豊地区行政相談員１回開催　合計139名が参加しました。
ア　郷土資料館　常設展示の説明
イ　昔体験館　アニメ映像で昔の暮らしの説明
⑶ 新収蔵品
民俗資料
ふるい、石臼、蒸籠、火鉢、桑籠、足踏脱穀機、鋤簾、土入、ミシン、ガラス製ハエ取り棒、鶏の水飲み器、測り器、レコード盤（ラック一式）、竿秤、土鈴、8㎜映写機、地蔵堂仏像4体、諸輪区から名古屋城への松献上記録写真、口演童話功績資料等
⑷ 常設展示
ア　模造民家一室
イ　大正、昭和期の生活用具
ウ　農具
エ　漁具
オ　養蚕具
カ　祐福寺本堂棟瓦
キ　軒瓦、鬼瓦各種
ク　古窯出土品
ケ　黒笹7号窯跡
コ　召零松

5 活動指標

指標名		年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
ガイドツアー開催回数		令和２年度	回 0.00	回	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	回 1.00	回	
		令和４年度	回 4.00	回	
		令和５年度	回 2.00	回	

6 成果指標

指標名		年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
ガイドツアー延べ参加者数		令和２年度	人 0.00	人 263.00	前年度実績
指標の説明（指標式）		令和３年度	人 79.00	人 0.00	
		令和４年度	人 149.00	人 79.00	
		令和５年度	人 123.00	人 149.00	

7	直接事業費計	前年度決算額	1,096,157　円	決算額	3,139,499　円

款	10	教育費	予算現額	99,629,000 円
項	04	社会教育費	決算額	94,964,553 円
目	05	町民会館費	前年度決算額	90,053,463 円
			対前年比	105.5 %

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	町民会館管理事業	ｺｰﾄﾞ	01	10	04	05	01	-
2	総合計画の施策体系	基本目標	2　子どもがのびのび育つまち　【子育て・教育・文化】						
		基本施策	03　生涯を通じた学びを推進する						
		施策の展開方向	③　こころの豊かさを育てる機会の充実						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	町民会館を利用する人
2	働きかける相手（対象）	町民会館の施設・設備を管理する指定管理者及び町民会館利用者
3	どのような状態にしたいのか（意図）	町民会館を安全・快適に利用できるよう適正な業務管理を行います。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

1　町民会館一般事務事業
町民会館の円滑な運営を図るため文化行政ネットワーク会議に参加し、情報交換しました。

2　町民会館一般管理事業
町民会館について指定管理者（東郷町施設サービス株式会社）による施設管理を実施しました。
町民会館用地等（1,643㎡）を賃借しました。
町民会館駐車場用地取得に伴う償還払いを実施しました。
(1)　指定管理者制度
令和５年度からの基本協定に基づき、指定管理者による施設管理を実施しました。
ア　指定管理者　東郷町施設サービス株式会社
イ　指定期間　　令和５年４月１日から令和10年３月31日まで
(2)　町民会館利用状況
ア　開館日数　　309日
イ　ホール利用件数　　244件（利用者数　20,790人）
ウ　会議室等利用件数　8,421件（利用者数　30,995人）
(3)　指定管理者運営連絡会議
東郷町施設サービス株式会社と指定管理事業について協議しました。
毎月１回年間12回開催

5 活動指標

指標名	開館日数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	日 212.00	日	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	日 307.00	日	
		令和４年度	日 305.00	日	
		令和５年度	日 309.00	日	

6 成果指標

指標名	町民会館利用者数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		令和２年度	人 16,911.00	人 64,998.00	前年度実績
指標の説明（指標式）		令和３年度	人 34,150.00	人 16,911.00	
		令和４年度	人 45,321.00	人 34,150.00	
		令和５年度	人 51,785.00	人 45,321.00	

7	直接事業費計	前年度決算額	84,507,428 円	決算額	91,323,312 円

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	町民会館文化ふれあい事業	ｺｰﾄﾞ	01	10	04	05	02	-
2	総合計画の施策体系	基本目標	2　子どもがのびのび育つまち　【子育て・教育・文化】						
		基本施策	03　生涯を通じた学びを推進する						
		施策の展開方向	③　こころの豊かさを育てる機会の充実						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	町民
2	働きかける相手（対象）	町民及び周辺住民
3	どのような状態にしたいのか（意図）	町民会館という身近なホールで日常的に公演を実施し、上質な舞台芸術と頻繁にふれあう機会づくりを進めて、地域の芸術文化のレベルアップを図ります。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

町民会館文化ふれあい事業
身近な町民会館で生の舞台芸術に触れる事業を実施しました。
(1) 影絵劇「Wonder Shadow Labo ～シェトの冒険～」
ア　開催日　　令和５年７月30日（日）
イ　入場者数　450人
(2) 春風亭昇太　独演会
ア　開催日　　令和６年２月25日（日）
イ　入場者数　593人

5 活動指標

指標名	公演開催件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	件 1.00	件	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	件 1.00	件	
		令和４年度	件 3.00	件	
		令和５年度	件 2.00	件	

6 成果指標

指標名	「町民会館文化ふれあい事業」入場者数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		令和２年度	人 89.00	人 982.00	前年度実績
指標の説明（指標式）	年間参加者数	令和３年度	人 327.00	人 89.00	
		令和４年度	人 650.00	人 327.00	
		令和５年度	人 1,043.00	人 650.00	

7	直接事業費計	前年度決算額	5,546,035　円	決算額	3,641,241　円

款	10	教育費	予算現額	45,004,000 円
項	04	社会教育費	決算額	41,859,308 円
目	06	図書館費	前年度決算額	37,136,443 円
			対前年比	112.7 %

Ⅰ．事業の目的体系

1 事業名	図書館管理運営事業	ｺｰﾄﾞ	01	10	04	06	01	－
2 総合計画の施策体系	基本目標	2 子どもがのびのび育つまち 【子育て・教育・文化】						
	基本施策	03 生涯を通じた学びを推進する						
	施策の展開方向	③ こころの豊かさを育てる機会の充実						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	図書館来館者
2	働きかける相手（対象）	図書館来館者、図書館施設及び備品
3	どのような状態にしたいのか（意図）	生活に密着した情報収集及び学習の場として利用したいときに気軽に立ち寄れ、子どもから高齢者まで町民のみならず多くの方々が図書資料に親しむことができるような図書館とします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

図書館管理運営事業
(1) 図書館管理運営事業
ア 図書館法第14条に基づく図書館協議会を開催し、図書館運営に関する意見を拝聴しました。
(ｱ) 図書館協議会委員数 ８名
(ｲ) 図書館協議会開催回数 年１回
イ 図書館の利用状況
(ｱ) 図書館開館日数 285日
(ｲ) 利用者数 30,603人
(ｳ) 入館者数 98,561人
(ｴ) 貸出冊数 138,708冊
ウ 図書館の蔵書数 計122,710冊
(ｱ) 一般書 72,435冊
(ｲ) 児童書 38,728冊
(ｳ) 参考資料 815冊
(ｴ) 郷土資料 4,477冊
(ｵ) 点字資料 322冊
(ｶ) 紙芝居 1,384冊
(ｷ) ﾋﾞﾃﾞｵ・DVD 439冊
(ｸ) 雑誌 4,110冊
(2) 指定管理者制度
令和５年度年度からの基本協定に基づき、指定管理者による施設運営管理を実施しました。
ア 指定管理者 東郷町施設サービス株式会社
イ 指定期間 令和５年４月１日から令和10年３月31日まで
(3) 指定管理者運営連絡会議
東郷町施設サービス株式会社と指定管理事業について協議しました。
毎月１回開催

5 活動指標

指標名	利用者総数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	人 15,655.00	人	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	図書の利用者総数	令和３年度	人 29,389.00	人	
		令和４年度	人 29,888.00	人	
		令和５年度	人 30,603.00	人	

6 成果指標

指標名	貸出冊数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		令和２年度	冊 72,632.00	冊 133,877.00	前年度実績
指標の説明（指標式）		令和３年度	冊 130,954.00	冊 72,632.00	
		令和４年度	冊 134,116.00	冊 130,954.00	
		令和５年度	冊 138,708.00	冊 134,116.00	

7 直接事業費計	前年度決算額	37,136,443 円	決算額		41,859,308 円

款	10	教育費	予算現額	30,483,266 円
項	05	保健体育費	決算額	28,088,325 円
目	01	保健体育総務費	前年度決算額	22,273,016 円
			対前年比	126.1 %

Ⅰ．事務の目的体系

1 事業名	スポーツ一般管理事業	ｺｰﾄﾞ	01	10	05	01	02	－
2 総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
	基本施策	05 運動・スポーツを推進する						
	施策の展開方向	－						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1 誰のために（受益者）	研修会参加者、町民
2 働きかける相手（対象）	他県近隣市町村研修担当者、町民
3 どのような状態にしたいのか（意図）	他県や近隣市町村の研修会及び大会への参加を通して、各種スポーツの情報を習得し、スポーツ事業を円滑に運営するなど、誰もが運動・スポーツを楽しむことができるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

保健体育一般事務事業
⑴ 全国ボート場所在市町村協議会に加盟して、負担金を支払いました。
⑵ 全国ボート場所在市町村協議会主催の第32回全国市町村交流レガッタ下諏訪大会（長野県下諏訪町）に本町代表クルーを派遣しました。（開催期間 令和５年９月30日（土）から令和５年10月１日（日）まで）
⑶ 東郷町スポーツ推進審議会を開催しました。
ア 開催回数 １回
イ 委員数 10人

5 活動指標

指標名	指標の説明（指標式）	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
研修会等への参加回数	ボート関係の会議、大会やスポーツ推進関係の研修会、会議、大会への参加回数	令和２年度	回 1.00	回	個別計画による目標値はありません。
		令和３年度	回 4.00	回	
		令和４年度	回 5.00	回	
		令和５年度	回 5.00	回	

6 直接事業費計	前年度決算額	2,142,354 円	決算額	3,475,084 円

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	スポーツ等指導者育成事業	ｺｰﾄﾞ	01	10	05	01	03	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	1　だれもが元気に暮らせるまち　【健康・医療・福祉】						
		基本施策	05　運動・スポーツを推進する						
		施策の展開方向	②　指導者の育成						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	スポーツをする人、スポーツ推進委員及び体力つくり推進委員
2	働きかける相手（対象）	スポーツ推進委員及び体力つくり推進委員
3	どのような状態にしたいのか（意図）	スポーツ推進委員と体力つくり推進委員の資質向上を通じて、生涯学習としてのスポーツの普及と振興を図ります。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

1　スポーツ推進委員事業
　スポーツ推進委員22人が、本町のスポーツ振興のために、家族体力つくりの日などの事業を主管して、町民に対してスポーツの実技指導その他スポーツに関する指導・助言を行いました。
⑴　スポーツ推進委員定例会　11回開催
⑵　豊明日進長久手東郷スポーツ推進委員連絡協議会
　ア　役員会　年３回開催
　イ　総会　１回開催

2　体力つくり推進委員事業
　体力つくり推進委員47人が地域におけるスポーツ活動振興のため、スポーツ推進委員と連携を取りながら体力づくり活動の指導及びニュースポーツの普及に努めました。また、体力つくり推進委員の資質及び技術向上のため研修会を実施しました。
⑴　体力つくり推進委員前期研修
　ア　日時　令和５年７月16日（日）
　イ　場所　町民会館大会議室
　ウ　内容　負傷時の応急手当及び熱中症予防等に関する講義
⑵　体力つくり推進委員後期研修
　３月に開催する第３回ＴＯＧＯ春のららスポーツまつり（ウォーキング）のリハーサルとして実施しました。

5 活動指標

指標名	指標の説明（指標式）	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
スポーツ推進委員の年間活動日数	スポーツ推進委員の行事、定例会などの活動日数	令和２年度	日 16.00	日	個別計画による目標値はありません。
		令和３年度	日 19.00	日	
		令和４年度	日 41.00	日	
		令和５年度	日 28.00	日	

6 成果指標

指標名	指標の説明（指標式）	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
ニュースポーツ指導日数	スポーツ推進委員、体力つくり推進委員が主体となって町民にニュースポーツを指導した日数	令和２年度	日 5.00	日 21.00	前年度実積
		令和３年度	日 5.00	日 5.00	
		令和４年度	日 9.00	日 5.00	
		令和５年度	日 11.00	日 9.00	

7	直接事業費計	前年度決算額	3,857,242　円	決算額	3,340,930　円

款	10	教育費	予算現額	16,537,000 円
項	05	保健体育費	決算額	15,745,764 円
目	02	体育振興費	前年度決算額	10,325,548 円
			対前年比	152.5 %

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	スポーツ団体育成事業	ｺｰﾄﾞ	01	10	05	02	01	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
		基本施策	05 運動・スポーツを推進する						
		施策の展開方向	－						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	スポーツ団体等の加入者
2	働きかける相手（対象）	東郷町スポーツ協会、東郷町ボート協会、ＴＯＧＯスポーツクラブ
3	どのような状態にしたいのか（意図）	スポーツ団体の育成が図られ、活発に活動できるようにするとともに、スポーツを始める機会づくりから競技スポーツの育成を図る中で、スポーツ志向率を高めます。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

スポーツ団体育成事業
下記団体の活動と大会の開催支援のため補助金を交付しました。
(1) 東郷町スポーツ協会
ア 加盟団体数 17団体（内、1団体は休部中）
イ 各部の自主大会及び行事開催回数（合計65回）

野球部	0回	少年野球部	8回	弓道部	5回
バレーボール部	4回	卓球部	3回	ソフトボール部	11回
空手道部	4回	柔道部	1回	剣道部	5回
バドミントン部	4回	ゲートボール部	2回	インディアカ部	4回
テニス部	4回	ショートテニス部	6回	ビーチボール部	2回
陸上部（休部中）	0回	ソフトテニス部	2回		

(2) 東郷町ボート協会
ア 高嶺小学校ボート体験会に講師を派遣しました。（5月23日（火）、5月26日（金）、5月30日（火）参加児童84人）
イ 町ボート体験会に講師を派遣しました。（5月14日(日)、6月24日(土) 参加者計18人）
(3) ＴＯＧＯスポーツクラブ（10回開催）
各小学校において毎月第３日曜日に家族体力つくりの日を実施しました。（参加者計1,169人）

5 活動指標

指標名	補助団体数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	団体 3.00	団体	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	町が補助金を交付している団体数	令和３年度	団体 3.00	団体	
		令和４年度	団体 3.00	団体	
		令和５年度	団体 3.00	団体	

6 成果指標

指標名	補助団体大会の開催数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		令和２年度	回 18.00	回 74.00	前年度実積
指標の説明（指標式）	補助団体が町民のために開催した大会等の回数	令和３年度	回 35.00	回 18.00	
		令和４年度	回 81.00	回 35.00	
		令和５年度	回 80.00	回 81.00	

7	直接事業費計	前年度決算額	3,332,757 円	決算額	3,341,412 円

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	体力つくり推進事業	ｺｰﾄﾞ	01	10	05	02	02	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	1　だれもが元気に暮らせるまち　【健康・医療・福祉】						
		基本施策	05　運動・スポーツを推進する						
		施策の展開方向	③　参加しやすい環境づくり						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	町民
2	働きかける相手（対象）	スポーツ活動をする人
3	どのような状態にしたいのか（意図）	ニュースポーツの実施を通じて生涯学習としてのスポーツを楽しむとともに、健康の保持増進を図ります。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

体力つくり推進事業
(1) 毎月第３日曜日の午前中に町内小学校を開放してＴＯＧＯスポーツクラブが主体となって家族体力つくりの日事業を行い、ビーチボール、ファミリーバドミントン、ドッヂビー、グラウンドゴルフ等を行いました。（令和５年度は計10回開催）
(2) 「家族体力つくりの日」参加状況

ア	東郷小学校区	288人
イ	春木台小学校区	153人
ウ	諸輪小学校区	285人
エ	音貝小学校区	124人
オ	高嶺小学校区	92人
カ	兵庫小学校区	227人
	合計	1,169人

5 活動指標

指標名	「家族体力つくりの日」実施回数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	回 12.00	回	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	各小学校区で「家族体力つくりの日」を実施した回数	令和３年度	回 42.00	回	
		令和４年度	回 54.00	回	
		令和５年度	回 60.00	回	

6 成果指標

指標名	「家族体力つくりの日」の平均参加人数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		令和２年度	人 243.00	人 211.00	過去３年間の平均値
指標の説明（指標式）	１回当たりの平均参加人数	令和３年度	人 150.00	人 222.00	
		令和４年度	人 164.00	人 201.00	
		令和５年度	人 117.00	人 186.00	

7	直接事業費計	前年度決算額	45,600　円	決算額	18,100　円

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	学校体育施設開放事業	ｺｰﾄﾞ	01	10	05	02	03	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	1　だれもが元気に暮らせるまち　【健康・医療・福祉】						
		基本施策	05　運動・スポーツを推進する						
		施策の展開方向	①　運動・スポーツの習慣化						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	スポーツをする人
2	働きかける相手（対象）	体育施設利用者
3	どのような状態にしたいのか（意図）	地域に身近な学校体育施設を利用して、地域住民のスポーツ活動の充実が図られるようにします。

4　評価対象年度にどのようなことを実施したのか

学校体育施設開放事業
　地域住民に身近なスポーツの場としての学校体育施設を開放しました。
⑴　学校体育施設開放
　ア　運動場
　　小学校計　　669件（23,571人）
　　中学校計　　145件（ 4,810人）※内、ナイター（東中）133件　4,330人
　　東郷高校　　 0件（　　0人）
　イ　体育館
　　小学校計　 1,262件（22,770人）
　　中学校計　　622件（12,142人）
　ウ　武道場
　　中学校計　　404件（ 9,180人）
　エ　合計　　3,102件（72,473人）
⑵　プール開放（兵庫小学校）
　ア　実施期間　令和５年８月１日から８月10日まで（内、土曜日及び日曜日を除く８日間）
　イ　利用者数　合計1,158人
⑶　利用調整会（年４回）
　　６月・９月・12月・３月
⑷　利用責任者資格取得講習会（年４回）
　　６月・９月・12月・３月

5　活動指標

指標名	学校体育施設開放箇所数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	か所 10.00	か所	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	か所 10.00	か所	
		令和４年度	か所 10.00	か所	
		令和５年度	か所 10.00	か所	

6　成果指標

指標名	各施設の利用人数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		令和２年度	人 31,179.00	人 75,037.00	前年度実績
指標の説明（指標式）		令和３年度	人 46,531.00	人 31,179.00	
		令和４年度	人 69,242.00	人 46,531.00	
		令和５年度	人 72,473.00	人 69,242.00	

7　直接事業費計	前年度決算額	4,270,082　円	決算額	6,064,346　円

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	スポーツ事業開催事業	ｺｰﾄﾞ	01	10	05	02	04	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	1　だれもが元気に暮らせるまち　【健康・医療・福祉】						
		基本施策	05　運動・スポーツを推進する						
		施策の展開方向	①　運動・スポーツの習慣化						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	参加する人、スポーツをしたいと思っている人
2	働きかける相手（対象）	町民、参加する人
3	どのような状態にしたいのか（意図）	レクリエーションスポーツの普及が図られ、多くの方々にスポーツの楽しさを知ってもらえるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

1　町民ハイキング
(1)　日　　時　令和５年10月29日(日)
(2)　場　　所　長野県木曽郡南木曽町～岐阜県中津川市（妻籠宿～馬籠宿）
(3)　参加者数　119人

2　ＴＯＧＯ春のららスポーツまつり
　誰でも気軽に楽しめるスポーツを実施することで、定期的な運動習慣を身につけるきっかけづくりを支援し、町民の体力向上と心身の健康保持・増進を図るために開催しました。
(1)　ウォーキング
　ア　日　　時　令和６年３月17(日)
　イ　場　　所　各小学校区
　ウ　内　　容　各小学校区に分かれてウォーキング
　エ　参加者数　合計293人

5 活動指標

指標名		年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
スポーツ事業開催数		令和２年度	回 0.00	回	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	回 0.00	回	
		令和４年度	回 3.00	回	
		令和５年度	回 2.00	回	

6 成果指標

指標名		年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
延べ参加者数		令和２年度	人 0.00	人 119.00	前年度実績
指標の説明（指標式）	各種事業に参加した人数の合計	令和３年度	人 0.00	人 0.00	
		令和４年度	人 328.00	人 0.00	
		令和５年度	人 412.00	人 328.00	

7	直接事業費計	前年度決算額	159,000　円	決算額	407,864　円

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	各種スポーツ教室開催事業	ｺｰﾄﾞ	01	10	05	02	05	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	1　だれもが元気に暮らせるまち　【健康・医療・福祉】						
		基本施策	05　運動・スポーツを推進する						
		施策の展開方向	①　運動・スポーツの習慣化						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	町民
2	働きかける相手（対象）	教室参加者
3	どのような状態にしたいのか（意図）	幼児から高齢者及び初心者から上級者までの各レベルにあった指導により、町民の体力の保持・増進とスポーツの普及・振興が図られるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

各種スポーツ教室開催事業
⑴　ボート体験会（ナックルフォア）
　ア　開催日　５月14日(日)、６月24日(土)
　イ　参加者数　計18名
⑵　町子ども会育成会連絡協議会　ボート体験
　ア　開催日　５月13日（土）
　イ　参加者数　20名
⑶　日本トップレベル選手が教えるボート教室
　株式会社デンソーのボート選手を講師として開催しました。（日進市との共催事業）
　ア　開催日　７月31日（月）、８月２日(水)、４日(金)、７日(月)、９日(水)、10日(木)（計６日間）
　イ　参加者数　計６名
⑷　高嶺小学校　ボート体験学習
　高嶺小学校の総合的な学習の時間において、６年生児童を対象にボート体験学習を実施しました。
　ア　開催日　５月23日(火)、５月26日(金)、５月30日(火)
　イ　参加人数　84人

5 活動指標

指標名	ボート教室開催日数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	日 3.00	日	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	ボート体験会及びボート教室の開催日数	令和３年度	日 2.00	日	
		令和４年度	日 11.00	日	
		令和５年度	日 12.00	日	

6 成果指標

指標名	スポーツ教室参加人数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		令和２年度	人 96.00	人 82.00	過去３年の平均値
指標の説明（指標式）		令和３年度	人 96.00	人 103.00	
		令和４年度	人 139.00	人 118.00	
		令和５年度	人 128.00	人 110.00	

7	直接事業費計	前年度決算額	178,524　円	決算額	91,030　円

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	レガッタ振興事業	ｺｰﾄﾞ	01	10	05	02	06	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	1　だれもが元気に暮らせるまち　【健康・医療・福祉】						
		基本施策	05　運動・スポーツを推進する						
		施策の展開方向	①　運動・スポーツの習慣化						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	町民
2	働きかける相手（対象）	レガッタに参加する人、町民
3	どのような状態にしたいのか（意図）	ボート競技を通じて、町民の健康の保持・増進と体力向上が図られるようにするとともに、ボート競技の普及と活力ある町づくりを目指します。そして、「ボートのまち東郷」を全国に発信し、全国の人々とのふれあいを創出します。

4　評価対象年度にどのようなことを実施したのか

町民レガッタ開催事業
⑴　開催日　　令和５年９月17日(日)
⑵　開催場所　愛知池漕艇場　東郷コース
⑶　開催種目　ナックルフォア500ｍ
⑷　参加クルー数　82クルー（参加者数518人）

5　活動指標

指標名	町民レガッタ参加クルー数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	クルー 0.00	クルー	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	クルー 0.00	クルー	
		令和４年度	クルー 40.00	クルー	
		令和５年度	クルー 82.00	クルー	

6　成果指標

指標名	町民レガッタ参加人数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		令和２年度	人 0.00	人 865.00	前年度実績
指標の説明（指標式）		令和３年度	人 0.00	人 0.00	
		令和４年度	人 249.00	人 0.00	
		令和５年度	人 518.00	人 249.00	

7	直接事業費計	前年度決算額	2,213,110　円	決算額	5,287,071　円

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	スポーツ交流事業	ｺｰﾄﾞ	01	10	05	02	07	-
2	総合計画の施策体系	基本目標	1　だれもが元気に暮らせるまち　【健康・医療・福祉】						
		基本施策	05　運動・スポーツを推進する						
		施策の展開方向	①　運動・スポーツの習慣化						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	町民
2	働きかける相手（対象）	スポーツ・レクリエーションスポーツ等に参加する人
3	どのような状態にしたいのか（意図）	東郷町の代表としての成果を十分に発揮するとともに、スポーツを通じて各市町村との交流を図ります。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

スポーツ交流事業
(1) 愛知県市町村対抗駅伝事業
東郷町代表選手（監督、コーチ含め計20名）が愛知県市町村対抗駅伝大会に参加しました。
ア　日時　令和５年12月２日(土)
イ　場所　愛・地球博記念公園（モリコロパーク）
ウ　結果　町村の部　第４位
エ　東郷町代表選手選考会
(ｱ)　日時　令和５年９月24日(日)　午前９時から
令和５年10月７日(土)　午前９時から
(ｲ)　場所　愛知池周回路
(ｳ)　参加者数　34人

5 活動指標

指標名	指標の説明（指標式）	愛知県市町村対抗駅伝の選手選考会の実施回数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
			令和２年度	回 0.00	回	個別計画による目標値はありません。
		選考会の実施回数	令和３年度	回 0.00	回	
			令和４年度	回 1.00	回	
			令和５年度	回 2.00	回	

6 成果指標

指標名	指標の説明（指標式）	愛知県市町村対抗駅伝の選手選考会の参加人数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
			令和２年度	人 0.00	人 32.00	前年度実績
		選考会の参加人数	令和３年度	人 0.00	人 0.00	
			令和４年度	人 21.00	人 0.00	
			令和５年度	人 34.00	人 21.00	

7	直接事業費計	前年度決算額	126,475　円	決算額	535,941　円

款	10	教育費	予算現額	44,722,000 円
項	05	保健体育費	決算額	41,742,489 円
目	03	体育施設費	前年度決算額	37,375,106 円
			対前年比	111.7 %

Ⅰ．事業の目的体系

1 事業名	体育施設管理事業	ｺｰﾄﾞ	01	10	05	03	01	－
2 総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
	基本施策	05 運動・スポーツを推進する						
	施策の展開方向	③ 参加しやすい環境づくり						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	施設を利用する人
2	働きかける相手（対象）	施設を利用する人及び町内体育施設
3	どのような状態にしたいのか（意図）	町内体育施設を利用する人が、安心・快適に利用できるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

1 体育施設一般管理事業
町体育施設(町民運動広場・愛知池運動公園・境川緑地公園第１多目的広場・境川緑地公園第２多目的広場・ふれあい広場ゲートボール場)について指定管理者による施設管理を実施しました。
(1) 指定管理者制度
令和５年度から５年間の指定管理に関する基本協定を締結しています。
ア 指定管理者 東郷町施設サービス株式会社
イ 指定期間 令和５年４月１日から令和10年３月31日まで
(2) 愛知池運動公園駐車場用地（7,039㎡）、町民運動広場用地（16,705㎡）及び境川緑地公園用地（982㎡）の借地料を支払いました。
(3) 施設の利用状況

ア 町民運動広場	528件	（利用者数 7,639人）
イ 愛知池運動公園運動場	375件	（利用者数 8,144人）
ウ 愛知池運動公園野球場	533件	（利用者数 6,371人）※内、ナイター 15件 441人
エ 愛知池運動公園テニスコート	2,205件	（利用者数 7,106人）
オ 愛知池運動公園(キャンプ利用)	70件	（利用者数 6,163人）
カ 境川緑地公園第１多目的広場	260件	（利用者数 1,775人）
キ 境川緑地公園第２多目的広場	268件	（利用者数 2,393人）
ク ふれあい広場ゲートボール場	216件	（利用者数 2,735人）
合計	4,455件	（利用者数 42,326人）

2 愛知池漕艇場維持管理事業
(1) ボートハウスの施設管理及び指導を行うため、臨時職員４名を雇用しました。
(2) 施設の維持管理
漕艇場及びトーゴーボートハウスの維持管理を実施しました。
3 ふれあい広場ゲートボール場維持管理事業
ふれあい広場ゲートボール場用地（991㎡）の借地料を支払いました。

5 活動指標

指標名	指標の説明（指標式）	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
指標名	指定管理者制度の導入施設数	令和２年度	件 5.00	件	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	町民運動広場・愛知池運動公園・境川緑地公園第１多目的広場・境川緑地公園第２多目的広場・ふれあい広場ゲートボール場	令和３年度	件 5.00	件	
		令和４年度	件 5.00	件	
		令和５年度	件 5.00	件	

6 成果指標

指標名	指標の説明（指標式）	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
指標名	町体育施設の利用延べ人数	令和２年度	人 23,901.00	人 50,211.00	前年度実績
指標の説明（指標式）	各施設の年間の利用人数の合計	令和３年度	人 39,583.00	人 23,901.00	
		令和４年度	人 38,548.00	人 39,583.00	
		令和５年度	人 42,326.00	人 38,548.00	

7 直接事業費計	前年度決算額	35,271,106 円	決算額	39,638,489 円

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	地区設置運動広場運営事業	ｺｰﾄﾞ	01	10	05	03	02	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	1　だれもが元気に暮らせるまち　【健康・医療・福祉】						
		基本施策	05　運動・スポーツを推進する						
		施策の展開方向	③　参加しやすい環境づくり						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	スポーツをする人
2	働きかける相手（対象）	自治会、運動広場
3	どのような状態にしたいのか（意図）	地区が設置している運動広場を利用する人が、安全・快適に利用できるようにします。

4　評価対象年度にどのようなことを実施したのか

地区設置運動広場運営事業
　和合地区、祐福寺地区、部田地区、諸輪住宅地区が設置している運動広場の運営事業に補助しました。

5　活動指標

指標名	補助地区数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	地区 4.00	地区	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	地区 4.00	地区	
		令和４年度	地区 4.00	地区	
		令和５年度	地区 4.00	地区	

6　成果指標

指標名	地区の運動場設置数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		令和２年度	地区 4.00	地区 4.00	当初補助予定地区数
指標の説明（指標式）		令和３年度	地区 4.00	地区 4.00	
		令和４年度	地区 4.00	地区 4.00	
		令和５年度	地区 4.00	地区 4.00	

7	直接事業費計	前年度決算額	2,104,000　円	決算額	2,104,000　円

款	10	教育費	予算現額	76,183,000 円
項	05	保健体育費	決算額	65,795,016 円
目	04	総合体育館費	前年度決算額	50,442,513 円
			対前年比	130.4 %

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	総合体育館管理事業	ｺｰﾄﾞ	01	10	05	04	01	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
		基本施策	05 運動・スポーツを推進する						
		施策の展開方向	③ 参加しやすい環境づくり						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	総合体育館を利用する人
2	働きかける相手（対象）	総合体育館を利用する人
3	どのような状態にしたいのか（意図）	総合体育館を利用する人が、安心・快適に利用できるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

総合体育館管理事業
総合体育館について指定管理者による施設管理を実施しました。
(1) 指定管理者制度
ア 令和５年度から５年間の指定管理に関する基本協定を締結しています。
(ｱ) 指定管理者 東郷町施設サービス株式会社
(ｲ) 指定期間 令和５年４月１日から令和10年３月31日まで
(2) 総合体育館防犯カメラの改修を行いました。
(3) 総合体育館アリーナ天井改修工事設計業務を行いました。
(4) 総合体育館スタジオ空調設備の更新を行いました。
(5) 総合体育館駐車場用地（1,389㎡）の借地料を支払いました。
(6) 総合体育館利用状況

ア	アリーナ	3,635件	利用者数 42,679人
イ	多目的運動室	1,279件	利用者数 15,903人
ウ	武道場	996件	利用者数 11,865人
エ	弓道場	4,831件	利用者数 5,275人
オ	スタジオ	2,967件	利用者数 5,982人
カ	会議室	472件	利用者数 2,349人
	合計	14,180件	84,053人

5 活動指標

指標名	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
アリーナ利用件数	令和２年度	件 2,531.00	件	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	令和３年度	件 3,658.00	件	
	令和４年度	件 3,865.00	件	
	令和５年度	件 14,180.00	件	

6 成果指標

指標名	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
総利用人数	令和２年度	人 46,730.00	人 107,446.00	前年度実績
指標の説明（指標式）：総合体育館を利用した年間の延べ人数	令和３年度	人 70,084.00	人 46,730.00	
	令和４年度	人 78,612.00	人 70,084.00	
	令和５年度	人 84,053.00	人 78,612.00	

7	直接事業費計	前年度決算額	50,442,513 円	決算額	65,795,016 円

款	10	教育費	予算現額	504,029,000 円
項	05	保健体育費	決算額	489,540,108 円
目	05	給食センター費	前年度決算額	445,088,525 円
			対前年比	110 %

Ⅰ．事業の目的体系

1 事業名	給食センター管理運営事業	ｺｰﾄﾞ	01	10	05	05	02	-
2 総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
	基本施策	01 健康づくりを推進する						
	施策の展開方向	③ 食育の推進						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1 誰のために（受益者）	保育園児、小中学生
2 働きかける相手（対象）	給食センター施設・設備、調理関係者
3 どのような状態にしたいのか（意図）	給食センター施設・設備等の適正な維持管理を行い、常に安定稼動させるとともに、衛生的で安全な給食が提供できるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

給食センター運営費
⑴ 魅力あるおいしい給食づくり
ア 献立委員会や物資選定委員会より出された意見やこれまでの反省等を元に旬の食材や地元食材を活用した給食を提供しました。
イ 運営委員会を開催し、センターの運営について審議しました。
(ｱ) 開催日 令和５年６月30日
(ｲ) 主な内容 令和４年度事業報告、令和５年度事業計画、学校及び保育園の栄養指導計画、給食用物資納入登録業者の登録
(ｳ) 運営委員 教育部長、こども未来部長、学校長４名、各学校ＰＴＡ代表、保育園園長代表、保育園父母の会代表、愛知県瀬戸保健所課長
⑵ 食に関する指導の推進
小学校１、３、５年生と中学校３年生に対して、栄養教諭による食に関する指導を行いました。
小学校低学年には栄養素や食習慣等を、中学生には「お弁当を作ろう」をテーマに指導を行いました。
⑶ 家庭や地域との連携を密にした給食の推進
ア 食育だより「いただきまーす」を献立表の裏面に掲載し、食育及び給食の歴史について啓発しました。
イ 地場産物の活用に努め、東郷町産の食材を給食に使用しました。
⑷ 衛生管理の徹底、食中毒防止
ア センター内の職員全員（委託業者含む）の検便検査（サルモネラ、赤痢、O-157、冬季はノロウイルス）を月２回実施しました。
イ 調理員の労働環境改善のため、本館調理場前室にエアコンを設置しました。
⑸ その他
ア 食物アレルギーに対応しやすくするために、加工品等に含まれる食材を献立表に明記しています。
イ 老朽化が進んだコンテナイン消毒保管機を更新しました。

5 活動指標

指標名	給食センターでの年間調理食数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	食 946,301.00	食	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	本館（小中学校用）調理食数＋別館（保育園用）調理食数	令和３年度	食 987,075.00	食	
		令和４年度	食 979,326.00	食	
		令和５年度	食 935,929.00	食	

6 成果指標

指標名	給食安定提供率	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		令和２年度	% 100.00	% 100.00	設備の適切な維持管理を行うことで、常に確実に安全な給食を提供しなければならないため、目標値は100%としました。
指標の説明（指標式）	（年間給食実施回数－配送遅延回数）／年間給食実施回数	令和３年度	% 100.00	% 100.00	
		令和４年度	% 100.00	% 100.00	
		令和５年度	% 100.00	% 100.00	

7 直接事業費計	前年度決算額	203,820,238 円	決算額		216,345,502 円

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	小学校給食事業	ｺｰﾄﾞ	01	10	05	05	03	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	1　だれもが元気に暮らせるまち　【健康・医療・福祉】						
		基本施策	01　健康づくりを推進する						
		施策の展開方向	③　食育の推進						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	小学生、保護者
2	働きかける相手（対象）	児童、教員、保護者、食材
3	どのような状態にしたいのか（意図）	児童の健全な発達に資するため、安全で安心かつ、栄養バランスの取れた魅力あるおいしい給食が提供できるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

小学校分賄材料費
⑴ 提供食数　549,538食
⑵ 献立作成の重点
ア　家庭の食事で不足しがちなカルシウムに注目し、特に多く含む献立には献立表に★マークをつけ、食生活の改善に役立てられるよう啓発しました。
イ　噛みごたえのある食品を使用して「かみかみメニューの日」を設け、噛むことの大切さを啓発しました。
ウ　児童の食物アレルギー対象食材を除いた「にこにこ給食」を９回実施しました。
⑶ 応募献立
児童に給食への関心を高めてもらうため、献立を募集しました。受賞献立は、給食として提供しました。
テーマは「東郷のめぐみたっぷり！我が家の自慢料理！」（受賞献立数　11献立）
⑷ 地場産物の使用を推進し、東郷町産食材を給食で使用しました。（使用食材20品目）
また、地産地消推進事業として東郷町産食材７品目について公費により給食を提供しました。

食材名	使用月	使用した献立名
さつまいも(※)	２月	さつまいもコロッケ
米（※）	４～２月	東郷町産お米のタルト、米粉のオムレット、米粉のナポリタン他
かぼちゃ(※)	９月	夏野菜カレー　など

（※)は地産地消推進事業対象

⑸ 有機野菜を使用した給食を実施しました。（使用食材８品目）

主な食材名	使用月	使用した献立名
小松菜	４～３月	小松菜の米粉かき揚げ、小松菜と白菜のおひたし他
にんじん	９～３月	五目あんかけ、にこにこ米粉カレー他

⑹ 残菜量（かっこ内は前年度分）
給食で出た残菜については、給食センターに集め、可燃物として処理を行いました。
残菜量：合計6,501kg（7,089kg）　11.97g/食（12.92g/食）
⑺ 公費負担
学校給食費の定額制を採用しました。（児童3,400円／月、教員等4,200円／月）

5 活動指標

指標名		年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
小学校用給食の年間総給食数		令和２年度	食 522,589.00	食	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	６小学校、ハートフル東郷の児童・教員及び給食センターの総給食数（保存食は含めない）	令和３年度	食 564,866.00	食	
		令和４年度	食 554,731.00	食	
		令和５年度	食 549,538.00	食	

6 成果指標

指標名		年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
小学校給食満足度（給食が大好きと好きな児童の割合）		令和２年度	% 77.00	% 78.00	過去３年間の平均値
指標の説明（指標式）	給食に関するアンケートにおけるアンケート項目「学校給食は好きですか？」の集計結果	令和３年度	% 82.60	% 77.30	
		令和４年度	% 81.50	% 78.60	
		令和５年度	% 82.20	% 80.30	

7 直接事業費計	前年度決算額	146,617,959　円	決算額	163,842,967　円

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	中学校給食事業	ｺｰﾄﾞ	01	10	05	05	04	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	1　だれもが元気に暮らせるまち　【健康・医療・福祉】						
		基本施策	01　健康づくりを推進する						
		施策の展開方向	③　食育の推進						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	中学生、保護者
2	働きかける相手（対象）	生徒、教員、保護者、食材
3	どのような状態にしたいのか（意図）	生徒の健全な発達に資するため、安全で安心かつ、栄養バランスの取れた魅力あるおいしい給食が提供できるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

中学校分賄材料費
⑴　提供食数　255,530食
⑵　献立作成の重点
ア　家庭の食事で不足しがちなカルシウムに注目し、特に多く含む献立には献立表に★マークをつけ、食生活の改善に役立てられるよう啓発しました。
イ　噛みごたえのある食品を使用して「かみかみメニューの日」を設け、噛むことの大切さを周知しました。
ウ　生徒の食物アレルギー対象食材を除いた「にこにこ給食」を９回実施しました。
エ　卒業生を対象にタブレットを用いたアンケートを行い、卒業生全員のリクエストを献立に取り入れました。
⑶　応募献立
生徒に給食への関心を高めてもらうため、献立を募集しました。受賞献立は、給食として提供しました。
テーマは「東郷のめぐみたっぷり！我が家の自慢料理！」（受賞献立数　11献立）
⑷　地場産物の使用を推進し、東郷町産食材を給食で使用しました。（使用食材20品目）
また、地産地消推進事業として東郷町産食材７品目について公費により給食を提供しました。

食材名	使用月	使用した献立名
さつまいも(※)	２月	さつまいもコロッケ
米（※）	４～２月	東郷町産お米のタルト、米粉のオムレット、米粉のナポリタン他
かぼちゃ(※)	９月	夏野菜カレー　など

(※)は地産地消推進事業対象

⑸　有機野菜を使用した給食を実施しました。（使用食材８品目）

主な食材名	使用月	使用した献立名
小松菜	４～３月	小松菜の米粉かき揚げ、小松菜と白菜のおひたし他
にんじん	９～３月	五目あんかけ、にこにこ米粉カレー他

⑹　残菜量（かっこ内は前年度分）
給食で出た残菜については、給食センターに集め、可燃物として処理を行いました。
残菜量：合計2,581kg（2,940kg）　10.1g/食（11.6g/食）
⑺　公費負担
学校給食費の定額制を採用しました。（生徒3,600円／月、教員等4,500円／月）

5 活動指標

指標名		年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
指標名	中学校用給食の年間総給食数	令和２年度	食 234,035.00	食	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	３中学校の生徒・教員等の総給食数（保存食は含めない）	令和３年度	食 257,431.00	食	
		令和４年度	食 253,082.00	食	
		令和５年度	食 255,530.00	食	

6 成果指標

指標名		年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
指標名	中学校給食満足度（給食が大好きと好きな生徒の割合）	令和２年度	% 75.00	% 69.00	過去３年間の平均値
指標の説明（指標式）	給食に関するアンケートにおけるアンケート項目「学校給食は好きですか？」の集計結果	令和３年度	% 79.60	% 71.60	
		令和４年度	% 75.30	% 75.40	
		令和５年度	% 77.20	% 76.60	

7	直接事業費計	前年度決算額	78,860,922　円	決算額	91,565,716　円

款	11	災害復旧費	予算現額	500,000 円
項	01	土木施設災害復旧費	決算額	495,000 円
目	01	道路河川災害復旧費	前年度決算額	0 円
			対前年比	- %

Ⅰ．事業の目的体系

1 事業名	災害復旧事業	ｺｰﾄﾞ	01	11	01	01	01	-
2 総合計画の施策体系	基本目標	3 安全・安心で、自然と共生するまち 【安全・安心、自然・生活環境】						
	基本施策	02 災害に強いまちをつくる						
	施策の展開方向	－						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	被災した施設を利用する人
2	働きかける相手（対象）	被災を受けた施設
3	どのような状態にしたいのか（意図）	台風、大雨等により被災した施設を復旧し、早期かつ安全に利用できる状態にします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

災害復旧事業
台風、大雨等により被災した施設を復旧しました。
(1) 倒木 2件
(2) 道路陥没 1件

5 活動指標

指標名	事前対策準備及び応急処置の延べ委託回数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	回 0.00	回	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	回 0.00	回	
		令和４年度	回 0.00	回	
		令和５年度	回 3.00	回	

6 成果指標

指標名	災害復旧率	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		令和２年度	% 0.00	% 100.00	完全復旧率
指標の説明（指標式）	（災害復旧箇所／災害発生箇所）×100（年度内早期復旧を目標、前年度発生箇所の復旧箇所数は含めない。）	令和３年度	% 0.00	% 100.00	
		令和４年度	% 0.00	% 100.00	
		令和５年度	% 100.00	% 100.00	

7 直接事業費計	前年度決算額	0 円	決算額	495,000 円

款	12	公債費	予算現額	848,758,923 円
項	01	公債費	決算額	848,758,923 円
目	01	元金	前年度決算額	857,144,444 円
			対前年比	99 %

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	建設事業分公債費元金事業	ｺｰﾄﾞ	01	12	01	01	01	-
2	総合計画の施策体系	基本目標	6 みんなでつくるまち 【参画・協働】						
		基本施策	04 将来を見据えた行財政運営を進める						
		施策の展開方向	③ 安定した財政運営						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	町民
2	働きかける相手（対象）	公債費元金
3	どのような状態にしたいのか（意図）	借り入れた建設事業分公債費元金の償還を遅滞なく行うための財源を確実に確保します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

建設事業分公債費元金事業
(1) 地方債(建設事業分元金)を306,610,435円償還しました。
(2) 令和５年度末現在高
ア 令和４年度末現在高 4,164,337,648円
イ 元金償還額 306,610,435円
ウ 令和５年度借入額 461,700,000円
エ 令和５年度末現在高 4,319,427,213円

5 活動指標

指標名	地方債償還額	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	円 208,929,411.00	円	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	当該年度に償還した地方債元金の額	令和３年度	円 272,044,362.00	円	
		令和４年度	円 293,472,947.00	円	
		令和５年度	円 306,610,435.00	円	

6	直接事業費計	前年度決算額	293,472,947 円	決算額	306,610,435 円

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	その他公債費元金事業	ｺｰﾄﾞ	01	12	01	01	02	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	6　みんなでつくるまち　【参画・協働】						
		基本施策	04　将来を見据えた行財政運営を進める						
		施策の展開方向	③　安定した財政運営						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	町民
2	働きかける相手（対象）	公債費元金
3	どのような状態にしたいのか（意図）	借り入れた減税補填債及び臨時財政対策債に係る公債費元金の償還を遅滞なく行うための財源を確実に確保します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

その他(減税補填等)公債費元金事業
⑴　地方債(減税補填等元金)を542,148,488円償還しました。
　ア　減税補填債（注１）　20,902,849円
　イ　臨時財政対策債（注２）　521,245,639円
⑵　令和５年度末現在高
　ア　令和４年度末現在高　6,039,901,916円
　イ　元金償還額　542,148,488円
　ウ　令和５年度借入額　89,700,000円
　エ　令和５年度末現在高　5,587,453,428円

注１　減税補填債
　国の施策による住民税の減税措置による地方公共団体の減収額を埋めるために、地方財政法第５条の特例として発行された地方債
注２　臨時財政対策債
　地方一般財源の不足に対処するため、投資的経費以外の経費にも充てられる地方財政法第５条の特例として発行される地方債
　平成13年度以降、地方交付税制度において通常収支の財源不足額のうち、財源対策債等を除いた額を国と地方で折半し、国負担分は一般会計からの加算(臨時財政対策分)、地方負担分は臨時財政対策債により補填することとされました。実際の借入の有無にかかわらず、当該年度の発行可能額の元利償還金相当額は後年度基準財政需要額に全額算入されます。

5 活動指標

指標名	地方債償還額	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	円 504,774,938.00	円	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	当該年度に償還した地方債元金の額	令和３年度	円 545,979,919.00	円	
		令和４年度	円 563,671,497.00	円	
		令和５年度	円 542,148,488.00	円	

6	直接事業費計	前年度決算額	563,671,497　円	決算額	542,148,488　円

款	12	公債費	予算現額	26,510,267 円
項	01	公債費	決算額	26,510,267 円
目	02	利子	前年度決算額	27,218,831 円
			対前年比	97.4 %

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	建設事業分公債費利子事業	ｺｰﾄﾞ	01	12	01	02	01	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	6　みんなでつくるまち　【参画・協働】						
		基本施策	04　将来を見据えた行財政運営を進める						
		施策の展開方向	③　安定した財政運営						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	町民
2	働きかける相手（対象）	公債費利子
3	どのような状態にしたいのか（意図）	借り入れた建設事業分公債費元金に伴う利子の償還を遅滞なく行うための財源を確実に確保します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

建設事業分公債費利子事業
地方債利子(建設事業分)を15,389,150円償還しました。

5 活動指標

指標名	指標の説明（指標式）	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
地方債利子償還額	当該年度に償還した地方債利子の額	令和２年度	円 16,652,414.00	円 個別計画による目標値はありません。
		令和３年度	円 15,999,523.00	円
		令和４年度	円 15,639,892.00	円
		令和５年度	円 15,389,150.00	円

6	直接事業費計	前年度決算額	15,639,892 円	決算額	15,389,150 円

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	その他公債費利子事業	ｺｰﾄﾞ	01	12	01	02	02	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	6　みんなでつくるまち　【参画・協働】						
		基本施策	04　将来を見据えた行財政運営を進める						
		施策の展開方向	③　安定した財政運営						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	町民
2	働きかける相手（対象）	公債費利子
3	どのような状態にしたいのか（意図）	借り入れた減税補填債及び臨時財政対策債の元金に係る公債費利子の償還を遅滞なく行うための財源を確実に確保します。

4　評価対象年度にどのようなことを実施したのか

その他(減税補填等)公債費利子事業
地方債利子(減税補填債等分)を11,121,117円償還しました。

5　活動指標

		年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
指標名	地方債利子償還額	令和２年度	円 21,695,293.00	円	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	当該年度に償還した地方債利子の額	令和３年度	円 15,815,448.00	円	
		令和４年度	円 11,578,939.00	円	
		令和５年度	円 11,121,117.00	円	

6	直接事業費計	前年度決算額	11,578,939　円	決算額	11,121,117　円

款	13	諸支出金	予算現額	849,000 円
項	01	基金費	決算額	848,070 円
目	01	財政調整基金費	前年度決算額	394,124 円
			対前年比	215.2 %

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	財政調整基金積立金事業	ｺｰﾄﾞ	01	13	01	01	01	-
2	総合計画の施策体系	基本目標	6 みんなでつくるまち 【参画・協働】						
		基本施策	04 将来を見据えた行財政運営を進める						
		施策の展開方向	③ 安定した財政運営						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	町民
2	働きかける相手（対象）	財政調整基金
3	どのような状態にしたいのか（意図）	安定的な財政運営のため、基金管理方針で定めた目標額を確保します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

財政調整基金利子積立金事業
(1) 財政調整基金利子を848,070円積み立てました。
(2) 基金残高
ア 令和４年度末残高
2,162,980,444円
イ 令和５年度中増減
(ｱ) 決算積立 737,007,362円
(ｲ) 予算積立 0円
(ｳ) 利子積立 848,070円
(ｴ) 取崩し 1,030,633,000円
ウ 令和５年度末残高
1,870,202,876円

5 活動指標

指標名	指標の説明（指標式）	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
財政調整基金残高	年度末基金残高	令和２年度	千円 1,092,199.00	千円 1,500,000.00 基金管理方針（令和４年９月策定）における目標値 1,000,000千円
		令和３年度	千円 1,333,845.00	千円 1,000,000.00
		令和４年度	千円 2,162,980.00	千円 1,000,000.00
		令和５年度	千円 1,870,203.00	千円 1,000,000.00

6	直接事業費計	前年度決算額	394,124 円	決算額	848,070 円

款	13	諸支出金	予算現額	43,756,000 円
項	01	基金費	決算額	43,755,035 円
目	02	減債基金費	前年度決算額	258,460 円
			対前年比	16929.1 %

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	減債基金積立金事業	ｺｰﾄﾞ	01	13	01	02	01	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	6 みんなでつくるまち 【参画・協働】						
		基本施策	04 将来を見据えた行財政運営を進める						
		施策の展開方向	③ 安定した財政運営						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	町民
2	働きかける相手（対象）	減債基金
3	どのような状態にしたいのか（意図）	基金管理方針に従い、町債の償還に必要な財源を確保します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

1 減債基金利子積立金事業
(1) 減債基金利子を398,035円積み立てました。

2 減債基金予算積立金事業
(1) 減債基金に43,357,000円積み立てました。

(2) 基金残高
ア 令和４年度末残高
727,412,516円
イ 令和５年度中増減
(ｱ) 決算積立 0円
(ｲ) 予算積立 43,357,000円
(ｳ) 利子積立 398,035円
(ｴ) 取崩し 0円
ウ 令和５年度末残高
771,167,551円

5 活動指標

指標名	減債基金残高	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	千円 464,817.00	千円 550,000.00	【～令和３年度】 基金積立方針 目標値 470,000千円
指標の説明（指標式）	年度末基金残高	令和３年度	千円 727,154.00	千円 470,000.00	
		令和４年度	千円 727,413.00	千円	【令和４年度～】 基金管理方針 目標値 設定なし
		令和５年度	千円 771,168.00	千円	

6	直接事業費計	前年度決算額	258,460 円	決算額	43,755,035 円

款	13	諸支出金	予算現額	3,768,000 円
項	01	基金費	決算額	3,766,851 円
目	03	公共施設整備基金費	前年度決算額	157,752 円
			対前年比	2387.8 %

Ⅰ．事務の目的体系

1 事業名	公共施設整備基金積立金事業	ｺｰﾄﾞ	01	13	01	03	01	－
2 総合計画の施策体系	基本目標	6 みんなでつくるまち 【参画・協働】						
	基本施策	04 将来を見据えた行財政運営を進める						
	施策の展開方向	③ 安定した財政運営						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1 誰のために（受益者）	町民
2 働きかける相手（対象）	公共施設整備基金
3 どのような状態にしたいのか（意図）	基金管理方針に従い、公共施設を整備するための財源を確保します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

1 公共施設整備基金利子積立金事業
(1) 公共施設整備基金利子を547,416円積み立てました。

2 公共施設整備基金予算積立金事業
(1) 公共施設整備基金に3,219,435円積み立てました。
(2) 基金残高
ア 令和４年度末残高
902,472,126円
イ 令和５年度中増減
(ｱ) 利子積立 547,416円
(ｲ) 予算積立 3,219,435円
(ｳ) 取崩し 0円
ウ 令和５年度末残高
906,238,977円

5 活動指標

指標名	公共施設整備基金残高	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	千円 309,440.00	千円 440,000.00	【～令和３年度】 基金積立方針 目標値 350,000千円
指標の説明（指標式）	年度末基金残高	令和３年度	千円 902,314.00	千円 350,000.00	
		令和４年度	千円 902,472.00	千円	【令和４年度～】 基金管理方針 目標値 設定なし
		令和５年度	千円 906,239.00	千円	

6 直接事業費計	前年度決算額	157,752 円	決算額	3,766,851 円

款	13	諸支出金	予算現額	1,000 円
項	01	基金費	決算額	0 円
目	04	土地開発基金費	前年度決算額	60,616 円
			対前年比	- %

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	土地開発基金積立金事業	ｺｰﾄﾞ	01	13	01	04	01	-
2	総合計画の施策体系	基本目標	6 みんなでつくるまち 【参画・協働】						
		基本施策	04 将来を見据えた行財政運営を進める						
		施策の展開方向	③ 安定した財政運営						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	町民
2	働きかける相手（対象）	土地開発基金
3	どのような状態にしたいのか（意図）	公用若しくは公共の用に供する土地又は公共の利益のために取得する必要のある土地をあらかじめ取得することにより、事業の円滑な執行を図ります。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

土地開発基金利子積立金事業
⑴ 土地開発基金利子の積み立てはありませんでした。
⑵ 基金残高
ア 令和４年度末残高
（ｱ） 現金 101,758,489円
（ｲ） 土地 2,783.89㎡(宅地 359.89㎡、田 2,424㎡)
イ 令和５年度利子積立て 0円
ウ 令和５年度末残高
（ｱ） 現金 101,758,489円
（ｲ） 土地 2,783.89㎡(宅地 359.89㎡、田 2,424㎡)

5 活動指標

指標名	指標の説明（指標式）	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
土地開発基金残高	年度末基金(現金)残高	令和２年度	千円 101,638.00	千円	個別計画による目標値はありません。
		令和３年度	千円 101,698.00	千円	
		令和４年度	千円 101,758.00	千円	
		令和５年度	千円 101,758.00	千円	

6	直接事業費計	前年度決算額	60,616 円	決算額	0 円

款	13	諸支出金	予算現額	1,000 円
項	01	基金費	決算額	0 円
目	05	地域福祉基金費	前年度決算額	0 円
			対前年比	- %

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	地域福祉基金積立金事業	ｺｰﾄﾞ	01	13	01	05	01	-
2	総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
		基本施策	02 地域福祉を充実する						
		施策の展開方向	－						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	町民
2	働きかける相手（対象）	地域福祉基金
3	どのような状態にしたいのか（意図）	地域福祉の推進に必要な財源を確保するため、東郷町地域福祉基金の設置及び管理に関する条例に基づき予算で定める額を積み立てます。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

地域福祉基金積立事業
(1) 地域福祉基金利子積立金 0円
(2) 基金残高
ア 令和４年度末残高 183,879円
イ 令和５年度利子積立 0円
ウ 令和５年度末残高 183,879円

5 活動指標

指標名	利子積立額	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	円 0.00	円	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	円 0.00	円	
		令和４年度	円 0.00	円	
		令和５年度	円 0.00	円	

6 直接事業費計	前年度決算額	0 円	決算額	0 円

款	13	諸支出金	予算現額	1,000 円
項	01	基金費	決算額	0 円
目	06	図書館整備基金費	前年度決算額	56 円
			対前年比	- %

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	図書館整備基金積立金事業	ｺｰﾄﾞ	01	13	01	06	01	-
2	総合計画の施策体系	基本目標	2 子どもがのびのび育つまち 【子育て・教育・文化】						
		基本施策	03 生涯を通じた学びを推進する						
		施策の展開方向	③ こころの豊かさを育てる機会の充実						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	図書館を利用する人
2	働きかける相手（対象）	図書館整備基金
3	どのような状態にしたいのか（意図）	図書館を利用する人が情報収集や調査研究などで図書館を快適に利用できるよう、図書資料等の購入に充てるための基金を積み立てておきます。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

図書館整備基金利子積立金事業
東郷町立図書館整備基金の設置及び管理に関する条例に基づき図書館整備基金を管理しました。
基金残高
令和５年度末残高　3,073,988円

5 活動指標

指標名	利子積立金	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	円 3,660.00	円	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	円 1,438.00	円	
		令和４年度	円 56.00	円	
		令和５年度	円 0.00	円	

6	直接事業費計	前年度決算額	56 円	決算額	0 円

特　別　会　計

国民健康保険特別会計

1　概　　要

令和５年度における東郷町国民健康保険特別会計の歳入決算額は、３，５４７，１９５千円で、前年度に対して４７，９４９千円（１．４％）の増収となった。

主な収入を前年度と比較するとその増減額（伸率）は、国民健康保険税△４５，９１１千円（△５．９％)、県支出金２０，７６８千円（０．９％)、繰入金６０，９４５千円（２０．１％)、繰越金９，２６３千円（２９．４％）となった。

歳出決算額は３，５０１，７２３千円で、前年度に対して４３，２９４千円（１．３％）の増額となった。

主な支出を前年度と比較するとその増減額（伸率）は、総務費△２，８９１千円（△１３．９％)、保険給付費１９，４１５千円（０．８％)、国民健康保険事業費納付金２７，７６９千円（２．７％)、保健事業費△２，１７９千円（△６．５％）となった。

⑴　歳入歳出決算額　　（単位：千円、％）

区　　分	令和５年度	令和４年度	増減額	伸率
歳　入　総　額	3,547,195	3,499,246	47,949	1.4
歳　出　総　額	3,501,723	3,458,429	43,294	1.3
歳入歳出差引額	45,472	40,817		

⑵　被保険者数の状況　　（単位：人）

区　　分		令和５年度末	令和４年度末	増減
全　体		6,464	6,886	△422
	0～18 歳	607	657	△50
	19～64 歳	3,038	3,172	△134
	65～74 歳	2,819	3,057	△238
一般被保険者		6,464	6,886	△422
退職被保険者		0	0	0
介護２号被保険者		2,152	2,249	△97

２　歳　　入

令和５年度の歳入決算額は３，５４７，１９５千円で、前年度に対して４７，９４９千円（１．４％）の増収となった。

その主な内容は、国民健康保険税が７３１，２９３千円で全体の２０．６％を占め、県支出金が２，４０２，２９９千円（６７．７％）、繰入金が３６３，９４１千円（１０．３％）となっている。

⑴　歳入決算額　　（単位：千円、％）

区　　分	令和５年度	令和４年度	増減額	伸率
１　国民健康保険税	731,293	777,204	△45,911	△5.9
２　国庫支出金	221	0	221	皆増
３　県支出金	2,402,299	2,381,531	20,768	0.9
４　財産収入	39	20	19	95.0
５　繰入金	363,941	302,996	60,945	20.1
６　繰越金	40,818	31,555	9,263	29.4
７　諸収入	8,584	5,940	2,644	44.5
合　　計	3,547,195	3,499,246	47,949	1.4

⑵　国民健康保険税調定額内訳（現年度分）　　（単位：千円）

区　　分		医療給付費分		後期高齢者支援金分		介　護	合計
		一般	退職	一般	退職	納付金分	
算出税額		628,176	0	216,790	0	82,088	927,054
	所得割額	356,848	0	124,585	0	46,755	528,188
	均等割額	187,762	0	63,518	0	24,492	275,772
	平等割額	83,566	0	28,687	0	10,841	123,094
7･5･2 割軽減額		△65,232	0	△22,171	0	△8,344	△95,747
未就学児軽減額		△1,298	0	△439		0	△1,737
減 免 額		△1,225	0	△420	0	△62	△1,707
限度超過額		△52,527	0	△18,722	0	△7,027	△78,276
増 減 額		△15,097	0	△5,348	0	△1,930	△22,375
合　計		492,797	0	169,690	0	64,725	727,212
１人当たり	５年度	76	0	26	0	30	
	４年度	77	0	26	0	30	

⑶　収納状況　　（単位：円、％）

区　　分		調定額	収入済額	不納欠損額	収納率	
					５年度	４年度
一般分	現年度分	727,212,200	703,999,542	0	96.8	96.4
	滞納繰越分	77,042,896	27,293,927	6,232,072	35.4	34.1
合　　計		804,255,096	731,293,469	6,232,072	90.9	88.7

3　歳　　出

令和５年度の歳出決算額は３，５０１，７２３千円で、前年度に対して４３，２９４千円（１．３％）の増額となった。

その主な内容は、保険給付費が２，３４１，４２４千円で全体の６６．９％を占め、国民健康保険事業費納付金が１，０７３，４５８千円（３０．７％）となっている。

⑴　歳出決算額　　（単位：千円、％）

区　　分	令和５年度	令和４年度	増減額	伸率
１　総務費	17,949	20,840	△2,891	△13.9
２　保険給付費	2,341,424	2,322,009	19,415	0.8
３　国民健康保険事業費納付金	1,073,458	1,045,689	27,769	2.7
４　保健事業費	31,457	33,636	△2,179	△6.5
５　基金積立金	34,422	31,576	2,846	9.0
６　諸支出金	3,013	4,679	△1,666	△35.6
７　予備費	0	0	0	―
合　　計	3,501,723	3,458,429	43,294	1.3

⑵　保険給付の状況　　（単位：件、千円）

区　　分	受診件数	費用額	保険者負担分	本人負担分	他法負担分
療養給付費	125,493	2,752,298	2,021,879	610,723	119,696
一般分	125,493	2,752,298	2,021,879	610,723	119,696
退職分	0	0	0	0	0
療養費	2,487	22,235	16,512	4,718	1,005
一般分	2,487	22,235	16,512	4,718	1,005
退職分	0	0	0	0	0
合　　計	127,980	2,774,533	2,038,391	615,441	120,702

⑶　医療費の内訳　　（単位：件、千円）

区　分		一般分		退職分		合計	
		件数	費用額	件数	費用額	件数	費用額
療養給付費		125,493	2,752,298	0	0	125,493	2,752,298
	入　　院	1,304	899,991	0	0	1,304	899,991
	外　　来	66,949	1,122,310	0	0	66,949	1,122,310
	歯　　科	17,409	220,666	0	0	17,409	220,666
	調　　剤	39,288	405,292	0	0	39,288	405,292
	食事療養		33,307		0		33,307
	訪問看護	543	70,732	0	0	543	70,732
療養費		2,487	22,235	0	0	2,487	22,235
	診療費	269	5,283			269	5,283
	補装具	97	2,681	0	0	97	2,681
	柔道整復師	1,842	10,452	0	0	1,842	10,452
	鍼灸など	279	3,819	0	0	279	3,819
合　　計		127,980	2,774,533	0	0	127,980	2,774,533
１人当たり	５年度	20	429	0	0	20	429
	４年度	19	402	0	0	19	402

⑷　その他の給付　　（単位：件、千円）

区　　分	令和５年度		令和４年度	
	件数	給付費	件数	給付費
高額療養費	4,931	283,691	5,011	266,169
出産育児一時金	18	8,600	17	7,128
葬祭費	31	1,550	40	2,000

事業の内容については、次ページ以降のとおりである。

款	01	総務費	予算現額	15,329,000 円
項	01	総務管理費	決算額	12,636,605 円
目	01	一般管理費	前年度決算額	14,962,213 円
			対前年比	84.5 %

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	国民健康保険一般管理事業	ｺｰﾄﾞ	03	01	01	01	01	-
2	総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
		基本施策	01 健康づくりを推進する						
		施策の展開方向	④ 医療体制の充実						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	国民健康保険被保険者
2	働きかける相手（対象）	国民健康保険被保険者
3	どのような状態にしたいのか（意図）	国民健康保険事務を適正かつ円滑に処理するとともに、国民健康保険医療費の適正化を図ります。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

国民健康保険一般管理事業
一般事務補助、レセプト点検事務に係る会計年度任用職員報酬、保険証等印刷費、各種通知書郵送料、電算システム改修委託料・電算システム保守委託料を支出しました。

5 活動指標

指標名	国民健康保険被保険者数（年度末）	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	件 7,457.00	件	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	件 7,300.00	件	
		令和４年度	件 6,886.00	件	
		令和５年度	件 6,464.00	件	

6	直接事業費計	前年度決算額	14,962,213 円	決算額	12,636,605 円

款	01	総務費	予算現額	3,665,000 円
項	01	総務管理費	決算額	3,432,969 円
目	02	国民健康保険団体連合会負担金	前年度決算額	3,333,964 円
			対前年比	103 %

Ⅰ．事務の目的体系

1 事業名	国民健康保険団体連合会負担金事業	ｺｰﾄﾞ	03	01	01	02	01	－
2 総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
	基本施策	01 健康づくりを推進する						
	施策の展開方向	④ 医療体制の充実						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	国民健康保険被保険者
2	働きかける相手（対象）	国民健康保険団体連合会等
3	どのような状態にしたいのか（意図）	国民健康保険事務を適正かつ円滑に処理するとともに、国民健康保険医療費の適正化を図ります。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

国民健康保険団体連合会負担金事業
愛知県国民健康保険団体連合会へ一般負担金、共同電算処理システム負担金、レセプト点検記録支払共同処理委託料、保険給付等通知書作成委託料を支出しました。

5 活動指標

指標名	年間レセプト(診療報酬明細書)件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	件 127,168.00	件	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	件 132,453.00	件	
		令和４年度	件 129,329.00	件	
		令和５年度	件 128,305.00	件	

6 直接事業費計	前年度決算額	3,333,964 円	決算額	3,432,969 円

款	01	総務費	予算現額	1,983,000 円
項	02	徴収費	決算額	1,702,449 円
目	01	賦課徴収費	前年度決算額	1,770,804 円
			対前年比	96.1 %

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	国民健康保険徴税事業	ｺｰﾄﾞ	03	01	02	01	01	-
2	総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
		基本施策	01 健康づくりを推進する						
		施策の展開方向	④ 医療体制の充実						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1 誰のために（受益者）	国民健康保険被保険者
2 働きかける相手（対象）	国民健康保険納税義務者（世帯主）
3 どのような状態にしたいのか（意図）	国民健康保険税の適正で公正な賦課徴収を行い、国民健康保険財政の財源を確保します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

国民健康保険徴税事業

国民健康保険税の賦課徴収事務について、主に次の事務を行いました。

⑴ 収納事務について収納課と連携し、滞納に係る収納事務の効率化を図りました。

⑵ 収納課において愛知尾三地区滞納整理機構の共同実施により、国民健康保険税滞納繰越分の徴収強化を図りました。

⑶ 督促状・催告状の通知、口座振替・コンビニ収納、滞納整理等を行いました。

⑷ 保険税未納者に対して短期保険証を活用し、３か月ごとの更新時に収納課と連携し、納税相談を行いました。

⑸ 夜間・休日納税窓口相談を５月、７月、11月、２月の年４回実施しました。

⑹ 非自発的失業者に対する軽減を適用し、失業者に対する保険税の負担軽減を図りました。

⑺ 産前産後期間中における国保税の軽減を適用し、妊婦に対する保険税の負担軽減を図りました。

5 活動指標

指標名	国民健康保険被保険者数（年度平均）	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	人 7,564.00	人	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	人 7,409.00	人	
		令和４年度	人 7,124.00	人	
		令和５年度	人 6,666.00	人	

6 成果指標

指標名	現年課税分収納率	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		令和２年度	% 96.32	% 96.00	愛知県が示す保険者規模別目標収納率を参考に設定しました。
指標の説明（指標式）	収入済額÷調定額×100	令和３年度	% 96.12	% 96.00	
		令和４年度	% 96.44	% 96.00	
		令和５年度	% 96.80	% 96.00	

7 直接事業費計	前年度決算額	1,770,804 円	決算額	1,702,449 円

款	01	総務費	予算現額	179,000 円
項	03	運営協議会費	決算額	176,928 円
目	01	運営協議会費	前年度決算額	151,945 円
			対前年比	116.4 %

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	国民健康保険運営協議会事業	ｺｰﾄﾞ	03	01	03	01	01	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
		基本施策	01 健康づくりを推進する						
		施策の展開方向	④ 医療体制の充実						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	国民健康保険被保険者
2	働きかける相手（対象）	国民健康保険運営協議会委員
3	どのような状態にしたいのか（意図）	国民健康保険法第11条の規定に基づく国民健康保険運営協議会を適正に開催するとともに、国民健康保険事業が健全かつ円滑に運営されるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

国民健康保険運営協議会事業
国民健康保険運営協議会を開催しました。
⑴ 開催回数 ３回（７月19日、12月20日、１月31日）
⑵ 委員数 ９名（公益代表３名、保険医・保険薬剤師代表３名、被保険者代表３名）
⑶ 任期 令和４年５月１日～令和７年４月30日（３年間）

5 活動指標

指標名	運営協議会開催回数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	回 4.00	回	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	回 3.00	回	
		令和４年度	回 3.00	回	
		令和５年度	回 3.00	回	

6	直接事業費計	前年度決算額	151,945 円	決算額	176,928 円

款	02	保険給付費	予算現額	2,066,803,000 円
項	01	療養諸費	決算額	2,024,462,330 円
目	01	一般被保険者療養給付費	前年度決算額	2,025,798,156 円
			対前年比	99.9 %

Ⅰ．事務の目的体系

1 事業名	一般被保険者療養給付費事業	ｺｰﾄﾞ	03	02	01	01	01	－
2 総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
	基本施策	01 健康づくりを推進する						
	施策の展開方向	④ 医療体制の充実						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	保険診療を受けた国民健康保険一般被保険者
2	働きかける相手（対象）	医療機関及び国民健康保険団体連合会
3	どのような状態にしたいのか（意図）	国民健康保険法第42条、第45条に基づき保険給付を適正に執行します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

一般被保険者療養給付費事業
一般被保険者が医療機関等で診療を受けた費用額に対し、法に基づく保険給付費を支給しました。
なお、給付割合は以下のとおりです。
⑴ 未就学児は８割
⑵ ６歳以上（未就学児は除く）70歳未満は７割
⑶ 70歳以上75歳未満は８割（現役並み所得者は７割）

5 活動指標

指標名	支給件数（事業年報 様式15-C表１）	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	件 122,939.00	件	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	件 129,007.00	件	
		令和４年度	件 126,210.00	件	
		令和５年度	件 125,493.00	件	

6 直接事業費計	前年度決算額	2,025,798,156 円	決算額	2,024,462,330 円

款	02	保険給付費	予算現額	1,000 円
項	01	療養諸費	決算額	0 円
目	02	退職被保険者等療養給付費	前年度決算額	0 円
			対前年比	- %

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	退職被保険者等療養給付費事業	ｺｰﾄﾞ	03	02	01	02	01	-
2	総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
		基本施策	01 健康づくりを推進する						
		施策の展開方向	④ 医療体制の充実						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	保険診療を受けた国民健康保険退職被保険者等
2	働きかける相手（対象）	医療機関及び国民健康保険団体連合会
3	どのような状態にしたいのか（意図）	国民健康保険法第42条、第45条に基づき保険給付を適正に執行します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

退職被保険者等療養給付費事業
退職被保険者等が医療機関等で診療を受けた費用額に対し、法に基づく保険給付費を支給しました。
なお、給付割合は以下のとおりです。（当該年度については、支出はありませんでした。）
⑴ 未就学児は８割
⑵ ６歳以上（未就学児は除く）65歳未満は７割

5 活動指標

指標名	支給件数（事業年報 様式18-F表1）	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	件 7.00	件	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	件 0.00	件	
		令和４年度	件 0.00	件	
		令和５年度	件 0.00	件	

6	直接事業費計	前年度決算額	0 円	決算額	0 円

款	02	保険給付費	予算現額	17,237,000 円
項	01	療養諸費	決算額	16,553,072 円
目	03	一般被保険者療養費	前年度決算額	14,007,679 円
			対前年比	118.2 %

Ⅰ．事務の目的体系

1 事業名	一般被保険者療養費事業	ｺｰﾄﾞ	03	02	01	03	01	－
2 総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
	基本施策	01 健康づくりを推進する						
	施策の展開方向	④ 医療体制の充実						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	保険診療を受けた国民健康保険一般被保険者
2	働きかける相手（対象）	一般被保険者、医療機関及び国民健康保険団体連合会
3	どのような状態にしたいのか（意図）	国民健康保険法第54条の規定に基づく療養費を適正に執行します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

一般被保険者療養費事業
一般被保険者の補装具、柔道整復及び鍼灸等の療養に係る費用に対し、法に基づく保険給付費を支給しました。
なお、給付割合は以下のとおりです。
⑴ 未就学児は８割
⑵ ６歳（未就学児は除く）以上70歳未満は７割
⑶ 70歳以上75歳未満は８割（現役並み所得者は７割）

5 活動指標

指標名	支給件数（事業年報 様式15-C表１）	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	件 2,643.00	件	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	件 2,698.00	件	
		令和４年度	件 2,435.00	件	
		令和５年度	件 2,487.00	件	

6 直接事業費計	前年度決算額	14,007,679 円	決算額	16,553,072 円

款	02	保険給付費	予算現額	1,000 円
項	01	療養諸費	決算額	0 円
目	04	退職被保険者等療養費	前年度決算額	0 円
			対前年比	- %

Ⅰ．事務の目的体系

1 事業名	退職被保険者等療養費事業	ｺｰﾄﾞ	03	02	01	04	01	-
2 総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
	基本施策	01 健康づくりを推進する						
	施策の展開方向	④ 医療体制の充実						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	保険診療を受けた国民健康保険退職被保険者等
2	働きかける相手（対象）	退職被保険者等、医療機関及び国民健康保険団体連合会
3	どのような状態にしたいのか（意図）	国民健康保険法第54条の規定に基づく療養費を適正に執行します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

退職被保険者等療養費事業
退職被保険者等の補装具、柔道整復及び鍼灸等の療養に係る費用に対し、法に基づく保険給付費を支給します。
なお、給付割合は以下のとおりです。（当該年度については、支出はありませんでした。）
⑴ 未就学児は８割
⑵ ６歳以上（未就学児は除く）65歳未満は７割

5 活動指標

指標名	支給件数（事業年報 様式18-F表1）	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	件 0.00	件	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	件 0.00	件	
		令和４年度	件 0.00	件	
		令和５年度	件 0.00	件	

6 直接事業費計	前年度決算額	0 円	決算額	0 円

款	02	保険給付費	予算現額	6,389,000 円
項	01	療養諸費	決算額	6,167,606 円
目	05	審査支払手数料	前年度決算額	6,222,571 円
			対前年比	99.1 %

Ⅰ．事務の目的体系

1 事業名	審査支払手数料事業	ｺｰﾄﾞ	03	02	01	05	01	－
2 総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
	基本施策	01 健康づくりを推進する						
	施策の展開方向	④ 医療体制の充実						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1 誰のために（受益者）	国民健康保険団体連合会
2 働きかける相手（対象）	国民健康保険団体連合会
3 どのような状態にしたいのか（意図）	医療機関から送付されるレセプト（診療報酬明細書）の審査及び診療報酬の支払事務を、適正に執行します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

審査支払手数料事業
医療機関等から送付されるレセプト（診療報酬明細書）の内容審査及び診療報酬額の支払事務を、国民健康保険団体連合会に委託し、それに伴う事務手数料を支出しました。

5 活動指標

指標名	審査件数（請求内訳）	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	件 126,302.00	件	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	件 131,749.00	件	
		令和４年度	件 128,597.00	件	
		令和５年度	件 127,460.00	件	

6 直接事業費計	前年度決算額	6,222,571 円	決算額	6,167,606 円

款	02	保険給付費	予算現額	297,044,000 円
項	02	高額療養費	決算額	283,864,405 円
目	01	一般被保険者高額療養費	前年度決算額	266,168,639 円
			対前年比	106.6 %

Ⅰ．事務の目的体系

1 事業名	一般被保険者高額療養費事業	ｺｰﾄﾞ	03	02	02	01	01	－
2 総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
	基本施策	01 健康づくりを推進する						
	施策の展開方向	④ 医療体制の充実						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	保険診療を受けた国民健康保険一般被保険者
2	働きかける相手（対象）	一般被保険者、医療機関及び国民健康保険団体連合会
3	どのような状態にしたいのか（意図）	国民健康保険法第57条の２の規定に基づく高額療養費を適正に執行し、被保険者の経済的負担を軽減します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

一般被保険者高額療養費事業
医療費の一部負担金（自己負担額）が高額になり、一定額（自己負担限度額）を超えた場合に、その超えた額を高額療養費として支給しました。
なお、自己負担限度額は、以下のとおりです。
(1) 70歳未満の人
ア 旧ただし書所得901万円を超える世帯 252,600円
（医療費が842,000円を超えた場合は、その超えた分の１％を加算）
イ 旧ただし書所得600万円超から901万円以下の世帯 167,400円
（医療費が558,000円を超えた場合は、その超えた分の１％を加算）
ウ 旧ただし書所得210万円超から600万円以下の世帯 80,100円
（医療費が267,000円を超えた場合は、その超えた分の１％を加算）
エ 旧ただし書所得210万円以下の世帯 57,600円
オ 住民税非課税世帯 35,400円
(2) 70歳以上の人
ア 現役並所得者（同一世帯に一定の所得（課税所得が145万円）以上の70歳以上の国保被保険者がいる人）
(ｱ) 課税所得690万円以上
252,600円（医療費が842,000円を超えた場合は、その超えた分の１％を加算）
(ｲ) 課税所得380万円以上690万円未満
167,400円（医療費が558,000円を超えた場合は、その超えた分の１％を加算）
(ｳ) 課税所得145万円以上380万円未満
80,100円（医療費が267,000円を超えた場合は、その超えた分の１％を加算）
イ 一般
外来18,000円
外来＋入院57,600円
ウ 低所得Ⅱ（同一世帯の世帯主及び国保被保険者が住民税非課税の人（低所得Ⅰ以外の人））
外来8,000円
外来＋入院24,600円
エ 低所得Ⅰ（同一世帯の世帯主及び国保被保険者が住民税非課税で、その世帯の各所得が必要経費・控除（年金の所得は控除額を80万円として計算）を差し引いたときに０円となる人）
外来8,000円
外来＋入院15,000円

5 活動指標

指標名	支給件数（事業年報）	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	件 4,697.00	件	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	件 4,882.00	件	
		令和４年度	件 5,011.00	件	
		令和５年度	件 4,931.00	件	

6 直接事業費計	前年度決算額	266,168,639 円	決算額	283,864,405 円	

款	02	保険給付費	予算現額	1,000 円
項	02	高額療養費	決算額	0 円
目	02	退職被保険者等高額療養費	前年度決算額	0 円
			対前年比	- %

Ⅰ．事務の目的体系

1 事業名	退職被保険者等高額療養費事業	ｺｰﾄﾞ	03	02	02	02	01	-
2 総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
	基本施策	01 健康づくりを推進する						
	施策の展開方向	④ 医療体制の充実						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1 誰のために（受益者）	保険診療を受けた国民健康保険退職被保険者等
2 働きかける相手（対象）	退職被保険者等、医療機関及び国民健康保険団体連合会
3 どのような状態にしたいのか（意図）	国民健康保険法第57条の２の規定に基づく高額療養費を適正に執行し、被保険者の経済的負担を軽減します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

退職被保険者等高額療養費事業
医療費の一部負担金（自己負担額）が高額になり、一定額（自己負担限度額）を超えた場合に、その超えた額を高額療養費として支給します。（当該年度については、支出はありませんでした。）
なお、自己負担限度額は、以下のとおりです。
⑴ 旧ただし書所得901万円を超える世帯 252,600円
（医療費が842,000円を超えた場合は、その超えた分の１％を加算）
⑵ 旧ただし書所得600万円超から901万円以下の世帯 167,400円
（医療費が558,000円を超えた場合は、その超えた分の１％を加算）
⑶ 旧ただし書所得210万円超から600万円以下の世帯 80,100円
（医療費が267,000円を超えた場合は、その超えた分の１％を加算）
⑷ 旧ただし書所得210万円以下の世帯 57,600円
⑸ 住民税非課税世帯 35,400円

5 活動指標

指標名	支給件数（事業年報）	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	件 0.00	件	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	件 0.00	件	
		令和４年度	件 0.00	件	
		令和５年度	件 0.00	件	

6 直接事業費計	前年度決算額	0 円	決算額	0 円

款	02	保険給付費	予算現額	350,000 円
項	02	高額療養費	決算額	153,588 円
目	03	一般被保険者高額介護合算療養費	前年度決算額	330,871 円
			対前年比	46.4 %

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	一般被保険者高額介護合算療養費事業	ｺｰﾄﾞ	03	02	02	03	01	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
		基本施策	01 健康づくりを推進する						
		施策の展開方向	④ 医療体制の充実						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	保険診療を受けた国民健康保険一般被保険者
2	働きかける相手（対象）	一般被保険者、医療機関及び国民健康保険団体連合会
3	どのような状態にしたいのか（意図）	国民健康保険法第57条の３の規定に基づく高額介護合算療養費を適正に執行し、被保険者の経済的負担を軽減します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

一般被保険者高額介護合算療養費事業

医療費の一部負担金（自己負担額）が高額になった世帯に介護保険の受給者がいる場合に、前年８月から当該年の７月までの１年間における国民健康保険と介護保険の自己負担限度額を適用後に合算して自己負担限度額を超えた額を高額療養費として支給しました。

なお、自己負担限度額は、以下のとおりです。

(1) 70歳未満の人の世帯

ア 旧ただし書所得901万円を超える世帯	2,120,000円
イ 旧ただし書所得600万円超から901万円以下の世帯	1,410,000円
ウ 旧ただし書所得210万円超から600万円以下の世帯	670,000円
エ 旧ただし書所得210万円以下の世帯	600,000円
オ 住民税非課税の世帯	340,000円

(2) 70歳以上の人の世帯

ア 課税所得690万円以上の世帯	2,120,000円
イ 課税所得380万円以上690万円未満の世帯	1,410,000円
ウ 課税所得145万円以上380万円未満の世帯	670,000円
エ 課税所得145万円未満の世帯	560,000円
オ 住民税非課税の世帯	310,000円
カ 住民税非課税の世帯（所得が一定以下）	190,000円

5 活動指標

指標名	支給件数（事業年報）	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	件 10.00	件	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	件 10.00	件	
		令和４年度	件 12.00	件	
		令和５年度	件 6.00	件	

6	直接事業費計	前年度決算額	330,871 円	決算額	153,588 円

款	02	保険給付費	予算現額	1,000 円
項	02	高額療養費	決算額	0 円
目	04	退職被保険者高額介護合算療養費	前年度決算額	0 円
			対前年比	- %

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	退職被保険者等高額介護合算療養費事業	ｺｰﾄﾞ	03	02	02	04	01	-
2	総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
		基本施策	01 健康づくりを推進する						
		施策の展開方向	④ 医療体制の充実						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	保険診療を受けた国民健康保険退職被保険者等
2	働きかける相手（対象）	退職被保険者等、医療機関及び国民健康保険団体連合会
3	どのような状態にしたいのか（意図）	国民健康保険法第57条の３の規定に基づく高額介護合算療養費を適正に執行し、被保険者の経済的負担を軽減します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

退職被保険者等高額介護合算療養費事業
医療費の一部負担金（自己負担額）が高額になった世帯に介護保険の受給者がいる場合に、前年８月から当該年の７月までの１年間における国民健康保険と介護保険の自己負担限度額を適用後に、合算して自己負担限度額を超えた額を高額療養費として支給します。（当該年度については、支出はありませんでした。）
なお、自己負担限度額は、以下のとおりです。

(1)	旧ただし書所得901万円を超える世帯	2,120,000円
(2)	旧ただし書所得600万円超から901万円以下の世帯	1,410,000円
(3)	旧ただし書所得210万円超から600万円以下の世帯	670,000円
(4)	旧ただし書所得210万円以下の世帯	600,000円
(5)	住民税非課税の世帯	340,000円

5 活動指標

指標名	支給件数（事業年報）	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	件 0.00	件	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	件 0.00	件	
		令和４年度	件 0.00	件	
		令和５年度	件 0.00	件	

6	直接事業費計	前年度決算額 0 円	決算額	0 円

款	02	保険給付費	予算現額	50,000 円
項	03	移送費	決算額	0 円
目	01	一般被保険者移送費	前年度決算額	0 円
			対前年比	- %

Ⅰ．事務の目的体系

1 事業名	一般被保険者移送費事業	ｺｰﾄﾞ	03	02	03	01	01	-
2 総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
	基本施策	01 健康づくりを推進する						
	施策の展開方向	④ 医療体制の充実						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	保険診療による移送を必要とした国民健康保険一般被保険者
2	働きかける相手（対象）	国民健康保険一般被保険者
3	どのような状態にしたいのか（意図）	国民健康保険法第54条の４の規定に基づく移送費を適正に執行し、被保険者の経済的負担を軽減します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

一般被保険者移送費事業
必要と認められる重病人の入院や転院などの移送費を支給します。（当該年度については、支出はありませんでした。）

5 活動指標

指標名	支給件数（事業年報）	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	件 0.00	件	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	件 0.00	件	
		令和４年度	件 0.00	件	
		令和５年度	件 0.00	件	

6 直接事業費計	前年度決算額	0 円	決算額	0 円

款	02	保険給付費	予算現額	1,000 円
項	03	移送費	決算額	0 円
目	02	退職被保険者等移送費	前年度決算額	0 円
			対前年比	- %

Ⅰ．事務の目的体系

1 事業名	退職被保険者等移送費事業	ｺｰﾄﾞ	03	02	03	02	01	-
2 総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
	基本施策	01 健康づくりを推進する						
	施策の展開方向	④ 医療体制の充実						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1 誰のために（受益者）	保険診療による移送を必要とした国民健康保険退職被保険者等
2 働きかける相手（対象）	国民健康保険退職被保険者等
3 どのような状態にしたいのか（意図）	国民健康保険法第54条の４の規定に基づく移送費を適正に執行し、被保険者の経済的負担を軽減します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

退職被保険者等移送費事業
　必要と認められる重病人の入院や転院などの移送費を支給します。（当該年度については、支出はありませんでした。）

5 活動指標

指標名	支給件数（事業年報）	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	件 0.00	件	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	件 0.00	件	
		令和４年度	件 0.00	件	
		令和５年度	件 0.00	件	

6 直接事業費計	前年度決算額	0 円	決算額	0 円

款	02	保険給付費	予算現額	8,603,780 円
項	04	出産育児諸費	決算額	8,603,780 円
目	01	出産育児一時金	前年度決算額	7,131,360 円
			対前年比	120.6 %

Ⅰ．事務の目的体系

1 事業名	出産育児一時金事業	ｺｰﾄﾞ	03	02	04	01	01	－
2 総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
	基本施策	01 健康づくりを推進する						
	施策の展開方向	④ 医療体制の充実						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	出産をした国民健康保険被保険者
2	働きかける相手（対象）	国民健康保険被保険者
3	どのような状態にしたいのか（意図）	国民健康保険法第58条の規定に基づき適正に執行することにより、国民健康保険被保険者の出産費用を軽減し、安心して出産できるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

出産育児一時金事業
被保険者が出産したときに、一時金として令和5年3月31日までの出産には408,000円（産科医療補償制度の対象となる分娩については12,000円を加算）令和5年4月1日以降の出産には488,000円（産科医療補償制度の対象となる分娩については12,000円を加算）を支給しました。
なお、妊娠12週（85日）以降であれば、死産・流産でも支給します。

5 活動指標

指標名	支給件数（事業年報）	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	件 16.00	件	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	件 16.00	件	
		令和４年度	件 17.00	件	
		令和５年度	件 18.00	件	

6 直接事業費計	前年度決算額	7,131,360 円	決算額	8,603,780 円

款	02	保険給付費	予算現額	2,301,220 円
項	05	葬祭諸費	決算額	1,550,000 円
目	01	葬祭費	前年度決算額	2,000,000 円
			対前年比	77.5 %

Ⅰ．事務の目的体系

1 事業名	葬祭費事業	ｺｰﾄﾞ	03	02	05	01	01	－
2 総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
	基本施策	01 健康づくりを推進する						
	施策の展開方向	④ 医療体制の充実						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	葬祭を行った国民健康保険被保険者
2	働きかける相手（対象）	国民健康保険被保険者
3	どのような状態にしたいのか（意図）	国民健康保険法第58条の規定に基づき適正に執行することにより、国民健康保険被保険者が死亡したときの葬祭費に係る経済的負担を軽減します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

葬祭費事業
被保険者が死亡したときに、その者の葬祭を行う者に対して、葬祭費50,000円を支給しました。

5 活動指標

指標名	支給件数（事業年報）	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	件 49.00	件	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	件 36.00	件	
		令和４年度	件 40.00	件	
		令和５年度	件 31.00	件	

6 直接事業費計	前年度決算額	2,000,000 円	決算額	1,550,000 円

款	02	保険給付費	予算現額	200,000 円
項	06	傷病手当金諸費	決算額	69,176 円
目	01	傷病手当金費	前年度決算額	350,118 円
			対前年比	19.8 %

Ⅰ．事務の目的体系

1 事業名	傷病手当金事業	ｺｰﾄﾞ	03	02	06	01	01	－
2 総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
	基本施策	01 健康づくりを推進する						
	施策の展開方向	④ 医療体制の充実						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	国民健康保険被保険者
2	働きかける相手（対象）	新型コロナウイルス感染症に感染した国民健康保険被保険者の被用者等
3	どのような状態にしたいのか（意図）	新型コロナウイルス感染症に感染した国民健康保険被保険者の被用者等に傷病手当金を適正に執行します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

傷病手当金事業
新型コロナウイルス感染症に感染した被用者等の国民健康保険被保険者に、労務に服することができない期間（一定要件あり）に傷病手当金を支給しました。

5 活動指標

指標名	支給件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	件 1.00	件	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	件 6.00	件	
		令和４年度	件 15.00	件	
		令和５年度	件 2.00	件	

6	直接事業費計	前年度決算額	350,118 円	決算額	69,176 円

款	03	国民健康保険事業費納付金	予算現額	726,810,000 円
項	01	医療給付費分	決算額	726,809,797 円
目	01	一般被保険者医療給付費分	前年度決算額	711,739,344 円
			対前年比	102.1 %

Ⅰ．事務の目的体系

1 事業名	一般被保険者医療給付費分納付金事業	ｺｰﾄﾞ	03	03	01	01	01	－
2 総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
	基本施策	01 健康づくりを推進する						
	施策の展開方向	④ 医療体制の充実						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	国民健康保険一般被保険者
2	働きかける相手（対象）	愛知県
3	どのような状態にしたいのか（意図）	国民健康保険法の規定に基づき一般被保険者に係る医療給付費分納付金を愛知県に支出します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

一般被保険者医療給付費分納付金事業
一般被保険者に係る医療給付費分の国民健康保険事業費納付金を、愛知県に支出しました。

5 活動指標

指標名	国民健康保険事業費納付金	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	円 740,172,659.00	円	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	円 689,835,599.00	円	
		令和４年度	円 711,739,344.00	円	
		令和５年度	円 726,809,797.00	円	

6 直接事業費計	前年度決算額	711,739,344 円	決算額	726,809,797 円

款	03	国民健康保険事業費納付金	予算現額	4,000 円
項	01	医療給付費分	決算額	3,100 円
目	02	退職被保険者等医療給付費分	前年度決算額	33,200 円
			対前年比	9.3 %

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	退職被保険者等医療給付費分納付金事業	ｺｰﾄﾞ	03	03	01	02	01	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
		基本施策	01 健康づくりを推進する						
		施策の展開方向	④ 医療体制の充実						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	国民健康保険退職被保険者等
2	働きかける相手（対象）	愛知県
3	どのような状態にしたいのか（意図）	国民健康保険法の規定に基づき退職被保険者等に係る医療給付費分納付金を愛知県に支出します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

退職被保険者等医療給付費分納付金事業
退職被保険者等に係る医療給付費分の国民健康保険事業費納付金を、愛知県に支出しました。

5 活動指標

指標名	国民健康保険事業費納付金	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	円 0.00	円	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	円 490,065.00	円	
		令和４年度	円 33,200.00	円	
		令和５年度	円 3,100.00	円	

6	直接事業費計	前年度決算額	33,200 円	決算額	3,100 円

款	03	国民健康保険事業費納付金	予算現額	255,615,000 円
項	02	後期高齢者支援金等分	決算額	255,614,498 円
目	01	一般被保険者後期高齢者支援金等分	前年度決算額	236,545,296 円
			対前年比	108.1 %

Ⅰ．事務の目的体系

1 事業名	一般被保険者後期高齢者支援金等分納付金事業	ｺｰﾄﾞ	03	03	02	01	01	－
2 総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
	基本施策	01 健康づくりを推進する						
	施策の展開方向	④ 医療体制の充実						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	国民健康保険一般被保険者
2	働きかける相手（対象）	愛知県
3	どのような状態にしたいのか（意図）	国民健康保険法の規定に基づき一般被保険者に係る後期高齢者支援金等分を愛知県に支出します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

一般被保険者後期高齢者支援金等分納付金事業
一般被保険者に係る後期高齢者支援金等分の国民健康保険事業費納付金を、愛知県に支出しました。

5 活動指標

指標名	国民健康保険事業費納付金	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	円 238,191,978.00	円	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	円 244,497,842.00	円	
		令和４年度	円 236,545,296.00	円	
		令和５年度	円 255,614,498.00	円	

6 直接事業費計	前年度決算額	236,545,296 円	決算額	255,614,498 円

款	03	国民健康保険事業費納付金	予算現額	91,031,000 円
項	03	介護納付金分	決算額	91,030,550 円
目	01	介護納付金分	前年度決算額	97,371,193 円
			対前年比	93.5 %

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	介護納付金分納付金事業	ｺｰﾄﾞ	03	03	03	01	01	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
		基本施策	01 健康づくりを推進する						
		施策の展開方向	④ 医療体制の充実						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	国民健康保険介護２号被保険者
2	働きかける相手（対象）	愛知県
3	どのような状態にしたいのか（意図）	国民健康保険法の規定に基づき介護２号被保険者に係る介護納付金分納付金を愛知県に支出します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

介護納付金分納付金事業
介護２号被保険者に係る介護納付金分の国民健康保険事業費納付金を、愛知県に支出しました。

5 活動指標

指標名	国民健康保険事業費納付金	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	円 84,205,091.00	円	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	円 97,726,668.00	円	
		令和４年度	円 97,371,193.00	円	
		令和５年度	円 91,030,550.00	円	

6	直接事業費計	前年度決算額	97,371,193 円	決算額	91,030,550 円

款	04	保健事業費	予算現額	2,132,000 円
項	01	保健事業費	決算額	1,886,992 円
目	01	保健衛生普及費	前年度決算額	2,066,146 円
			対前年比	91.3 %

Ⅰ．事業の目的体系

1 事業名	保健衛生普及費事業	ｺｰﾄﾞ	03	04	01	01	01	-
2 総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
	基本施策	01 健康づくりを推進する						
	施策の展開方向	① 疾病予防・健康増進の推進						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1 誰のために（受益者）	国民健康保険被保険者
2 働きかける相手（対象）	国民健康保険被保険者、国民健康保険団体連合会
3 どのような状態にしたいのか（意図）	被保険者自らの健康への関心を高め、日常の健康管理や健康に関する取組により、被保険者の健康保持及び医療費の抑制が図られるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

保健衛生普及費事業
疾病予防に資するため、以下の事業を実施しました。
⑴ 医療費の通知（年６回）
⑵ 後発（ジェネリック）医薬品の差額通知（年２回）

5 活動指標

指標名	医療費通知の発送件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	通 23,305.00	通	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	通 23,412.00	通	
		令和４年度	通 23,066.00	通	
		令和５年度	通 22,138.00	通	

6 成果指標

指標名	後発（ジェネリック）医薬品の利用割合	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		令和２年度	% 74.20	% 71.68	過去２か年の平均
指標の説明（指標式）	ジェネリック医薬品レセプト件数÷総レセプト件数×100（当該年度９月診療分）	令和３年度	% 76.10	% 72.55	
		令和４年度	% 76.70	% 75.15	
		令和５年度	% 78.50	% 76.40	

7 直接事業費計	前年度決算額	2,066,146 円	決算額	1,886,992 円

款	04	保健事業費	予算現額	6,074,000 円
項	01	保健事業費	決算額	5,223,854 円
目	02	疾病予防費	前年度決算額	5,041,147 円
			対前年比	103.6 %

Ⅰ．事業の目的体系

1 事業名	疾病予防事業	ｺｰﾄﾞ	03	04	01	02	01	－
2 総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
	基本施策	01 健康づくりを推進する						
	施策の展開方向	① 疾病予防・健康増進の推進						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	国民健康保険被保険者
2	働きかける相手（対象）	国民健康保険被保険者、国民健康保険団体連合会
3	どのような状態にしたいのか（意図）	被保険者自らの健康への関心を高め、日常の健康管理や健康に関する取組により、被保険者の健康保持及び医療費の抑制が図られるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

疾病予防事業
疾病予防に資するため、以下の事業を実施しました。 (1)+(2)=90人
(1) 糖尿病重症化予防の保健指導
ア 健診結果により糖代謝異常が疑われ服薬をしていない人へ、集団健診の結果説明会や電話等にて管理栄養士による受診勧奨や栄養指導を行いました。（実施者数 55人）
イ 過去に糖尿病で既往歴はあるが、医療機関の受診歴がない人へ電話や手紙による受診勧奨を行いました。（実施者数 20人）
(2) 糖尿病性腎症重症化予防の保健指導
ア 令和４年度のレセプトを分析し、糖尿病性腎症病期２期～４期の状態にあり、主治医の協力を得た人に対し専門職による、６か月間の継続保健指導を実施しました。（実施者数 ７人）
イ 令和４年度に当保健指導を行った人に対し専門職によるフォローアップの保健指導を実施しました。（実施者数 ８人）
(3) 東郷町国民健康保険第４期特定健康診査等実施計画及び第３期データヘルス計画の策定
ア 策定の目的 保険者が行う健康の保持増進のために必要な事業に関して、その適切かつ有効な実施を図るため、保健事業の実施等に関する指針を定めるため。
イ 計画期間 令和６年度から令和１１年度までの６年

5 活動指標

指標名	指標の説明（指標式）	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
糖尿病重症化予防と糖尿病性腎症重症化予防の保健指導の実施者数		令和２年度	人 76.00	人	個別計画による目標値はありません。
		令和３年度	人 85.00	人	
		令和４年度	人 100.00	人	
		令和５年度	人 90.00	人	

6 成果指標

指標名	指標の説明（指標式）	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
糖尿病重症化予防と糖尿病性腎症重症化予防の保健指導の実施者数/対象者数		令和２年度	% 100.00	% 100.00	前年度実績値
		令和３年度	% 100.00	% 100.00	
		令和４年度	% 100.00	% 100.00	
		令和５年度	% 100.00	% 100.00	

7 直接事業費計	前年度決算額	5,041,147 円	決算額	5,223,854 円

款	04	保健事業費	予算現額	25,708,000 円
項	02	特定健康診査等事業費	決算額	24,345,747 円
目	01	特定健康診査等事業費	前年度決算額	26,528,972 円
			対前年比	91.8 %

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	特定健康診査等事業	ｺｰﾄﾞ	03	04	02	01	01	-
2	総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
		基本施策	01 健康づくりを推進する						
		施策の展開方向	① 疾病予防・健康増進の推進						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	国民健康保険被保険者（40歳以上）
2	働きかける相手（対象）	国民健康保険被保険者（40歳以上）
3	どのような状態にしたいのか（意図）	糖尿病等の生活習慣病、とりわけメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の該当者及び予備群を減少させることにより、疾病の予防・改善や健康増進を図り、将来的な医療費の抑制を図ります。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

特定健康診査等事業

(1) 特定健康診査
集団健診は、40～74歳を対象に実施しました。（実施者454人）
個別健診は、町内14医療機関において５月１日から11月30日の期間で実施しました。（実施者1,734人）
特定健診対象者数 5,365人 受診者 2,188人 受診率 40.8%（速報値）

(2) 特定健診未受診者対策事業 実施者5,978人
健診対象者の内、新規40歳となる者及び過去５年間において健診未受診者の者に対し６月末に、また、８月時点で未受診者に対し、受診勧奨通知を送付しました。

(3) 集団健診結果説明会 実施者 454人
管理栄養士又は保健師が面談で健診の結果を説明し、健康増進を目的とした保健指導を行いました。

(4) 特定保健指導
ア 動機付け支援・・・特定健康診査の結果により「動機付け支援に該当」と判断された者に、生活習慣の改善を促すため、特定保健指導を実施しました。利用者94人① 対象者153人③
イ 積極的支援・・・特定健康診査の結果により「積極的支援該当」と判断された者に、生活習慣の改善を促すため、特定保健指導を実施しました。 利用者18人② 対象者38人④

(5) トレジムを利用した運動支援
特定保健指導の対象者に対して、継続した運動習慣を身に付けるための支援として、運動指導士によるアドバイスを受けながら行うウォーキング教室の実施（参加者延べ人数143人）や、個人毎に作成した運動プログラムを基に実施するトレジム利用券の配布（利用者31人）を行いました。

(6) 医療機関と連携した栄養指導
個別健診を受診した方のうち、医師から栄養指導の紹介があった者に対して、生活習慣病重症化予防を目的とした管理栄養士による栄養指導を行いました。実施者 62人

(7) 特定保健指導未利用者対策事業
特定保健指導未利用者に対し、65～74歳には専門職による電話勧奨（実施者数 72人）を実施し、40～64歳には、対象者の携帯端末を利用したICT保健指導の利用勧奨（実施者数 59人）を行いました。

(8) 特定健診の周知として４月に対象者へ受診券を発送し、各医療機関及び公共施設にのぼり旗を設置しました。

5 活動指標

指標名		年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
特定保健指導対象者数		令和２年度	人 180.00	人
指標の説明（指標式）	特定保健指導の対象者数（動機付け支援③＋積極的支援④）※当該年度は速報値	令和３年度	人 235.00	人
		令和４年度	人 209.00	人
		令和５年度	人 191.00	人

個別計画による目標値はありません。

6 成果指標

指標名		年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
特定保健指導利用率（初回面接実施率）		令和２年度	% 35.60	% 30.00	東郷町国民健康保険第２期データヘルス計画による
指標の説明（指標式）	特定保健指導利用者数（①＋②）÷特定保健指導対象者数（③＋④）【交付金実績値】※当該年度は速報値（112（人）/191（人））	令和３年度	% 36.60	% 32.00	
		令和４年度	% 49.30	% 34.00	
		令和５年度	% 58.60	% 37.00	

7	直接事業費計	前年度決算額	26,528,972 円	決算額	24,345,747 円

款	05	基金積立金	予算現額	34,428,000 円
項	01	基金積立金	決算額	34,421,816 円
目	01	基金積立金	前年度決算額	31,575,724 円
			対前年比	109 %

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	国民健康保険財政調整基金積立金事業	ｺｰﾄﾞ	03	05	01	01	01	-
2	総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
		基本施策	01 健康づくりを推進する						
		施策の展開方向	④ 医療体制の充実						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	国民健康保険被保険者
2	働きかける相手（対象）	国民健康保険財政調整基金
3	どのような状態にしたいのか（意図）	国民健康保険特別会計の健全かつ安定的な財政運営を確保します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

国民健康保険財政調整基金積立金事業
(1) 東郷町国民健康保険財政調整基金の設置及び管理に関する条例に基づく国民健康保険財政調整基金を積み立てました。
(2) 基金残高
ア 令和４年度末残高 86,375,086円
イ 令和５年度中増減
(ｱ) 予算積立 34,382,611円
(ｲ) 利子積立 39,205円
(ｳ) 取崩し 104,691,000円
ウ 令和５年度末残高 16,105,902円

5 活動指標

指標名	指標の説明（指標式）	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
財政調整基金残高	年度末基金残高	令和２年度	円 91,136,131.00	円 個別計画による目標値はありません。
		令和３年度	円 92,854,362.00	円
		令和４年度	円 86,375,086.00	円
		令和５年度	円 16,105,902.00	円

6	直接事業費計	前年度決算額	31,575,724 円	決算額	34,421,816 円

款	06	諸支出金	予算現額	4,000,000 円
項	01	償還金及び還付加算金	決算額	1,759,800 円
目	01	一般被保険者保険税還付金	前年度決算額	2,892,300 円
			対前年比	60.8 %

Ⅰ．事務の目的体系

1 事業名	一般被保険者保険税還付金事業	ｺｰﾄﾞ	03	06	01	01	01	－
2 総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
	基本施策	01 健康づくりを推進する						
	施策の展開方向	④ 医療体制の充実						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	過誤納還付金が発生する国民健康保険一般被保険者
2	働きかける相手（対象）	過誤納還付金が発生する国民健康保険一般被保険者
3	どのような状態にしたいのか（意図）	国民健康保険税過誤納還付金を適正に執行します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

一般被保険者保険税還付金事業
一般被保険者に過年度遡及喪失による保険税過誤納金を還付しました。

5 活動指標

指標名	過誤納還付件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	件 126.00	件	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	件 89.00	件	
		令和４年度	件 91.00	件	
		令和５年度	件 77.00	件	

6 直接事業費計	前年度決算額	2,892,300 円	決算額	1,759,800 円

款	06	諸支出金	予算現額	1,000 円
項	01	償還金及び還付加算金	決算額	0 円
目	02	退職被保険者等保険税還付金	前年度決算額	0 円
			対前年比	- %

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	退職被保険者等保険税還付金事業	ｺｰﾄﾞ	03	06	01	02	01	-
2	総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
		基本施策	01 健康づくりを推進する						
		施策の展開方向	④ 医療体制の充実						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	過誤納還付金が発生する国民健康保険退職被保険者等
2	働きかける相手（対象）	過誤納還付金が発生する国民健康保険退職被保険者等
3	どのような状態にしたいのか（意図）	国民健康保険税過誤納還付金を適正に執行します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

退職被保険者等保険税還付金事業
　退職被保険者等に過年度遡及喪失による保険税過誤納金を還付します。（当該年度については、支出はありませんでした。）

5 活動指標

指標名	過誤納還付件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	件 0.00	件	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	件 0.00	件	
		令和４年度	件 0.00	件	
		令和５年度	件 0.00	件	

6	直接事業費計	前年度決算額	0 円	決算額	0 円

款	06	諸支出金	予算現額	60,000 円
項	01	償還金及び還付加算金	決算額	3,500 円
目	03	一般被保険者保険税還付加算金	前年度決算額	21,200 円
			対前年比	16.5 %

Ⅰ．事務の目的体系

1 事業名	一般被保険者保険税還付加算金事業	ｺｰﾄﾞ	03	06	01	03	01	－
2 総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
	基本施策	01 健康づくりを推進する						
	施策の展開方向	④ 医療体制の充実						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	過誤納還付加算金が発生する国民健康保険一般被保険者
2	働きかける相手（対象）	過誤納還付加算金が発生する国民健康保険一般被保険者
3	どのような状態にしたいのか（意図）	国民健康保険税過誤納還付加算金を適正に執行します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

一般被保険者保険税還付加算金事業
一般被保険者に過誤納還付加算金を支給しました。

5 活動指標	指標名	過誤納還付加算金件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
			令和２年度	件 23.00	件	個別計画による目標値はありません。
	指標の説明（指標式）		令和３年度	件 13.00	件	
			令和４年度	件 12.00	件	
			令和５年度	件 2.00	件	

6 直接事業費計	前年度決算額	21,200 円	決算額	3,500 円

款	06	諸支出金	予算現額	1,000 円
項	01	償還金及び還付加算金	決算額	0 円
目	04	退職被保険者等保険税還付加算金	前年度決算額	0 円
			対前年比	- %

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	退職被保険者等保険税還付加算金事業	ｺｰﾄﾞ	03	06	01	04	01	-
2	総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
		基本施策	01 健康づくりを推進する						
		施策の展開方向	④ 医療体制の充実						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	過誤納還付加算金が発生する国民健康保険退職被保険者等
2	働きかける相手（対象）	過誤納還付加算金が発生する国民健康保険退職被保険者等
3	どのような状態にしたいのか（意図）	国民健康保険税過誤納還付加算金を適正に執行します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

退職被保険者等保険税還付加算金事業
退職被保険者等に過誤納還付加算金を支給します。（当該年度については、支出はありませんでした。）

5 活動指標

指標名	過誤納還付加算金件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	件 0.00	件	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	件 0.00	件	
		令和４年度	件 0.00	件	
		令和５年度	件 0.00	件	

6	直接事業費計	前年度決算額 0 円	決算額	0 円

款	06	諸支出金	予算現額	732,000 円
項	01	償還金及び還付加算金	決算額	732,000 円
目	05	特定健康診査等負担金償還金	前年度決算額	1,444,000 円
			対前年比	50.7 %

Ⅰ．事務の目的体系

1 事業名	特定健康診査等負担金償還金事業	ｺｰﾄﾞ	03	06	01	05	01	－
2 総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
	基本施策	01 健康づくりを推進する						
	施策の展開方向	① 疾病予防・健康増進の推進						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	国民健康保険被保険者
2	働きかける相手（対象）	愛知県
3	どのような状態にしたいのか（意図）	交付を受けた交付金の精算を行います。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

特定健康診査等負担金償還金事業
令和４年度に交付を受けた特定健康診査等負担金の精算金を返還しました。
償還金の内訳
愛知県国民健康保険保険給付費等交付金（特別交付金のうち特定健康診査等負担金分） 732,000円

5 活動指標

指標名	返還金額	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	円 1,038,000.00	円	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	円 1,820,000.00	円	
		令和４年度	円 1,444,000.00	円	
		令和５年度	円 732,000.00	円	

6 直接事業費計	前年度決算額	1,444,000 円	決算額	732,000 円

款	06	諸支出金	予算現額	518,000 円
項	01	償還金及び還付加算金	決算額	518,000 円
目	06	その他償還金	前年度決算額	321,000 円
			対前年比	161.4 %

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	その他償還金事業	ｺｰﾄﾞ	03	06	01	06	01	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
		基本施策	01 健康づくりを推進する						
		施策の展開方向	① 疾病予防・健康増進の推進						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	国民健康保険被保険者
2	働きかける相手（対象）	愛知県
3	どのような状態にしたいのか（意図）	交付を受けた交付金の精算を行います。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

その他償還金事業
償還金の内訳
令和４年度に交付を受けた愛知県国民健康保険保険給付費等交付金（特別交付金のうち国特別調整交付金分）の精算金を返還しました。 518,000円

5 活動指標

指標名	返還金額	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	円 0.00	円	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	円 278,000.00	円	
		令和４年度	円 321,000.00	円	
		令和５年度	円 518,000.00	円	

6	直接事業費計	前年度決算額	321,000 円	決算額	518,000 円

款	06	諸支出金	予算現額	1,000 円
項	02	延滞金	決算額	0 円
目	01	延滞金	前年度決算額	0 円
			対前年比	- %

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	延滞金事業	ｺｰﾄﾞ	03	06	02	01	01	-
2	総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
		基本施策	01 健康づくりを推進する						
		施策の展開方向	④ 医療体制の充実						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	国、県、国民健康保険団体連合会、社会保険診療報酬支払基金
2	働きかける相手（対象）	国、県、国民健康保険団体連合会、社会保険診療報酬支払基金
3	どのような状態にしたいのか（意図）	保険給付の支払い遅延における延滞金を適正に執行します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

延滞金事業
保険給付の支払いが遅延した場合に延滞金を支出します。（当該年度については、支出はありませんでした。）

5 活動指標

指標名	延滞件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	件 0.00	件	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	件 0.00	件	
		令和４年度	件 0.00	件	
		令和５年度	件 0.00	件	

6	直接事業費計	前年度決算額	0 円	決算額	0 円

国民健康保険東郷診療所特別会計

1　概　　要

令和５年度における東郷町国民健康保険東郷診療所特別会計の歳入決算額は１２６，９３４千円で、前年度に対して△１３，７６６千円（△９．８％）の減収となった。

主な収入を前年度と比較するとその増減額（伸率）は、診療収入△１０，７４１千円（△９．０％）、使用料及び手数料１３千円（１．９％）、繰入金９，１８４千円（１４５．５％）、諸収入１４千円（３．１％）、県支出金△１２，２７７千円（△９４．６％）、国庫支出金５４千円（皆増）となった。

歳出決算額は１２６，８１２千円で、前年度に対して１０，８６２千円（９．４％）の増額となった。

主な支出を前年度と比較するとその増減額（伸率）は、総務費６，３０７千円（１２．４％）、医業費２，８４９千円（６．２％）、施設整備費１，０７７千円（３７．６％）、訪問看護事業費６４２千円（３．９％）となった。

歳入歳出決算額　　（単位：千円、％）

区　　分	令和５年度	令和４年度	増減額	伸率
歳　入　総　額	126,934	140,700	△13,766	△9.8
歳　出　総　額	126,812	115,950	10,862	9.4
歳入歳出差引額	122	24,750		

2　歳　　入

令和５年度の歳入決算額は１２６，９３４千円で、前年度に対して△１３，７６６千円（△９．８％）の減収となった。

⑴　歳入決算額　　（単位：千円、％）

区　　分	令和５年度	令和４年度	増減額	伸率
1　診療収入	108,998	119,739	△10,741	△9.0
2　使用料及び手数料	708	695	13	1.9
3　財産収入	23	36	△13	△36.1
4　繰入金	15,494	6,310	9,184	145.5
5　繰越金	500	500	0	0.0
6　諸収入	463	449	14	3.1
7　県支出金	694	12,971	△12,277	△94.6
8　国庫支出金	54	0	54	皆増
合　　計	126,934	140,700	△13,766	△9.8

⑵　歳入決算額明細　　（単位：千円、％）

区　　分		令和５年度	令和４年度	増減額	伸率
１診療収入		108,998	119,739	△10,741	△9.0
	国民健康保険診療報酬収入	10,797	11,158	△361	△3.2
	社会保険診療報酬収入	15,982	18,734	△2,752	△14.7
	後期高齢者診療報酬収入	27,716	26,589	1,127	4.2
	一部負担金	10,405	9,910	495	5.0
	その他の保険等診療報酬収入	12,600	15,609	△3,009	△19.3
	諸検査等収入	1,790	1,794	△4	△0.2
	受託検査等収入	22,082	26,552	△4,470	△16.8
	訪問看護療養事業収入	4,240	4,617	△377	△8.2
	訪問看護介護事業収入	3,386	4,776	△1,390	△29.1
２　使用料及び手数料		708	695	13	1.9
	使　用　料	21	23	△2	△8.7
	手　数　料	687	672	15	2.2
３　財産収入		23	36	△13	△36.1
	利子及び配当金	23	36	△13	△36.1
	物品売払収入	0	0	0	－
４　繰入金		15,494	6,310	9,184	145.5
	一般会計繰入金	2,338	2,245	93	4.1
	基金繰入金	13,156	4,065	9,091	223.6
５　繰越金		500	500	0	0.0
	繰　越　金	500	500	0	0.0
６　諸収入		463	449	14	3.1
	雑　　入	463	449	14	3.1
７　県支出金		694	12,971	△12,277	△94.6
	県補助金	694	12,971	△12,277	△94.6
８　国庫支出金		54	0	54	皆増
	国庫補助金	54	0	54	階増
合　　計		126,934	140,700	△13,766	△9.8

３　歳　　出

令和５年度の歳出決算額は１２６，８１２千円で、前年度に対して１０，８６２千円（９．４％）の増額となった。

その主な内容は、総務費が５７，２６３千円で全体の４５．１％を占め、次に医業費が４８，６５５千円で全体の３８．４％を占めている。

⑴　歳出決算額　　（単位：千円、％）

区　分	令和５年度	令和４年度	増減額	伸率
１ 総　　務　　費	57,263	50,956	6,307	12.4
２ 医　　業　　費	48,655	45,806	2,849	6.2
３ 施 設 整 備 費	3,945	2,868	1,077	37.6
４ 訪問看護事業費	16,926	16,284	642	3.9
５ 諸　支　出　金	23	36	△13	△36.1
６ 予　　備　　費	0	0	0	－
合　　計	126,812	115,950	10,862	9.4

⑵　診療所の診療人数状況　　（単位：人）

区　　分		令和５年度	令和４年度	増減
外 来 患 者		10,376	11,440	△1,064
	一般外来	6,823	6,851	△28
	検診・健診	1,401	1,656	△255
	予防接種	2,152	2,933	△781
訪 問 診 察		726	618	108
	愛厚ホーム	651	524	127
	往診診察	75	94	△19
合　　計		11,102	12,058	△956
診療収入額（千円）		101,372	110,346	△8,974
１人当たりの収入額(円)		9,131	9,151	△20

⑶　訪問看護事業の利用状況　　（単位：回）

区　　分		令和５年度	令和４年度	増減
訪 問 数	医療保険	361	364	△3
	介護保険	343	498	△155
合　　計		704	862	△158
事業収入額（千円）		7,626	9,393	△1,767
１訪問当たりの収入額(円)		10,832	10,897	△65

事業の内容については、次ページ以降のとおりである。

款	01	総務費	予算現額	59,985,000 円
項	01	施設管理費	決算額	57,151,140 円
目	01	一般管理費	前年度決算額	50,843,530 円
			対前年比	112.4 %

Ⅰ．事務の目的体系

1 事業名	診療所一般管理事業	ｺｰﾄﾞ	05	01	01	01	02	-
2 総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
	基本施策	01 健康づくりを推進する						
	施策の展開方向	④ 医療体制の充実						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1 誰のために（受益者）	職員及び外来患者
2 働きかける相手（対象）	診療所施設及び業者、医師会等
3 どのような状態にしたいのか（意図）	医療事務に関する必要な知識を身に付けるとともに、医療事務が円滑かつ効率的に運営できるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

診療所一般事務事業
受付及び医療費請求事務を医療事務の専門業者に委託し、業務の効率化を図りました。
また、医学の急速な進歩に対応するため、研修会、学術書、専門機関のホームページ等を通じ情報収集や専門知識の習得に努めました。
(1) 医師会及び看護協会への加盟
医師会及び看護協会が主催する会議や研修会へ参加することなどにより、医療に関する社会の動き、医療及び看護の知識・技術の習得を行いました。（オンライン２回、セミナー動画視聴２回）
(2) 事務臨時職員の任用
事務補助のための会計年度任用職員１名を任用しました。
(3) 医療受付事務
ア 医療受付事務を専門業者に委託し、専門かつ丁寧な受付や正確かつ適正な診療報酬請求に努めました。
イ 医療事務システム老朽化のため、医療事務システムを更新しました。
(4) 医療従事者への予防接種等
医療業務に従事する医師、看護師等へのインフルエンザ予防接種やＨＢＳ抗原・抗体検査等、放射線被ばく測定を実施しました。
(5) 消費税の納付
ア 人間ドック及び予防接種料等の収入（診療報酬を除く。）に対する令和４年度分消費税（確定納付）、令和５年度分消費税（中間納付）を支出しました。
イ 令和５年10月よりインボイス制度開始に伴い、対応する請求書の発行を開始しました。
(6) 往診車両の管理
往診で使用する普通自動車の維持管理を行いました。
(7) 東郷町災害時医療救護活動マニュアルに基づき、令和５年９月29日に訓練を実施しました。

5 活動指標

指標名	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
医師会学会、看護師研修参加回数	令和２年度	回 5.00	回	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	令和３年度	回 8.00	回	
	令和４年度	回 8.00	回	
	令和５年度	回 4.00	回	

6 直接事業費計	前年度決算額	13,948,715 円	決算額	15,621,799 円

款	01	総務費	予算現額	120,000 円
項	02	委員会費	決算額	111,472 円
目	01	委員会費	前年度決算額	112,405 円
			対前年比	99.2 %

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	診療所運営委員会運営事業	ｺｰﾄﾞ	05	01	02	01	01	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
		基本施策	01 健康づくりを推進する						
		施策の展開方向	④ 医療体制の充実						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	地域住民及び外来患者
2	働きかける相手（対象）	東郷診療所運営委員会
3	どのような状態にしたいのか（意図）	診療所運営委員会を適正に開催するとともに、診療所事業が適正かつ円滑に運営できるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

診療所運営委員会運営事業
　東郷町国民健康保険東郷診療所運営委員会規則に基づき、東郷診療所運営委員会を開催し、診療所の運営に関する重要な事項について審議しました。
⑴ 開催回数　２回（令和５年８月１日、令和６年２月８日）
⑵ 委員数　　９名（公益代表３名、学識経験者３名、住民代表３名）
⑶ 任　期　　令和４年４月１日から令和７年３月31日まで

5 活動指標

指標名	運営委員会開催回数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	回 2.00	回	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	回 2.00	回	
		令和４年度	回 2.00	回	
		令和５年度	回 2.00	回	

6	直接事業費計	前年度決算額	112,405 円	決算額	111,472 円

款	02	医業費	予算現額	52,060,000 円
項	01	医業費	決算額	48,655,239 円
目	01	医業費	前年度決算額	45,805,737 円
			対前年比	106.2 %

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	診療所運営事業	ｺｰﾄﾞ	05	02	01	01	01	-
2	総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
		基本施策	01 健康づくりを推進する						
		施策の展開方向	④ 医療体制の充実						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1 誰のために（受益者）	診療の必要がある人、町民
2 働きかける相手（対象）	診療の必要がある人、町民、職員等、東郷町診療所施設設備
3 どのような状態にしたいのか（意図）	安心して受診できる診療体制を確立するとともに、疾病の早期発見や適切な治療を提供します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

診療所運営事業
令和５年度における外来患者及び往診等を行った患者の合計は11,102人でした。
町民の健康維持を図るため、特定健診やがん検診、安心人間ドックなどの健診等を1,401人実施しました。また、予防接種を2,152人実施しました。
(1) 医療機器等
ア 骨密度測定装置、Ｘ線透視撮影装置、視力計の修繕を行いました。
イ 安定した医療を提供するため血圧脈波検査装置を更新しました。
(2) 医薬材料
治療及び予防のために処方する医薬材料を購入しました。
(3) 臨床検査
受診者の状態を把握するための病理学的検査や各種臨床検査について、検査精度を確保するため専門業者に委託しました。
(4) 臨時医師等雇用
ア 藤田医科大学病院から専門医（循環器内科、消化器内科）を派遣いただき、毎週金曜日と土曜日に診療を行いました。
イ 診療、看護業務の円滑な遂行を図るため、看護師（６人）放射線技師（１人）を任用しました。
(5) 新型コロナウイルス感染症対応
発熱等により感染の疑いのある患者用の診察スペースを設置し、新型コロナウイルス感染症に感染の疑いのある患者（風邪症状、発熱など）の診察を実施しました。

5 活動指標

指標名		年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
検査人数		令和２年度	人 1,639.00	人	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	検査を行った人の人数（特定健康診査、各種がん検診、結核検診、人間ドック、自費健診など）	令和３年度	人 1,728.00	人	
		令和４年度	人 1,656.00	人	
		令和５年度	人 1,401.00	人	

6 成果指標

指標名		年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
診療患者数		令和２年度	人 12,294.00	人 12,928.00	前年度の実績
指標の説明（指標式）	患者の延べ人数	令和３年度	人 14,333.00	人 12,294.00	
		令和４年度	人 12,058.00	人 14,333.00	
		令和５年度	人 11,102.00	人 12,058.00	

7 直接事業費計	前年度決算額	45,805,737 円	決算額		48,655,239 円

款	03	施設整備費	予算現額	3,999,700 円
項	01	施設整備費	決算額	3,945,115 円
目	01	施設整備費	前年度決算額	2,867,861 円
			対前年比	137.6 %

Ⅰ．事務の目的体系

1 事業名	診療所管理事業	ｺｰﾄﾞ	05	03	01	01	01	－
2 総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
	基本施策	01 健康づくりを推進する						
	施策の展開方向	④ 医療体制の充実						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	診療の必要がある人、町民、職員等
2	働きかける相手（対象）	東郷診療所施設設備、職員等
3	どのような状態にしたいのか（意図）	施設の機能を適正に維持することで、快適な診療環境を提供します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

診療所管理事業
(1) 快適な診療環境を保つため、施設の日常的な清掃、受水槽清掃、消防設備保守点検、空調設備保守点検、自家用電気工作物保守点検、自動ドア保守点検、及び機械警備業務を委託しました。
(2) 施設整備費
ア 空調設備の修繕を行いました。
イ 給水ポンプユニットの修繕を行いました。
ウ 自家用電気工作物の修繕を行いました。
エ 自動ドアの修繕を行いました。
オ 消防設備（誘導灯）の修繕を行いました。

5 活動指標

指標名	指標の説明（指標式）	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
施設管理委託業務数	保守点検や維持管理について業者委託している件数	令和２年度	件 8.00	件	個別計画による目標値はありません。
		令和３年度	件 8.00	件	
		令和４年度	件 8.00	件	
		令和５年度	件 7.00	件	

6 直接事業費計	前年度決算額	2,867,861 円	決算額	3,945,115 円

款	04	訪問看護事業費	予算現額	17,443,000 円
項	01	訪問看護事業費	決算額	16,925,646 円
目	01	訪問看護事業費	前年度決算額	16,283,822 円
			対前年比	103.9 %

Ⅰ．事業の目的体系

1 事業名	訪問看護事業	ｺｰﾄﾞ	05	04	01	01	02	-
2 総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
	基本施策	01 健康づくりを推進する						
	施策の展開方向	④ 医療体制の充実						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1 誰のために（受益者）	町内の家庭内における療養上の看護が必要な人及びその家族
2 働きかける相手（対象）	町内の家庭内における療養上の看護が必要な人及びその家族
3 どのような状態にしたいのか（意図）	要介護者及び要医療者の精神及び身体の現状の維持・回復を図り、安心して在宅で暮らすことができるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

訪問看護事業
主治医の指示のもと訪問看護師が利用者の自宅を訪問し、在宅医療を延べ704回実施しました。また、訪問看護に関する研修会、学術書、専門機関のホームページ等を通じ情報収集や専門知識の習得に努めました。
⑴ 在宅療養
ア 診療上の世話として病状の観察、食事・排泄・衛生の管理及び援助、精神面の支援を行いました。
イ 診療の補助とし褥創（じょくそう）の処置、カテーテルの管理などの医療処置等を行いました。
ウ 機能回復のための訓練（リハビリテーション）の援助を行いました。
エ 家族への支援として療養上の指導、健康管理、精神的支援等を行いました。
⑵ 訪問車両の管理
訪問看護業務に使用する軽自動車の法定点検、継続検査等の維持管理を行いました。
⑶ 医療機関院内感染防止対策事業
ア 使用物品・手指消毒の徹底し、防護具を着用のうえ訪問看護業務を実施しました。
イ 地域の訪問看護事業所管において、災害・感染症発生時の対応・体制について検討しました。

5 活動指標

指標名	延べ訪問回数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	回 1,174.00	回	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	回 902.00	回	
		令和４年度	回 862.00	回	
		令和５年度	回 704.00	回	

6 成果指標

指標名	1回当たりの訪問時間	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		令和２年度	分 47.00	分 43.78	前年度実績
指標の説明（指標式）	年間患者宅滞在時間÷年間利用件数（令和５年度 36,450分÷704回）	令和３年度	分 50.57	分 47.00	
		令和４年度	分 49.82	分 50.57	
		令和５年度	分 51.77	分 49.82	

7 直接事業費計	前年度決算額	2,980,425 円	決算額	2,972,327 円

款	05	諸支出金	予算現額	24,000 円
項	01	積立金	決算額	23,400 円
目	01	積立金	前年度決算額	36,336 円
			対前年比	64.4 %

Ⅰ．事務の目的体系

1 事業名	東郷診療所財政調整基金積立金事業	ｺｰﾄﾞ	05	05	01	01	01	－
2 総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
	基本施策	01 健康づくりを推進する						
	施策の展開方向	④ 医療体制の充実						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	診療の必要がある人
2	働きかける相手（対象）	東郷診療所財政調整基金
3	どのような状態にしたいのか（意図）	診療所の財政運営安定化のため、東郷町国民健康保険東郷診療所財政調整基金の設置及び管理に関する条例に基づき積み立てを行います。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

東郷診療所財政調整基金積立金事業
(1) 財政運営安定のため東郷町国民健康保険東郷診療所財政調整基金に積立を行いました。
(2) 基金残高
ア 令和４年度末残高 96,043,417円
イ 令和５年度中増減
(ｱ) 決算積立 24,250,456円
(ｲ) 利子積立 23,400円
(ｳ) 取崩し 13,156,000円
ウ 令和５年度末残高 107,161,273円

5 活動指標

指標名	財政調整基金残高	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	円 71,071,735.00	円	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	年度末基金残高	令和３年度	円 76,646,632.00	円	
		令和４年度	円 96,043,417.00	円	
		令和５年度	円 107,161,273.00	円	

6 直接事業費計	前年度決算額	36,336 円	決算額	23,400 円

後期高齢者医療特別会計

1　概　　要

令和５年度における東郷町後期高齢者医療特別会計の歳入決算額は、６５４，００５千円で、前年度に対して２５，６１４千円（４．１％）の増収となった。

主な収入を前年度と比較するとその増額（伸率）は、後期高齢者医療保険料１９，５４７千円（３．６％）、繰入金７，８８５千円（９．４％）となった。

歳出決算額は６５０，５３３千円で、前年度に対して２３，６４０千円（３．８％）の増額となった。

主な支出を前年度と比較するとその増減額（伸率）は、後期高齢者医療広域連合納付金２４，９６８千円（４．０％）、総務費△１，２８２千円（△２２．７％）となった。

⑴　歳入歳出決算額　　（単位：千円、％）

区　　分	令和５年度	令和４年度	増減額	伸率
歳　入　総　額	654,005	628,391	25,614	4.1
歳　出　総　額	650,533	626,893	23,640	3.8
歳入歳出差引額	3,472	1,498		

⑵　被保険者数の状況　　（単位：人）

令和５年度末	令和４年度末	増減
5,967	5,655	312

2　歳　　入

令和５年度の歳入決算額は６５４，００５千円で、前年度に対して２５，６１４千円（４．１％）の増収となった。

その主な内容は、後期高齢者医療保険料が５５９，９６３千円で全体の８５．６％を占め、一般会計からの事務費や保険基盤安定などの繰入金が９１，９６０千円（１４．１％）となっている。

⑴　歳入決算額　　（単位：千円、％）

区　　分	令和５年度	令和４年度	増減額	伸率
１　後期高齢者医療保険料	559,963	540,416	19,547	3.6
２　繰入金	91,960	84,075	7,885	9.4
３　諸収入	583	542	41	7.6
４　繰越金	1,499	1,545	△46	△3.0
国庫支出金	0	1,813	△1,813	皆減
合　　計	654,005	628,391	25,614	4.1

⑵　歳入決算額の明細　　（単位：千円、％）

区　　分		令和５年度	令和４年度	増減額	伸率
後期高齢者医療保険料	特別徴収	245,615	231,176	14,439	6.2
	普通徴収	313,210	307,737	5,473	1.8
	滞納繰越分	1,138	1,503	△365	△24.3
繰入金	事務費繰入金	4,354	3,832	522	13.6
	保険基盤安定繰入金	87,606	80,243	7,363	9.2

３　歳　　出

令和５年度の歳出決算額は６５０，５３３千円で、前年度に対して２３，６４０千円（３．８％）の増額となった。

その主な内容は、保険料納付金や保険基盤安定負担金などの後期高齢者医療広域連合納付金が６４５，７８１千円で全体の９９．３％を占め、一般管理費や徴収費などの総務費が４，３６３千円（０．７％）となっている。

⑴　歳出決算額　　（単位：千円、％）

区　　分	令和５年度	令和４年度	増減額	伸率
１　総務費	4,363	5,645	△1,282	△22.7
２　後期高齢者医療広域連合納付金	645,781	620,813	24,968	4.0
３　諸支出金	389	435	△46	△10.6
４　予備費	0	0	0	―
合　　計	650,533	626,893	23,640	3.8

⑵　医療給付費の概要

主な給付の状況（費用）　　（単位：件、千円）

区　　分			件数	費用額	一部負担金相当額等	保険給付額
医療給付費	医科	入　院	3,640	2,488,183	149,358	2,338,825
		入院外	93,103	1,930,713	202,004	1,728,709
	歯　　科		20,082	277,661	39,915	237,746
	調　　剤		54,677	726,424	96,237	630,187
	食事療養費			96,814	54,639	42,175
	訪問看護費		775	110,282	8,095	102,187
	小　計		172,277	5,630,077	550,248	5,079,829
医療支給	柔整・鍼灸		3,212	51,177	6,471	44,706
	補　装　具		198	7,124	962	6,162
	その他		1	4	△225	229
	小　計		3,411	58,305	7,208	51,097
合　計			175,688	5,688,382	557,456	5,130,926

事業の内容については、次ページ以降のとおりである。

款	01	総務費	予算現額	4,589,000 円
項	01	総務管理費	決算額	4,363,283 円
目	01	一般管理費	前年度決算額	5,645,009 円
			対前年比	77.3 %

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	後期高齢者医療一般管理事業	ｺｰﾄﾞ	10	01	01	01	01	-
2	総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
		基本施策	01 健康づくりを推進する						
		施策の展開方向	④ 医療体制の充実						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	後期高齢者医療被保険者
2	働きかける相手（対象）	後期高齢者医療被保険者
3	どのような状態にしたいのか（意図）	後期高齢者医療被保険者に対して適正かつ円滑な医療制度が受けられるよう、後期高齢者医療事務を効率的に運営します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

後期高齢者医療一般管理事業
⑴ 被保険者証を７月に一斉更新しました。
⑵ ７月に保険料決定通知書を送付しました。また、75歳年齢到達者等に対しては、年齢到達月の２か月後に決定通知書を送付しました。
⑶ 確定申告に使用する保険料支払い証明書（後期高齢者医療分）を郵送しました。
⑷ 制度の周知と収納率の向上のため、新規年齢到達者等に対して、口座振替依頼書を送付しました。
⑸ 広報紙への掲載・広報活動
ア 後期高齢者医療コールセンター開設（６月号）
イ 後期高齢者医療制度保険証の更新及び保険料の決定（７月号）

5 活動指標

指標名	広報紙への啓発記事掲載回数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	回 6.00	回	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	回 4.00	回	
		令和４年度	回 4.00	回	
		令和５年度	回 2.00	回	

6	直接事業費計	前年度決算額	5,645,009 円	決算額	4,363,283 円

款	02	後期高齢者医療広域連合納付金	予算現額	684,990,000 円
項	01	後期高齢者医療広域連合納付金	決算額	645,780,816 円
目	01	後期高齢者医療広域連合納付金	前年度決算額	620,812,990 円
			対前年比	104 %

Ⅰ．事務の目的体系

1 事業名	後期高齢者医療広域連合納付金事業	ｺｰﾄﾞ	10	02	01	01	01	－
2 総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
	基本施策	01 健康づくりを推進する						
	施策の展開方向	④ 医療体制の充実						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1 誰のために（受益者）	愛知県後期高齢者医療広域連合
2 働きかける相手（対象）	愛知県後期高齢者医療広域連合
3 どのような状態にしたいのか（意図）	被保険者から徴収した保険料を適切に広域連合へ納付します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

後期高齢者医療広域連合納付金事業
⑴ 後期高齢者医療保険料収納額
ア 特別徴収による納付 19,653件 245,614,700円（収納率100%）
イ 普通徴収による納付 21,140件 313,209,800円（収納率99.64%）
ウ 滞納繰越分の納付 106件 1,138,200円（収納率29.40%）
⑵ 後期高齢者医療保険料負担金 558,175,000円
東郷町が徴収した後期高齢者医療保険料を、愛知県後期高齢者医療広域連合へ支払いました。
⑶ 後期高齢者医療保険基盤安定制度負担金 87,605,816円
愛知県後期高齢者医療広域連合が、低所得等の被保険者に対して後期高齢者医療保険料の負担軽減措置を行った分の保険料について、財政基盤の安定化を図るため、町負担分を後期高齢者医療保険基盤安定制度負担金として愛知県後期高齢者医療広域連合へ支払いました。

5 活動指標

指標名	保険料負担金額	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	円 507,901,797.00	円	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	町が徴収した保険料から、後期高齢者医療広域連合へ納付した負担金額	令和３年度	円 511,727,344.00	円	
		令和４年度	円 540,570,000.00	円	
		令和５年度	円 558,175,000.00	円	

6 直接事業費計	前年度決算額	620,812,990 円	決算額		645,780,816 円

款	03	諸支出金	予算現額	506,000 円
項	01	償還金及び還付加算金	決算額	388,700 円
目	01	償還金及び還付加算金	前年度決算額	434,600 円
			対前年比	89.4 %

Ⅰ．事務の目的体系

1 事業名	償還金及び還付加算金事業	ｺｰﾄﾞ	10	03	01	01	01	-
2 総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
	基本施策	01 健康づくりを推進する						
	施策の展開方向	④ 医療体制の充実						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	後期高齢者医療被保険者
2	働きかける相手（対象）	後期高齢者医療被保険者
3	どのような状態にしたいのか（意図）	被保険者から納付された保険料を適正に還付します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

償還金及び還付加算金事業
　被保険者から納付された保険料について、資格喪失以後の特別徴収などによって還付金が発生したため、還付しました。

5 活動指標

指標名	還付金及び還付加算金	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	円 226,700.00	円	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	円 381,900.00	円	
		令和４年度	円 434,600.00	円	
		令和５年度	円 388,700.00	円	

6 直接事業費計	前年度決算額	434,600 円	決算額	388,700 円

介護保険特別会計

1　概　　要

令和５年度における東郷町介護保険特別会計の歳入決算額は、２，８９５，０２２千円で、前年度に対して１３９，０７７千円（５．０％）の増収となった。

主な収入を前年度と比較するとその増減額（伸率）は、保険料２８３千円（０％）、国庫支出金３０，４６９千円（５．７％）、支払基金交付金３２，５４０千円（５．０％）、県支出金１０，８５６千円（３．０％）、繰入金５４，３５７千円（１３．０％）、繰越金△９，９３４千円（△１０．１％）、諸収入２０，４７０千円（３，７０８．３％）となった。

歳出決算額は２，７６０，３８５千円で、前年度に対して９３，１７６千円（３．５％）の増額となった。

主な支出を前年度と比較するとその増減額（伸率）は、総務費３，４６５千円（１０．５％）、保険給付費６８，７８５千円（２．９％）、基金積立金９，０４１千円（２８．０％）、地域支援事業費２７，４６７千円（１５．６％）、諸支出金△１５，５８２千円（△２２．８％）となった。

⑴　歳入歳出決算額　　（単位：千円、％）

区　　分	令和５年度	令和４年度	増減額	伸率
歳　入　総　額	2,895,022	2,755,945	139,077	5.0
歳　出　総　額	2,760,385	2,667,209	93,176	3.5
歳入歳出差引額	134,637	88,736		

⑵　被保険者数等の状況　　（単位：人、％）

区　　分		令和５年度末	令和４年度末	増減
被保険者数	65歳以上75歳未満	4,184	4,450	△266
	75歳以上	5,800	5,501	299
	合　　計	9,984	9,951	33
高　齢　化　率		22.74	22.67	0.07
要介護（要支援）認定者数	要支援１	273	225	48
	要支援２	374	337	37
	要介護１	310	313	△3
	要介護２	278	285	△7
	要介護３	192	190	2
	要介護４	200	218	△18
	要介護５	118	122	△4
	合　　計	1,745	1,690	55
出　現　率		17.48	16.98	0.5

２　歳　　入

令和５年度の歳入決算額は２，８９５，０２２千円で、前年度に対して１３９，０７７千円（５．０％）の増収となった。

その主な内容は、介護保険料が６８０，１８３千円で全体の２３．５％を占め、支払基金交付金が６８９，０９４千円（２３．８％）、国庫支出金が５６４，９１７千円（１９．５％）、繰入金が４７２，２７０千円（１６．３％）となっている。

⑴　歳入決算額　　（単位：千円、％）

区　　分	令和５年度	令和４年度	増減額	伸率
１　保険料	680,183	679,900	283	0.0
２　国庫支出金	564,917	534,448	30,469	5.7
３　支払基金交付金	689,094	656,554	32,540	5.0
４　県支出金	378,744	367,888	10,856	3.0
５　財産収入	56	20	36	180.0
６　繰入金	472,270	417,913	54,357	13.0
７　繰越金	88,736	98,670	△9,934	△10.1
８　諸収入	21,022	552	20,470	3708.3
合　　計	2,895,022	2,755,945	139,077	5.0

⑵　介護保険料調定額（現年度分）＊当初賦課時　　（単位：円）

区　　分	特別徴収	普通徴収	合　　計
第１所得段階	17,048,700	2,266,300	19,315,000
第２所得段階	16,413,200	714,000	17,127,200
第３所得段階	23,957,200	936,300	24,893,500
第４所得段階	69,177,300	6,277,900	75,455,200
第５所得段階	103,043,800	1,245,800	104,289,600
第６所得段階	107,518,500	6,114,600	113,633,100
第７所得段階	126,291,500	4,769,600	131,061,100
第８所得段階	76,049,800	5,166,200	81,216,000
第９所得段階	27,051,300	3,280,100	30,331,400
第10所得段階	19,447,600	1,914,700	21,362,300
第11所得段階	16,787,200	2,442,300	19,229,500
第12所得段階	9,966,000	1,950,400	11,916,400
第13所得段階	8,487,800	2,684,700	11,172,500
第14所得段階	10,763,100	2,579,400	13,342,500
合　　計	632,003,000	42,342,300	674,345,300

⑶　補助金及び交付金の内訳　　（単位：千円、％）

区　　分		令和５年度	令和４年度	増減額	伸率
国庫支出金	介護給付費負担金	472,418	464,387	8,031	1.7
	調整交付金	20,651	6,115	14,536	237.7
	地域支援事業費交付金	58,229	52,531	5,698	10.8
	保険者機能強化推進交付金	4,722	5,989	△1,267	△21.2
	介護保険事業費補助金	1,600	0	1,600	―
	介護保険保険者努力支援交付金	7,297	5,426	1,871	34.5
	介護保険災害等臨時特例補助金	0	0	0	―
	計	564,917	534,448	30,469	5.7
支払基金交付金		689,094	645,646	43,448	6.7
県支出金		378,744	360,572	18,172	5.0
合　　計		1,632,755	1,540,666	92,089	6.0

３　歳　　出

令和５年度の歳出決算額は２，７６０，３８５千円で、前年度に対して９３，１７６千円（３．５％）の増額となった。

その主な内容は、保険給付費が２，４２５，８０７千円で全体の８７．９％を占め、地域支援事業費が２０３，９８０千円（７．４％）、基金積立金が４１，３６２千円（１．５％）、諸支出金が５２，８３３千円（１．９％）となっている。

歳出決算額　　（単位：千円、％）

区　　分	令和５年度	令和４年度	増減額	伸率
１　総務費	36,403	32,938	3,465	10.5
２　保険給付費	2,425,807	2,357,022	68,785	2.9
３　財政安定化基金拠出金	0	0	0	―
４　基金積立金	41,362	32,321	9,041	28.0
５　地域支援事業費	203,980	176,513	27,467	15.6
６　諸支出金	52,833	68,415	△15,582	△22.8
７　予備費	0	0	0	―
合　　計	2,760,385	2,667,209	93,176	3.5

事業の内容については、次ページ以降のとおりである。

款	01	総務費	予算現額	13,048,000 円
項	01	総務管理費	決算額	11,566,299 円
目	01	一般管理費	前年度決算額	8,888,453 円
			対前年比	130.1 %

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	介護保険一般管理事業	ｺｰﾄﾞ	08	01	01	01	01	-
2	総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
		基本施策	04 高齢者がいきいきと暮らせる						
		施策の展開方向	③ 介護を受けながら安心して暮らせる体制の充実						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	被保険者
2	働きかける相手（対象）	被保険者
3	どのような状態にしたいのか（意図）	被保険者の資格管理事務、介護認定事務、保険料賦課徴収事務及び給付管理事務を電算システムを活用し、適正かつ効率的に行うようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

介護保険一般管理事業
⑴ 地域包括支援センター運営協議会
地域包括支援センターの適正な運営を図るため、介護保険の被保険者始め介護サービス利用者等の委員で組織する運営協議会を２回開催しました。
⑵ 尾張東部権利擁護支援センター負担金
尾張東部権利擁護支援センターに成年後見に関する業務を委託していることについて、負担金を支出しました。
ア 会議
(ｱ) 尾張東部権利擁護支援センター運営協議会開催回数 ２回
(ｲ) 尾張東部権利擁護支援センター適正運営委員会開催回数 ６回
イ 相談業務
(ｱ) 相談人数 33人（延べ相談件数 472件）
(ｲ) 相談者の種別 認知症19人、高齢者３人、障がい者10人、その他１人
ウ 後見業務
法人受任件数 ５人（高齢者２人、精神障がい者３人）
エ 市民後見人推進事業
市民後見人バンク登録者数（構成市町全体） 55人
オ 成年後見制度に関する研修事業
成年後見制度勉強会を尾張東部圏域の住民及び専門職に対して行いました。
(ｱ) 住民向け研修会 ８回
(ｲ) 専門職向け研修会 ３回
カ 周知啓発事業
成年後見制度、尾張東部権利擁護支援センターの周知を図るため、住民等を対象に講演会を開催しました。
(ｱ) 開催日 令和５年６月９日（金）
(ｲ) 場 所 日進市民会館
(ｳ) 参加人数 115人
⑶ 第９期高齢者福祉計画を策定するため、アンケート調査を実施しました。
ア 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査：配布数 2,200通、有効回答数 1,547通
イ 在宅介護実態調査：配布数 1,000通、有効回答数 575通
ウ 高齢者福祉計画策定のためのアンケート（ケアマネジャー）：配布数 42通、有効回答数 32通
エ 高齢者福祉計画策定のためのアンケート（サービス事業者）：配布数 35通、有効回答数 35通

5 活動指標

指標名		年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
第１号被保険者数		令和２年度	人 9,866.00	人	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	実績値は各年度９月末数値（中間値）	令和３年度	人 9,893.00	人	
		令和４年度	人 9,929.00	人	
		令和５年度	人 9,969.00	人	

6	直接事業費計	前年度決算額 8,888,453 円	決算額	11,566,299 円	

款	01	総務費	予算現額	2,644,000 円
項	02	徴収費	決算額	2,221,684 円
目	01	賦課徴収費	前年度決算額	2,137,224 円
			対前年比	104 %

Ⅰ．事業の目的体系

1 事業名	介護保険料賦課徴収事業	ｺｰﾄﾞ	08	01	02	01	01	-
2 総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
	基本施策	04 高齢者がいきいきと暮らせる						
	施策の展開方向	③ 介護を受けながら安心して暮らせる体制の充実						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	要介護（要支援）者
2	働きかける相手（対象）	65歳以上の高齢者（第１号被保険者）
3	どのような状態にしたいのか（意図）	介護保険の基本理念である高齢者の「自立支援」と「尊厳の保持」に基づき実施する介護保険サービスの提供に必要な財源が確保されるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

介護保険料賦課徴収事業

(1) 賦課

65歳以上の高齢者（第１号被保険者）に対し、所得段階別に保険料の賦課徴収事務を行うとともに、普通徴収対象者には決定通知書兼納入通知書を、特別徴収対象者には特別徴収決定通知書を送付しました。

《当初賦課金額及び件数》

（所得段階）	（特別徴収当初賦課金額）	（普通徴収当初賦課金額）
第１段階	17,048,700円	2,266,300円
第２段階	16,413,200円	714,000円
第３段階	23,957,200円	936,300円
第４段階	69,177,300円	6,277,900円
第５段階	103,043,800円	1,245,800円
第６段階	107,518,500円	6,114,600円
第７段階	126,291,500円	4,769,600円
第８段階	76,049,800円	5,166,200円
第９段階	27,051,300円	3,280,100円
第10段階	19,447,600円	1,914,700円
第11段階	16,787,200円	2,442,300円
第12段階	9,966,000円	1,950,400円
第13段階	8,487,800円	2,684,700円
第14段階	10,763,100円	2,579,400円
合計	632,003,000円（9,060件）	42,342,300円（956件）

(2) 督促

普通徴収のうち、納期までに徴収できなかった保険料について、督促を実施しました。 770件

(3) 催告

督促状を送付しても、納付のなかった方に対し、数期分ずつまとめて催告を実施しました。 135件（年2回）

5 活動指標

指標名	第１号被保険者数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	人 9,866.00	人	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	実績値は各年度９月末数値（中間値）	令和３年度	人 9,893.00	人	
		令和４年度	人 9,929.00	人	
		令和５年度	人 9,969.00	人	

6 成果指標

指標名	第１号被保険者収納率（収納実績表 現年度分）	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		令和２年度	% 99.60	% 99.50	前年度実績値
指標の説明（指標式）	実績値の割合（収納率）は、分子の還付未処理額（還付未済額）を除いた場合で計算しています。	令和３年度	% 99.60	% 99.60	
		令和４年度	% 99.70	% 99.60	
		令和５年度	% 99.70	% 99.70	

7 直接事業費計	前年度決算額	2,137,224 円	決算額	2,221,684 円

款	01	総務費	予算現額	23,463,000 円
項	03	介護認定審査会費	決算額	22,525,128 円
目	01	介護認定審査会費	前年度決算額	21,754,219 円
			対前年比	103.5 %

Ⅰ．事務の目的体系

1 事業名	介護認定事業	ｺｰﾄﾞ	08	01	03	01	01	－
2 総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
	基本施策	04 高齢者がいきいきと暮らせる						
	施策の展開方向	③ 介護を受けながら安心して暮らせる体制の充実						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	介護を必要とする人及びその介護者
2	働きかける相手（対象）	要介護認定を受けようとする人及びその家族、主治医、介護認定審査会委員
3	どのような状態にしたいのか（意図）	介護保険サービスを必要とする人に対し、遅滞なく認定申請を促すとともに、調査対象者の要介護・要支援状態を適正に把握し、介護状態に応じた認定を速やかに行えるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

介護認定事業
(1) 介護認定審査会事業
保健・医療・福祉に関する各分野の委員による介護認定審査会において、要介護（要支援）又は非該当の判定を行いました。
ア 審査会開催回数 47回
イ 申請種類別内訳
新規 398人
更新 698人
区分変更 222人 計1,318人
ウ 介護度別内訳
非該当 21人
要支援１ 178人
要支援２ 250人
要介護１ 244人
要介護２ 189人
要介護３ 146人
要介護４ 174人
要介護５ 116人 計1,318人
(2) 認定調査等事業
要介護（要支援）認定申請者に対し、認定調査員が訪問により心身の状況や介護負担などを調査するとともに主治医から意見書を徴収しました。
なお、調査対象者が遠方の施設等にいる場合は、所在の介護支援専門員に調査を委託しました。
ア 訪問調査実施件数 1,381件
イ 調査委託した件数（遠方、新型コロナ） 12件
計1,393件

5 活動指標

指標名	介護認定審査会の審査判定件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	件 999.00	件	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	件 1,284.00	件	
		令和４年度	件 1,339.00	件	
		令和５年度	件 1,318.00	件	

6 直接事業費計	前年度決算額	21,754,219 円	決算額	22,525,128 円

款	01	総務費	予算現額	152,000 円
項	04	趣旨普及費	決算額	90,087 円
目	01	趣旨普及費	前年度決算額	158,290 円
			対前年比	56.9 %

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	介護保険趣旨普及事業	ｺｰﾄﾞ	08	01	04	01	01	-
2	総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
		基本施策	04 高齢者がいきいきと暮らせる						
		施策の展開方向	③ 介護を受けながら安心して暮らせる体制の充実						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	被保険者
2	働きかける相手（対象）	町民
3	どのような状態にしたいのか（意図）	保険料の負担や介護サービスの利用手順など、介護保険制度の趣旨や仕組みが理解されるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

介護保険趣旨普及事業
⑴ 介護保険制度を周知するため、広報とうごう７月号に特集記事を掲載して趣旨普及に努め、介護保険被保険者証を発送する際に制度を案内するためのパンフレットを同封するとともに、福祉のしおりにサービス案内を掲載し周知を図りました。
⑵ パンフレット等の購入冊数
ア 65歳到達者向け制度周知用パンフレット 300部
イ 介護保険制度の窓口説明用パンフレット 250部

5 活動指標

指標名		年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
パンフレット購入冊数		令和２年度	部 550.00	部	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	部 500.00	部	
		令和４年度	部 1,000.00	部	
		令和５年度	部 550.00	部	

6 成果指標

指標名		年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
パンフレット配布率		令和２年度	% 100.00	% 100.00	65歳年齢到達者（全員）への周知啓発率
指標の説明（指標式）	65歳年齢到達者へのパンフレット配布件数÷65歳年齢到達者	令和３年度	% 100.00	% 100.00	
		令和４年度	% 100.00	% 100.00	
		令和５年度	% 100.00	% 100.00	

7	直接事業費計	前年度決算額	158,290 円	決算額	90,087 円

款	02	保険給付費	予算現額	1,032,965,263 円
項	01	介護サービス等諸費	決算額	1,032,965,263 円
目	01	介護サービス給付費	前年度決算額	965,418,100 円
			対前年比	107 %

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	居宅介護サービス給付費等事業	ｺｰﾄﾞ	08	02	01	01	01	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
		基本施策	04 高齢者がいきいきと暮らせる						
		施策の展開方向	③ 介護を受けながら安心して暮らせる体制の充実						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	居宅介護サービス利用者及び介護者
2	働きかける相手（対象）	居宅介護サービス利用者、介護者、サービス事業者及び国民健康保険団体連合会
3	どのような状態にしたいのか（意図）	介護保険法に基づく居宅介護サービス給付費を適正に執行します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

居宅介護サービス給付費等事業
　要介護者が、訪問通所、短期入所などの居宅介護サービスを利用した場合に、介護負担割合に応じて介護給付費として国民健康保険団体連合会に支出しました。

(1)	訪問介護	3,213件
(2)	訪問入浴介護	133件
(3)	訪問看護	2,557件
(4)	訪問リハビリテーション	152件
(5)	通所介護	3,079件
(6)	通所リハビリテーション	1,509件
(7)	福祉用具貸与	5,322件
(8)	短期入所生活介護	944件
(9)	短期入所療養介護	108件
(10)	居宅療養管理指導	4,667件
(11)	特定施設入居者生活介護	379件
	合計	22,063件

5 活動指標

指標名	居宅介護サービス支給件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	件 18,859.00	件	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	件 19,854.00	件	
		令和４年度	件 21,157.00	件	
		令和５年度	件 22,063.00	件	

6	直接事業費計	前年度決算額	965,418,100 円	決算額	1,032,965,263 円

款	02	保険給付費	予算現額	361,002,729 円
項	01	介護サービス等諸費	決算額	351,762,537 円
目	02	地域密着型介護サービス給付費	前年度決算額	364,326,658 円
			対前年比	96.6 %

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	地域密着型介護サービス給付費等事業	ｺｰﾄﾞ	08	02	01	02	01	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
		基本施策	04 高齢者がいきいきと暮らせる						
		施策の展開方向	③ 介護を受けながら安心して暮らせる体制の充実						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	地域密着型介護サービス利用者及びその介護者
2	働きかける相手（対象）	地域密着型介護サービス利用者及びその介護者、サービス事業者、国民健康保険団体連合会
3	どのような状態にしたいのか（意図）	介護保険法に基づく地域密着型介護サービス給付費を適正に執行します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

地域密着型介護サービス給付費等事業
　要介護者が認知症対応型共同生活介護などの地域密着型介護サービスを利用した場合に、介護保険負担割合に応じて地域密着型介護サービス費として国民健康保険団体連合会に支出しました。

(1)	認知症対応型共同生活介護（短期利用含む）	191件
(2)	地域密着型介護老人福祉施設	565件
(3)	認知症対応型通所介護	301件
(4)	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	64件
(5)	地域密着型通所介護	928件
(6)	小規模多機能型居宅介護	0件
(7)	看護小規模多機能型居宅介護	142件
	合　計	2,191件

5 活動指標

指標名	地域密着型介護サービス支給件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	件 2,347.00	件	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	件 2,379.00	件	
		令和４年度	件 2,305.00	件	
		令和５年度	件 2,191.00	件	

6	直接事業費計	前年度決算額	364,326,658 円	決算額	351,762,537 円

款	02	保険給付費	予算現額	739,263,188 円
項	01	介護サービス等諸費	決算額	720,487,858 円
目	03	施設介護サービス給付費	前年度決算額	716,812,175 円
			対前年比	100.5 %

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	施設介護サービス給付費等事業	ｺｰﾄﾞ	08	02	01	03	01	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
		基本施策	04 高齢者がいきいきと暮らせる						
		施策の展開方向	③ 介護を受けながら安心して暮らせる体制の充実						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	施設介護サービスを必要とする要介護者
2	働きかける相手（対象）	要介護認定を受けた人及び国民健康保険団体連合会
3	どのような状態にしたいのか（意図）	介護保険法に基づく施設介護サービス給付費を適正に執行します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

施設介護サービス給付費等事業
　在宅での生活が困難な要介護者が介護保険施設に入所し、それぞれの機能に応じた介護サービスを受けた場合に、介護保険負担割合に応じて施設介護サービス給付費として国民健康保険団体連合会に支出しました。

(1)	介護老人福祉施設	1,172件
(2)	介護老人保健施設	1,406件
(3)	介護療養型医療施設	13件
(4)	介護医療院	22件
	合計	2,613件

5 活動指標

指標名	指標の説明（指標式）	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
施設介護サービス支給件数		令和２年度	件 2,795.00	件	個別計画による目標値はありません。
		令和３年度	件 2,708.00	件	
		令和４年度	件 2,643.00	件	
		令和５年度	件 2,613.00	件	

6	直接事業費計	前年度決算額	716,812,175 円	決算額	720,487,858 円

款	02	保険給付費	予算現額	4,580,000 円
項	01	介護サービス等諸費	決算額	2,161,578 円
目	04	居宅介護福祉用具購入費	前年度決算額	3,089,930 円
			対前年比	70 %

Ⅰ．事務の目的体系

1 事業名	居宅介護福祉用具購入費事業	ｺｰﾄﾞ	08	02	01	04	01	－
2 総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
	基本施策	04 高齢者がいきいきと暮らせる						
	施策の展開方向	③ 介護を受けながら安心して暮らせる体制の充実						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	在宅で生活している要介護者
2	働きかける相手（対象）	要介護者及びその家族、介護支援専門員、サービス事業者
3	どのような状態にしたいのか（意図）	介護保険法に基づく居宅介護福祉用具購入費を適正に執行します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

居宅介護福祉用具購入費事業
　要介護者が腰掛便座や入浴補助用具などの福祉用具を購入した場合に、介護保険負担割合に応じて居宅介護福祉用具購入費として支給しました。

(1)	腰掛便座	16件
(2)	特殊尿器	0件
(3)	入浴補助用具	64件
(4)	簡易浴槽	0件
(5)	移動用リフトのつり具	0件
	合　計	80件

5 活動指標

指標名	指標の説明（指標式）	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
居宅介護福祉用具購入費の支給件数		令和２年度	件 102.00	件	個別計画による目標値はありません。
		令和３年度	件 96.00	件	
		令和４年度	件 109.00	件	
		令和５年度	件 80.00	件	

6 直接事業費計	前年度決算額	3,089,930 円	決算額	2,161,578 円

款	02	保険給付費	予算現額	8,570,000 円
項	01	介護サービス等諸費	決算額	6,560,554 円
目	05	居宅介護住宅改修費	前年度決算額	8,216,442 円
			対前年比	79.8 %

Ⅰ．事務の目的体系

1 事業名	居宅介護住宅改修費事業	ｺｰﾄﾞ	08	02	01	05	01	－
2 総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
	基本施策	04 高齢者がいきいきと暮らせる						
	施策の展開方向	③ 介護を受けながら安心して暮らせる体制の充実						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	在宅で生活している要介護者
2	働きかける相手（対象）	要介護者及びその家族、介護支援専門員、サービス事業者
3	どのような状態にしたいのか（意図）	介護保険法に基づく居宅介護住宅改修費を適正に執行します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

居宅介護住宅改修費事業
　要介護者が安全で暮らしやすい住宅にするため、段差の解消や手すりを設置した場合に、介護保険負担割合に応じて住宅改修費として支給しました。
(1) 手すりの取付け　55件
(2) 床段差の解消　11件
(3) 床材の変更　5件
(4) 扉の取替え　4件
(5) 便器の取替え　1件
合　計　76件

5 活動指標

指標名	指標の説明（指標式）	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
居宅介護住宅改修費の支給件数		令和２年度	件 88.00	件	個別計画による目標値はありません。
		令和３年度	件 91.00	件	
		令和４年度	件 94.00	件	
		令和５年度	件 76.00	件	

6 直接事業費計	前年度決算額	8,216,442 円	決算額	6,560,554 円

款	02	保険給付費	予算現額	121,780,000 円
項	01	介護サービス等諸費	決算額	114,343,334 円
目	06	居宅介護サービス計画給付費	前年度決算額	113,151,491 円
			対前年比	101.1 %

Ⅰ．事務の目的体系

1 事業名	居宅介護サービス計画給付費等事業	ｺｰﾄﾞ	08	02	01	06	01	－
2 総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
	基本施策	04 高齢者がいきいきと暮らせる						
	施策の展開方向	③ 介護を受けながら安心して暮らせる体制の充実						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	在宅で生活している要介護者
2	働きかける相手（対象）	要介護者及びその家族、介護支援専門員、サービス事業者
3	どのような状態にしたいのか（意図）	要介護者が安心かつ適切に介護サービスを利用できるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

居宅介護サービス計画給付費等事業
　要介護者が、介護支援専門員に依頼し心身の状況や希望にあった介護サービスを受けるために利用する居宅介護サービスの種類や内容を定めたサービス計画を作成した場合に、費用の全額を居宅介護サービス計画給付費として支給しました。
　支給件数　8,025件

5 活動指標

指標名	居宅介護サービス計画給付費の支給件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	件 7,212.00	件	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	件 7,478.00	件	
		令和４年度	件 7,974.00	件	
		令和５年度	件 8,025.00	件	

6 直接事業費計	前年度決算額	113,151,491 円	決算額	114,343,334 円

款	02	保険給付費	予算現額	66,580,908 円
項	02	介護予防サービス等諸費	決算額	66,174,695 円
目	01	介護予防サービス給付費	前年度決算額	57,793,770 円
			対前年比	114.5 %

Ⅰ．事務の目的体系

1 事業名	介護予防サービス給付費等事業	ｺｰﾄﾞ	08	02	02	01	01	－
2 総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
	基本施策	04 高齢者がいきいきと暮らせる						
	施策の展開方向	③ 介護を受けながら安心して暮らせる体制の充実						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	在宅で生活している要支援者
2	働きかける相手（対象）	要支援者及びその家族、介護支援専門員、サービス事業者及び国民健康保険団体連合会
3	どのような状態にしたいのか（意図）	介護保険法に基づく介護予防サービス給付費を適正に執行します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

介護予防サービス給付費事業
　要支援者が、訪問通所、短期入所などの介護予防サービスを利用した場合に、介護負担割合に応じて予防給付費として国民健康保険団体連合会に支払いました。

(1)	訪問看護	707件
(2)	訪問リハビリテーション	172件
(3)	通所リハビリテーション	473件
(4)	福祉用具貸与	2,436件
(5)	短期入所生活介護	23件
(6)	短期入所療養施設（老健）	20件
(7)	居宅療養管理指導	291件
(8)	特定施設入居者生活介護	36件
	合計	4,158件

5 活動指標

指標名	介護予防サービス支給件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	件 3,349.00	件	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	件 3,596.00	件	
		令和４年度	件 3,799.00	件	
		令和５年度	件 4,158.00	件	

6 直接事業費計	前年度決算額	57,793,770 円	決算額	66,174,695 円

款	02	保険給付費	予算現額	300,000 円
項	02	介護予防サービス等諸費	決算額	0 円
目	02	地域密着型介護予防サービス給付費	前年度決算額	59,536 円
			対前年比	- %

Ⅰ．事務の目的体系

1 事業名	地域密着型介護予防サービス給付費事業	ｺｰﾄﾞ	08	02	02	02	01	-
2 総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
	基本施策	04 高齢者がいきいきと暮らせる						
	施策の展開方向	③ 介護を受けながら安心して暮らせる体制の充実						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1 誰のために（受益者）	地域密着型介護予防サービス利用者
2 働きかける相手（対象）	地域密着型介護予防サービス利用者、介護者、サービス事業者及び国民健康保険団体連合会
3 どのような状態にしたいのか（意図）	介護保険法に基づく地域密着型介護予防サービス給付費を適正に執行します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

地域密着型介護予防サービス給付費事業
　要支援者が介護予防認知症対応型通所介護などの地域密着型介護予防サービスを利用した場合に、介護負担割合に応じて地域密着型介護予防サービス給付費として国民健康保険団体連合会に支払います。
　認知症対応型通所介護　　0件

5 活動指標

指標名	地域密着型サービス支給件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	件 1.00	件	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	件 0.00	件	
		令和４年度	件 2.00	件	
		令和５年度	件 0.00	件	

6 直接事業費計	前年度決算額	59,536 円	決算額		0 円

款	02	保険給付費	予算現額	2,134,632 円
項	02	介護予防サービス等諸費	決算額	1,177,899 円
目	03	介護予防福祉用具購入費	前年度決算額	1,727,655 円
			対前年比	68.2 %

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	介護予防福祉用具購入事業	ｺｰﾄﾞ	08	02	02	03	01	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
		基本施策	04 高齢者がいきいきと暮らせる						
		施策の展開方向	③ 介護を受けながら安心して暮らせる体制の充実						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	在宅で生活している要支援者
2	働きかける相手（対象）	要支援者及びその家族、介護支援専門員、サービス事業者
3	どのような状態にしたいのか（意図）	介護保険法に基づく介護予防福祉用具購入費を適正に執行します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

介護予防福祉用具購入事業
　要支援者が腰掛便座や入浴補助用具などの福祉用具を購入した場合に、介護保険負担割合に応じて居宅介護福祉用具購入費として支給しました。

(1)	腰掛便座	4件
(2)	特殊尿器	0件
(3)	入浴補助用具	43件
(4)	簡易浴槽	0件
(5)	移動用リフトのつり具	0件
	合計	47件

5 活動指標

指標名	介護予防福祉用具購入費の支給件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	件 55.00	件	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	件 62.00	件	
		令和４年度	件 70.00	件	
		令和５年度	件 47.00	件	

6	直接事業費計	前年度決算額	1,727,655 円	決算額	1,177,899 円

款	02	保険給付費	予算現額	7,144,460 円
項	02	介護予防サービス等諸費	決算額	7,144,460 円
目	04	介護予防住宅改修費	前年度決算額	4,991,974 円
			対前年比	143.1 %

Ⅰ．事務の目的体系

1 事業名	介護予防住宅改修費事業	ｺｰﾄﾞ	08	02	02	04	01	－
2 総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
	基本施策	04 高齢者がいきいきと暮らせる						
	施策の展開方向	③ 介護を受けながら安心して暮らせる体制の充実						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	在宅で生活している要支援者
2	働きかける相手（対象）	要支援者及びその家族、介護支援専門員、サービス事業者
3	どのような状態にしたいのか（意図）	介護保険法に基づく介護予防住宅改修費を適正に執行します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

介護予防住宅改修費事業
　要支援者が安全で暮らしやすい住宅にするため、段差の解消や手すりを設置した場合に、介護保険負担割合に応じて住宅改修費として支給しました。

(1)	手すりの取付け	62件
(2)	床段差の解消	11件
(3)	床材の変更	5件
(4)	扉の取替え	3件
(5)	便器の取替え	1件
	合　計	82件

5 活動指標

指標名	指標の説明（指標式）	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
介護予防住宅改修費の支給件数		令和２年度	件 64.00	件	個別計画による目標値はありません。
		令和３年度	件 70.00	件	
		令和４年度	件 67.00	件	
		令和５年度	件 82.00	件	

6 直接事業費計	前年度決算額	4,991,974 円	決算額	7,144,460 円

款	02	保険給付費	予算現額	14,506,520 円
項	02	介護予防サービス等諸費	決算額	14,506,520 円
目	05	介護予防サービス計画給付費	前年度決算額	12,935,505 円
			対前年比	112.1 %

Ⅰ．事務の目的体系

1 事業名	介護予防サービス計画給付費等事業	ｺｰﾄﾞ	08	02	02	05	01	－
2 総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
	基本施策	04 高齢者がいきいきと暮らせる						
	施策の展開方向	③ 介護を受けながら安心して暮らせる体制の充実						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	在宅で生活している要支援者
2	働きかける相手（対象）	要支援者及びその家族、介護支援専門員、サービス事業者
3	どのような状態にしたいのか（意図）	要支援者が安心かつ適切に介護予防サービスを利用できるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

介護予防サービス計画給付費等事業
　要支援者が、介護支援専門員に依頼し心身の状況や希望にあった介護予防サービスを受けるために利用するサービスの種類や内容を定めたサービス計画を作成した場合に、費用の全額を介護予防サービス計画給付費として支給しました。
　支給件数　　3,091件

5 活動指標

指標名	介護予防サービス計画給付費の支給件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	件 2,540.00	件	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	件 2,693.00	件	
		令和４年度	件 2,772.00	件	
		令和５年度	件 3,091.00	件	

6 直接事業費計	前年度決算額	12,935,505 円	決算額	14,506,520 円

款	02	保険給付費	予算現額	1,695,488 円
項	03	その他諸費	決算額	1,695,488 円
目	01	審査支払手数料	前年度決算額	1,631,311 円
			対前年比	103.9 %

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	審査支払手数料事業	ｺｰﾄﾞ	08	02	03	01	01	-
2	総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
		基本施策	04 高齢者がいきいきと暮らせる						
		施策の展開方向	③ 介護を受けながら安心して暮らせる体制の充実						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	介護保険被保険者
2	働きかける相手（対象）	サービス事業者、国民健康保険団体連合会
3	どのような状態にしたいのか（意図）	介護保険法に基づき請求された介護給付費の点検・審査に対し手数料を適正に執行します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

審査支払手数料事業
介護給付費等の請求に関する審査支払事務の手数料として、委託先の愛知県国民健康保険団体連合会に支出しました。
(1) 審査支払件数 42,102件
(2) 苦情処理件数 47,813件

5 活動指標

指標名	審査支払件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	件 36,986.00	件	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	件 38,572.00	件	
		令和４年度	件 40,576.00	件	
		令和５年度	件 42,102.00	件	

6	直接事業費計	前年度決算額	1,631,311 円	決算額	1,695,488 円

款	02	保険給付費	予算現額	60,516,812 円
項	04	高額介護サービス等費	決算額	60,516,812 円
目	01	高額介護サービス費	前年度決算額	57,099,977 円
			対前年比	106 %

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	高額介護サービス費等事業	ｺｰﾄﾞ	08	02	04	01	01	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
		基本施策	04 高齢者がいきいきと暮らせる						
		施策の展開方向	③ 介護を受けながら安心して暮らせる体制の充実						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	要介護者
2	働きかける相手（対象）	要介護者及びその家族、介護支援専門員、サービス事業者
3	どのような状態にしたいのか（意図）	要介護者及び家族の経済的負担が軽減され、安心して介護サービスを受けられるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

高額介護サービス費等事業
　要介護者が介護サービスを利用して支払った負担額が世帯合計で高額介護サービス費に定める上限額を超えた場合に、その超えた金額を支給しました。
　利用者負担の上限額（1か月）

(1)	住民税非課税世帯で老齢福祉年金の受給者、生活保護の受給者	15,000円
(2)	住民税非課税世帯で合計所得金額＋課税年金収入額が80万円以下の者	15,000円
(3)	住民税非課税世帯で合計所得金額＋課税年金収入額が80万円超の者	24,600円
(4)	(1)～(3)、(5)～(7)以外の者	44,400円
(5)	住民税課税世帯で課税所得が380未満の者	44,400円
(6)	住民税課税世帯で課税所得が380万円以上690万円未満の者	93,000円
(7)	住民税課税世帯で課税所得が690万円以上の者	140,100円

5 活動指標

指標名	高額介護サービス費支給件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	件 4,458.00	件	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	件 4,360.00	件	
		令和４年度	件 3,935.00	件	
		令和５年度	件 3,871.00	件	

6	直接事業費計	前年度決算額	57,099,977 円	決算額	60,516,812 円

款	02	保険給付費	予算現額	11,000,000 円
項	05	高額医療合算介護サービス等費	決算額	10,024,217 円
目	01	高額医療合算介護サービス費	前年度決算額	9,582,915 円
			対前年比	104.6 %

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	高額医療合算介護サービス費事業	ｺｰﾄﾞ	08	02	05	01	01	-
2	総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
		基本施策	04 高齢者がいきいきと暮らせる						
		施策の展開方向	③ 介護を受けながら安心して暮らせる体制の充実						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	要介護者
2	働きかける相手（対象）	要介護者及びその家族、介護支援専門員、サービス事業者
3	どのような状態にしたいのか（意図）	要介護者及び家族の経済的負担が軽減され、安心して介護予防サービスを受けられるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

高額医療合算介護サービス費事業
介護保険と医療保険それぞれの月の限度額を適用後、年間（８月～翌年７月）の利用者負担額を合算して、所得区分に応じた世帯の負担限度額を超えた場合に、その超えた金額を支給しました。
上限額（平成30年８月算定分から）
(1) 課税所得690万円以上 212万円
(2) 課税所得380万円以上 141万円
(3) 課税所得145万円以上 67万円
(4) 一般 56万円
(5) 低所得者Ⅱ 31万円
(6) 低所得者Ⅰ 19万円

5 活動指標

指標名	高額医療合算介護サービス費支給件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	件 309.00	件	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	件 317.00	件	
		令和４年度	件 316.00	件	
		令和５年度	件 320.00	件	

6	直接事業費計	前年度決算額	9,582,915 円	決算額	10,024,217 円

款	02	保険給付費	予算現額	500,000 円
項	05	高額医療合算介護サービス等費	決算額	73,545 円
目	02	高額医療合算介護予防サービス費	前年度決算額	44,159 円
			対前年比	166.5 %

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	高額医療合算介護予防サービス費事業	ｺｰﾄﾞ	08	02	05	02	01	-
2	総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
		基本施策	04 高齢者がいきいきと暮らせる						
		施策の展開方向	③ 介護を受けながら安心して暮らせる体制の充実						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	要支援者
2	働きかける相手（対象）	要支援者及びその家族、介護支援専門員、サービス事業者
3	どのような状態にしたいのか（意図）	要支援者及び家族の経済的負担が軽減され、安心して介護予防サービスを受けられるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

高額医療合算介護予防サービス費事業
介護予防サービスと医療保険それぞれの月の限度額を適用後、年間（８月～翌年７月）の利用者負担額を合算して、所得区分に応じた世帯の負担限度額を超えた場合に、その超えた金額を支給しました。
上限額（平成30年８月算定分から）
(1) 課税所得690万円以上 212万円
(2) 課税所得380万円以上 141万円
(3) 課税所得145万円以上 67万円
(4) 一般 56万円
(5) 低所得者Ⅱ 31万円
(6) 低所得者Ⅰ 19万円

5 活動指標

指標名	高額医療合算介護予防サービス費支給件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	件 16.00	件	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	件 13.00	件	
		令和４年度	件 10.00	件	
		令和５年度	件 11.00	件	

6	直接事業費計	前年度決算額	44,159 円	決算額	73,545 円

款	02	保険給付費	予算現額	45,000,000 円
項	06	特定入所者介護サービス等費	決算額	36,178,694 円
目	01	特定入所者介護サービス費	前年度決算額	40,140,342 円
			対前年比	90.1 %

Ⅰ．事務の目的体系

1 事業名	特定入所者介護サービス費事業	ｺｰﾄﾞ	08	02	06	01	01	－
2 総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
	基本施策	04 高齢者がいきいきと暮らせる						
	施策の展開方向	③ 介護を受けながら安心して暮らせる体制の充実						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	食費、居住費の自己負担が困難な低所得者層の要介護者
2	働きかける相手（対象）	要介護者及びその家族
3	どのような状態にしたいのか（意図）	施設入所サービスを利用した、要介護者及び家族の経済的負担が軽減され、安心して介護サービスを受けられるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

特定入所者介護サービス費事業
　施設入所者等の食費・居住費が過重とならないよう、町民税非課税世帯の低所得者層に対し、段階的に利用者負担の軽減を図り、その軽減分を支給しました。
　支給件数　　1,335件

5 活動指標

指標名	指標の説明（指標式）	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
特定入所者介護サービス費支給件数		令和２年度	件 1,724.00	件	個別計画による目標値はありません。
		令和３年度	件 1,538.00	件	
		令和４年度	件 1,467.00	件	
		令和５年度	件 1,335.00	件	

6 直接事業費計	前年度決算額	40,140,342 円	決算額	36,178,694 円

款	02	保険給付費	予算現額	100,000 円
項	06	特定入所者介護サービス等費	決算額	33,784 円
目	02	特定入所者介護予防サービス費	前年度決算額	0 円
			対前年比	- %

Ⅰ．事務の目的体系

1 事業名	特定入所者介護予防サービス費事業	ｺｰﾄﾞ	08	02	06	02	01	-
2 総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
	基本施策	04 高齢者がいきいきと暮らせる						
	施策の展開方向	③ 介護を受けながら安心して暮らせる体制の充実						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	食費、居住費の自己負担が困難な低所得者層の要支援者
2	働きかける相手（対象）	要支援者及びその家族
3	どのような状態にしたいのか（意図）	施設入所サービスを利用した、要支援者及び家族の経済的負担が軽減され、安心して介護予防サービスを受けられるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

特定入所者介護予防サービス費事業
　施設入所者等の食費・居住費が過重とならないよう、町民税非課税世帯の低所得者層に対し、段階的に利用者負担の軽減を図り、その軽減分を支給しました。
　支給件数　　５件

5 活動指標

指標名	特定入所者支援サービス費支給件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	件 4.00	件	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	件 3.00	件	
		令和４年度	件 0.00	件	
		令和５年度	件 5.00	件	

6 直接事業費計	前年度決算額	0 円	決算額	33,784 円

款	03	財政安定化基金拠出金	予算現額	1,000 円
項	01	財政安定化基金拠出金	決算額	0 円
目	01	財政安定化基金拠出金	前年度決算額	0 円
			対前年比	- %

Ⅰ．事務の目的体系

1 事業名	財政安定化基金拠出金事業	ｺｰﾄﾞ	08	03	01	01	01	-
2 総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
	基本施策	04 高齢者がいきいきと暮らせる						
	施策の展開方向	③ 介護を受けながら安心して暮らせる体制の充実						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	保険者、被保険者
2	働きかける相手（対象）	愛知県
3	どのような状態にしたいのか（意図）	県が設置する財政安定化基金から資金の交付・貸付を受け、介護保険事業の健全かつ安定的な財政運営が確保されるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

財政安定化基金拠出金事業
　事業運営期間（３年）における標準給付費見込額の「1000分の１」を３か年で除した金額を、県に設置された財政安定化基金に拠出します。
　令和５年度の拠出金は、ありませんでした。

5 活動指標

指標名	財政安定化基金拠出金額	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	円 0.00	円	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	円 0.00	円	
		令和４年度	円 0.00	円	
		令和５年度	円 0.00	円	

6 直接事業費計	前年度決算額	0 円	決算額	0 円

款	04	基金積立金	予算現額	41,363,000 円
項	01	基金積立金	決算額	41,362,359 円
目	01	介護給付費準備基金積立金	前年度決算額	32,320,428 円
			対前年比	128 %

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	介護給付費準備基金積立金事業	ｺｰﾄﾞ	08	04	01	01	01	-
2	総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
		基本施策	04 高齢者がいきいきと暮らせる						
		施策の展開方向	③ 介護を受けながら安心して暮らせる体制の充実						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	被保険者
2	働きかける相手（対象）	基金
3	どのような状態にしたいのか（意図）	介護保険事業の健全かつ安定的な財政運営を確保します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

介護給付費準備基金積立金事業
　事業運営期間における給付費の変動の対処及び次期介護保険事業計画を策定する際の保険料の低減を図ることを目的として設置された介護給付費準備基金に積み立てました。
　基金残高
　(1) 令和４年度末残高　161,519,517円
　(2) 令和５年度中増減
　　ア 予算積立　41,306,116円
　　イ 取崩し　63,544,000円
　　ウ 利子積立　56,243円
　(3) 令和５年度末残高　139,337,876円

5 活動指標

指標名	基金年度末残高	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	円 73,202,535.00	円	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	年度末基金残高	令和３年度	円 154,018,089.00	円	
		令和４年度	円 161,519,517.00	円	
		令和５年度	円 139,337,876.00	円	

6	直接事業費計	前年度決算額	32,320,428 円	決算額	41,362,359 円

款	05	地域支援事業費	予算現額	69,575,000 円
項	01	介護予防・生活支援サービス事業費	決算額	68,915,970 円
目	01	介護予防・生活支援サービス事業費	前年度決算額	58,149,314 円
			対前年比	118.5 %

Ⅰ．事業の目的体系

1 事業名	介護予防・生活支援サービス事業	ｺｰﾄﾞ	08	05	01	01	01	－
2 総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
	基本施策	04 高齢者がいきいきと暮らせる						
	施策の展開方向	③ 介護を受けながら安心して暮らせる体制の充実						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1 誰のために（受益者）	介護予防・日常生活支援総合事業対象者（総合事業対象者）
2 働きかける相手（対象）	総合事業対象者、介護者、国民健康保険団体連合会、地域包括支援ｾﾝﾀｰ、ｻｰﾋﾞｽ事業者
3 どのような状態にしたいのか（意図）	総合事業対象者が必要とするサービスを受けながら住み慣れた地域で生活を続けられるよう、適正にサービスが利用できるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

介護予防・生活支援サービス事業
総合事業対象者（要支援１・２及び事業対象者）が、心身の状態に応じて介護予防・生活支援サービス事業（訪問型サービス、通所型サービス）を利用した場合に、指定事業者に対して介護負担割合に応じた介護予防・生活支援サービス費を愛知県国民健康保険団体連合会を通じて支払いました。
また、委託事業者に対しては委託費の全額を委託事業者に直接支払い、本人負担分を町が徴収しました。

(1) 訪問型サービス
給付相当サービスでは身体介護や生活支援に関するサービスを提供し、基準緩和訪問型サービスＡでは生活支援に関するサービスを提供しました。
ア 給付相当サービス 616人 3,266件
イ 基準緩和訪問型サービスＡ 566人 2,384件（うち委託分 697件）

(2) 通所型サービス
給付相当サービスと基準緩和通所型サービスＡでは通所のデイサービスを提供しました。
ア 給付相当サービス 1,910人 10,091件
イ 基準緩和通所型サービスＡ 848人 3,096件

(3) 自立支援リハビリサービス
訪問型サービスと通所型サービスを組み合わせ利用者本人の状態に合わせた３～６か月の個別支援サービスを提供しました。
44人 175件

(4) 審査支払手数料
総合事業対象者の給付管理について、愛知県国民健康保険団体連合会が審査を行ったものについて、手数料を支払いました。
3,800件

5 活動指標

指標名	指標の説明（指標式）	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
サービス利用者数	訪問型、通所型のサービス利用者数	令和２年度	人 3,236.00	人	個別計画による目標値はありません。
		令和３年度	人 3,363.00	人	
		令和４年度	人 3,467.00	人	
		令和５年度	人 3,984.00	人	

6 成果指標

指標名	指標の説明（指標式）	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
自立支援リハビリサービス利用者数		令和２年度	人 29.00	人 15.00	前年度実績
		令和３年度	人 42.00	人 29.00	
		令和４年度	人 56.00	人 42.00	
		令和５年度	人 44.00	人 56.00	

7 直接事業費計	前年度決算額	58,149,314 円	決算額		68,915,970 円

款	05	地域支援事業費	予算現額	9,654,000 円
項	01	介護予防・生活支援サービス事業費	決算額	9,532,483 円
目	02	介護予防ケアマネジメント事業費	前年度決算額	8,398,322 円
			対前年比	113.5 %

Ⅰ．事務の目的体系

1 事業名	介護予防ケアマネジメント事業	ｺｰﾄﾞ	08	05	01	02	01	－
2 総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
	基本施策	04 高齢者がいきいきと暮らせる						
	施策の展開方向	③ 介護を受けながら安心して暮らせる体制の充実						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	介護予防・日常生活支援総合事業対象者（総合事業対象者）
2	働きかける相手（対象）	地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、国民健康保険団体連合会
3	どのような状態にしたいのか（意図）	総合事業対象者が、必要とするサービスを受けながら住み慣れた地域で生活し続けられるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

介護予防ケアマネジメント事業
　介護予防・日常生活支援総合事業対象者が、住み慣れた地域で自立した生活が送れるよう、サービスや生活資源を活用し、日々の生活を適切にマネジメントした場合に、マネジメント費の全額を支払いました。
⑴ 介護予防ケアマネジメント件数
　ア 第１号介護予防支援事業費　　1,911件
　イ 介護予防ケアマネジメントＡ　　229件
⑵ 審査支払手数料
　総合事業対象者の給付管理について、愛知県国民健康保険団体連合会が審査を行ったものについて、手数料を支払いました。
　1,911件

5 活動指標

指標名	ケアマネジメント件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	件 1,773.00	件	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	件 1,689.00	件	
		令和４年度	件 1,756.00	件	
		令和５年度	件 1,911.00	件	

6 直接事業費計	前年度決算額	8,398,322 円	決算額	9,532,483 円	

款	05	地域支援事業費	予算現額	31,382,000 円
項	01	介護予防・生活支援サービス事業費	決算額	28,759,847 円
目	03	一般介護予防事業費	前年度決算額	21,139,099 円
			対前年比	136.1 %

Ⅰ．事業の目的体系

1 事業名	一般介護予防事業	ｺｰﾄﾞ	08	05	01	03	01	-
2 総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
	基本施策	04 高齢者がいきいきと暮らせる						
	施策の展開方向	① 高齢者の社会参加と介護予防の推進						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	全ての高齢者
2	働きかける相手（対象）	全ての高齢者
3	どのような状態にしたいのか（意図）	高齢者の方が、介護予防に関する知識を持つことで自ら地域活動に参加し、運動などを実践することで要介護状態になることを防げるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

一般介護予防事業
高齢者が介護予防に取り組めるよう、介護予防に関する知識の普及啓発となる講座や運動教室等を身近な場所で開催しました。

(1) 介護予防教室

ア	元気アップ教室		実施回数	88回	参加延人数	1,308人
イ	低栄養予防料理教室（65歳～74歳の低栄養ハイリスク者及び男性向け）		実施回数	8回	参加延人数	53人
ウ	健康づくりリーダーによる介護予防体操教室		実施回数	24回	参加延人数	774人
エ	シニアリーダー養成講座	シニアリーダー認定者1人	実施回数	9回	参加延人数	45人
オ	お元気サロン		実施回数	24回	参加延人数	310人
カ	民間型地域介護予防教室	町内1会場	実施回数	10回	参加延人数	53人
キ	地域介護予防教室	町内1会場	実施回数	17回	参加延人数	149人
ク	65歳の方のための出張講座（6種類）随時		実施回数	98回	参加延人数	1,722人
ケ	地域リハビリテーション活動支援事業	町内7会場	実施回数	14回	参加延人数	246人
コ	地域で健康・介護予防教室	町内2地区	実施回数	7回	参加延人数	165人
サ	TOGOまちかど運動教室	町内7地区	実施回数	179回	参加延人数	5,243人
シ	地域包括支援センターいきいき出前講座		実施回数	47回	参加延人数	965人
ス	とうごう学び舎	町内6か所	実施回数	80回	参加延人数	740人

(2) ボランティアポイント制度
参加登録者数 136人、参加事業者数 27事業所、ポイント還元 2,890ポイント

(3) 社会参加ポイント制度
申請人数 延929人、クオカード発行枚数2,955枚（令和4年度交換分：1,081枚、令和5年度交換分：1,874枚）

(4) 自立支援応援事業
在宅で生活する高齢者が自立した生活を継続できるよう、リハビリ職や管理栄養士等の専門職が生活や環境上の不安や悩みがある高齢者宅を訪問し、現状をアセスメントした上で、助言を行いました。
リハビリ職 10件、 管理栄養士 3件

(5) まちかど保健室 町内2地区 開催回数23回 参加延人数 88人

5 活動指標

指標名	介護予防教室の実施回数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和2年度	回 159.00	回 690.00	当初予算計上の予定回数
指標の説明（指標式）		令和3年度	回 345.00	回 774.00	
		令和4年度	回 434.00	回 667.00	
		令和5年度	回 605.00	回 807.00	

6 成果指標

指標名	介護予防教室の延べ参加者数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		令和2年度	人 2,081.00	人 5,680.00	高齢者福祉計画による実施目標値
指標の説明（指標式）		令和3年度	人 5,095.00	人 3,750.00	
		令和4年度	人 8,182.00	人 3,950.00	
		令和5年度	人 10,666.00	人 4,150.00	

7 直接事業費計	前年度決算額	21,139,099 円	決算額	28,759,847 円

款	05	地域支援事業費	予算現額	59,358,000 円
項	02	包括的支援事業・任意事業費	決算額	46,042,366 円
目	01	総合相談事業費	前年度決算額	44,402,204 円
			対前年比	103.7 %

Ⅰ．事業の目的体系

1 事業名	地域包括支援センター運営事業	ｺｰﾄﾞ	08	05	02	01	01	－
2 総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
	基本施策	04 高齢者がいきいきと暮らせる						
	施策の展開方向	－						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	高齢者及びその家族、介護サービス事業所
2	働きかける相手（対象）	高齢者及びその家族、介護サービス事業所
3	どのような状態にしたいのか（意図）	高齢者が要介護状態にならないようにするとともに、高齢者の多様な相談を受け、尊厳ある生活を送れるようにします。また、地域のサービス事業所等が交流や情報交換を行う場が提供され、事業を円滑に実施できるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

地域包括支援センター運営事業
　高齢者の総合的な相談や支援の充実を図るため、東郷町社会福祉協議会と愛知県厚生事業団（愛厚ホーム東郷苑）に地域包括支援センター業務を委託しました。
⑴ 年間相談延受付件数　計8,093件（北部　3,860件、南部　4,233件）

新規相談者相談内容	合計	北部	南部
ア 介護保険関連	515件	296件	219件
イ 生活関連	106件	68件	38件
ウ 医療関連	11件	８件	３件
エ 高齢福祉関連	15件	10件	５件
オ 権利擁護（成年後見等）	４件	２件	２件
カ 虐待・消費者被害関連	14件	７件	７件
キ 認知症関連	30件	12件	18件
ク その他	44件	21件	23件

⑵ 介護予防に資する実態把握
　年間　計756件（北部　92件、南部　664件）

⑶ 権利擁護延取扱件数

	合計	北部	南部
ア 成年後見	158件	47件	111件
イ 虐待・消費者被害関連	235件	41件	194件

⑷ ケース会議　　合計　13回（参加者延人数　69人）
　ア 北部　11回（参加延人数　53人）
　イ 南部　２回（参加延人数　16人）
⑸ ケアプラン作成件数　　合計3,079件　北部1,771件　南部1,308件
⑹ 介護予防ケアマネジメント作成件数　計1,937件（事業対象者297件、要支援者　1,640件）
　ア 北部　計1,101件（事業対象者　67件、要支援者　1,034件）
　イ 南部　計　836件（事業対象者　230件、要支援者　606件）
⑺ 居宅介護支援専門員研修会・連絡会　　計９回（参加者延人数　159人）

5 活動指標

指標名	指標の説明（指標式）	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
第１号被保険者数	実績値は各年度９月末数値（中間値）	令和２年度	人 9,866.00	人	個別計画による目標値はありません。
		令和３年度	人 9,893.00	人	
		令和４年度	人 9,929.00	人	
		令和５年度	人 9,969.00	人	

6 成果指標

指標名	指標の説明（指標式）	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
地域包括支援センターの相談受付件数		令和２年度	件 5,368.00	件 4,641.00	前年度実績値
		令和３年度	件 5,598.00	件 5,368.00	
		令和４年度	件 7,660.00	件 5,598.00	
		令和５年度	件 8,093.00	件 7,660.00	

7 直接事業費計	前年度決算額	44,402,204 円	決算額	46,042,366 円

款	05	地域支援事業費	予算現額	2,485,000 円
項	02	包括的支援事業・任意事業費	決算額	835,486 円
目	02	権利擁護事業費	前年度決算額	1,356,500 円
			対前年比	61.6 %

Ⅰ．事業の目的体系

1 事業名	権利擁護事業	ｺｰﾄﾞ	08	05	02	02	01	-
2 総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
	基本施策	02 地域福祉を充実する						
	施策の展開方向	③ 包括的な支援体制の整備						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1 誰のために（受益者）	高齢者及びその家族
2 働きかける相手（対象）	高齢者及びその家族、尾張東部権利擁護支援センター、家庭裁判所
3 どのような状態にしたいのか（意図）	判断能力が不十分な高齢者の財産や権利を守るようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

権利擁護事業
親族等による申し立てが出来ない人に対して成年後見制度に係る手続きを実施しました。
成年後見制度利用支援事業
(1) 成年後見審判申し立てに係る診断書作成　３件
(2) 成年後見審判町長申し立て件数　３件
(3) 成年後見事件審判申し立てに係る鑑定　０件

5 活動指標

指標名	指標の説明（指標式）	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
診断書作成件数	成年後見審判申し立てに係る診断	令和２年度	件 4.00	件	個別計画による目標値はありません。
		令和３年度	件 1.00	件	
		令和４年度	件 1.00	件	
		令和５年度	件 3.00	件	

6 成果指標

指標名	指標の説明（指標式）	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
鑑定件数	成年後見事件審判申し立てに係る鑑定	令和２年度	件 1.00	件 1.00	前年度実績値
		令和３年度	件 0.00	件 1.00	
		令和４年度	件 0.00	件 0.00	
		令和５年度	件 0.00	件 0.00	

7 直接事業費計	前年度決算額	1,356,500 円	決算額	835,486 円

款	05	地域支援事業費	予算現額	1,333,827 円
項	02	包括的支援事業・任意事業費	決算額	1,333,827 円
目	03	包括的・継続的ケアマネジメント支援事業費	前年度決算額	1,329,702 円
			対前年比	100.3 %

Ⅰ．事業の目的体系

1 事業名	包括的・継続的ケアマネジメント支援事業	ｺｰﾄﾞ	08	05	02	03	01	－
2 総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
	基本施策	04 高齢者がいきいきと暮らせる						
	施策の展開方向	③ 介護を受けながら安心して暮らせる体制の充実						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	高齢者及びその家族、医療・介護関係事業者、地域包括支援センター
2	働きかける相手（対象）	高齢者及びその家族、医療・介護関係事業者、地域包括支援センター
3	どのような状態にしたいのか（意図）	医療や介護の専門職に対して多職種連携のための情報共有ツールを提供することで、医療や介護サービスの必要な高齢者が住み慣れた地域で安心して在宅生活を続けられるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

包括的・継続的ケアマネジメント支援事業
電子@連絡帳「レガッタネットとうごう」を運用しました。
(1) 事業者数 99機関
(2) 利用者数 173人
(3) 患者数 113人
(4) 登録記事数 4,922件

5 活動指標

指標名		年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
電子@連絡帳の利用者数		令和２年度	人 130.00	人 150.00	高齢者福祉計画による実施目標値
指標の説明（指標式）	電子@連絡帳を利用した専門職の年度末時点の数	令和３年度	人 138.00	人 150.00	
		令和４年度	人 151.00	人 160.00	
		令和５年度	人 173.00	人 170.00	

6 成果指標

指標名		年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
電子@連絡帳患者登録数		令和２年度	人 80.00	人 80.00	高齢者福祉計画による実施目標値
指標の説明（指標式）	電子@連絡帳を利用し、地域において専門職が連携を取り支えた年度末時点の住民数	令和３年度	人 90.00	人 110.00	
		令和４年度	人 101.00	人 130.00	
		令和５年度	人 113.00	人 150.00	

7 直接事業費計	前年度決算額	1,329,702 円	決算額		1,333,827 円

款	05	地域支援事業費	予算現額	20,836,173 円
項	02	包括的支援事業・任意事業費	決算額	20,114,195 円
目	04	任意事業費	前年度決算額	18,436,742 円
			対前年比	109.1 %

Ⅰ．事業の目的体系

1 事業名	任意事業	ｺｰﾄﾞ	08	05	02	04	01	－
2 総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
	基本施策	04 高齢者がいきいきと暮らせる						
	施策の展開方向	③ 介護を受けながら安心して暮らせる体制の充実						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1 誰のために（受益者）	高齢者及びその家族
2 働きかける相手（対象）	高齢者及びその家族
3 どのような状態にしたいのか（意図）	地域の高齢者が住み慣れた地域でその人らしい生活ができるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

任意事業
⑴ 任意事業
ア 介護サービス事業所へ介護相談員を派遣して利用者や家族から相談を受け、介護サービスの向上を図りました。
派遣施設数 23事業所 派遣回数 276回 対応者数 276人
イ 食生活に関する支援を希望する相談者に対し、適切な支援が行えるように、家庭訪問を通じて現状の把握と必要なアドバイスを行う「食のアセスメント」を実施しました。
訪問件数 261件（新規アセスメント 78件、継続アセスメント 183件）
ウ 食の支援が必要な高齢者宅へ安否確認を兼ねて、給食サービスを委託し、夕食の配達を行いました。
延べ 38,401食
⑵ 家族介護支援事業
ア 認知症の理解を深め、応援者を増やすため認知症サポーター養成講座を21回開催しました。
小中学生 384人 一般住民 117人 民間企業等 76人、介護職員 13人 参加延人数 590人
イ ひとり歩き高齢者が行方不明時に早期発見できるようひとり歩き高齢者見守りネットワークを活用しました。
登録者数 メール 290人 ＦＡＸ 45人 計335人 配信回数 4回
ウ 家族介護者向けのセミナー及びリフレッシュ事業を４回開催しました。 参加延人数 38人
⑶ 介護給付費適正化事業
ア 介護給付費通知書を介護サービス利用者に送付し、介護サービスの適正利用について啓発しました。
通知回数 3回（延べ 4,541人）
イ 理学療法士の資格を持つ会計年度任用職員を雇用し、住宅改修や福祉用具購入後に利用者宅を訪問し、適正な給付であるかの確認を行いました。
(ｱ) 詳細チェック（面談、ヒアリングシート） 11件
(ｲ) 予防給付相当サービスチェック 177件
(ｳ) 住宅改修事前又は事後確認 243件
(ｴ) 福祉用具事後確認 36件
(ｵ) 適正化帳票チェック 毎月

5 活動指標

指標名	認知症見守りネットワーク周知回数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	回 3.00	回	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）	ひとり歩き高齢者見守りネットワークへの登録者数を増やすため、認知症サポーター養成講座で周知をした回数（小中学校は除く）	令和３年度	回 7.00	回	
		令和４年度	回 17.00	回	
		令和５年度	回 19.00	回	

6 成果指標

指標名	ひとり歩き高齢者見守りネットワーク登録者数（累計）	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		令和２年度	人 262.00	人	高齢者福祉計画による実施目標数値
指標の説明（指標式）		令和３年度	人 288.00	人 264.00	
		令和４年度	人 324.00	人 271.00	
		令和５年度	人 335.00	人 278.00	

7 直接事業費計	前年度決算額	18,436,742 円	決算額	20,114,195 円

款	05	地域支援事業費	予算現額	9,009,000 円
項	02	包括的支援事業・任意事業費	決算額	8,311,909 円
目	05	在宅医療・介護連携推進事業費	前年度決算額	7,703,007 円
			対前年比	107.9 %

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	在宅医療・介護連携推進事業	ｺｰﾄﾞ	08	05	02	05	01	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
		基本施策	04 高齢者がいきいきと暮らせる						
		施策の展開方向	③ 介護を受けながら安心して暮らせる体制の充実						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	高齢者
2	働きかける相手（対象）	町民、医療・介護関係事業者、地域包括支援センター
3	どのような状態にしたいのか（意図）	医療や介護サービスの必要な高齢者が住み慣れた地域で安心して在宅生活を続けられるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

在宅医療・介護連携推進事業
東郷町内の地域課題についての検討及び在宅医療と介護を連携する事業を実施しました。
(1) 地域ケア推進会議を５回開催しました。
主な内容 第９期高齢者福祉計画の策定
(2) 地域ケア推進会議在宅医療・介護連携推進部会を３回開催し、医療・介護フェアを年１回開催しました。
ア 部会では、東郷町在宅医療・介護マップについて、令和５年度及び令和６年度医療・介護フェアについて、在宅医療・介護連携周知啓発「出張講座」について、豊明東郷サポートセンターかけはしの活動進捗状況について、多職種カンファレンス及び多職種ミーティングについて、在宅医療・介護連携事業に係る東郷町の課題について検討しました。
イ 医療・介護フェアでは、「認知症になっても安心して暮らせるまち 東郷」をテーマに、講演会及び各職能団体による情報展示・相談コーナーを実施しました。
(3) 在宅医療・介護連携推進事業を北部地域包括支援センターに委託し、多職種カンファレンス及び多職種ミーティングを開催しました。
ア 多職種カンファレンス 開催回数６回、参加延人数215人
イ 多職種ミーティング 開催回数５回、参加延人数160人
(4) 在宅医療・介護連携支援センター連絡協議会
東名古屋医師会医療介護総合研究センターやまびこの実施する広域会議が２回開催され、出席しました。
(5) 豊明東郷医療介護サポートセンターかけはし
ア 豊明東郷医療介護サポートセンター運営協議会が２回開催され、出席しました。
イ 相談支援実績 14件
ウ 医療福祉介護関係者の人材育成及び連携強化を目的とした研修会を２回開催しました。
エ 介護支援専門員、地域包括支援センター職員、医療関係職種等に対し、専門技術の移転や視点の共有を目的とした研修会を５回開催しました。
(6) 在宅医療・介護マップを発行し、高齢者支援課、地域包括支援センター窓口で配布する他、在宅医療・介護に関わる様々な職種及び事業所において配布を行いました。

5 活動指標

指標名	地域ケア推進会議及び在宅医療介護連携推進部会開催回数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	回 7.00	回	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	回 7.00	回	
		令和４年度	回 9.00	回	
		令和５年度	回 9.00	回	

6 成果指標

指標名	多職種カンファレンス及び多職種ミーティング参加者数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		令和２年度	人 276.00	人	高齢者福祉計画による実施目標数値
指標の説明（指標式）		令和３年度	人 356.00	人 258.00	
		令和４年度	人 383.00	人 266.00	
		令和５年度	人 375.00	人 274.00	

7	直接事業費計	前年度決算額	7,703,007 円	決算額	8,311,909 円

款	05	地域支援事業費	予算現額	6,434,000 円
項	02	包括的支援事業・任意事業費	決算額	6,357,177 円
目	06	生活支援体制整備事業費	前年度決算額	5,771,579 円
			対前年比	110.1 %

Ⅰ．事業の目的体系

1	事業名	生活支援体制整備事業	ｺｰﾄﾞ	08	05	02	06	01	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
		基本施策	04 高齢者がいきいきと暮らせる						
		施策の展開方向	② 地域で安心して暮らせる環境の構築						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	高齢者
2	働きかける相手（対象）	高齢者、高齢者を取巻く全ての関係者
3	どのような状態にしたいのか（意図）	高齢者が様々な生活資源やサービスを利用しながら、住み慣れた地域で安心して生活を続けられるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

生活支援体制整備事業
いつまでも住み慣れた地域で生活するため「住民の互助」を基本とした住民同士の支え合いの生活支援体制を整備するため、第２層地域支えあいコーディネーターを配置及び第２層地域支え合い協議体を設置し、地域との協働やボランティア等、社会福祉事業を担っている東郷町社会福祉協議会に事業の運営を委託しました。
⑴ 第２層協議体を北部及び南部に１つずつ設置し、原則月１回定期的に開催しました。構成員は、自治会長、民生委員、サロン運営者などの多様な住民で、互助活動に意欲のある人で構成されています。
北部圏域第２層協議体 実施回数 11回、参加延人数 100人
南部圏域第２層協議体 実施回数 11回、参加延人数 72人 合計 実施回数 22回、参加延人数 172人
⑵ 第2層協議体構成員が協議体についての疑問解消や、構成員同士の情報交換及び交流を図るため、年2回（８月と２月）に第２層協議体交流会を開催しました。参加延人数 37人
⑶ 町、地域包括支援センター、地域支えあいコーディネーターをコアメンバーとして、第２層協議体の進捗状況を共有し、共通認識を持つためのコアメンバー会議を原則月１回開催しました。
コアメンバー会議 14回
⑷ 第２層地域支えあいコーディネーターは、地域に出向いて社会資源の把握、関係者とのネットワークづくりを行うと共に、活動において把握した情報や暮らしのおうえんガイドブック等の冊子を活用しニーズとサービスのマッチングを行いました。

5 活動指標

指標名	協議体開催回数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	回 4.00	回	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	回 5.00	回	
		令和４年度	回 18.00	回	
		令和５年度	回 22.00	回	

6 成果指標

指標名	地域支え合いコーディネーターの配置数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		令和２年度	人 2.00	人 2.00	日常生活圏域数に対して１名配置
指標の説明（指標式）		令和３年度	人 2.00	人 2.00	
		令和４年度	人 2.00	人 2.00	
		令和５年度	人 2.00	人 2.00	

7	直接事業費計	前年度決算額	5,771,579 円	決算額	6,357,177 円

款	05	地域支援事業費	予算現額	14,208,000 円
項	02	包括的支援事業・任意事業費	決算額	13,776,632 円
目	07	認知症総合支援体制整備事業費	前年度決算額	9,826,527 円
			対前年比	140.2 %

Ⅰ．事業の目的体系

1 事業名	認知症総合支援体制整備事業	ｺｰﾄﾞ	08	05	02	07	01	－
2 総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
	基本施策	04 高齢者がいきいきと暮らせる						
	施策の展開方向	③ 介護を受けながら安心して暮らせる体制の充実						

Ⅱ．（Do）一般事業の内容

1	誰のために（受益者）	認知症の方及びその家族
2	働きかける相手（対象）	認知症の方及びその家族
3	どのような状態にしたいのか（意図）	認知症の方が住み慣れた地域でその人らしい生活ができるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

認知症総合支援体制整備事業
(1) 認知症カフェ
認知症の人やその家族の交流や相談の場として、認知症カフェを開催しました。
ア 平日開催 NPO法人地域の応援団えがおに委託 実施回数 年11回 参加延人数156人
イ 休日開催 東郷町南部地域包括支援センター東郷苑に委託 実施回数 年24回 参加延人数731人
ウ 拡大版 NPO法人地域の応援団えがおに委託 実施回数 年２回 参加延人数 53人
エ 当事者向け NPO法人地域の応援団えがおに委託 実施回数 年44回 参加延人数454人
(2) 一体的支援事業
認知症の人とその家族がより良い関係を保ちつつ、希望する在宅生活を継続できるよう、一体的支援事業を開催しました。
実施回数 年12回、参加延組数24組
(3) 認知症地域支援推進員
ア 町内に計２名を配置し、活動しました。
イ 認知症支援に特化した相談等の支援や家庭訪問を実施しました。
相談件数 934件（新規29件、継続905件）
ウ 周知啓発 150回
エ 家族支援事業の支援（秋桜の会、認知症カフェ等）53回
(4) 認知症初期集中支援チーム活動
認知症が疑われる高齢者に対して早期に関わり、支援につなげるための活動を行いました。
ア 対応件数 1件
イ チーム員会議回数 ４回
ウ 訪問回数 21回
(5) 認知症ケアパスの改定
認知症の方やその家族が状態に応じた適切な医療や介護サービス、その他相談支援を把握できるよう認知症ケアパスを改定しました。

5 活動指標

指標名	認知症地域支援推進員として対応した相談件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	件 918.00	件	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	件 216.00	件	
		令和４年度	件 589.00	件	
		令和５年度	件 934.00	件	

6 成果指標

指標名	認知症カフェ・本人カフェ参加者数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		令和２年度	回 405.00	回 240.00	高齢者福祉計画による実施目標値
指標の説明（指標式）		令和３年度	回 921.00	回 1,400.00	
		令和４年度	回 1,012.00	回 1,400.00	
		令和５年度	回 1,394.00	回 1,400.00	

7 直接事業費計	前年度決算額	9,826,527 円	決算額		13,776,632 円

款	06	諸支出金	予算現額	503,000 円
項	01	償還金及び還付加算金	決算額	382,700 円
目	01	第１号被保険者保険料還付金	前年度決算額	215,900 円
			対前年比	177.3 %

Ⅰ．事務の目的体系

1 事業名	第１号被保険者還付金等事業	ｺｰﾄﾞ	08	06	01	01	01	－
2 総合計画の施策体系	基本目標	１ だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
	基本施策	02 地域福祉を充実する						
	施策の展開方向	－						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1 誰のために（受益者）	第１号被保険者
2 働きかける相手（対象）	第１号被保険者の家族
3 どのような状態にしたいのか（意図）	第１号被保険者の過年度分の保険料を精算し、還付事務を適正に執行します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

第１号被保険者保険料還付金等事業
　第１号被保険者の死亡などによる資格の異動で、過年度分の保険料の返還が発生した場合に還付しました。
(1) 件数
　ア 還付　　18件
　イ 充当　　０件
　ウ 還付加算金　０件

5 活動指標

指標名	指標の説明（指標式）	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
還付金支払件数	還付＋充当件数	令和２年度	件 64.00	件	個別計画による目標値はありません。
		令和３年度	件 24.00	件	
		令和４年度	件 17.00	件	
		令和５年度	件 18.00	件	

6 直接事業費計	前年度決算額	215,900 円	決算額	382,700 円

款	06	諸支出金	予算現額	43,049,000 円
項	01	償還金及び還付加算金	決算額	43,048,201 円
目	02	償還金	前年度決算額	55,488,831 円
			対前年比	77.6 %

Ⅰ．事務の目的体系

1	事業名	償還金事業	ｺｰﾄﾞ	08	06	01	02	01	－
2	総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
		基本施策	04 高齢者がいきいきと暮らせる						
		施策の展開方向	③ 介護を受けながら安心して暮らせる体制の充実						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	国及び県、社会保険診療報酬支払基金
2	働きかける相手（対象）	国及び県、社会保険診療報酬支払基金
3	どのような状態にしたいのか（意図）	介護保険事業の安定的な財政運営を図るために借り入れた借入金の償還と、前年度の介護保険事務費の確定により、超過交付となった国庫、県費及び社会保険診療報酬支払基金について精算に係る事務を適正に行います。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

償還金事業
実績報告により超過交付となった令和４年度の国庫、県費及び支払基金を返還しました。
⑴ 国庫返還金
ア 介護給付費負担金 34,181,397円
イ 地域支援事業費交付金 2,856,475円
⑵ 県費返還金
ア 介護給付費負担金 3,729,513円
イ 地域支援事業交付金 1,500,530円
⑶ 社会保険診療報酬支払基金
ア 地域支援事業支援交付金 780,286円
合計 43,048,201円

5 活動指標

指標名	償還額	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	円 13,281,719.00	円	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	円 43,242,707.00	円	
		令和４年度	円 55,488,831.00	円	
		令和５年度	円 43,048,201.00	円	

6	直接事業費計	前年度決算額	55,488,831 円	決算額	43,048,201 円

款	06	諸支出金	予算現額	1,000 円
項	01	償還金及び還付加算金	決算額	0 円
目	03	高額介護サービス費貸付金	前年度決算額	0 円
			対前年比	- %

Ⅰ．事務の目的体系

1 事業名	高額介護サービス費貸付金事業	ｺｰﾄﾞ	08	06	01	03	01	-
2 総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
	基本施策	04 高齢者がいきいきと暮らせる						
	施策の展開方向	③ 介護を受けながら安心して暮らせる体制の充実						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	1割負担が困難な要介護（要支援）者
2	働きかける相手（対象）	要介護（要支援）者及びその家族
3	どのような状態にしたいのか（意図）	1割負担が困難な世帯の負担を軽減し、安心して介護サービスを受けられるようにします。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

高額介護サービス費貸付金事業
高額介護サービス費が一定上限額を超えた場合にその超えた金額を貸付しますが、今年度の利用実績はありませんでした。

5 活動指標

指標名	高額介護サービス費貸付件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	件 0.00	件	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	件 0.00	件	
		令和４年度	件 0.00	件	
		令和５年度	件 0.00	件	

6 直接事業費計	前年度決算額	0 円	決算額	0 円

款	06	諸支出金	予算現額	9,402,000 円
項	02	繰出金	決算額	9,401,563 円
目	01	一般会計繰出金	前年度決算額	12,710,408 円
			対前年比	74 %

Ⅰ．事務の目的体系

1 事業名	一般会計繰出金事業	ｺｰﾄﾞ	08	06	02	01	01	－
2 総合計画の施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち 【健康・医療・福祉】						
	基本施策	04 高齢者がいきいきと暮らせる						
	施策の展開方向	③ 介護を受けながら安心して暮らせる体制の充実						

Ⅱ．（Do）内部事務の内容

1	誰のために（受益者）	町民
2	働きかける相手（対象）	一般会計
3	どのような状態にしたいのか（意図）	前年度決算に基づく介護保険給付費繰入金及び介護保険事務費繰入金の超過額を適正に精算します。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

一般会計繰出金事業
介護保険給付費繰入金及び介護保険事務費繰入金の超過額について、一般会計に繰り出しました。

5 活動指標

指標名	繰出額	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		令和２年度	円 10,202,862.00	円	個別計画による目標値はありません。
指標の説明（指標式）		令和３年度	円 23,245,996.00	円	
		令和４年度	円 12,710,408.00	円	
		令和５年度	円 9,401,563.00	円	

6 直接事業費計	前年度決算額	12,710,408 円	決算額	9,401,563 円

企　業　会　計

下水道事業会計

消費税及び地方消費税額を含む税込表示（貸借対照表を除く。）としていますので、決算書の税抜表示部分と数値が異なります。

１　概　　要

令和５年度における下水道事業収益の決算額は７８６，５１９千円、下水道事業費用の決算額は７７８，４５７千円となった。

資本的収入の決算額は１７４，３６８千円、資本的支出の決算額は３５２，２２４千円となった。

⑴　収益的収支決算額　　（単位：千円、％）

区　　分	令和５年度	令和４年度	増減額	伸率
下水道事業収益	786,519	764,795	21,724	2.8
下水道事業費用	778,457	758,689	19,768	2.6
差引額	8,062	6,106		

⑵　資本的収支決算額　　（単位：千円、％）

区　　分	令和５年度	令和４年度	増減額	伸率
資本的収入	174,368	229,273	△54,905	△23.9
資本的支出	352,224	414,618	△62,394	△15.0
差引額	△177,856	△185,345		

⑶　下水道事業の状況

区　　分	令和５年度	令和４年度	増減
使用可能人口（人）	36,474	36,412	62
使用している人の割合（％）	95.67	95.38	0.29
一人当たり月平均使用水量（㎥）	7.5	7.5	0.0

2　収益的収支

令和５年度の下水道事業収益の決算額は７８６，５１９千円となった。

その内容は、下水道使用料が３７３，９４１千円で全体の４７．５％を占め、他会計負担金が１９９，０００千円（２５．３％）、長期前受金戻入が２１１，１９５千円（２６．９％）、消費税及び地方消費税還付金が６５３千円（０．１％）、雑収益が１，７３０千円（０．２％）となっている。

下水道事業費用の決算額は７７８，４５７千円となった。

その内容は、減価償却費が３９６，０９５千円で全体の５０．９％を占め、流域下水道維持管理費負担金が１７１，３５６千円（２２．０％）、総係費が１０８，２９５千円（１３．９％）、支払利息及び企業債取扱諸費が５３，０４４千円（６．８％）、管渠費が２９，８０５千円（３．８％）となっている。

⑴　下水道事業収益決算額　（単位：千円、％）

区　　分	令和５年度	令和４年度	増減額	伸率
１ 営業収益	373,941	377,268	△3,327	△0.9
下水道使用料	373,941	377,268	△3,327	△0.9
２ 営業外収益	412,578	340,884	71,694	21.0
他会計負担金	199,000	130,196	68,804	52.8
長期前受金戻入	211,195	209,421	1,774	0.8
消費税及び地方消費税還付金	653	0	653	皆増
雑収益	1,730	1,267	463	36.5
３ 特別利益	0	46,643	△46,643	皆減
その他特別利益	0	46,643	△46,643	皆減
合　　計	786,519	764,795	21,724	2.8

⑵　下水道事業費用決算額　（単位：千円、％）

区　　分	令和５年度	令和４年度	増減額	伸率
１ 営業費用	716,743	686,386	30,357	4.4
管渠費	29,805	42,825	△13,020	△30.4
ポンプ場費	11,192	8,735	2,457	28.1
総係費	108,295	89,615	18,680	20.8
流域下水道維持管理費負担金	171,356	151,924	19,432	12.8

	減価償却費	396,095	393,287	2,808	0.7
2 営業外費用		61,714	72,303	△10,589	△14.6
	支払利息及び企業債取扱諸費	53,044	60,938	△7,894	△13.0
	消費税及び地方消費税	8,467	11,290	△2,823	△25.0
	雑支出	203	75	128	170.7
合　　計		778,457	758,689	19,768	2.6

3　資本的収支

令和５年度の資本的収入の決算額は１７４，３６８千円となった。

その内容は、他会計出資金が１５２，８２７千円で全体の８７．７％を占め、企業債が１４，２００千円（８．１％）、国庫補助金が７，０００千円（４．０％）、負担金等が３４１千円（０．２％）となっている。

資本的支出の決算額は３５２，２２４千円となった。

その内容は、建設改良企業債元金償還金が３１５，６６９千円で全体の８９．６％を占め、管渠建設改良費が２２，２９７千円（６．３％）、流域下水道建設費負担金が１４，２２８千円（４．１％）となっている。

なお、資本的収入額が資本的支出額に不足する額１７７，８５６千円は、消費税及び地方消費税資本的収支調整額３，３２０千円、損益勘定留保資金１７４，５３６千円で補填した。

⑴　資本的収入決算額　　（単位：千円、％）

区　　分		令和５年度	令和４年度	増減額	伸率
1 企業債		14,200	45,000	△30,800	△68.4
	企業債	14,200	45,000	△30,800	△68.4
2 他会計出資金		152,827	164,150	△11,323	△6.9
	他会計出資金	152,827	164,150	△11,323	△6.9
3 国庫補助金		7,000	20,000	△13,000	△65.0
	国庫補助金	7,000	20,000	△13,000	△65.0
4 負担金等		341	123	218	177.2
	分担金及び負担金	341	123	218	177.2
合　　計		174,368	229,273	△54,905	△23.9

⑵　資本的支出決算額　　（単位：千円、％）

区　　分		令和５年度	令和４年度	増減額	伸率
１　建設改良費		36,525	72,280	△35,755	△49.5
	管渠建設改良費	22,297	59,434	△37,137	△62.5
	流域下水道建設費負担金	14,228	12,846	1,382	10.8
２　企業債償還金		315,699	342,338	△26,639	△7.8
	建設改良企業債元金償還金	315,699	342,338	△26,639	△7.8
合　　計		352,224	414,618	△62,394	△15.0

４　事業内容

⑴　主要地方道諸輪名古屋線において老朽化したマンホールの蓋31箇所の取り替えを行いました。

⑵　基本計画及び事業計画・事業認可の変更を行いました。

⑶　第２期ストックマネジメント計画を作成しました。

報　　告　　書

令和５年度における土地開発基金運用状況について、地方自治法（昭和２２年法律第６７号）第２４１条第５項の規定により報告する。

令和６年８月２６日提出　　東郷町長　石　橋　直　季

令和５年度

土地開発基金の運用状況に関する調書

土地開発基金運用状況調書

区　　分			令和４年度末 現　在　高	令和５年度中増減高		令和５年度末 現　在　高
				増　加	減　少	
基　金　総　額			275,077,777 円	0 円	0 円	275,077,777 円
内訳	不動産	土　地	2,783.89 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	2,783.89 ㎡
		立木等	0 件	0 件	0 件	0 件
		価　格	173,319,288 円	0 円	0 円	173,319,288 円
	現　　金		101,758,489 円	0 円	0 円	101,758,489 円
	貸　付　金		0 円	0 円	0 円	0 円